

平面図

S=1:500

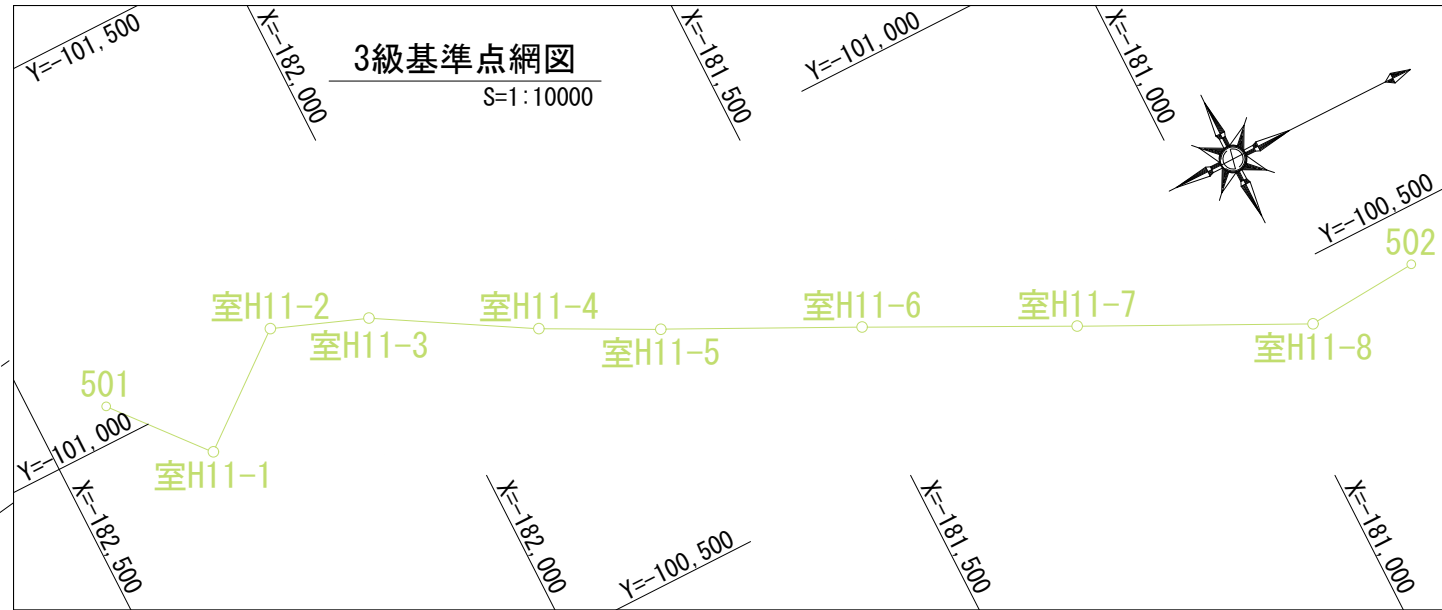
[市道知利別町3丁目2条通線 知利別3丁目1条橋]

河川曲線表 (H15計画)

(日本測地系)

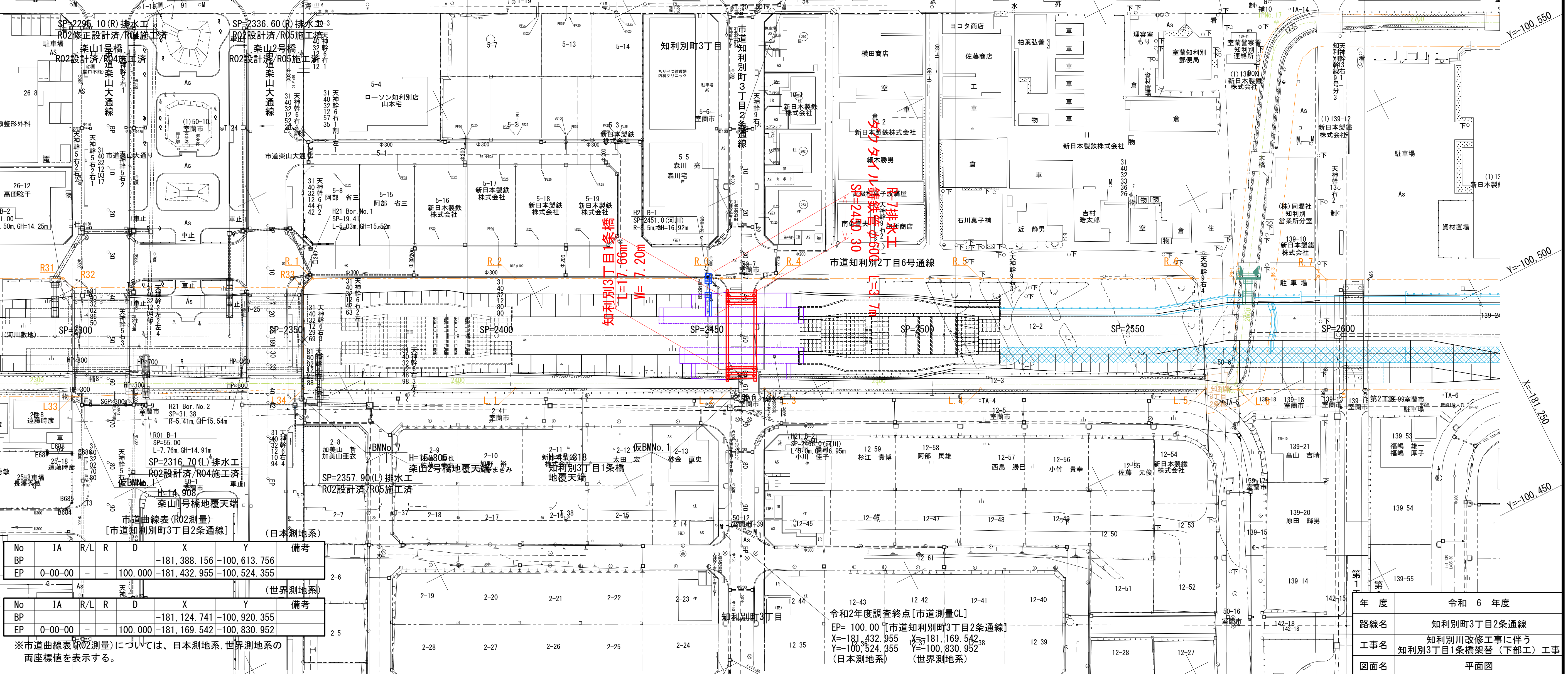
IPNo	IA	R/L	R	TL	CL	SL	BC	EC	D	X	Y	備考
BP												
1	65-02-28	R	30	19.127	34.055	5.579	1552.07	1586.12	140.105	-182,272.825	-100,939.680	SP=1431.09
2	26-00-05	R	20	4.618	9.076	0.526	1730.41	1739.49	168.032	-182,012.842	-100,951.546	
3	25-57-02	L	20	4.608	9.058	0.524	1753.65	1762.71	23.387	-181,998.638	-100,932.967	
4	25-42-15	R	50	11.407	22.431	1.285	1916.74	1939.17	170.051	-181,846.654	-100,856.690	
5	5-59-26	L	100	5.232	10.455	0.137	1982.64	1992.73	60.113	-181,809.939	-100,809.092	BrC=-0.37
6	19-49-44	L	70	12.235	24.226	1.061	2082.34	2106.57	107.082	-181,736.045	-100,731.592	
7	28-29-09	L	70	17.769	34.802	2.220	2844.03	2878.83	767.462	-181,049.431	-100,388.724	
EP										138.938	-180,910.573	SP=3000.37

※座標系については、既往資料の整合を図るため日本測地系の表記を基本とする。
施工時に世界測地系を用いる場合は、座標変換を適宜実施すること。



3級基準点成果表 (日本測地系)				3級基準点成果表 (世界測地系)			
点名	X	Y	摘要	点名	X	Y	摘要
室H11-1	-182,308.221	-100,928.092	金属標	室H11-1	-182,044.846	-101,234.699	
室H11-2	-182,166.881	-101,039.218	"	室H11-2	-181,903.483	-101,345.820	
室H11-3	-182,044.326	-100,992.247	"	室H11-3	-181,780.918	-101,298.844	
室H11-4	-181,850.483	-100,877.911	"	室H11-4	-181,587.073	-101,184.509	
室H11-5	-181,706.810	-100,804.133	"	室H11-5	-181,443.398	-101,110.729	
室H11-6	-181,468.476	-100,686.021	"	室H11-6	-181,205.059	-100,992.614	
室H11-7	-181,214.345	-100,557.863	"	室H11-7	-180,950.925	-100,864.452	
室H11-8	-180,935.106	-100,419.005	"	室H11-8	-180,671.684	-100,725.591	
501	-182,407.093	-101,046.125	金属鉄	501	-182,143.741	-101,352.768	
502	-180,783.464	-100,429.986	"	502	-180,520.036	-100,736.575	

(H14知利別川改修工事用地測量成果より)



No	IA	R/L	R	D	X	Y	備考
BP					-181,388.156	-100,613.756	
EP	0-00-00	-	-	100,000	-181,432.955	-100,524.355	

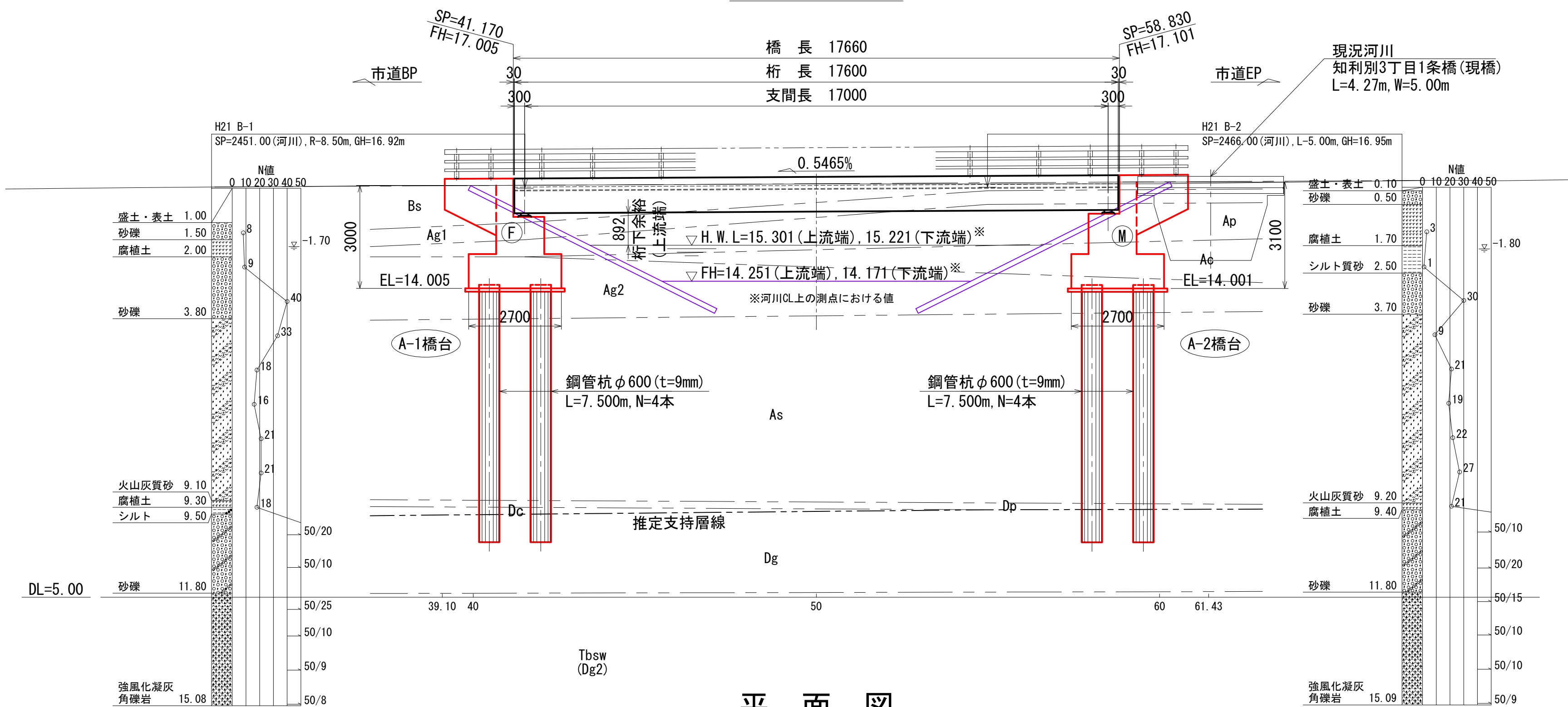
No	IA	R/L	R	D	X	Y	備考
BP					-181,124.741	-100,920.355	
EP	0-00-00	-	-	100,000	-181,169.542	-100,830.952	

※市道曲線表 (R02測量) については、日本測地系、世界測地系の両座標値を表示する。

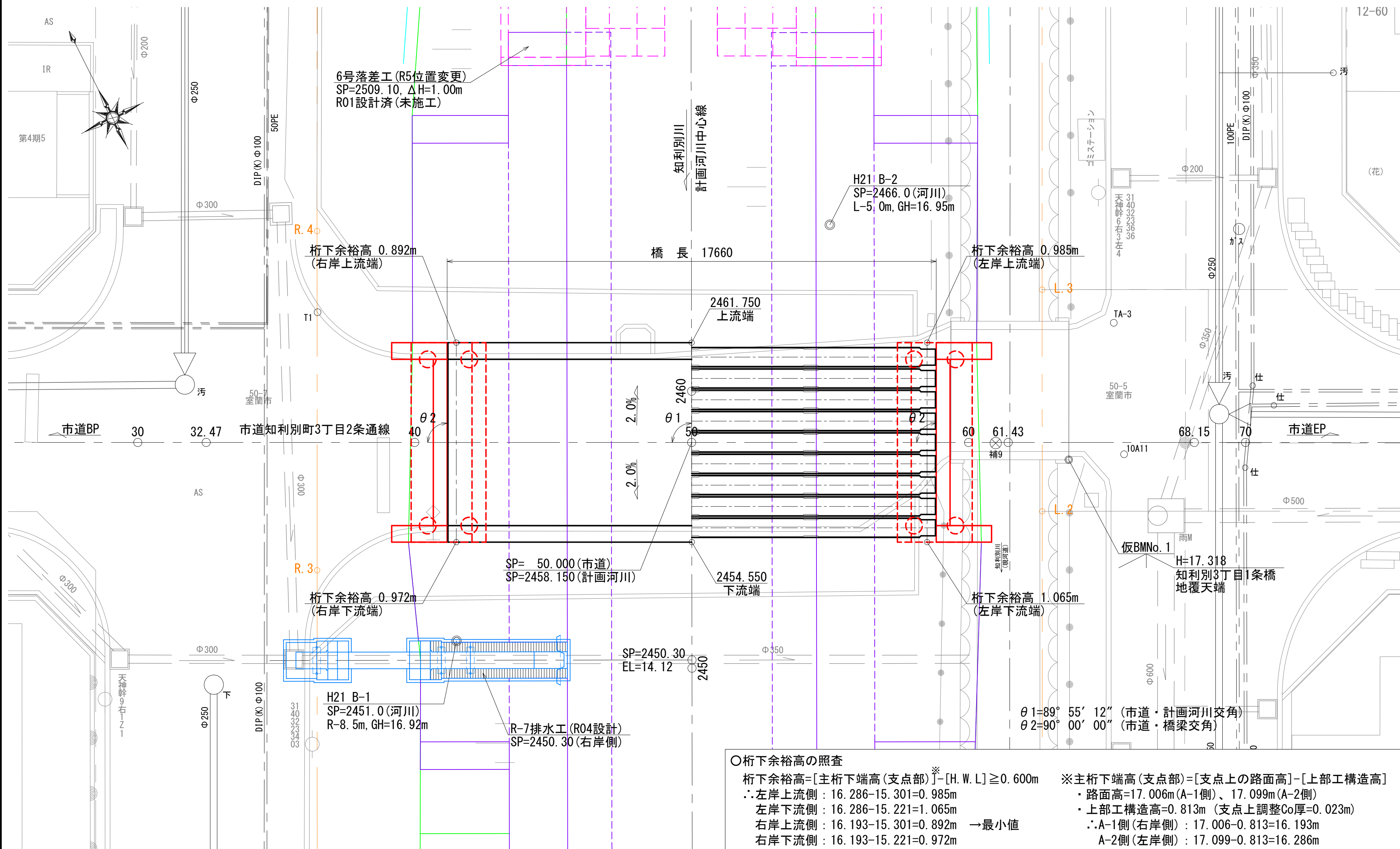
年度	令和 6 年度
路線名	知利別町3丁目2条通線
工事名	知利別川改修工事に伴う 知利別3丁目1条橋架替 (下部工) 工事
図面名	平面図
縮尺	1:500
図面番号	1
設計年月	令和 6 年 4 月
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課

側面図 S=1:100

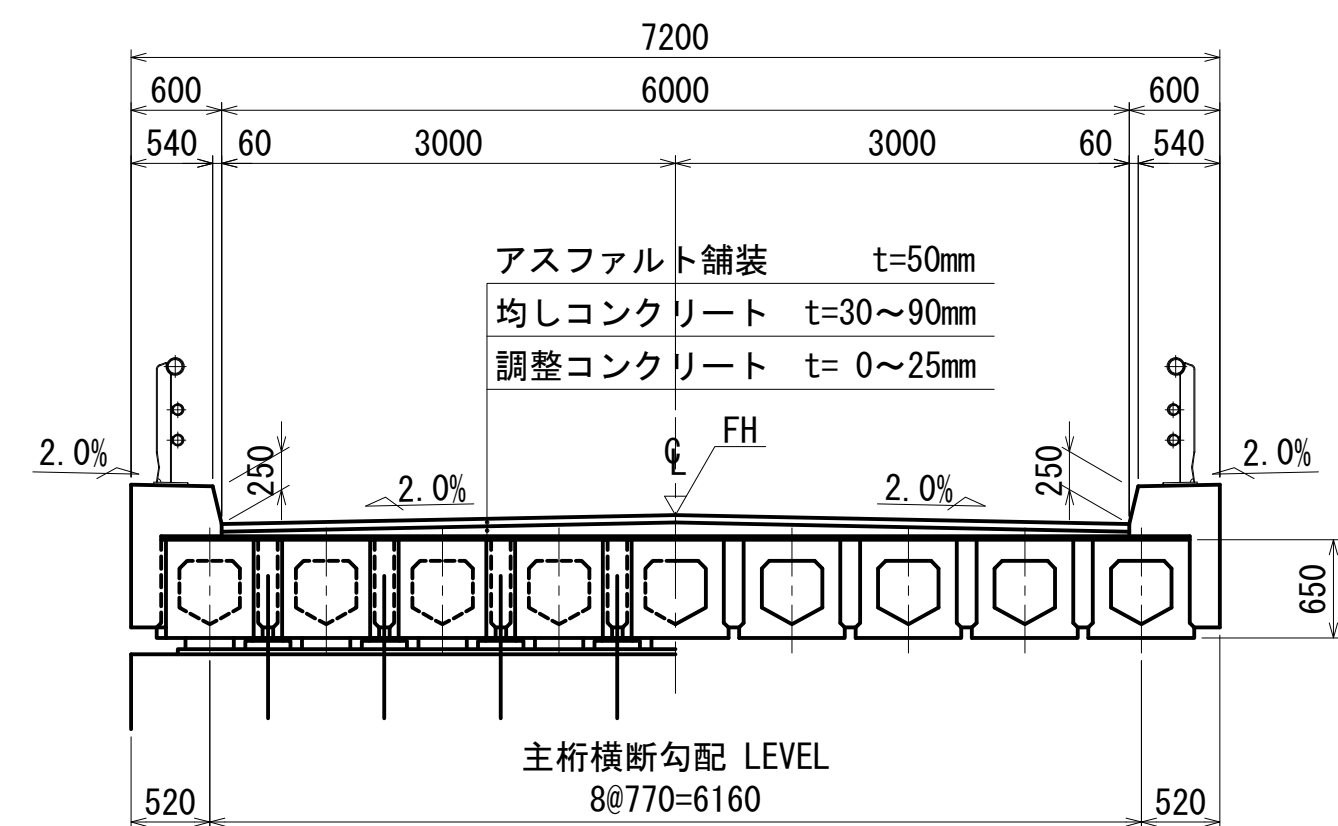
橋 梁 一 般 図



平面図 S=1:100



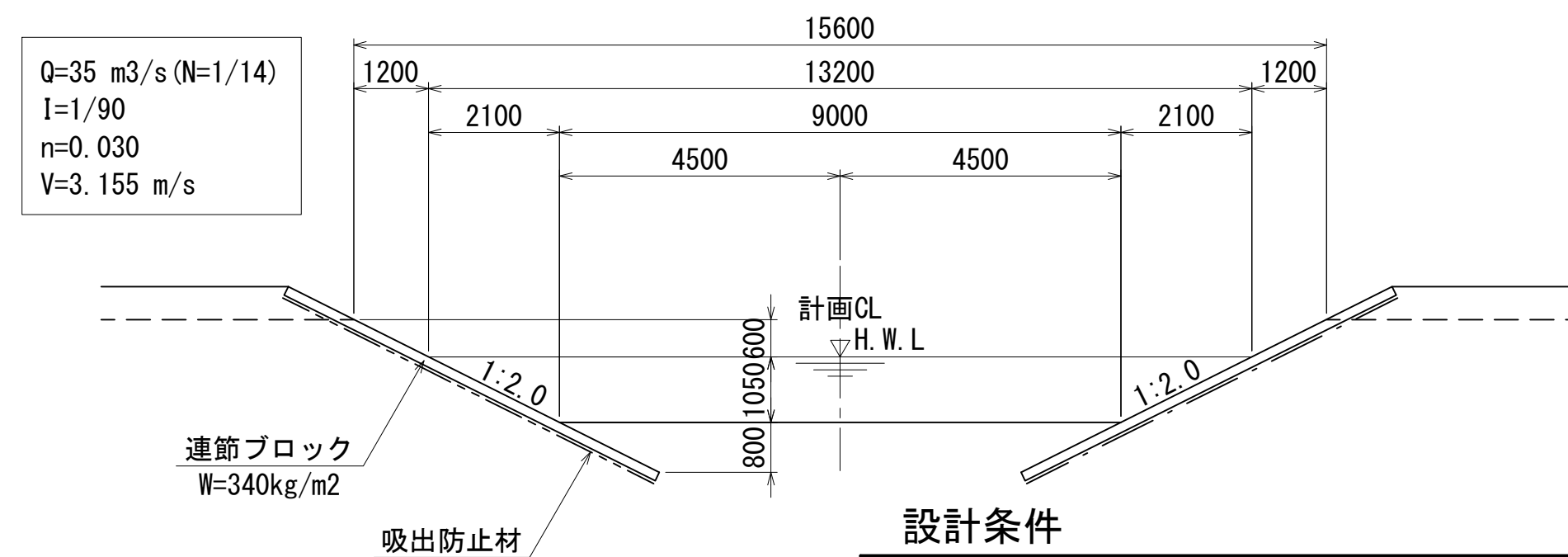
断面図 S=1:50



計画河川断面図 S=1:100

SP2089.48~SP2960.60 [H25計画]

(知利別3丁目1条橋 橋梁護岸区間)



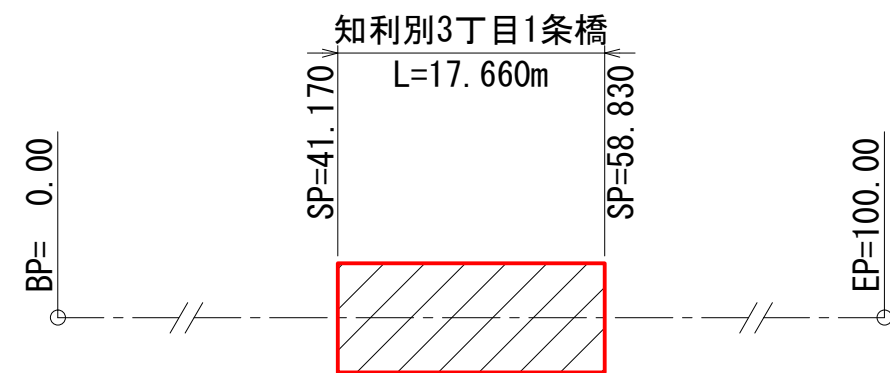
設計条件

設計荷重		A活荷重	
道路規格	第3種5級相当※1	設計速度	40km/h※1
設計震度 (レベル1)	kh=0.21 (躯体) =0.17 (土)	雪荷重	0kN/m2
橋梁型式	上部工	プレテンション方式PC単純中空床版橋 (PH)	
	下部工	橋長 L=17.660m 桁長 L=17.600m 支間 L=17.000m B=車道6.000m 曲線半径 R=∞ (直線), 斜角 θ=90° 00' 00" 縦断勾配 i=+0.5465%	
基礎工	基礎	A-1, A-2逆T式橋台 (At)	
	杭基礎	鋼管杭 (Fps) [中掘セメントミルク噴出攪拌方式]	
応力度制限値・使用材料	上部構造	コンクリート σck	主 桁 50 N/mm2 場所打ち 30 N/mm2
	下部構造	鉄 筋 σsy	3.10 N/mm2 2.20 N/mm2
支持力	変位の制限	Rdp=1427~1431kN	
	安定の耐荷性能	Rd=1867~1874kN	
維持管理	定期点検/被災時: 徒歩・梯子による桁下アクセス		
	道路橋示方書・同解説 (H29.11)		(日本道路協会)
適用示方書	道路事業設計要領 (R02.4)		(北海道建設部)
	土木構造物設計マニアル (H11.11)		(旧建設省)

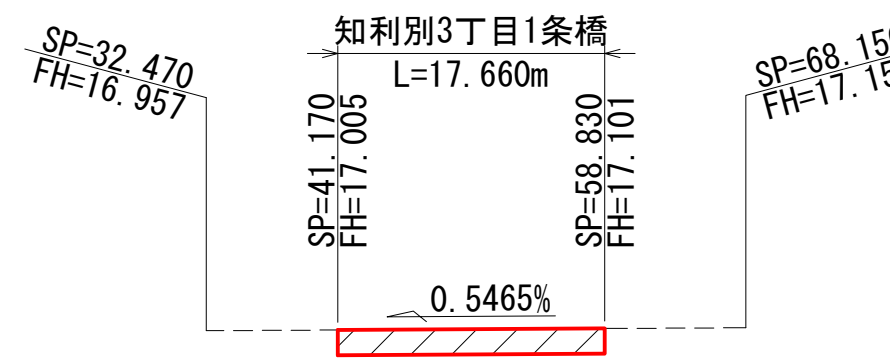
※1. 本橋の橋梁設計を検討する上で設定した道路条件として示す。
(市道知利別町3丁目2条通線の道路条件ではない)

※2. 裏込土の土質定数
単位体積重量: γ=19kN/m3、せん断抵抗角: φ=30°

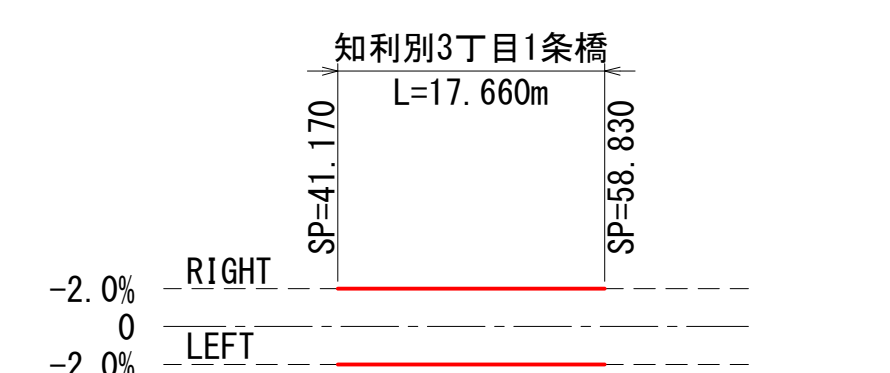
平面線形



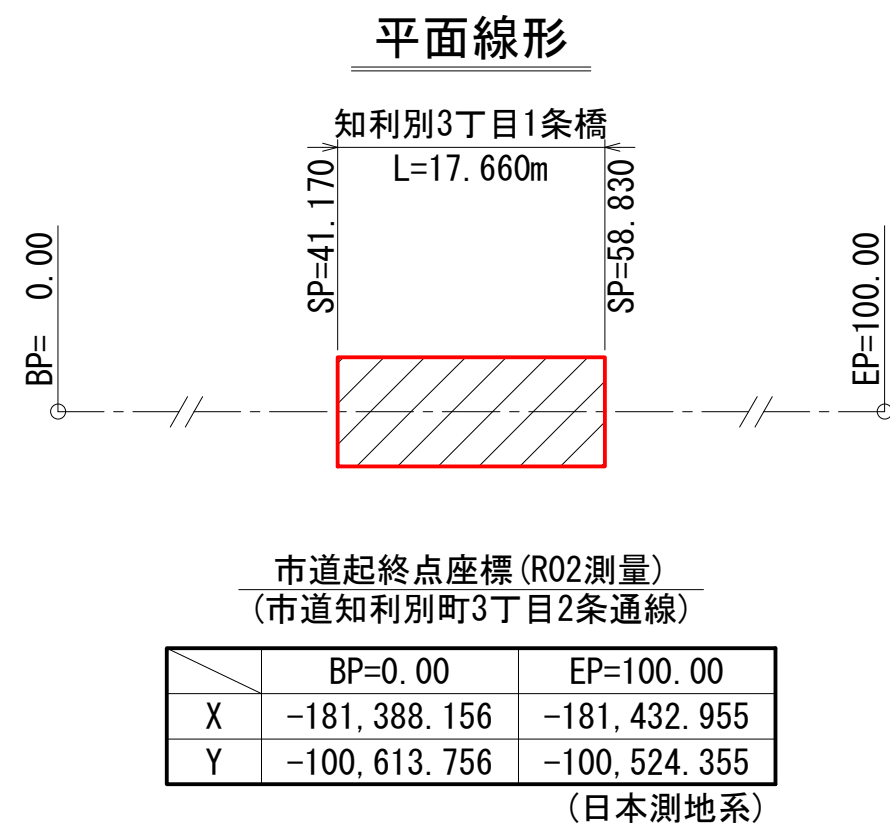
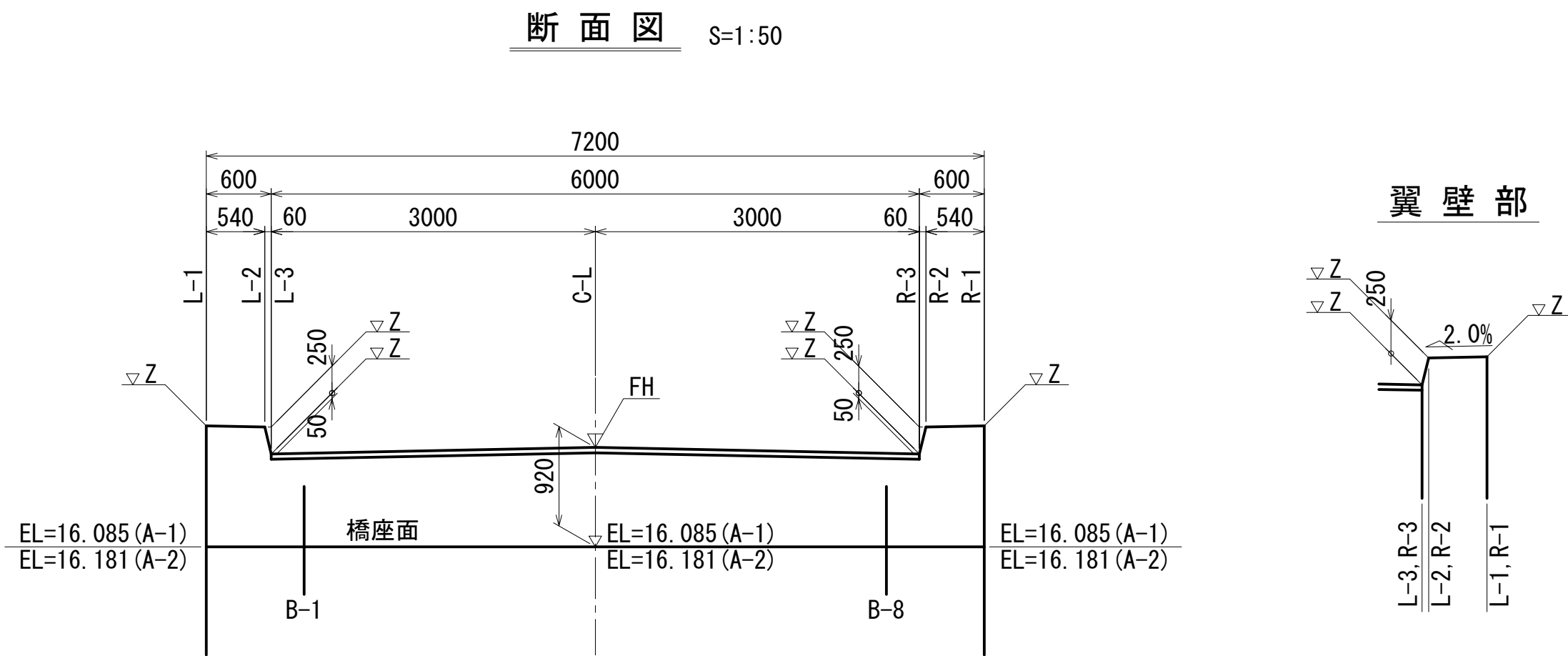
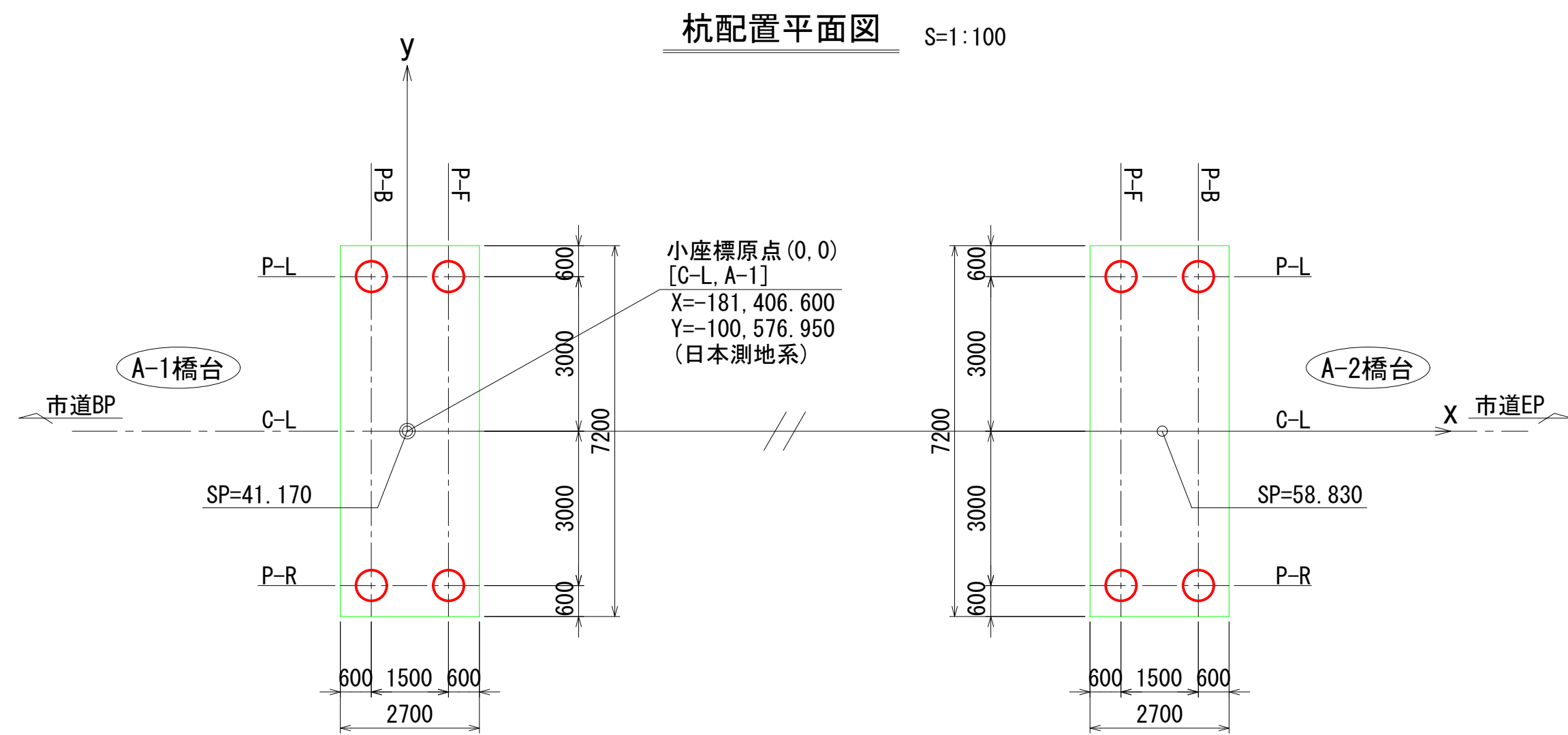
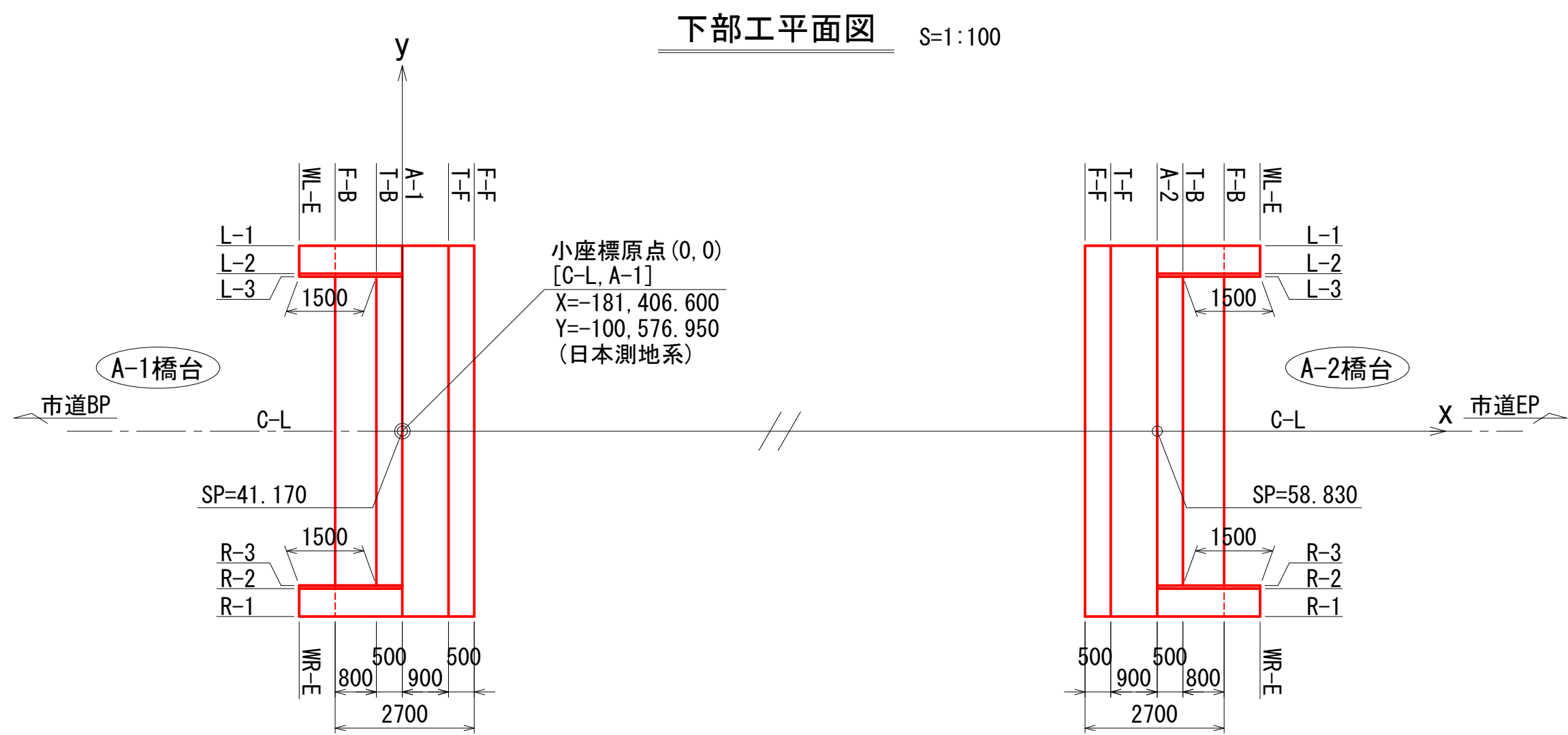
縦断線形



横断線形



下部工寸度図



下部工主要点座標 (大座標)

		A-1橋台				A-2橋台			
		F-B	A-1	F-F	F-F	A-2	F-B		
L-1	X	-181,402.799	_____	-181,404.009	-181,410.666	_____	-181,411.875		
	Y	-100,576.499	_____	-100,574.085	-100,560.800	_____	-100,558.386		
C-L	X	_____	-181,406.600	_____	_____	-181,414.512	_____		
	Y	_____	-100,576.950	_____	_____	-100,561.161	_____		
R-1	X	-181,409.236	_____	-181,410.446	-181,417.103	_____	-181,418.313		
	Y	-100,579.725	_____	-100,577.311	-100,564.026	_____	-100,561.612		

下部工主要点座標 (小座標)

		A-1橋台						A-2橋台					
		WL-E WR-E	F-B	T-B	A-1	T-F	F-F	F-F	T-F	A-2	T-B	F-B	WL-E WR-E
L-1	x	-2.000	-1.300	-0.500	0.000	0.900	1.400	16.260	16.760	17.660	18.160	18.960	19.660
	y	3.600	3.600	3.600	3.600	3.600	3.600	3.600	3.600	3.600	3.600	3.600	3.600
	z	17.195		17.203	17.206					17.302	17.305		17.313
L-2	x	-2.000		-0.500	0.000					17.660	18.160		19.660
	y	3.060		3.060	3.060					3.060	3.060		3.060
	z	17.184		17.192	17.195					17.291	17.294		17.302
L-3	x	-2.000		-0.500	0.000					17.660	18.160		19.660
	y	3.000		3.000	3.000					3.000	3.000		3.000
	z	16.934		16.942	16.945					17.041	17.044		17.052
C-L	x			-0.500	0.000					17.660	18.160		
	y			0.000	0.000					0.000	0.000		
	z			17.002	17.005					17.101	17.104		
R-3	x	-2.000		-0.500	0.000					17.660	18.160		19.660
	y	-3.000		-3.000	-3.000					-3.000	-3.000		-3.000
	z	16.934		16.942	16.945					17.041	17.044		17.052
R-2	x	-2.000		-0.500	0.000					17.660	18.160		19.660
	y	-3.060		-3.060	-3.060					-3.060	-3.060		-3.060
	z	17.184		17.192	17.195					17.291	17.294		17.302
R-1	x	-2.000	-1.300	-0.500	0.000	0.900	1.400	16.260	16.760	17.660	18.160	18.960	19.660
	y	-3.600	-3.600	-3.600	-3.600	-3.600	-3.600	-3.600	-3.600	-3.600	-3.600	-3.600	-3.600
	z	17.195		17.203	17.206					17.302	17.305		17.313

杭中心点座標 (大座標)

		A-1橋台		A-2橋台	
		P-B	P-F	P-F	P-B
P-L	X	-181,403.604	-181,404.276	-181,411.471	-181,412.143
	Y	-100,576.232	-100,574.891	-100,560.532	-100,559.191
P-R	X	-181,408.968	-181,409.640	-181,416.835	-181,417.507
	Y	-100,578.920	-100,577.579	-100,563.220	-100,561.879

杭中心点座標 (小座標)

		A-1橋台		A-2橋台	
		P-B	P-F	P-F	P-B
P-L	x	-0.700	0.800	16.860	18.360
	y	3.000	3.000	3.000	3.000
P-R	x	-0.700	0.800	16.860	18.360
	y	-3.000	-3.000	-3.000	-3.000

アンカーバー位置座標 (大座標)

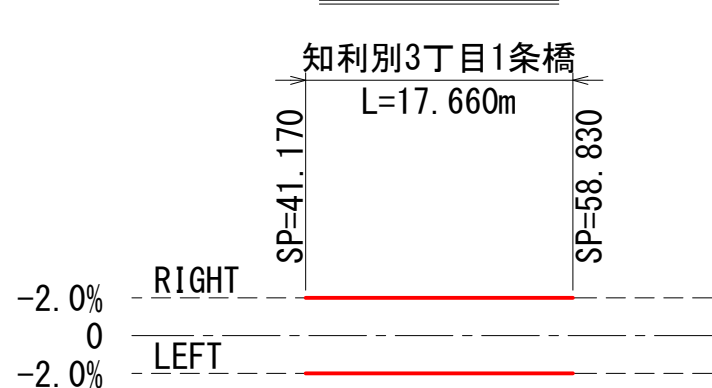
		S-1	S-2
		X	Y
B-1	X	-181,404.338	-181,411.954
	Y	-100,575.447	-100,560.249
B-8	X	-181,409.157	-181,416.773
	Y	-100,577.862	-100,562.664

アンカーバー位置座標 (小座標)

		S-1	S-2
		x	y
B-1	x	0.330	17.330
	y	2.695	2.695
B-8	x	0.330	17.330
	y	-2.695	-2.695

※アンカーバー位置の算出根拠は「上部工線形計算書」による

横断線形



年 度	令和 6 年度
路線名	知利別町3丁目2条通線
工事名	知利別川改修工事に伴う 知利別3丁目1条橋架替（下部工）工事
図面名	下部工寸土図
縮 尺	図示 図面番号 3
設計年月	令和 6 年 4 月
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課

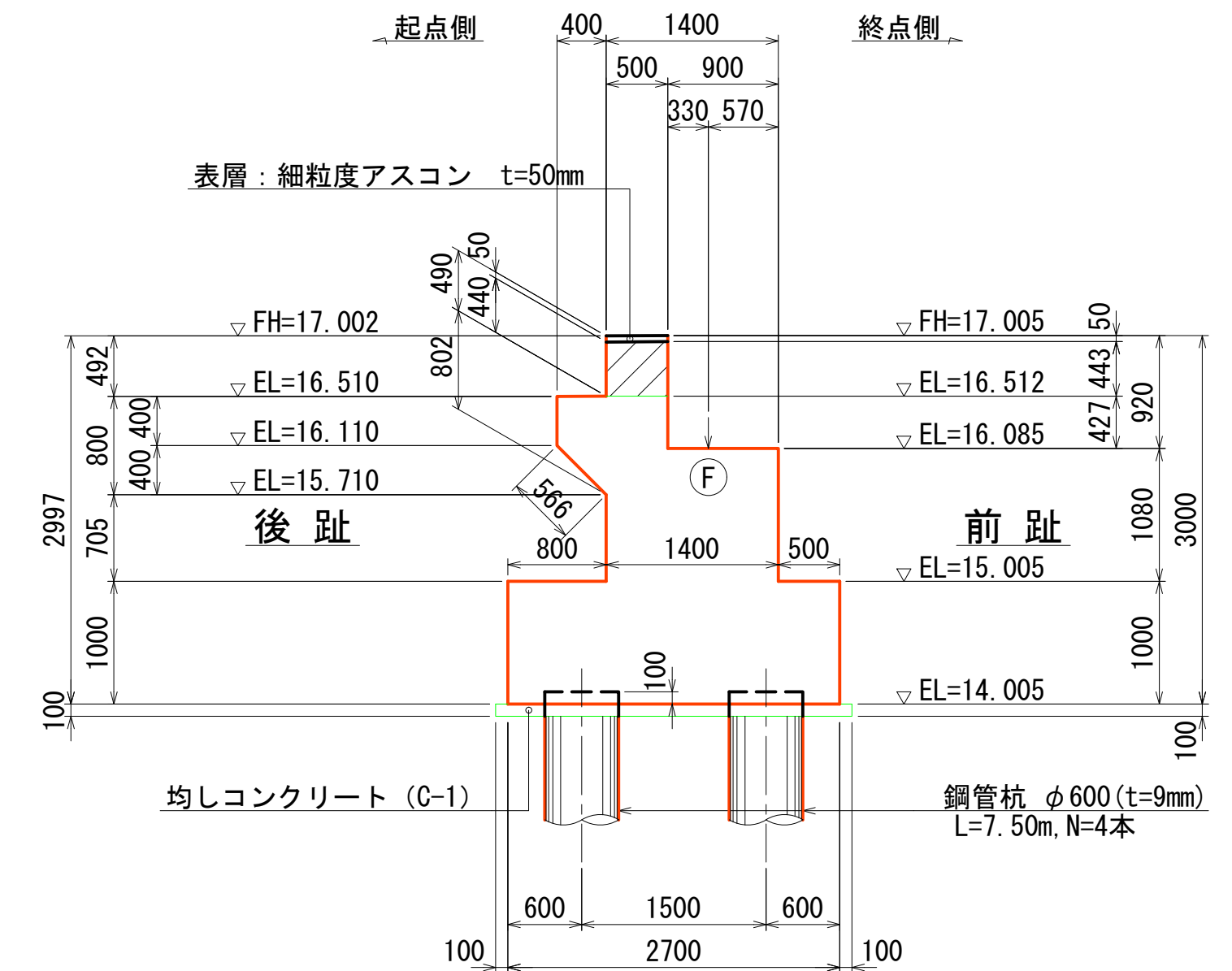
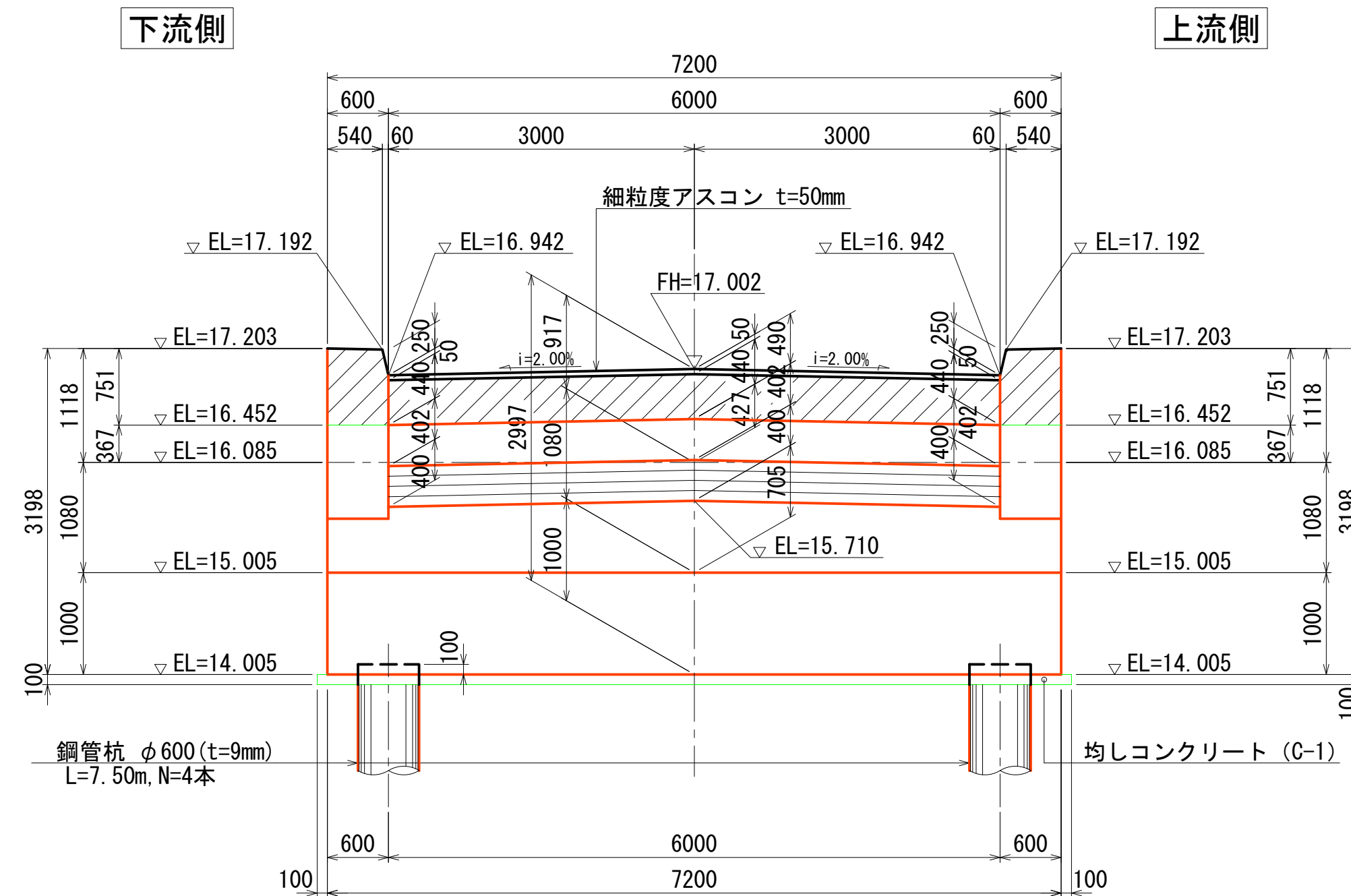
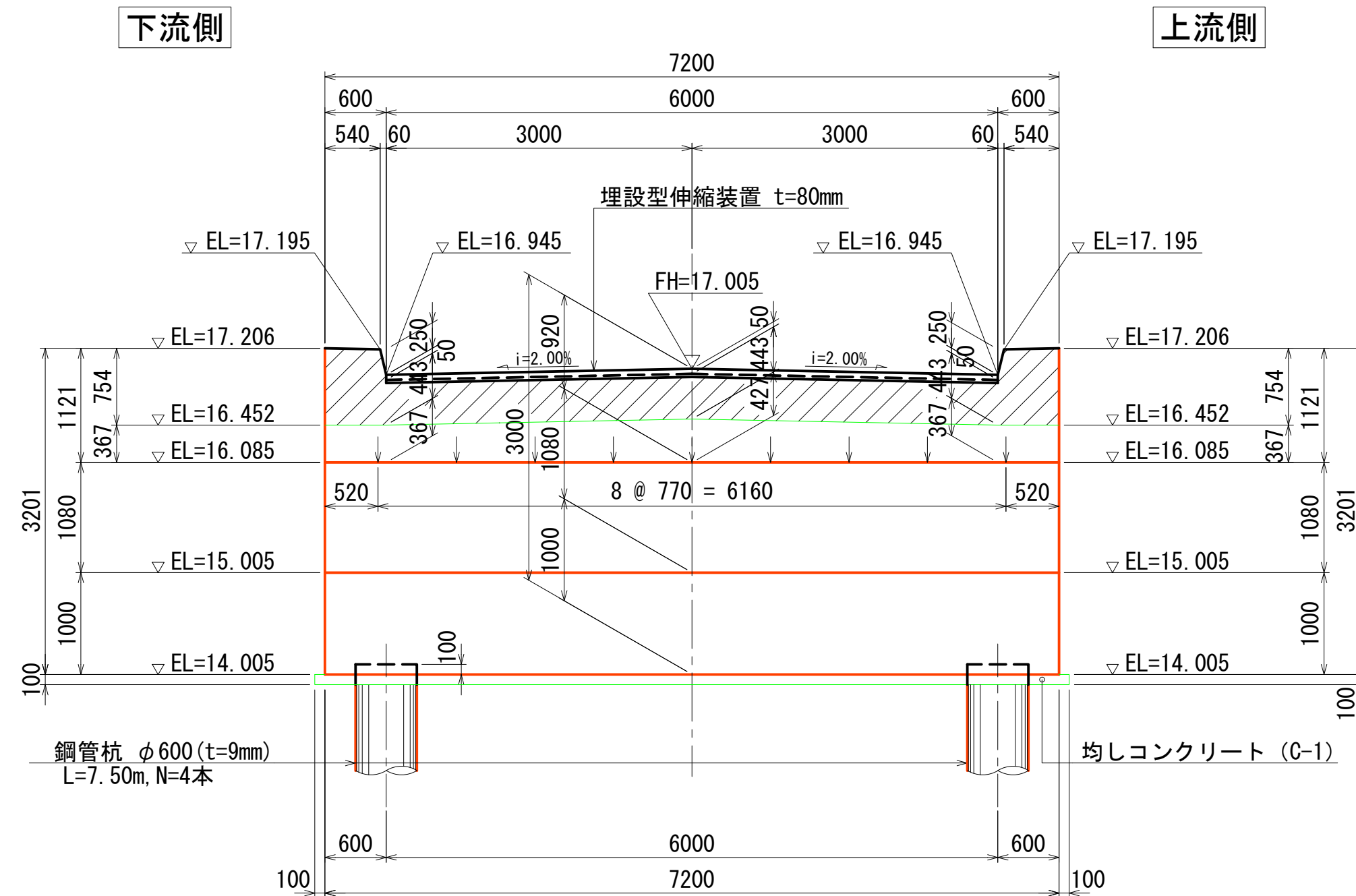
A-1橋台構造図(1)

S=1:50

正面図

背面図

断面図



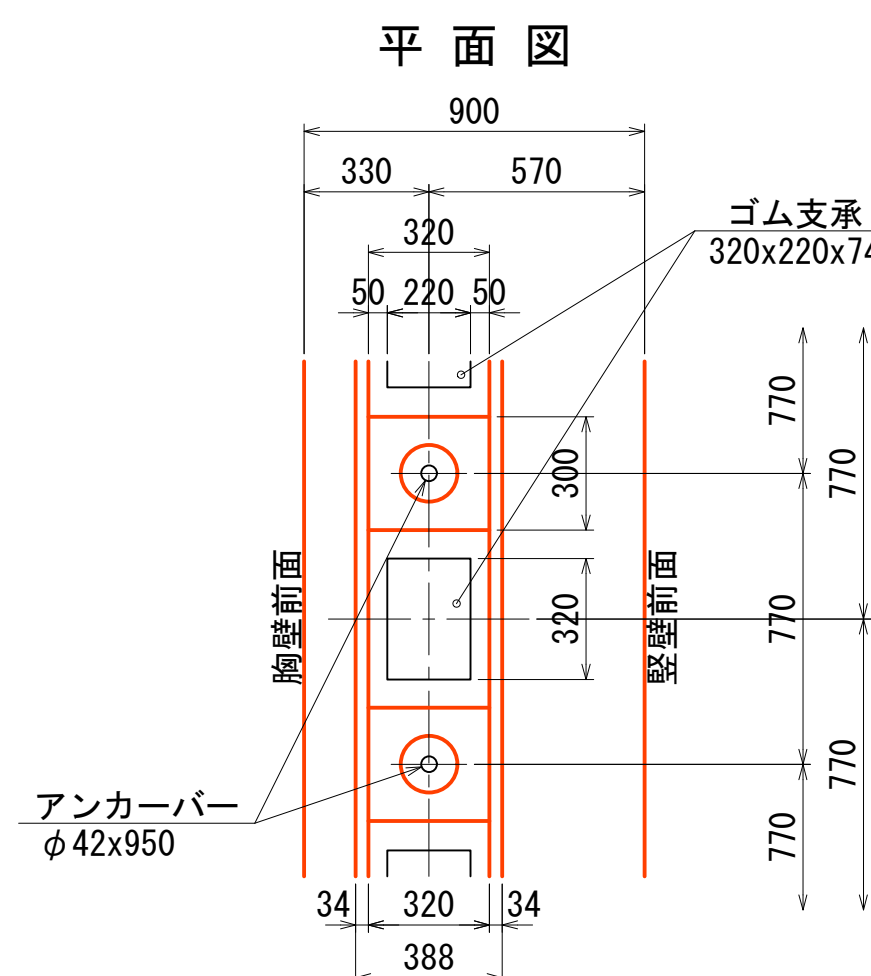
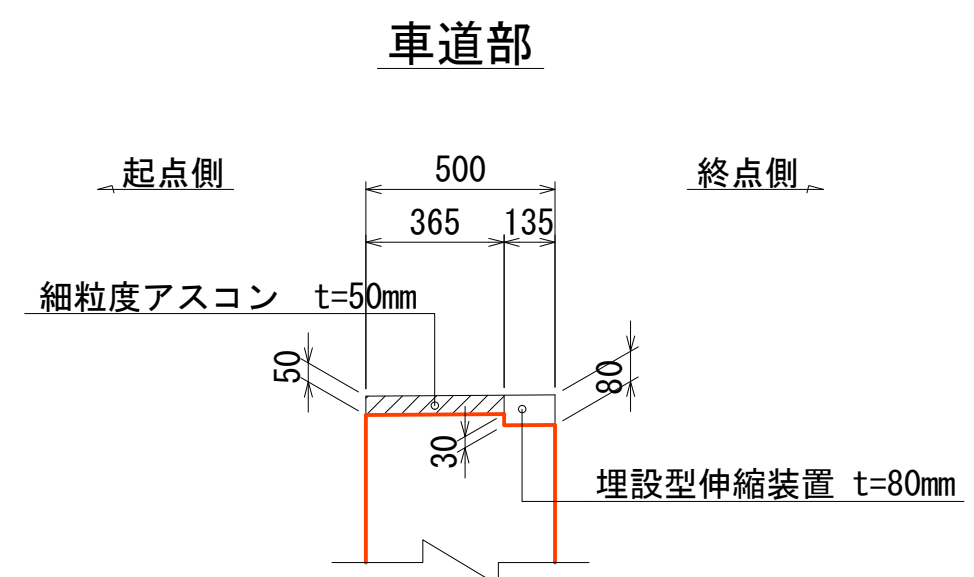
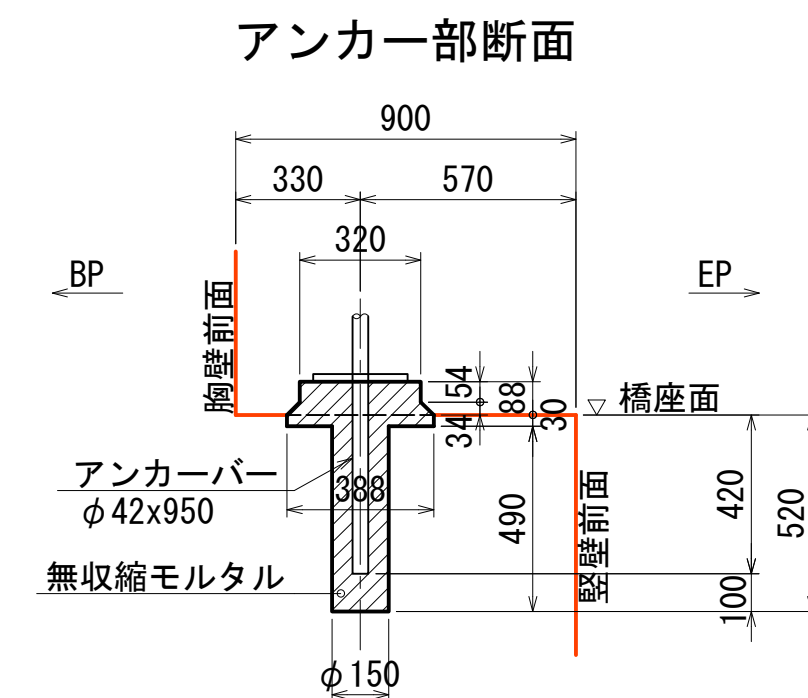
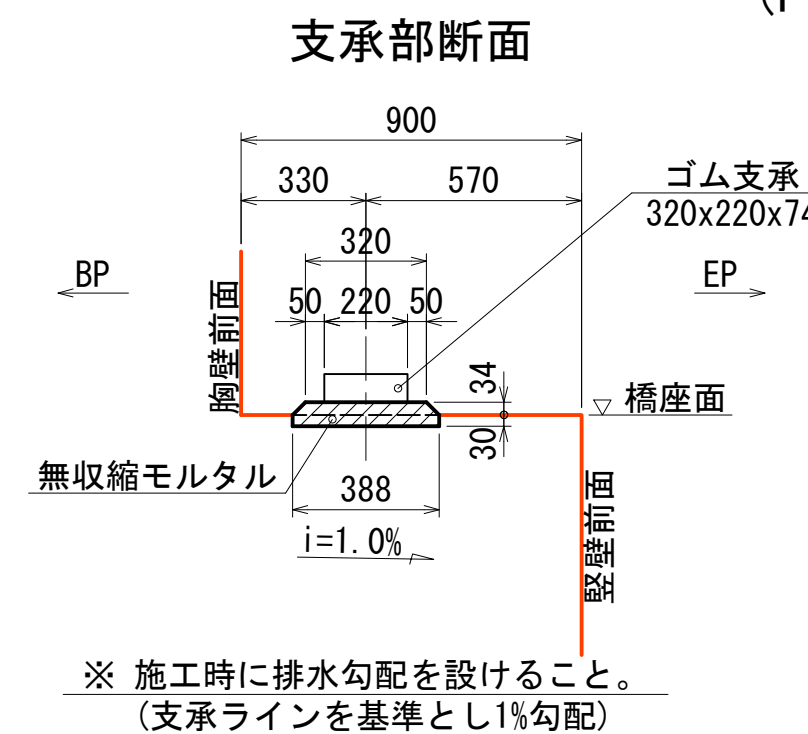
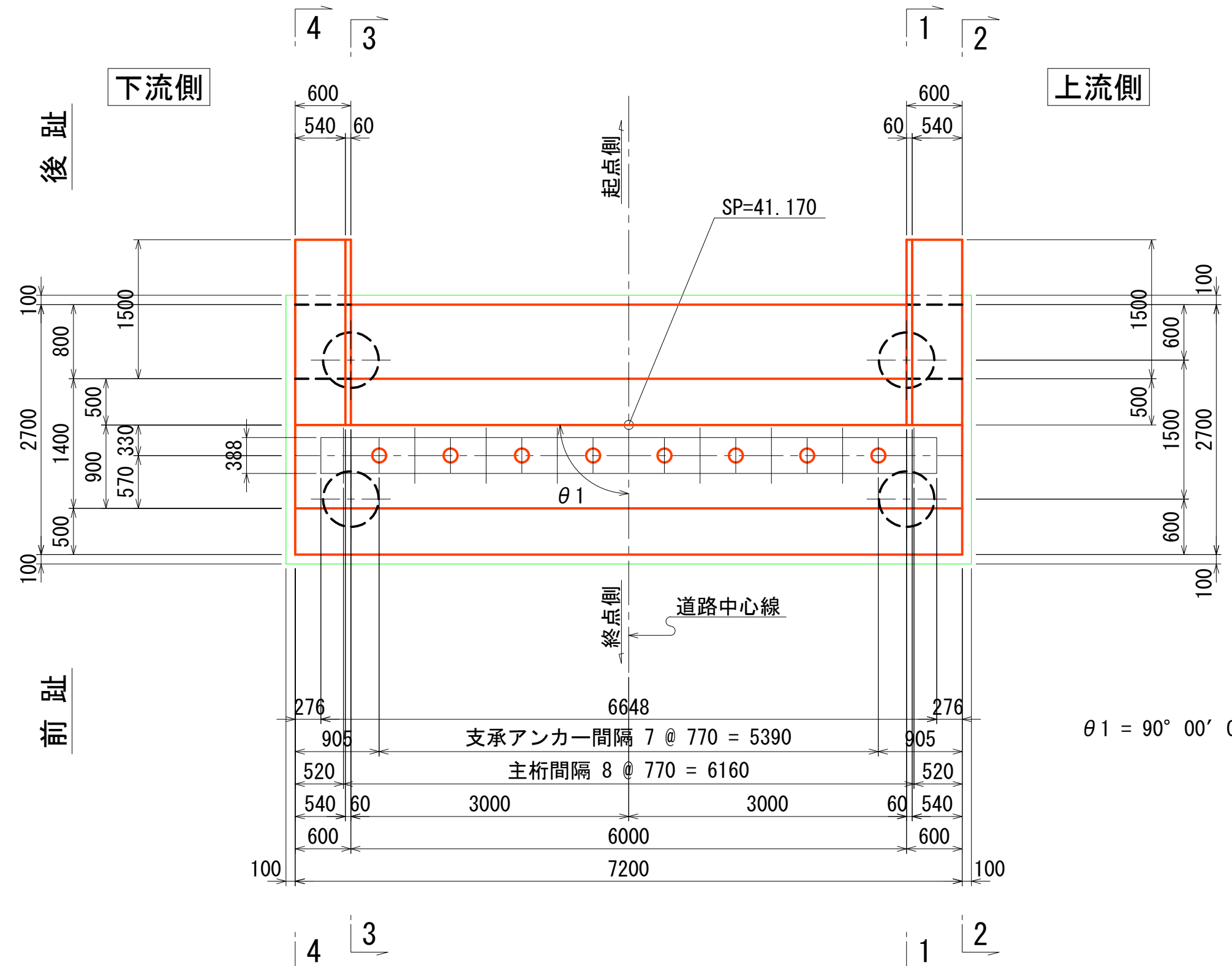
平面図

沓座箱抜詳細図

S=1:20

パラペット天端部詳細図

S=1:20



橋台背面アプローチ部に用いることが適切な材料の仕様例

項目	範囲
最大粒径	100 mm
4750 μmふるい通過百分率	25~100 %
75 μmふるい通過百分率	0~25 %
塑性指数Ip (425 μmふるい通過分について)	10 以下

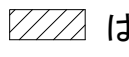
※：有機質土、火山灰質の細粒土を含む材料を除く。

橋台背面の締固め管理値の例

橋台のタイプ	一般の橋台背面
締固め度Dc ※1,2	Dc>平均92% 最小90%
仕切り値	200 mm以下

※1：土砂区分が砂質土の場合に適用。締固め度は、施工管理高ごとに測定し、その平均値及び最小値で照査する。測定点数は、施工面積に応じて設定する。

※2：突固め方法がC、D、E法の場合の管理基準値を示す。

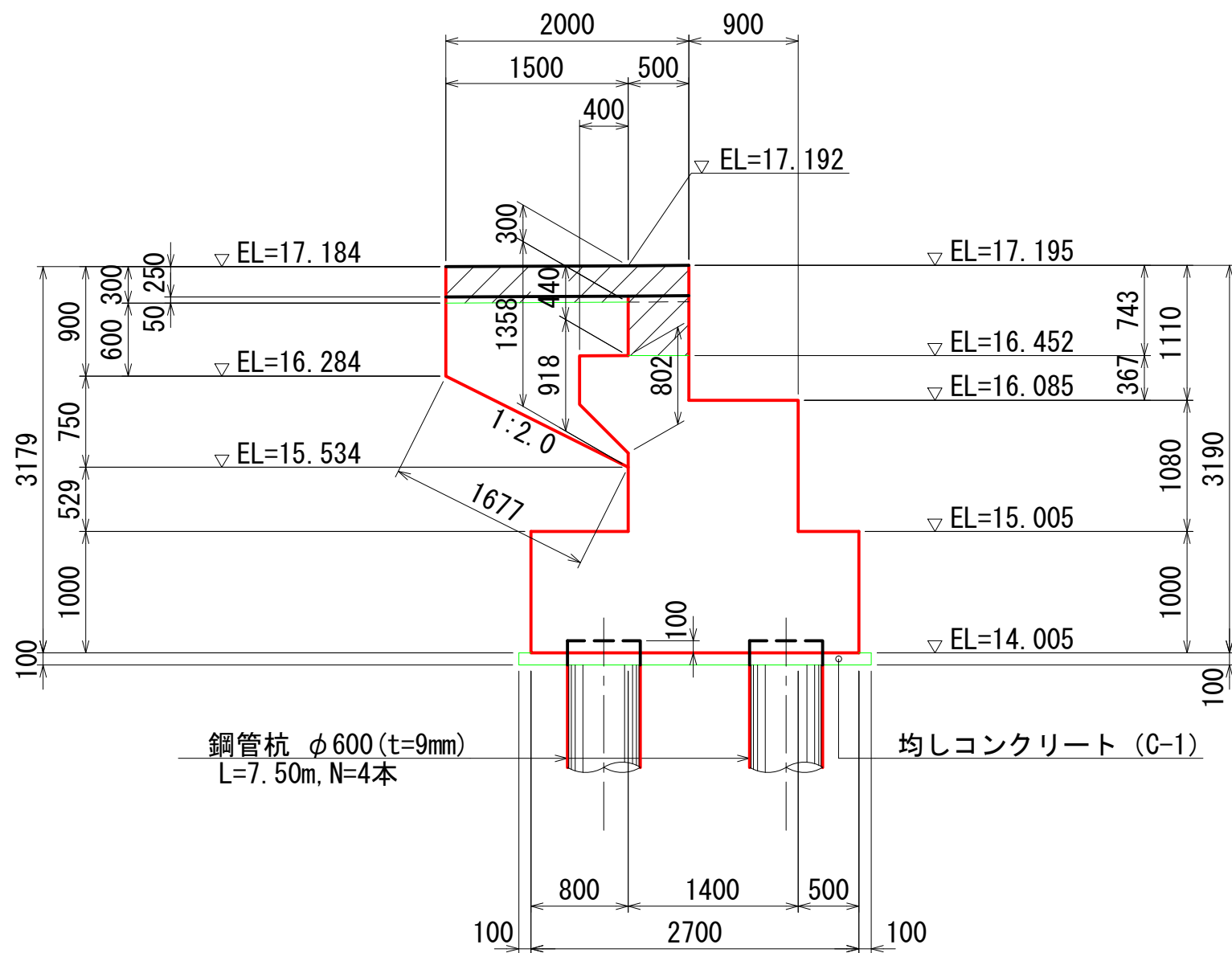
- 注) 1. 鉄筋コンクリートは、RC-2-1とする。
2.  は、二次施工とする。
3. 橋台背面の裏込め土は、良質土 (γ=19 kN/m³, φ=30°) とする。

年度	令和 6 年度
路線名	知利別町3丁目2条通線
工事名	知利別川改修工事に伴う 知利別3丁目1条橋架替 (下部工) 工事
図面名	A-1橋台構造図(1)
縮尺	図示 図面番号 4
設計年月	令和 6 年 4 月
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課

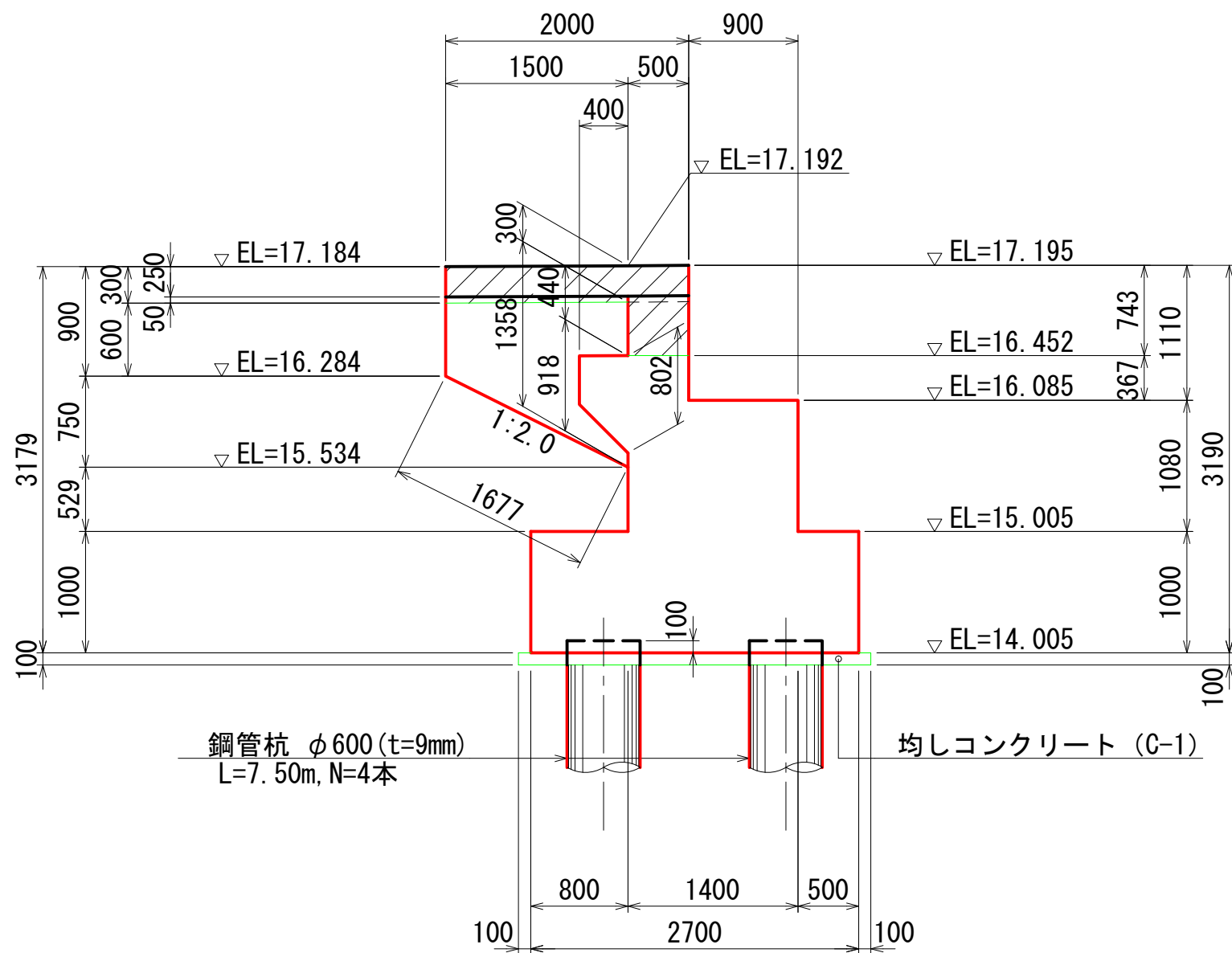
A-1橋台構造図(2)

S=1:50

1 - 1
(上流：内面)

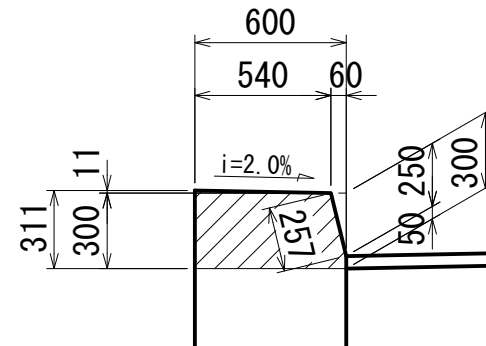


3 - 3
(下流：内面)

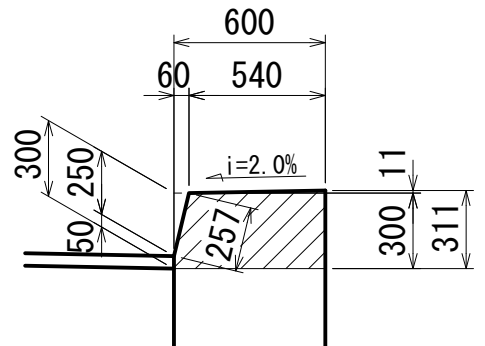


地覆部詳細図 S=1:30

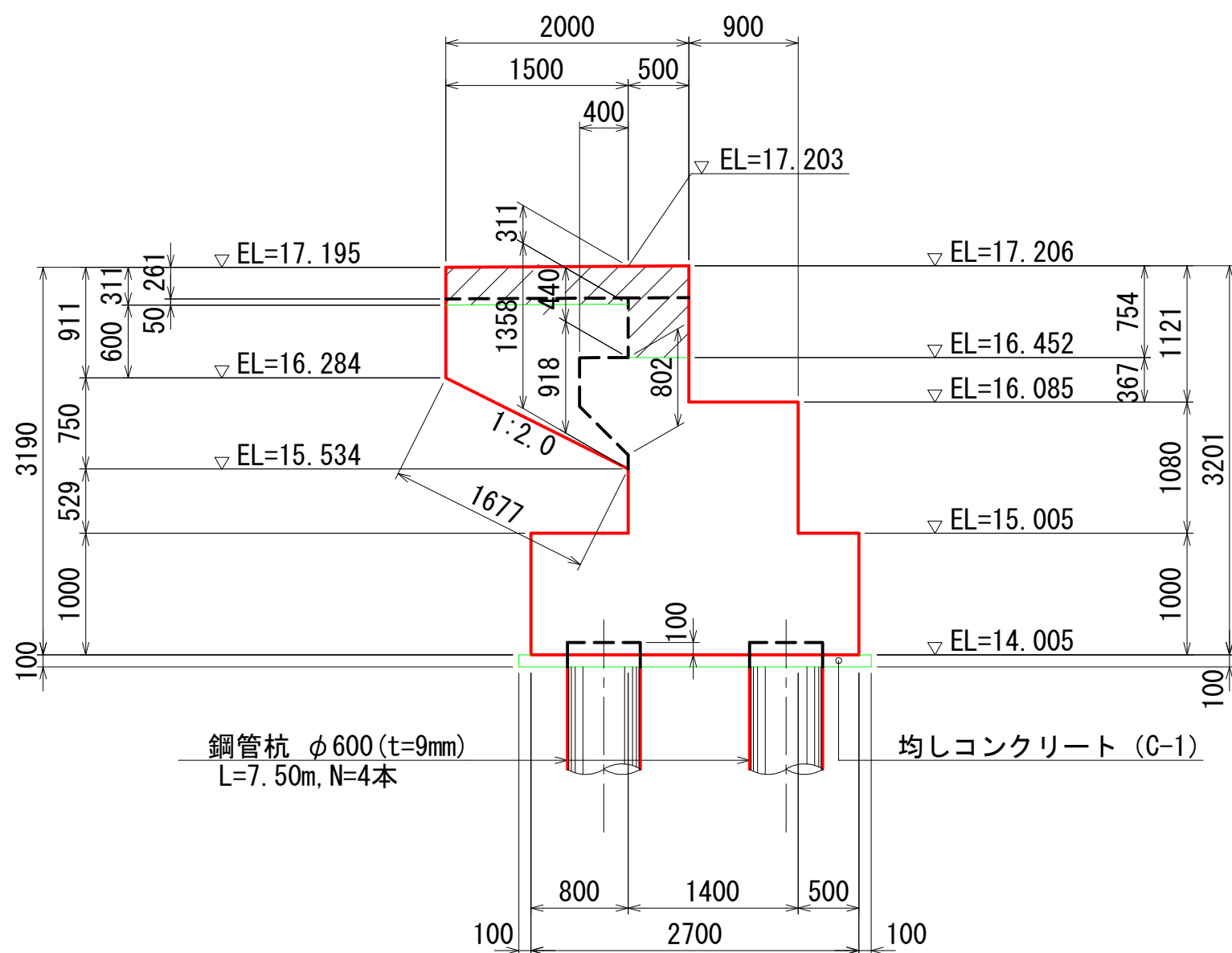
(下流側)



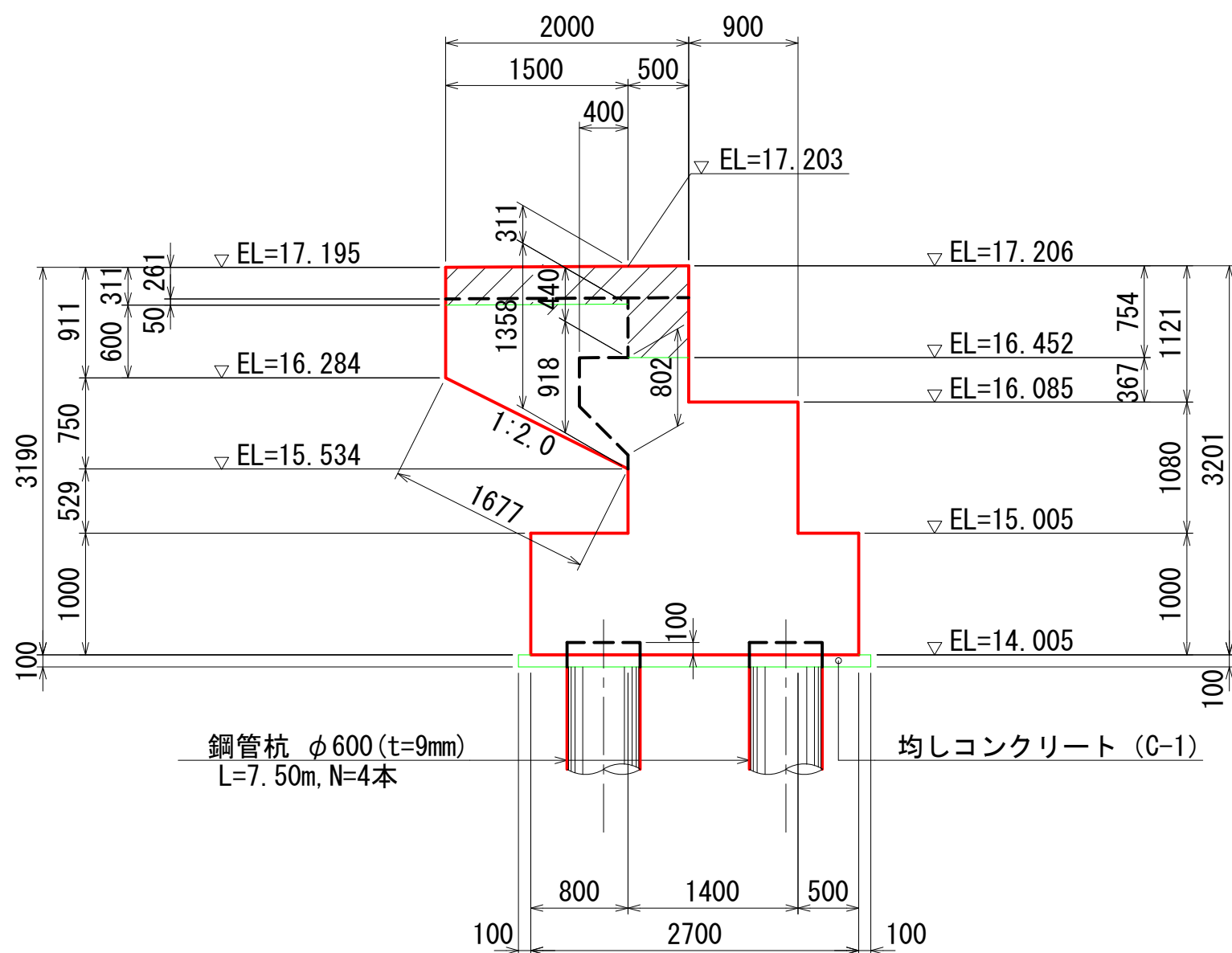
(上流側)



2 - 2
(上流：外面)



4 - 4
(下流：外面)



- 注) 1. 鉄筋コンクリートは、RC-2-1とする。
2. 斜線は、二次施工とする。
3. 橋台背面の裏込め土は、良質土 (γ=19 k N/m³, φ=30°) とする。

年 度	令和 6 年度		
路線名	知利別町3丁目2条通線		
工事名	知利別川改修工事に伴う 知利別3丁目1条橋架替 (下部工) 工事		
図面名	A-1橋台構造図(2)		
縮 尺	図示	図面番号	5
設計年月	令和 6 年 4 月		
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課		

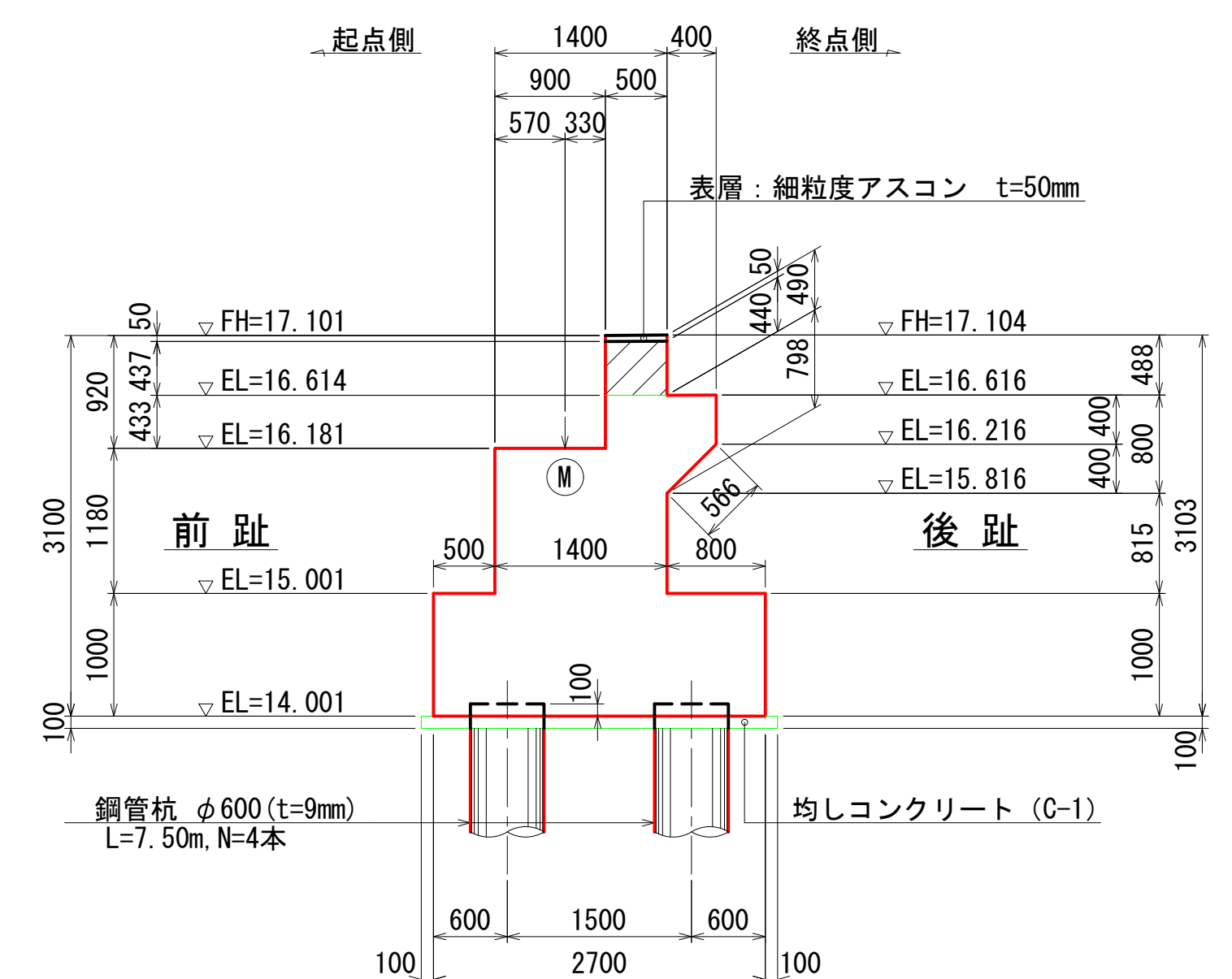
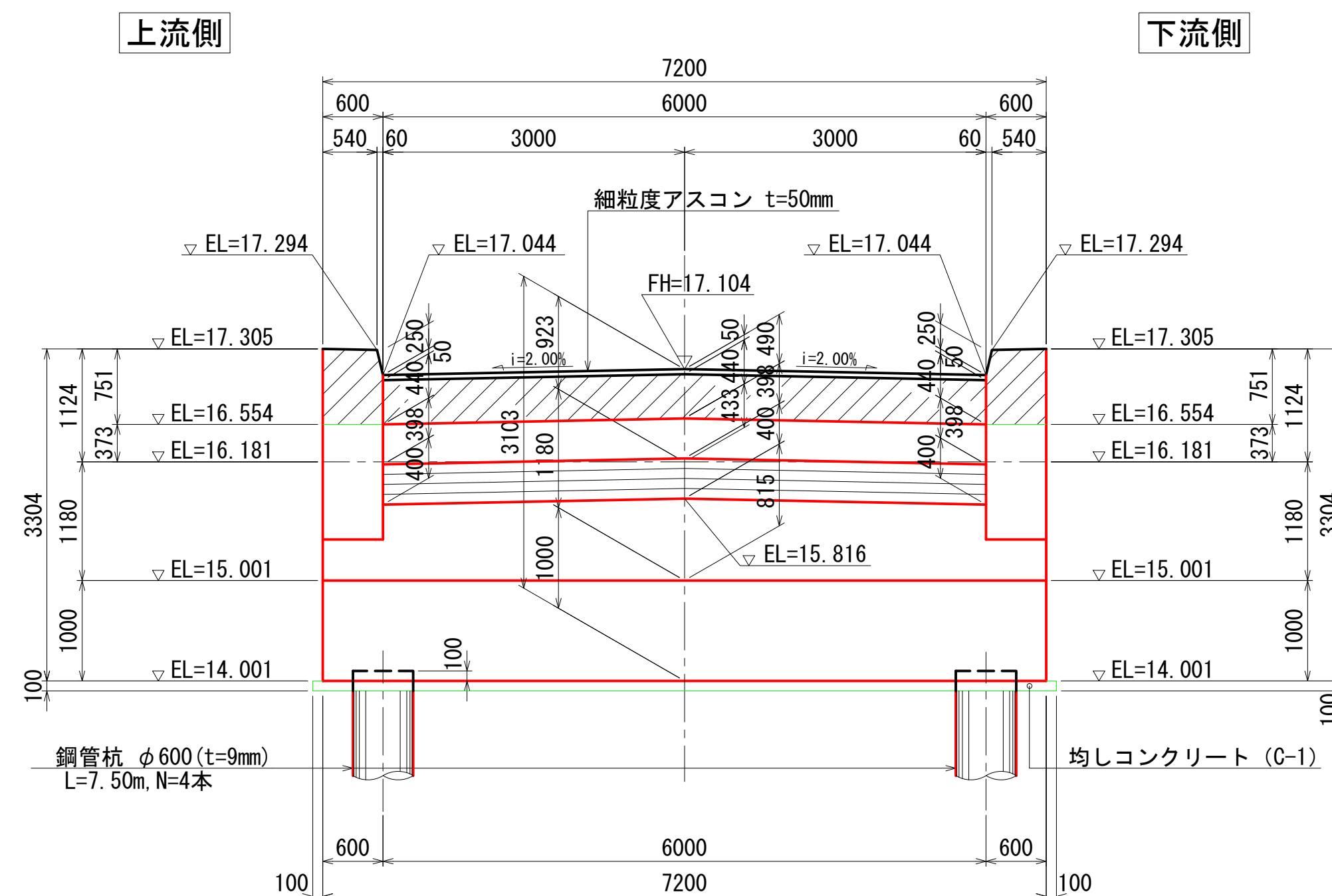
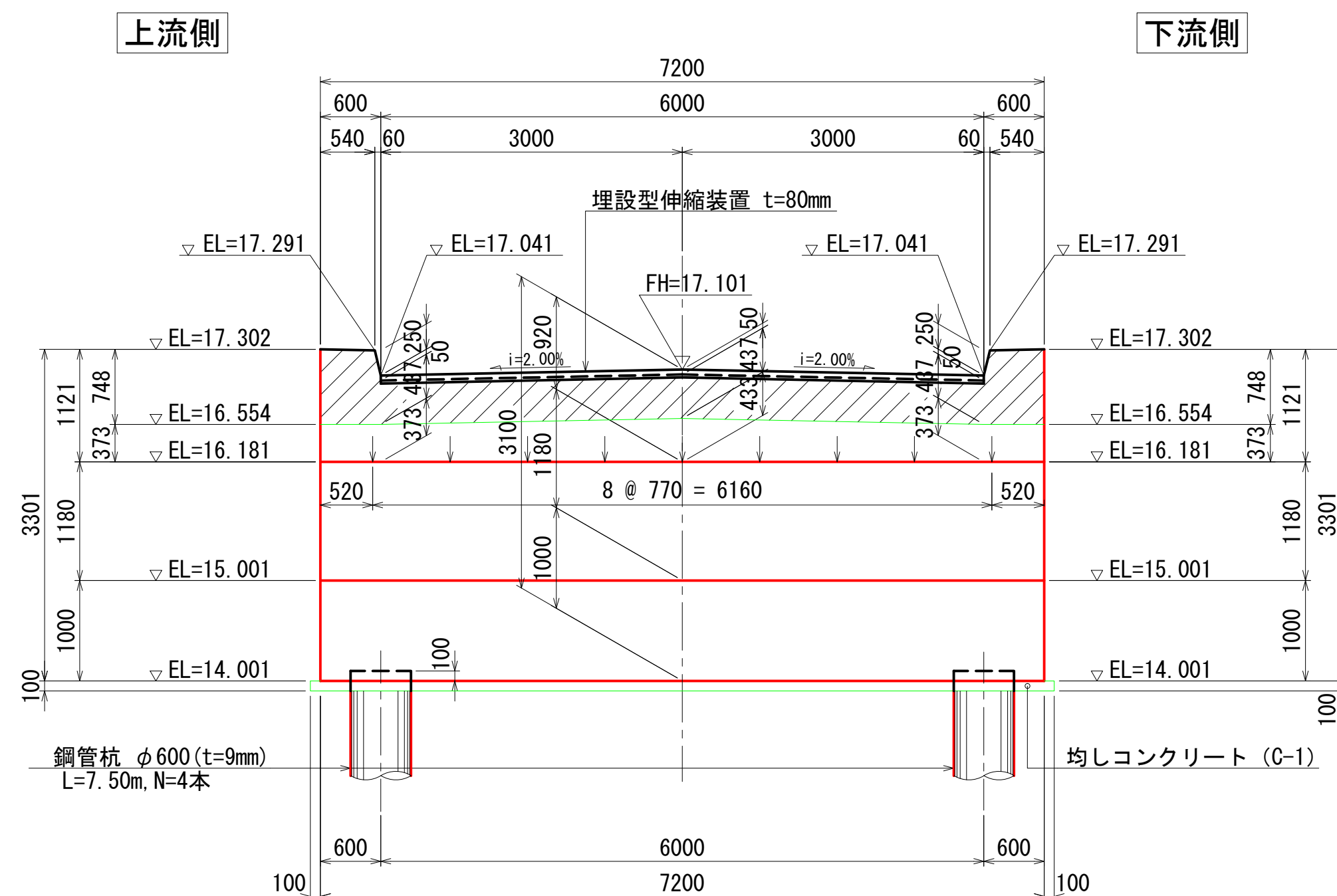
A-2橋台構造図(1)

S=1:50

正面図

背面図

断面図



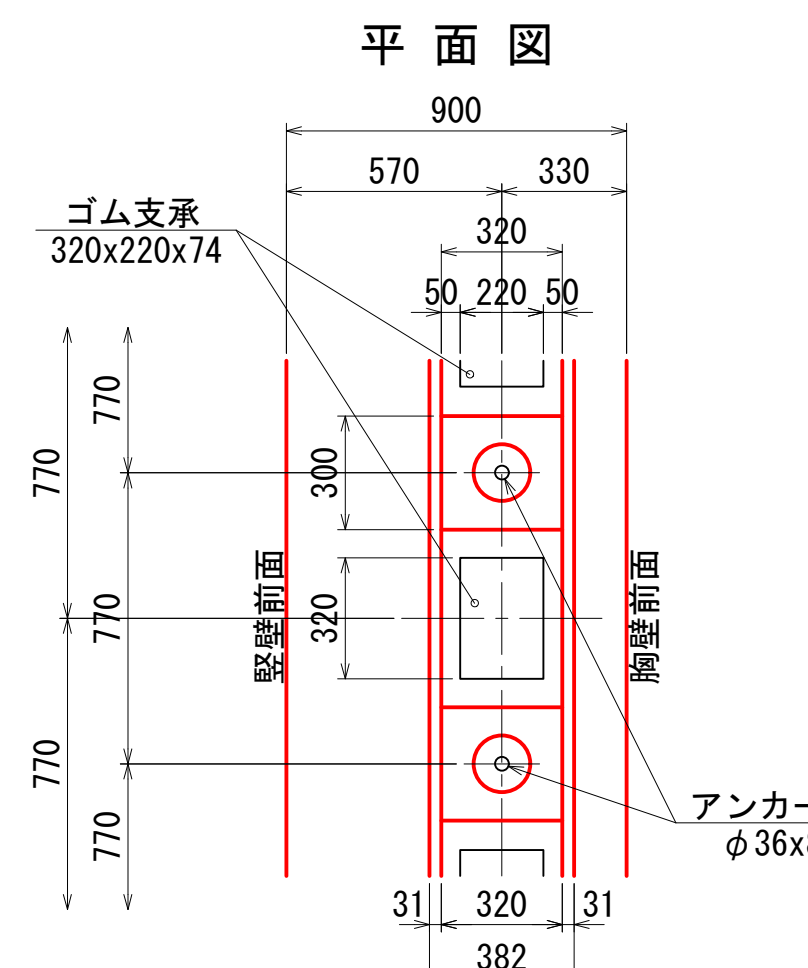
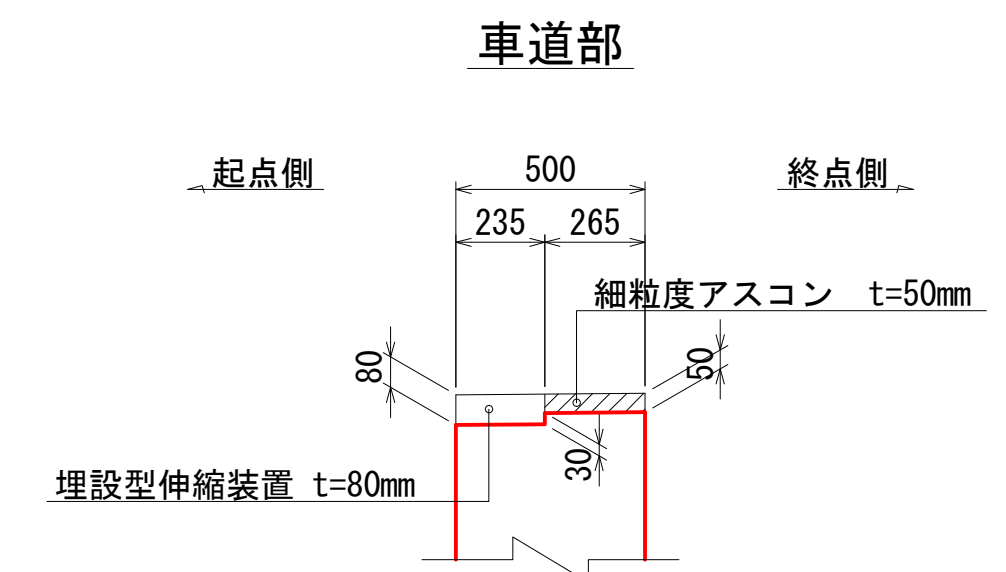
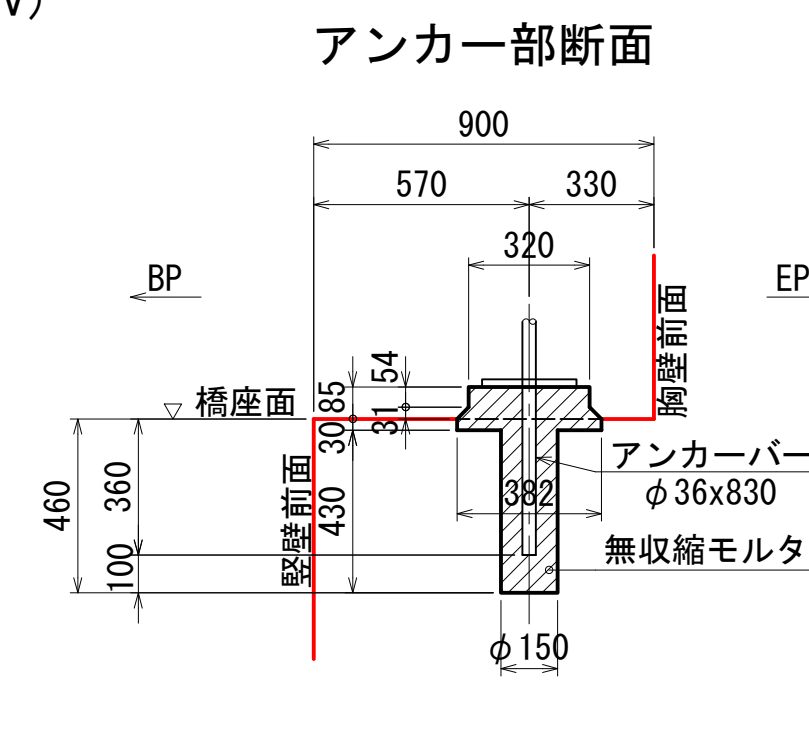
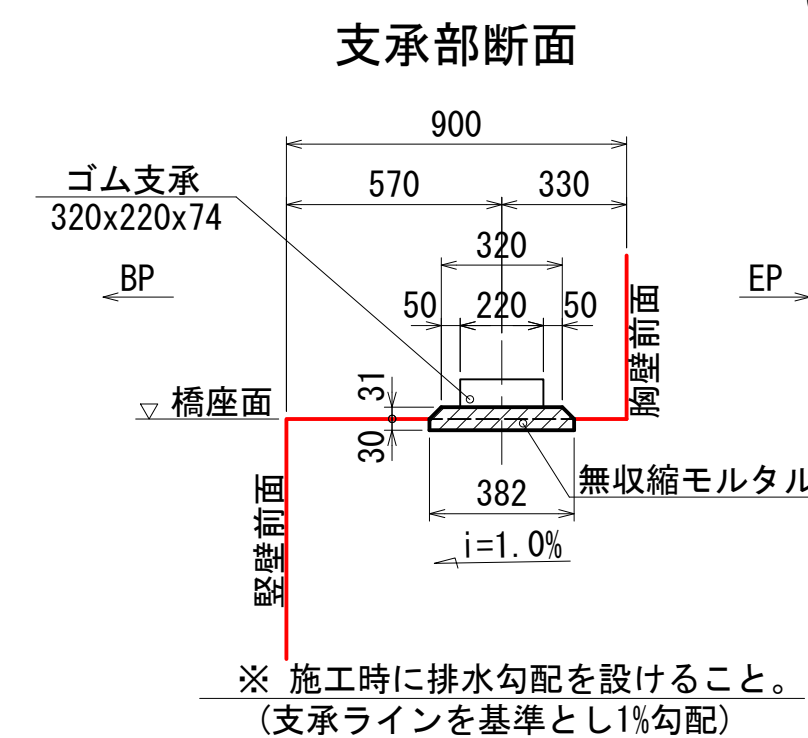
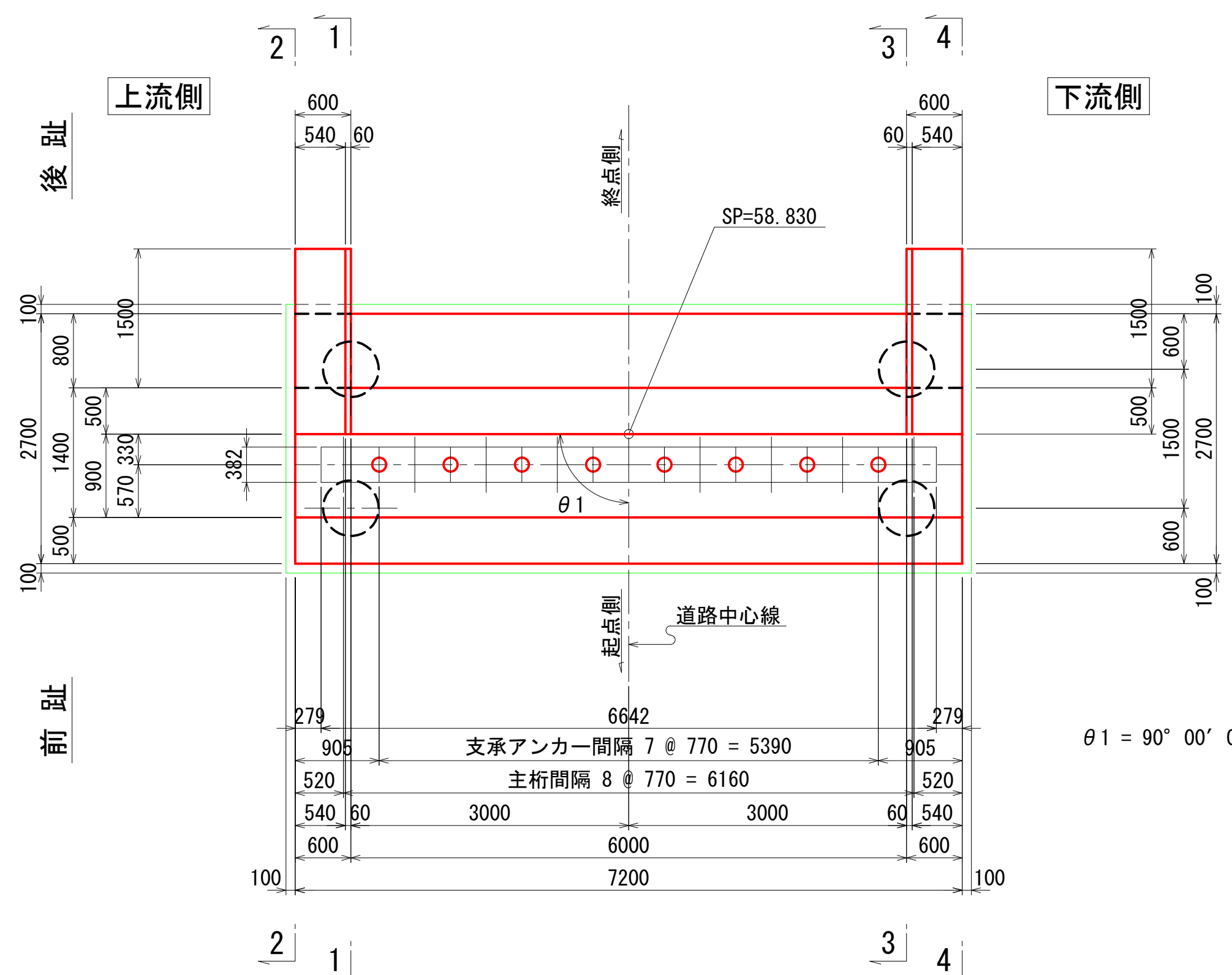
沓座箱抜詳細図

S=1:20

パラペット天端部詳細図

S=1:20

平面図



橋台背面アプローチ部に用いることが適切な材料の仕様例

項目	範囲
最大粒径	100 mm
4750 μ mふるい通過百分率	25~100 %
75 μ mふるい通過百分率	0~25 %
塑性指数Ip (425 μ mふるい通過分について)	10 以下

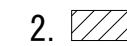
※：有機質土、火山灰質の細粒土を含む材料を除く。

橋台背面の締固め管理値の例

橋台のタイプ	一般の橋台背面
締固め度Dc ※1,2	Dc>平均92% 最小90%
仕切り値	200 mm以下

※1：土砂区分が砂質土の場合に適用。締固め度は、施工管理高ごとに測定し、その平均値及び最小値で照査する。測定点数は、施工面積に応じて設定する。

※2：突固め方法がC、D、E法の場合の管理基準値を示す。

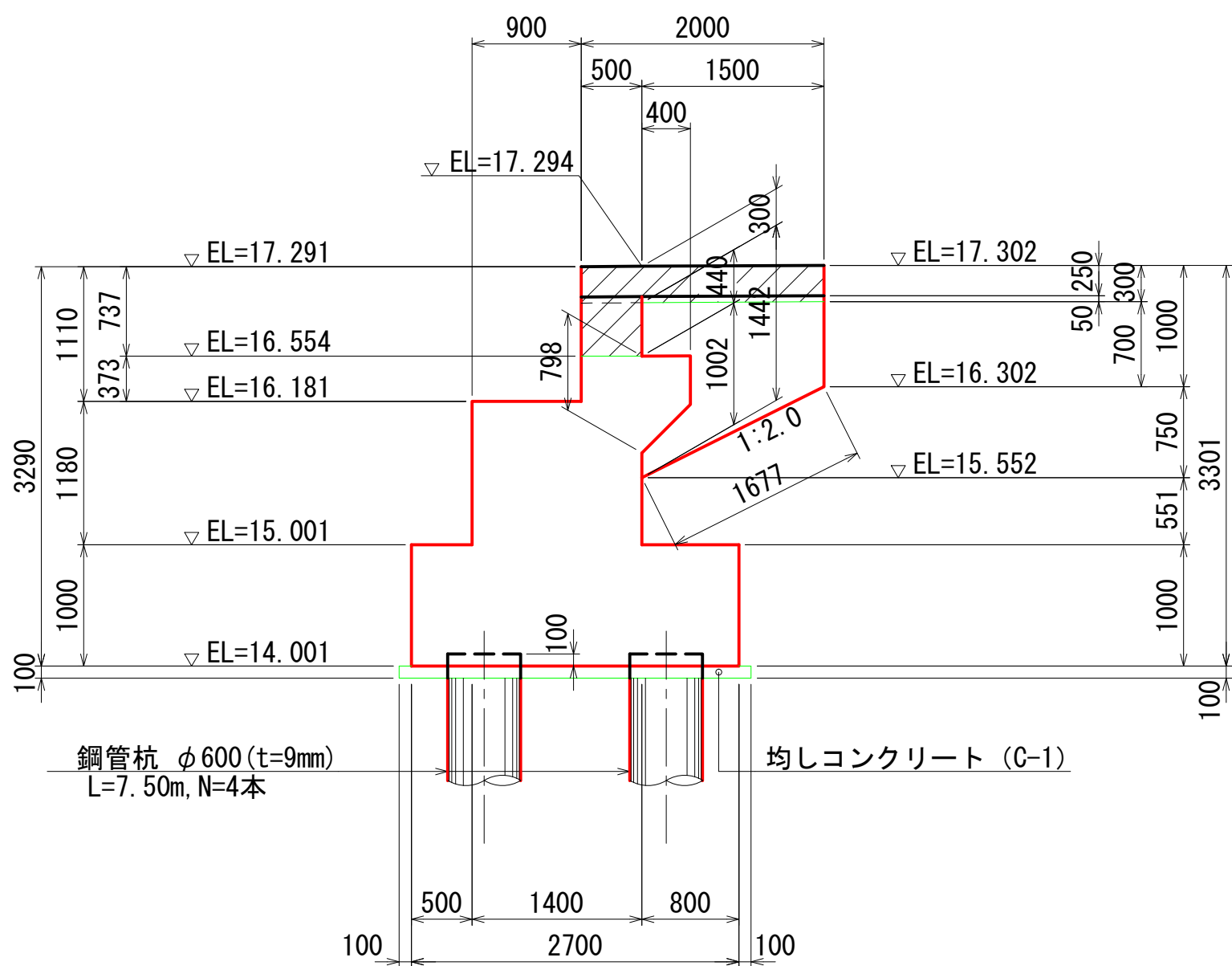
- 注) 1. 鉄筋コンクリートは、RC-2-1とする。
2.  は、二次施工とする。
3. 橋台背面の裏込め土は、良質土 ($\gamma=19$ kN/m³, $\phi=30^\circ$) とする。

年度	令和 6 年度
路線名	知利別町3丁目2条通線
工事名	知利別川改修工事に伴う 知利別3丁目1条橋架替 (下部工) 工事
図面名	A-2橋台構造図(1)
縮尺	図示 図面番号 6
設計年月	令和 6 年 4 月
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課

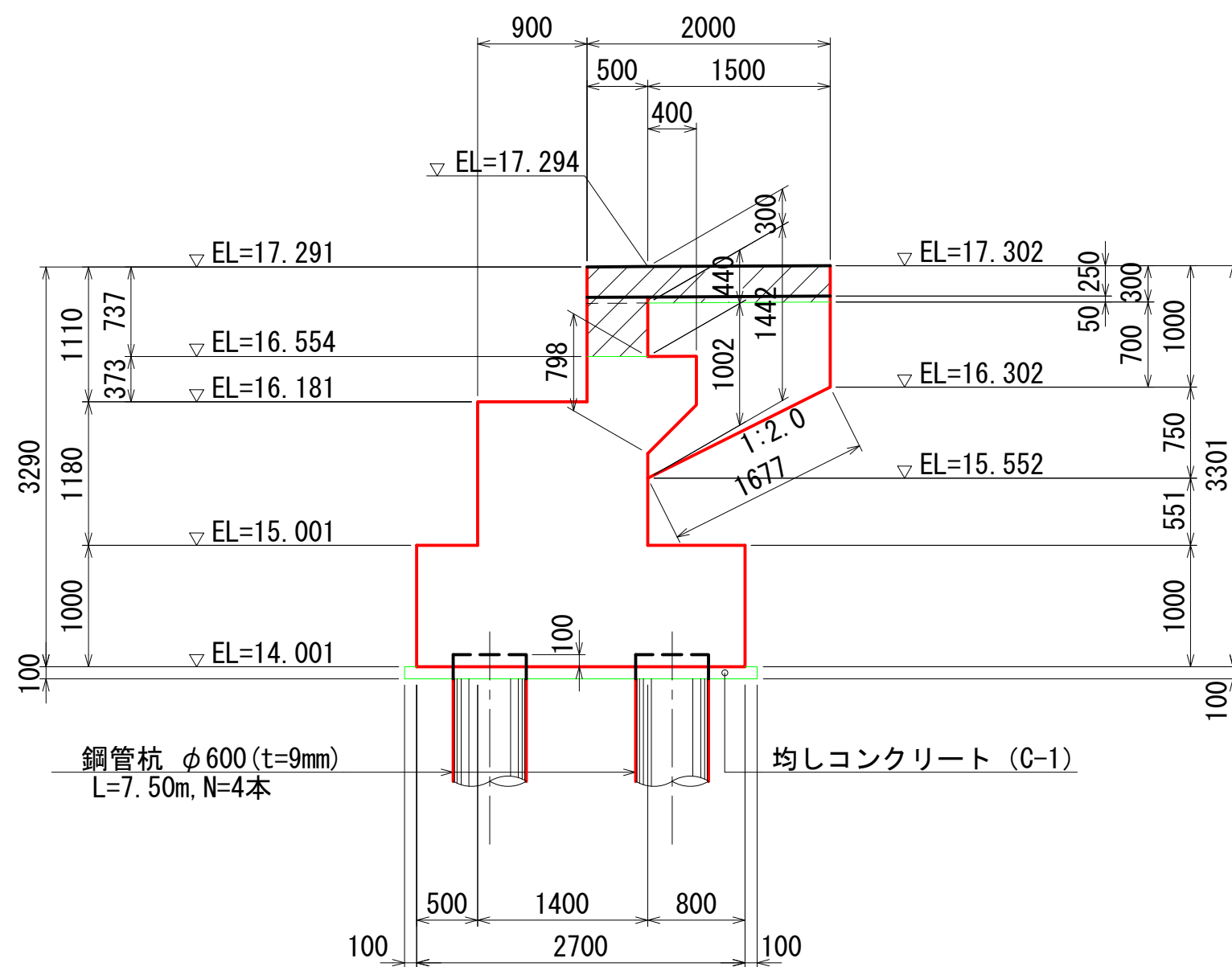
A-2橋台構造図(2)

S=1:50

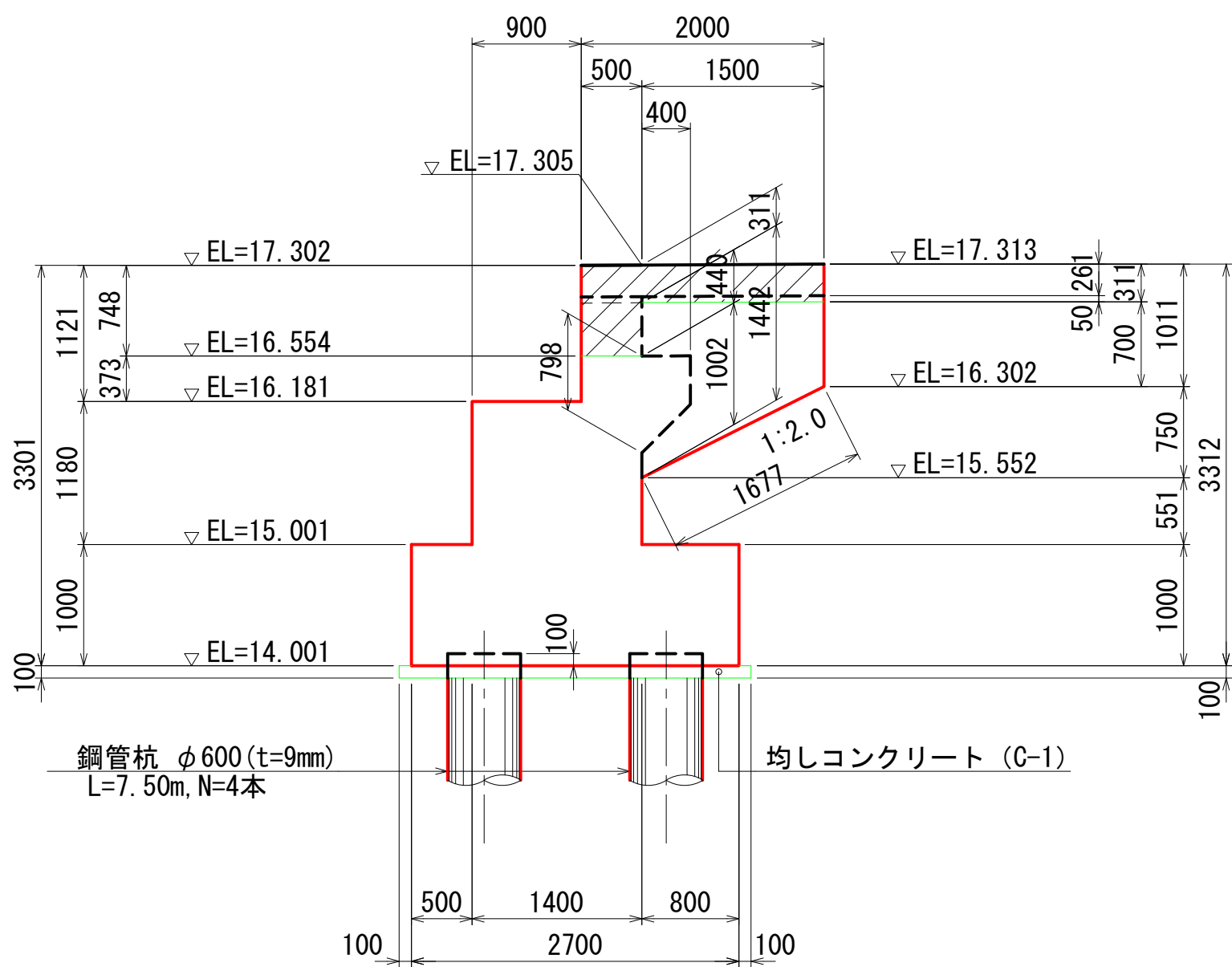
1 - 1
(上流：内面)



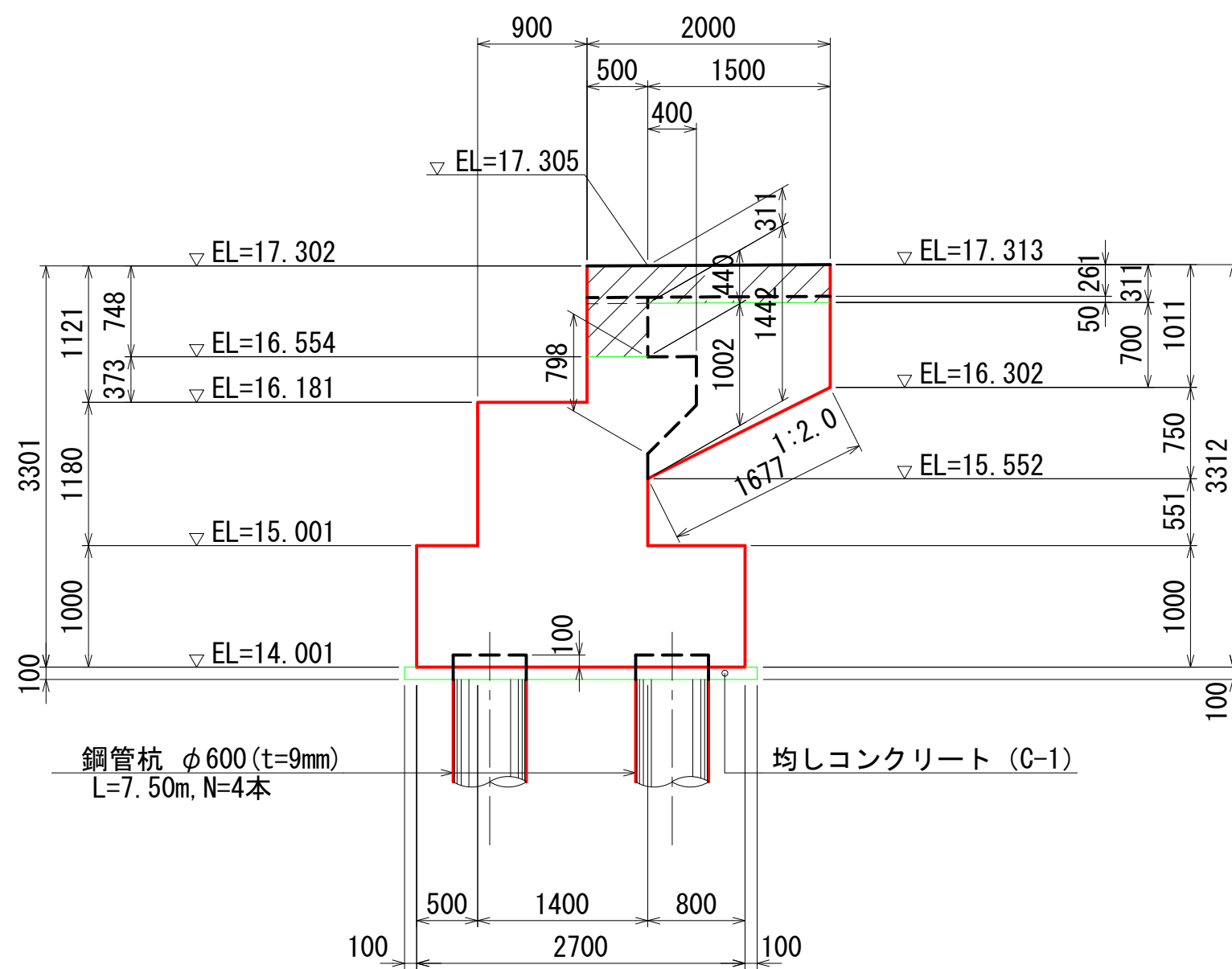
3 - 3
(下流：内面)



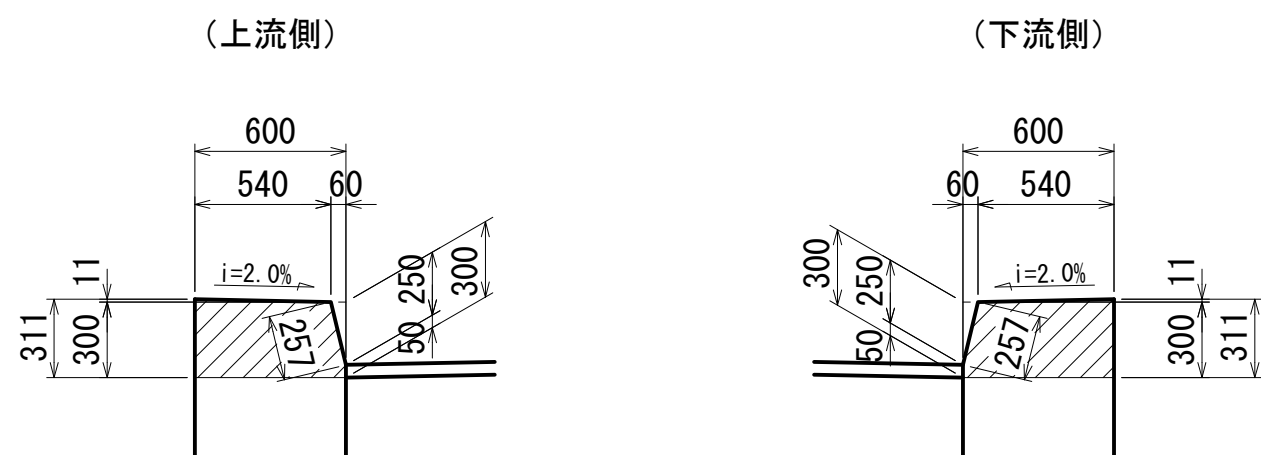
2 - 2
(上流：外面)



4 - 4
(下流：外面)



地覆部詳細図 S=1:30

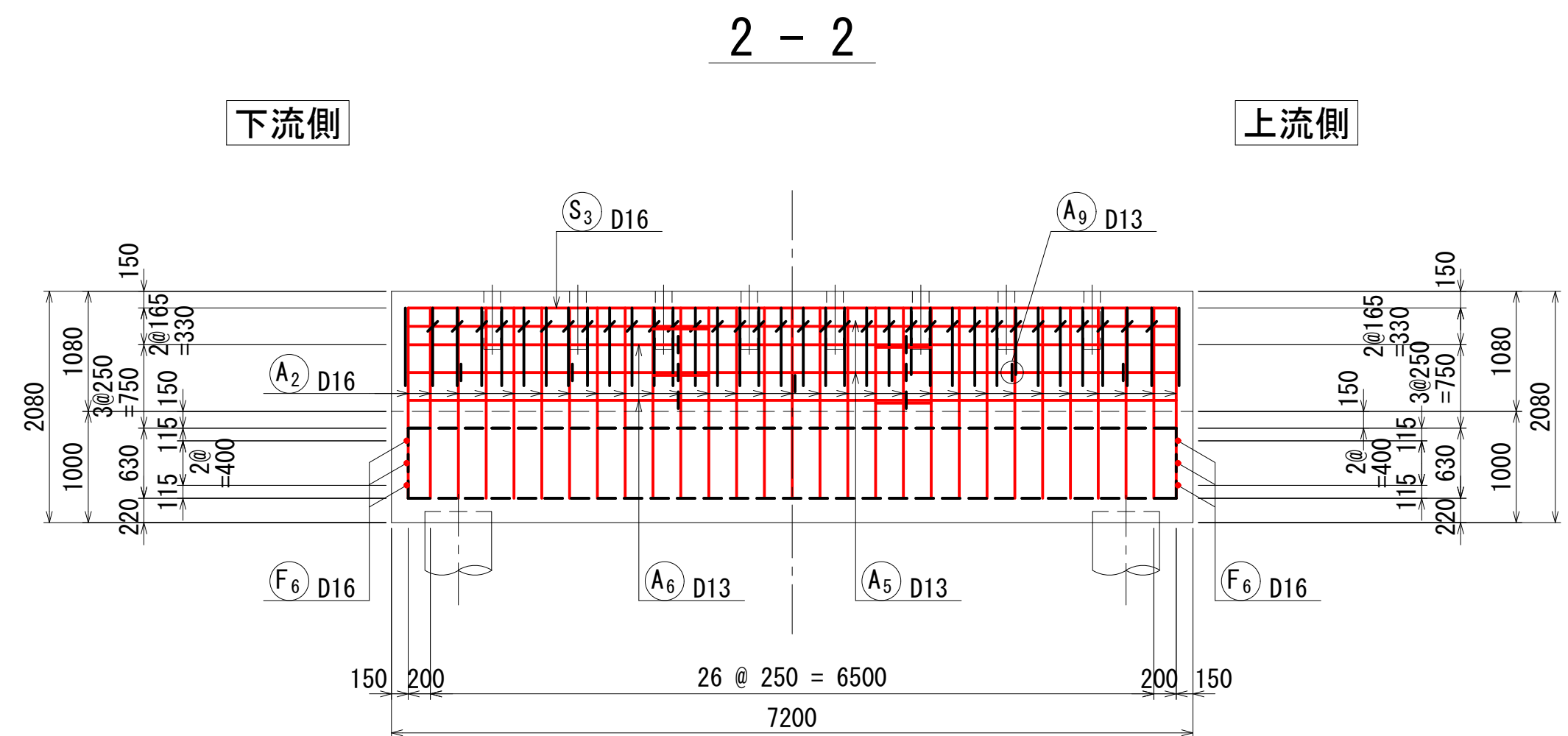
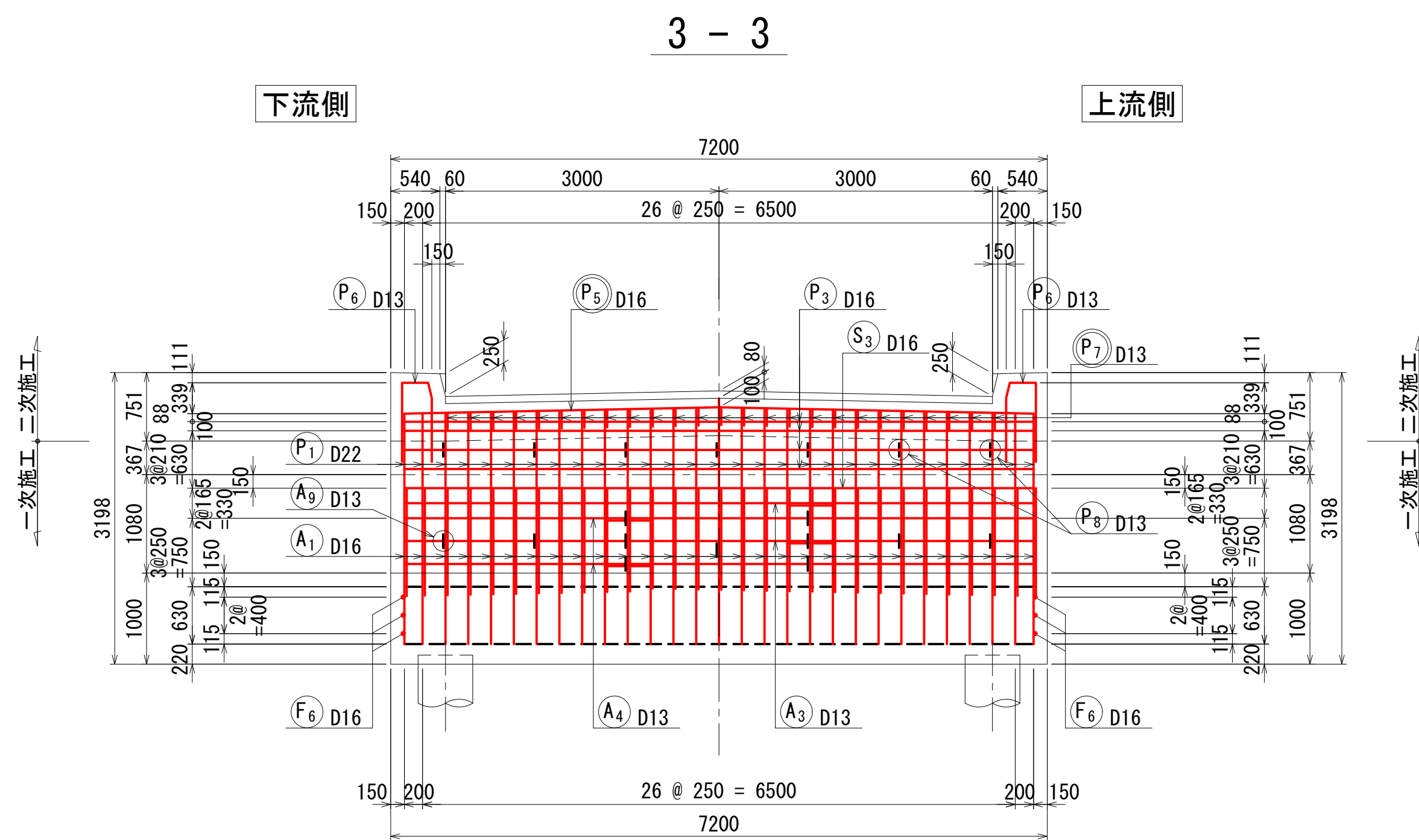
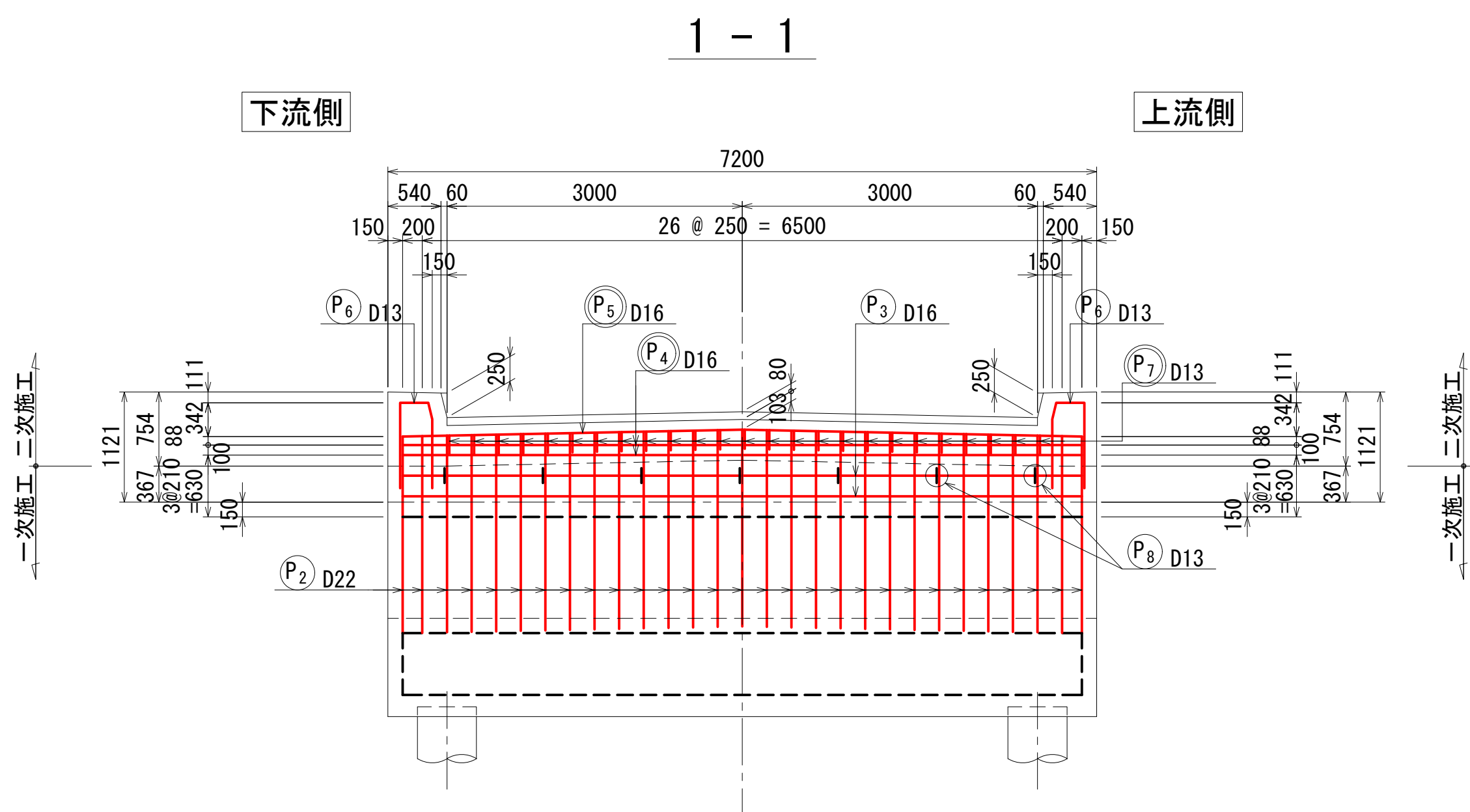


- 注) 1. 鉄筋コンクリートは、RC-2-1とする。
2. 斜線は、二次施工とする。
3. 橋台背面の裏込め土は、良質土 (γ=19 k N/m³, φ=30°) とする。

年 度	令和 6 年度		
路線名	知利別町3丁目2条通線		
工事名	知利別川改修工事に伴う 知利別3丁目1条橋架替 (下部工) 工事		
図面名	A-2橋台構造図(2)		
縮 尺	図示	図面番号	7
設計年月	令和 6 年 4 月		
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課		

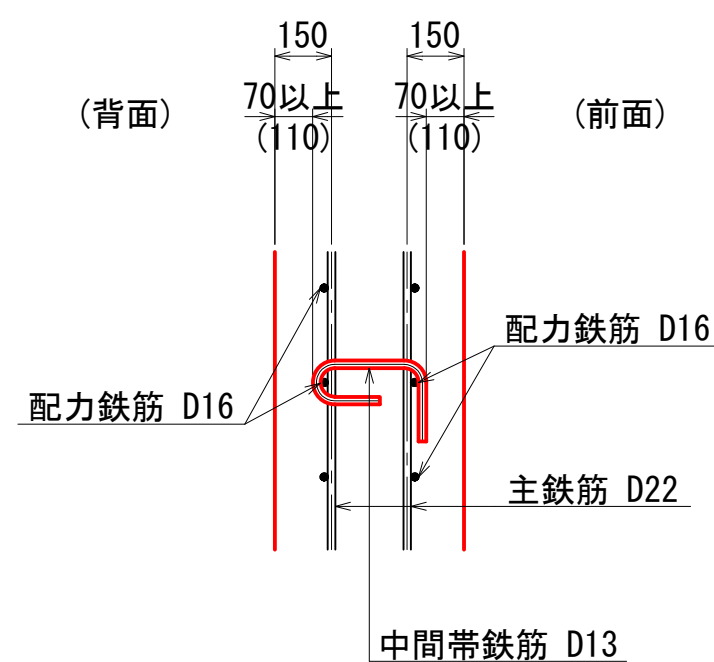
A-1橋台配筋図(1)

S=1:50



胸壁中間帯鉄筋詳細図

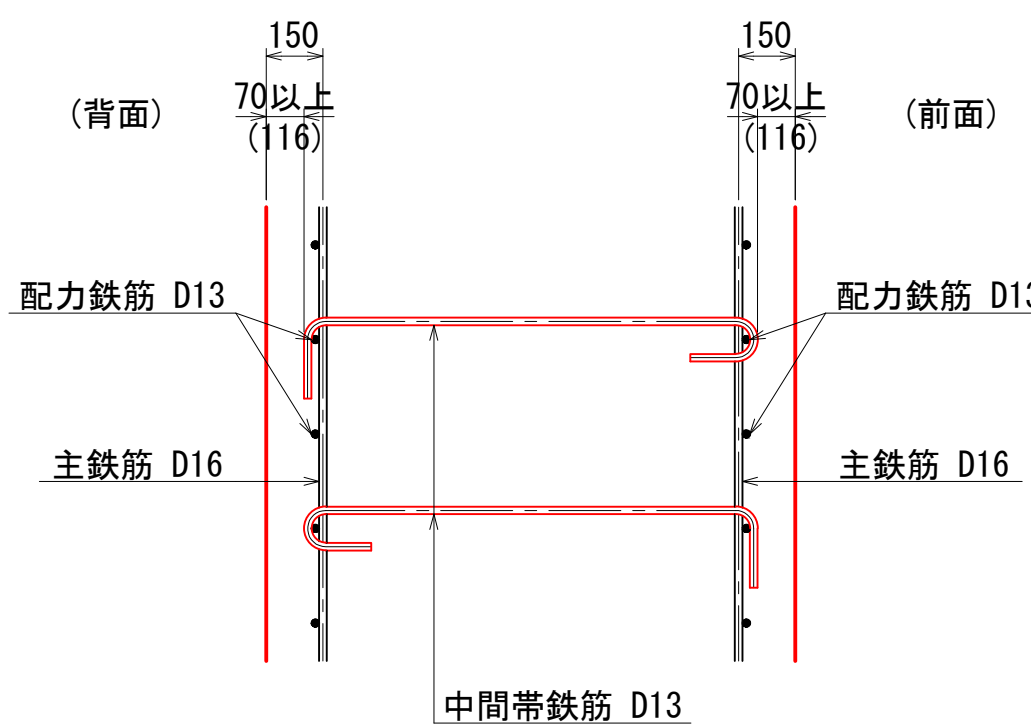
S=1:20



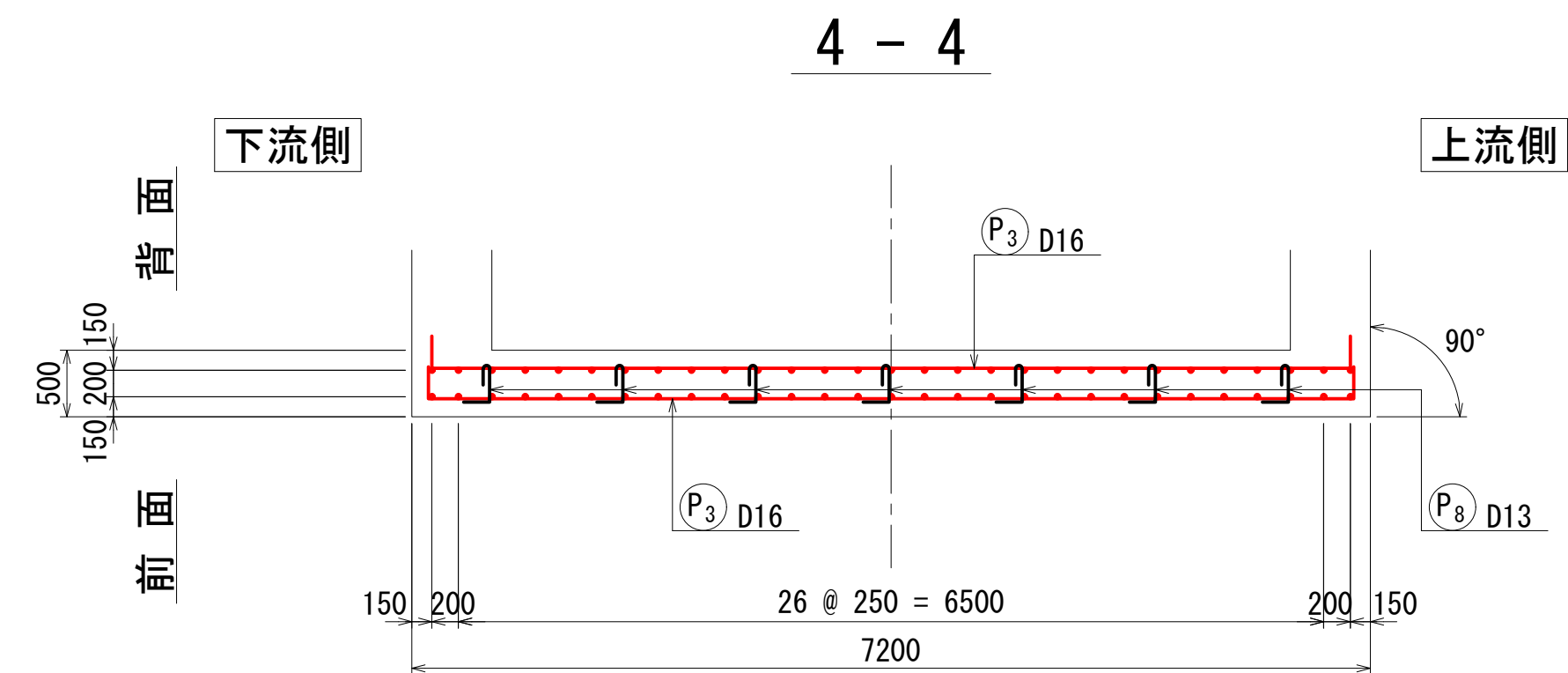
※ 中間帯鉄筋は、半円形フックを背面側に配置し
配力鉄筋にかけて定着させること。

豎壁中間帯鉄筋詳細図

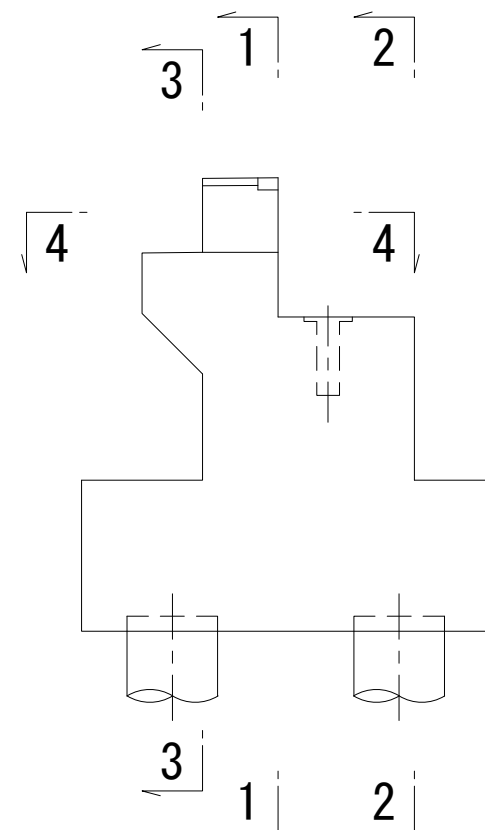
S=1:20



※ 中間帯鉄筋は、直角フック側と半円形フック側を
交互に配置すること。
※ 中間帯鉄筋は、配力鉄筋にかけて定着させること。
※ 配力鉄筋の継手位置には、全て中間帯鉄筋を配置すること。
(継手位置に半円形フックがくるように配慮のこと。)



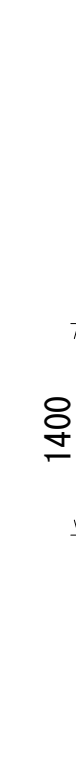
位置図



注) 1. 鉄筋の材質は、SD345 とする。
2. ◎ は、二次施工鉄筋とする。
3. (P1) (P2) については、底板コンクリート
打設前に組立のこと。

年 度	令和 6 年度		
路線名	知利別町3丁目2条通線		
工事名	知利別川改修工事に伴う 知利別3丁目1条橋架替（下部工）工事		
図面名	A-1橋台配筋図(1)		
縮 尺	図示	図面番号	8
設計年月	令和 6 年 4 月		
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課		

S=1:50



位置図



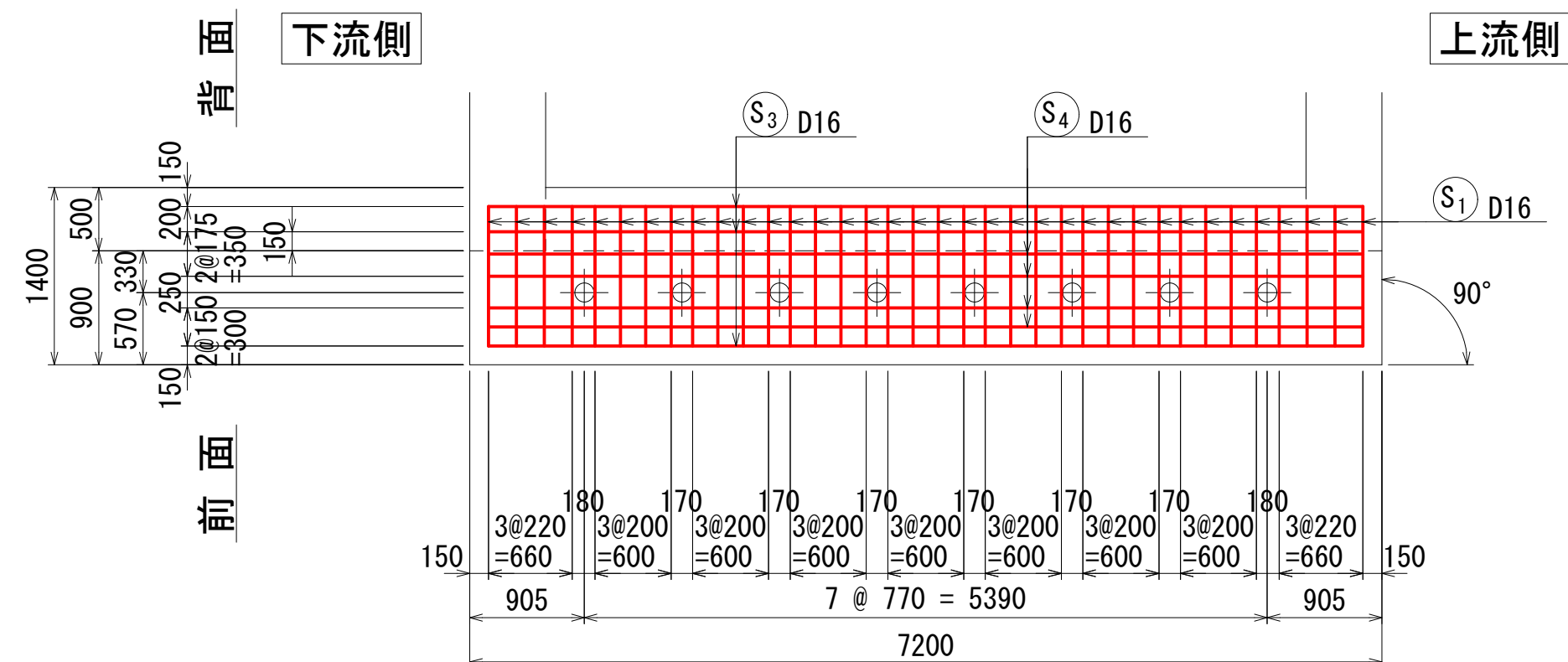
- 注) 1. 鉄筋の材質は、SD345 とする。
2. ② は、二次施工鉄筋とする。
3. ①_P ②_P については、底版コンクリート打設前に組立のこと。

年 度	令和 6 年度		
路線名	知利別町3丁目2条通線		
工事名	知利別川改修工事に伴う 知利別3丁目1条橋架替（下部工）工事		
図面名	A-1橋台配筋図（2）		
縮 尺	図示	図面番号	9
設計年月	令和 6 年 4 月		
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課		

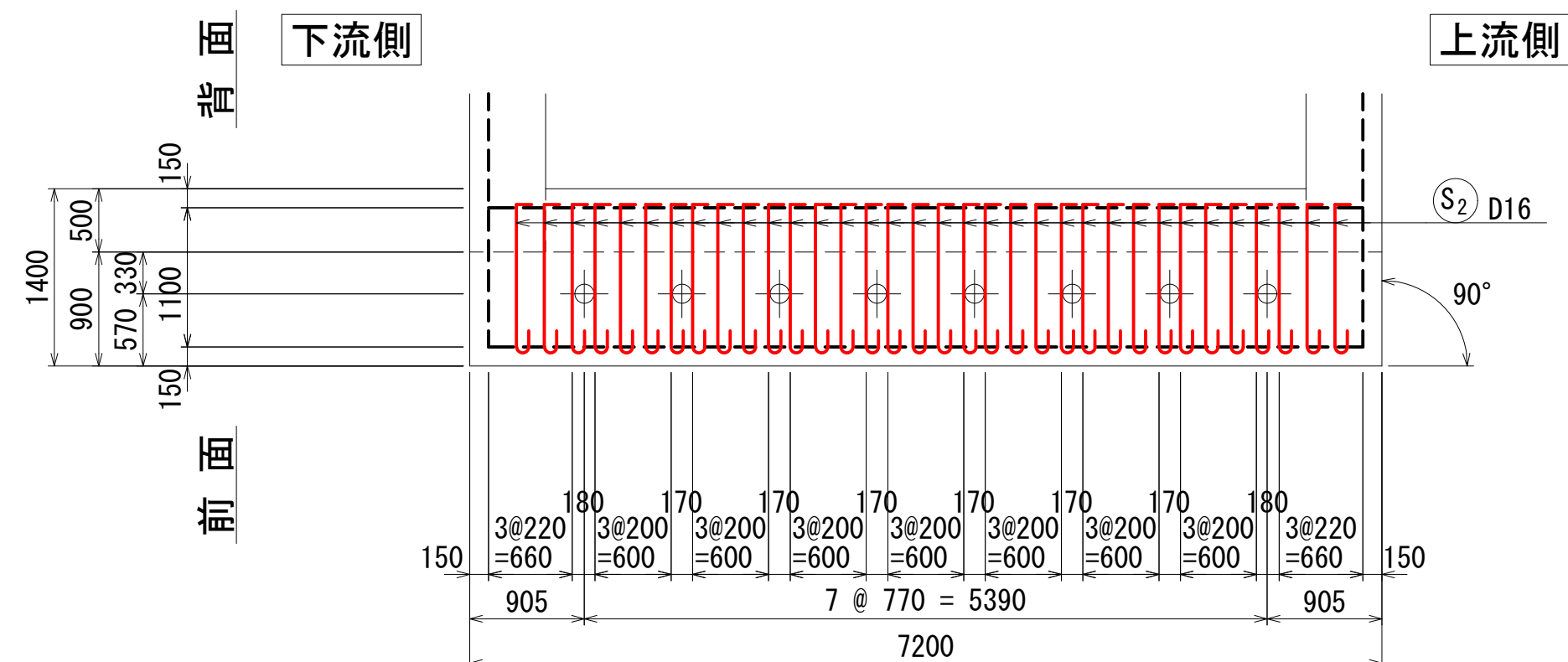
A-1橋台配筋図(3)

S=1:50

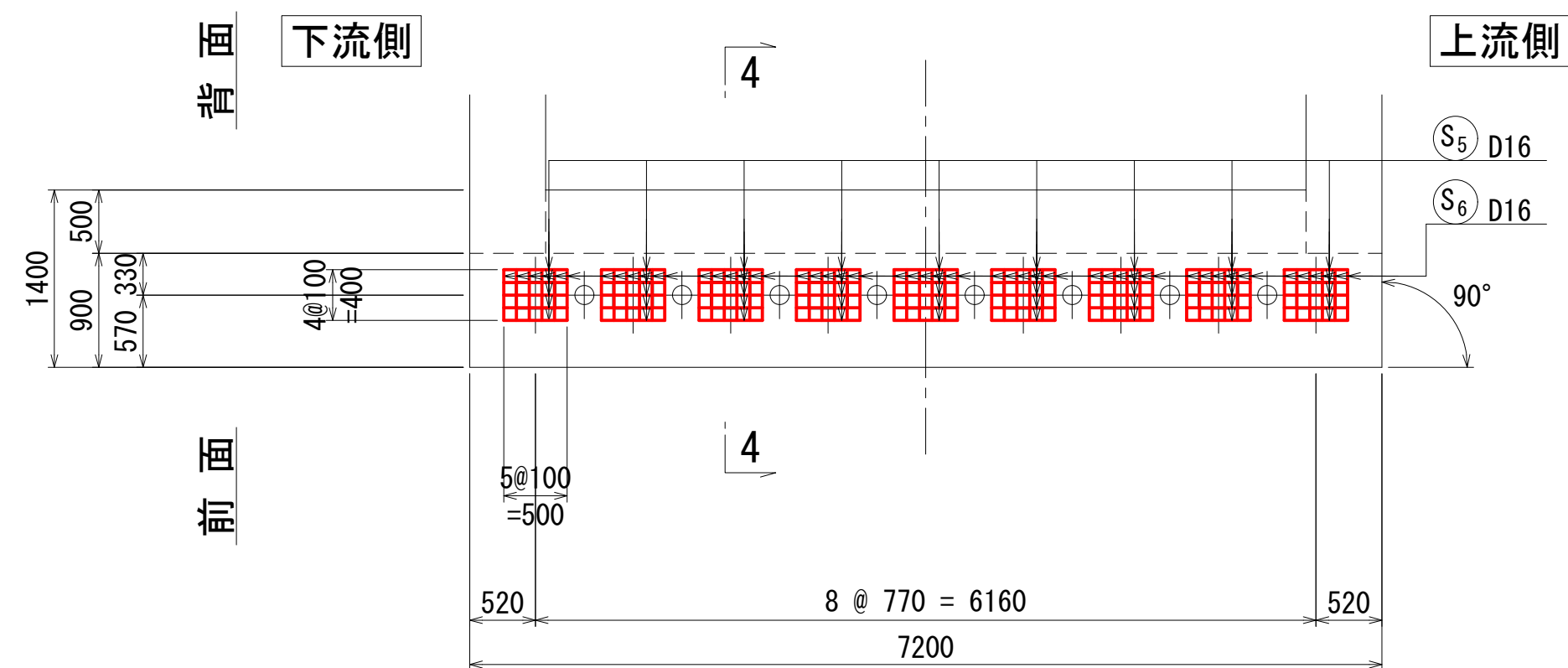
1 - 1



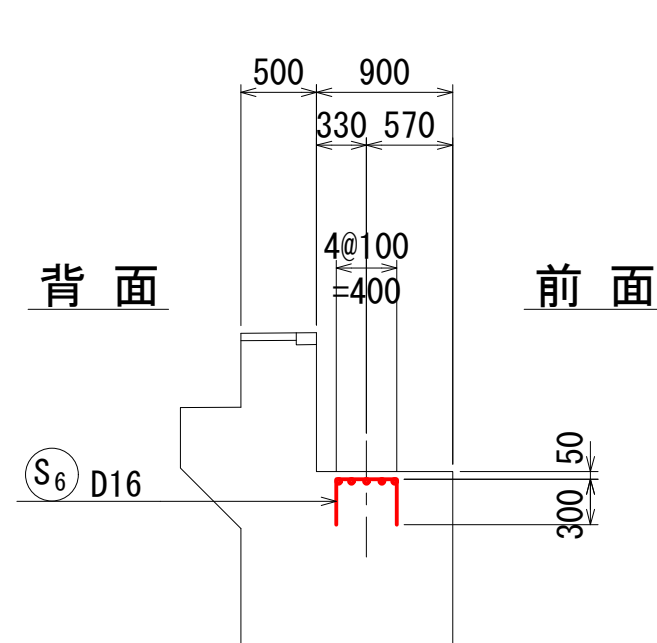
2 - 2



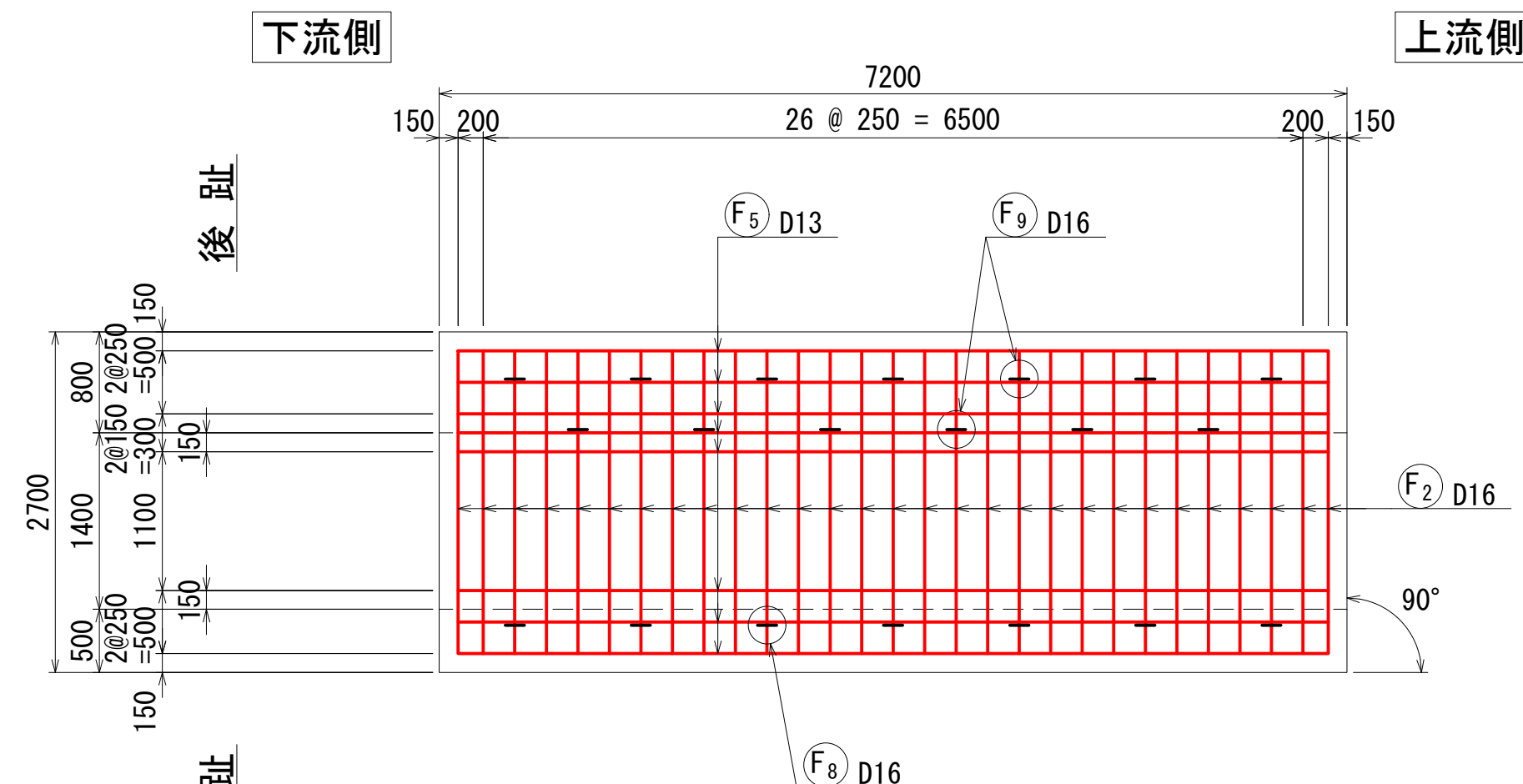
3 - 3



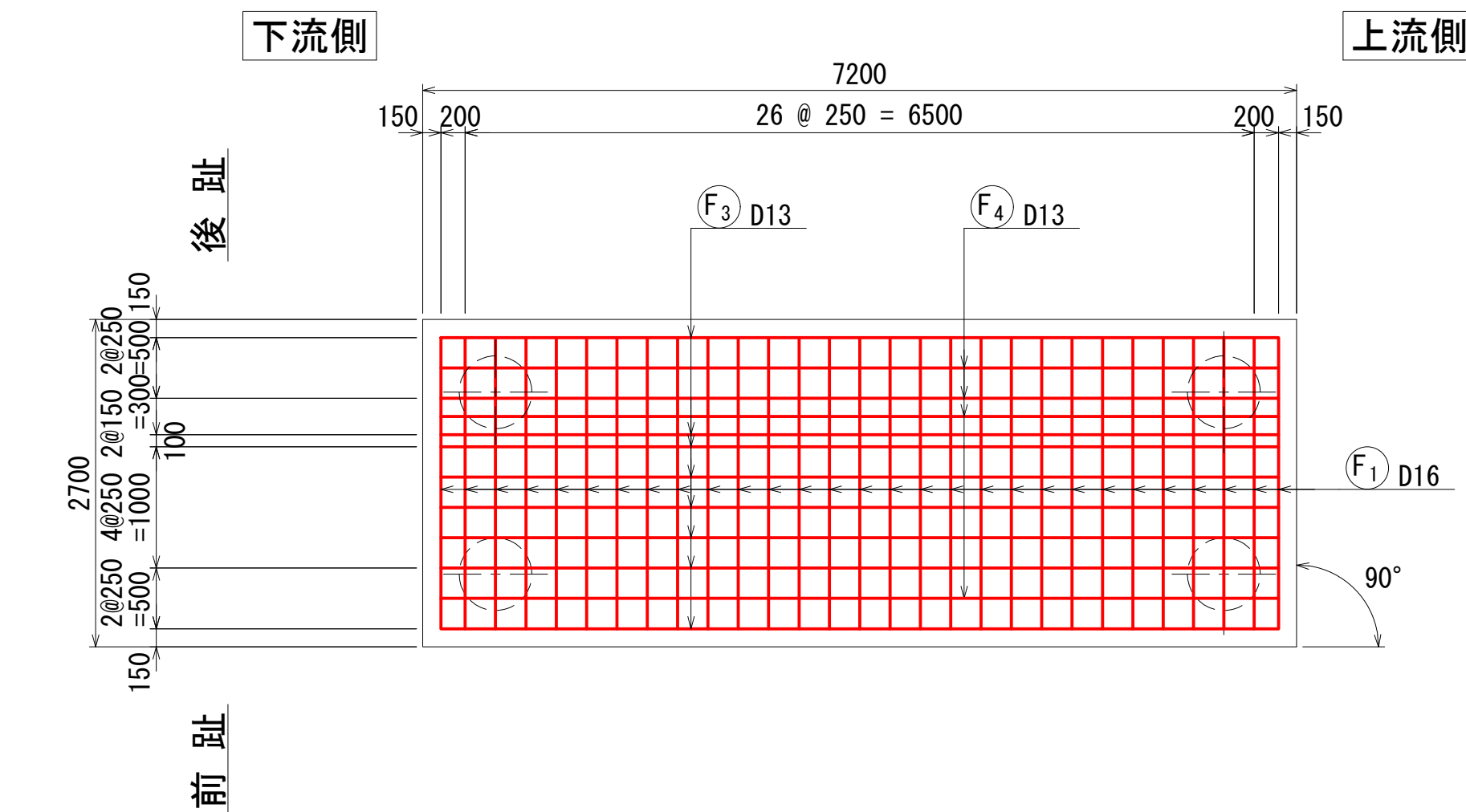
4 - 4



5 - 5

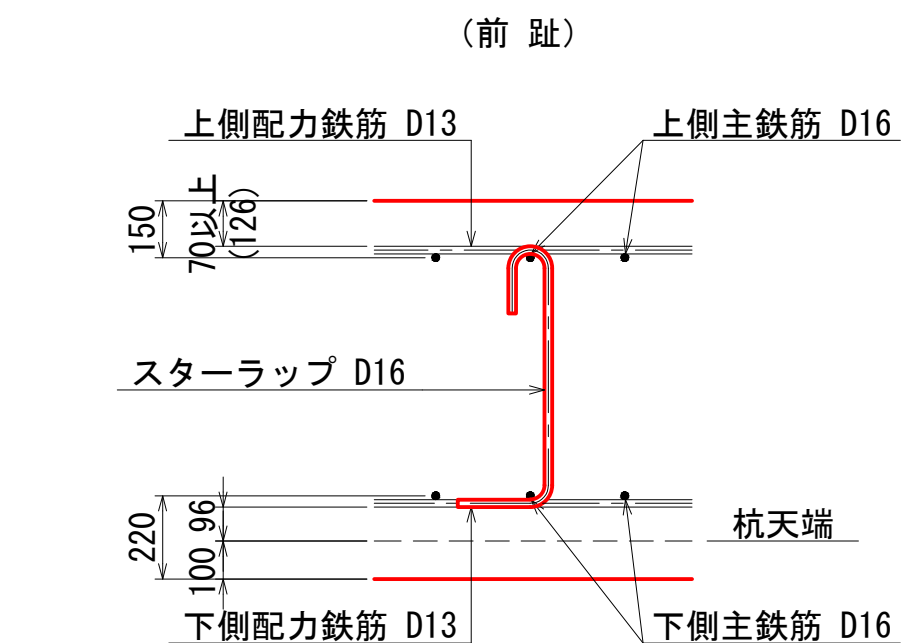


6 - 6

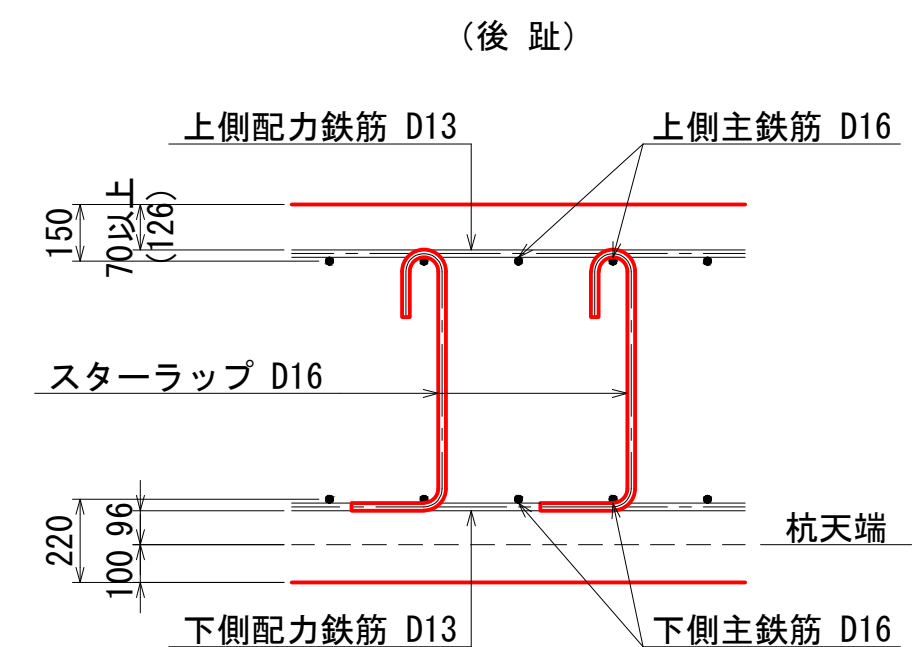


底版スターラップ詳細図

S=1:20



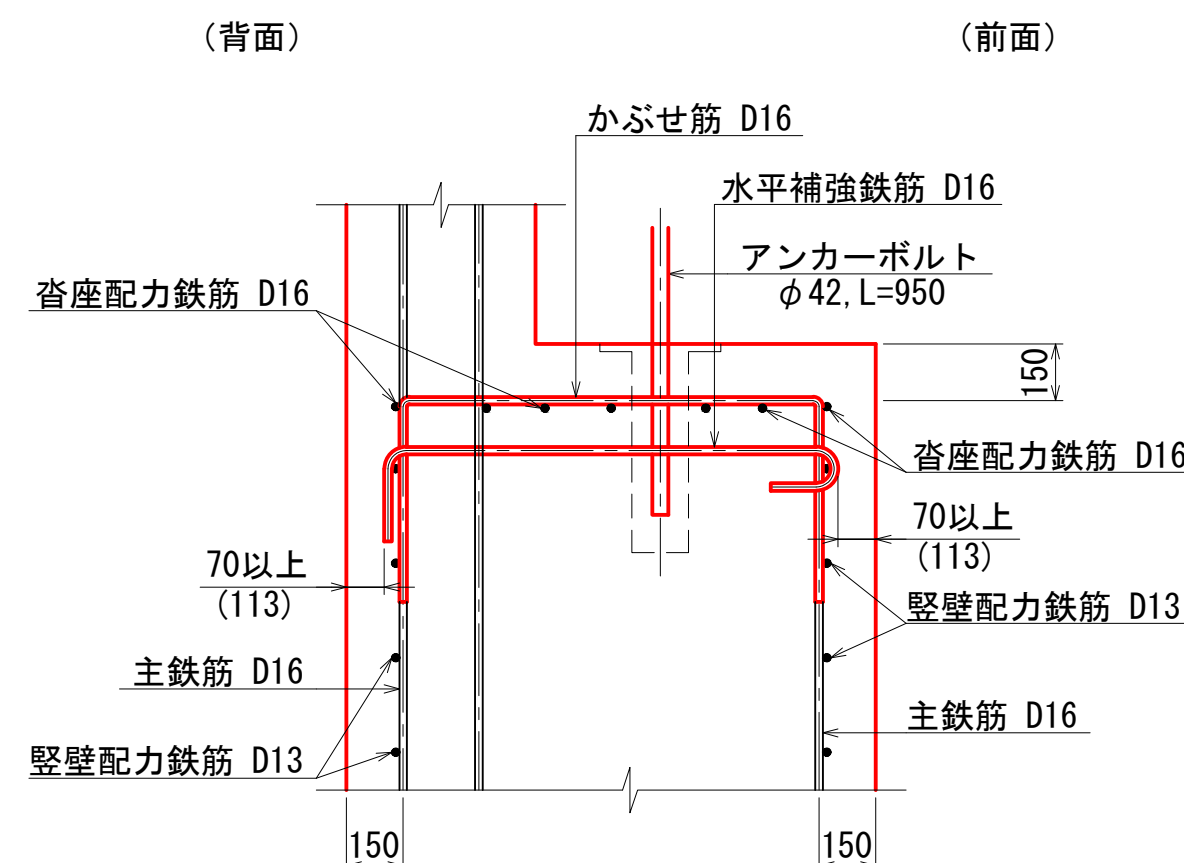
※ スターラップは、主鉄筋にかけて定着させること。
半円形フックを上側側に配置すること。
(引張側主鉄筋:上側)



※ スターラップは、主鉄筋にかけて定着させること。
半円形フックを上側側に配置すること。
(引張側主鉄筋:上側)

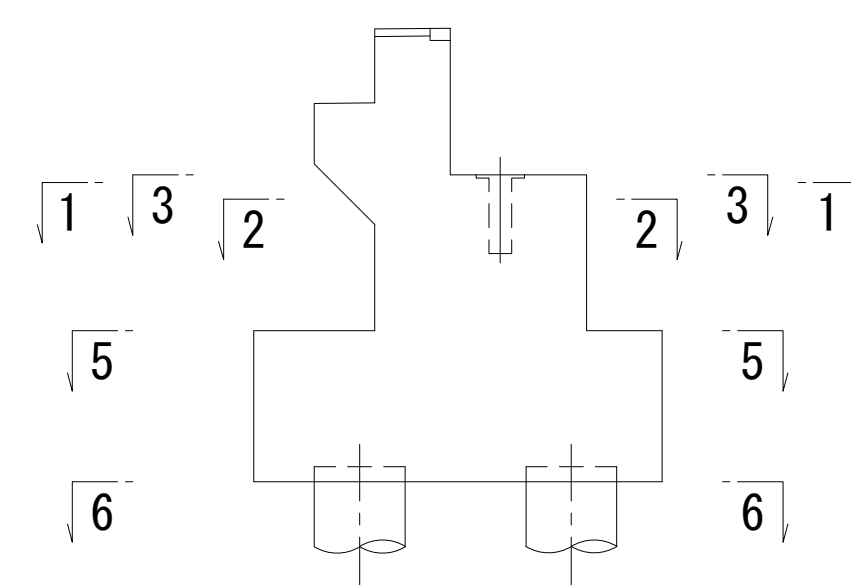
沓座筋詳細図

S=1:20



※ 水平補強鉄筋は、半円形フックを前面側に配置し
縦壁配力鉄筋にかけて定着させること。

位置図

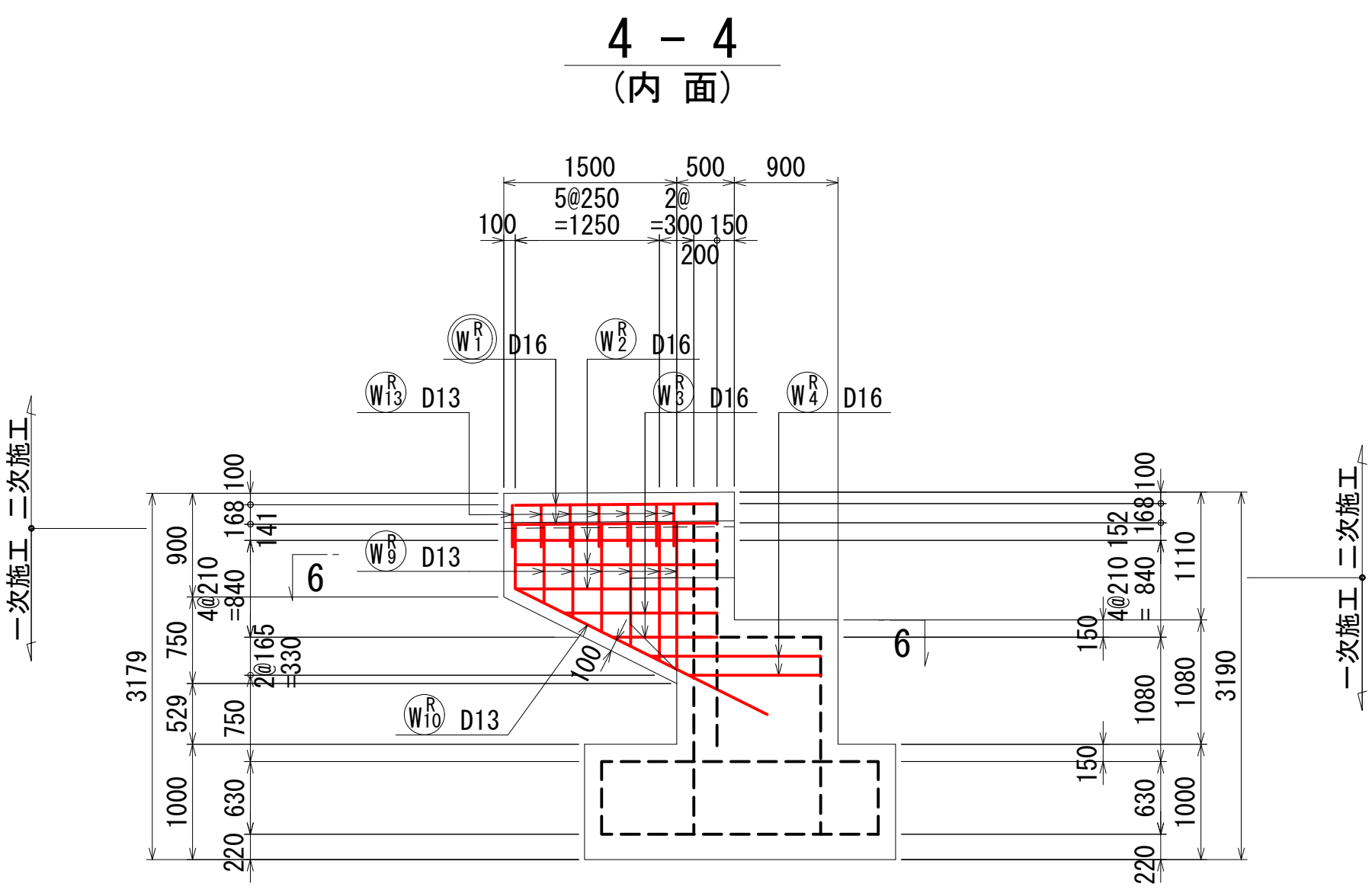
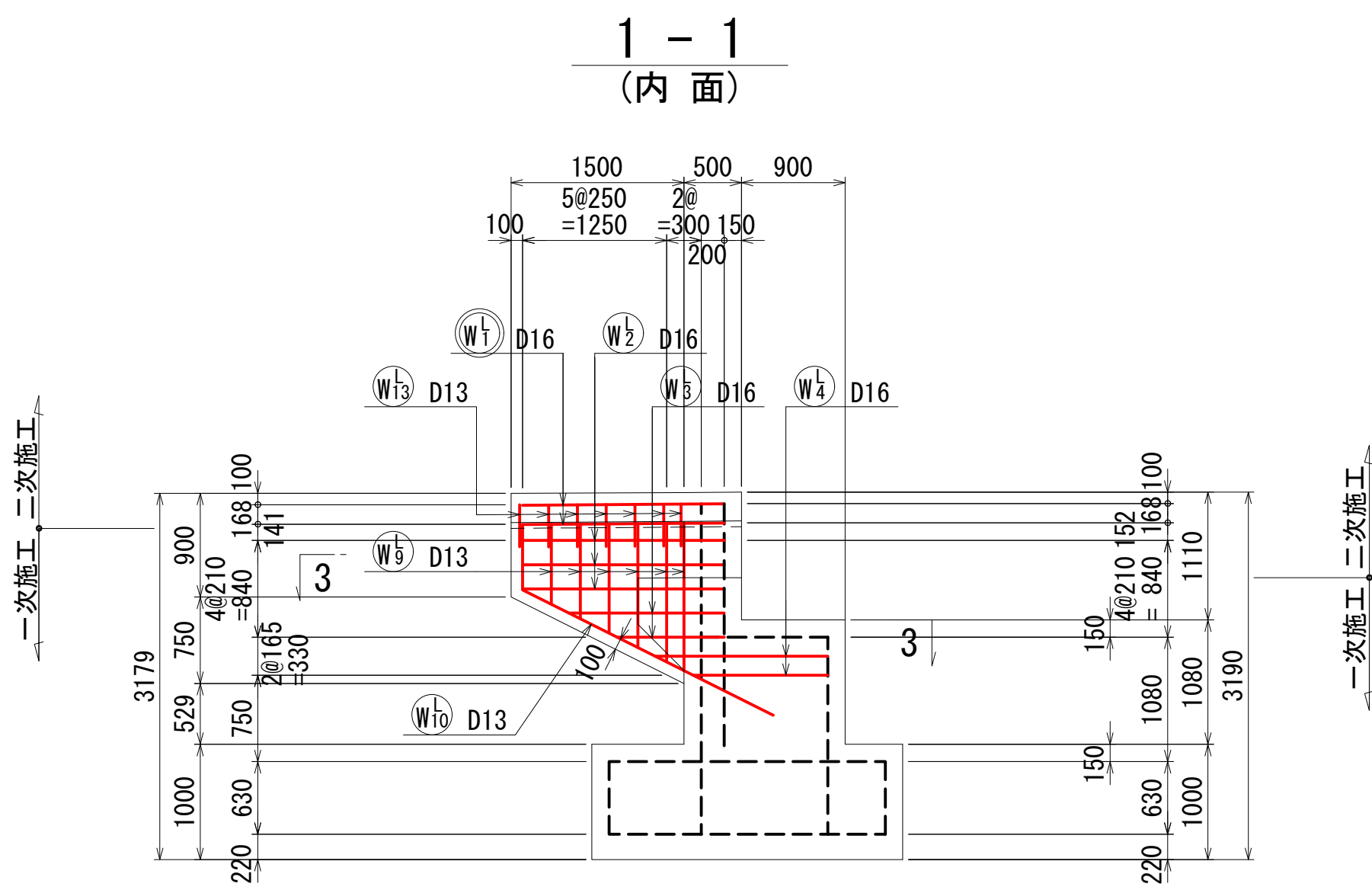


注) 1. 鉄筋の材質は、SD345 とする。
2. ◎ は、二次施工鉄筋とする。

年 度	令和 6 年度		
路線名	知利別町3丁目2条通線		
工事名	知利別川改修工事に伴う 知利別3丁目1条橋架替（下部工）工事		
図面名	A-1橋台配筋図(3)		
縮 尺	図示	図面番号	10
設計年月	令和 6 年 4 月		
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課		

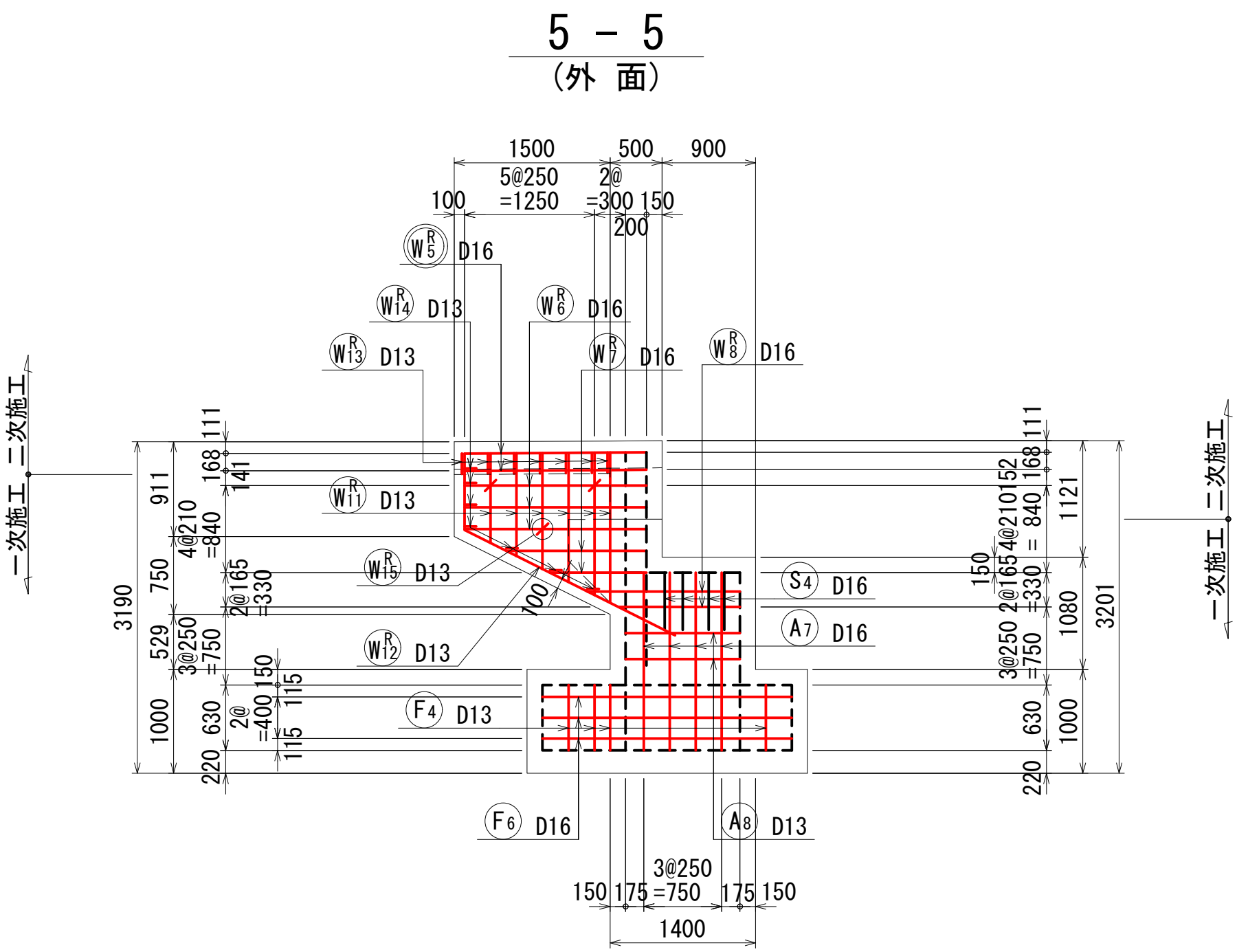
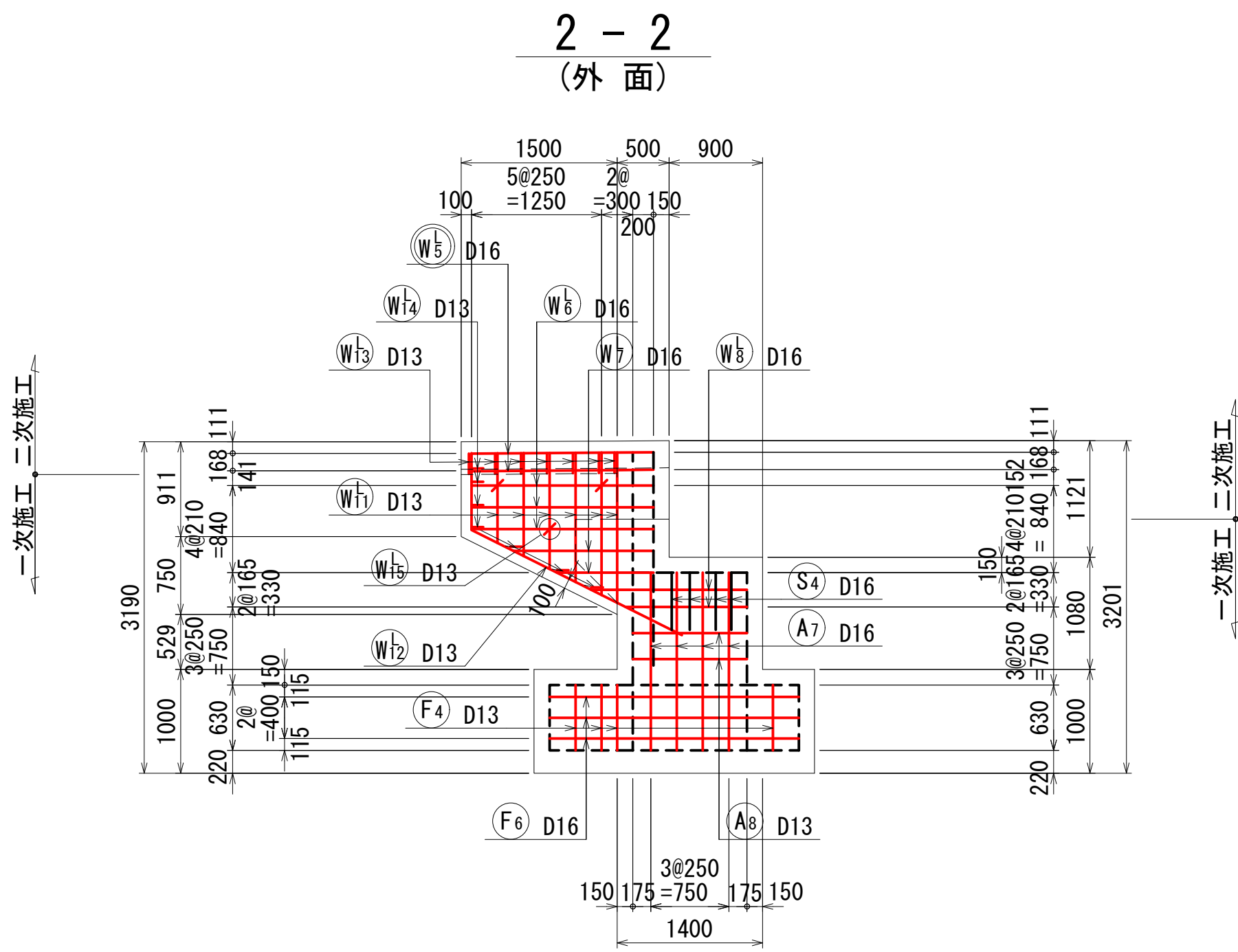
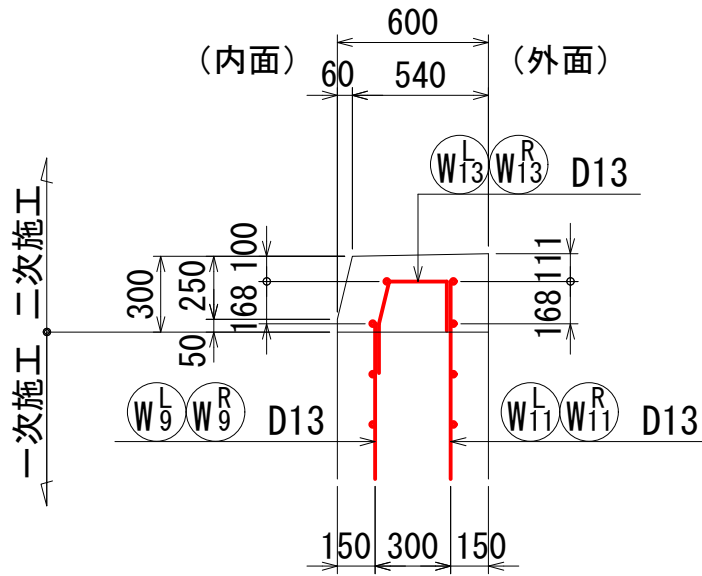
A-1橋台配筋図(4)

S=1:50



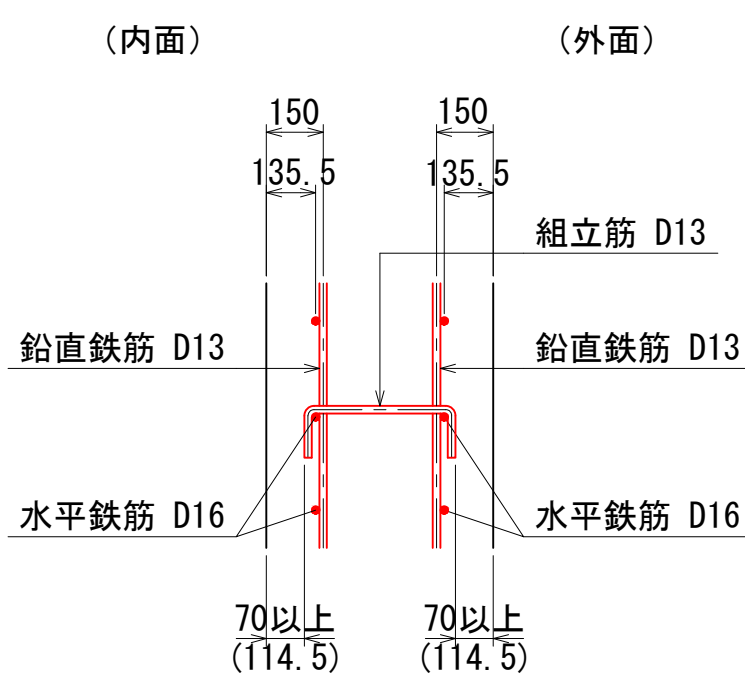
翼壁天端部詳細図

S=1:30

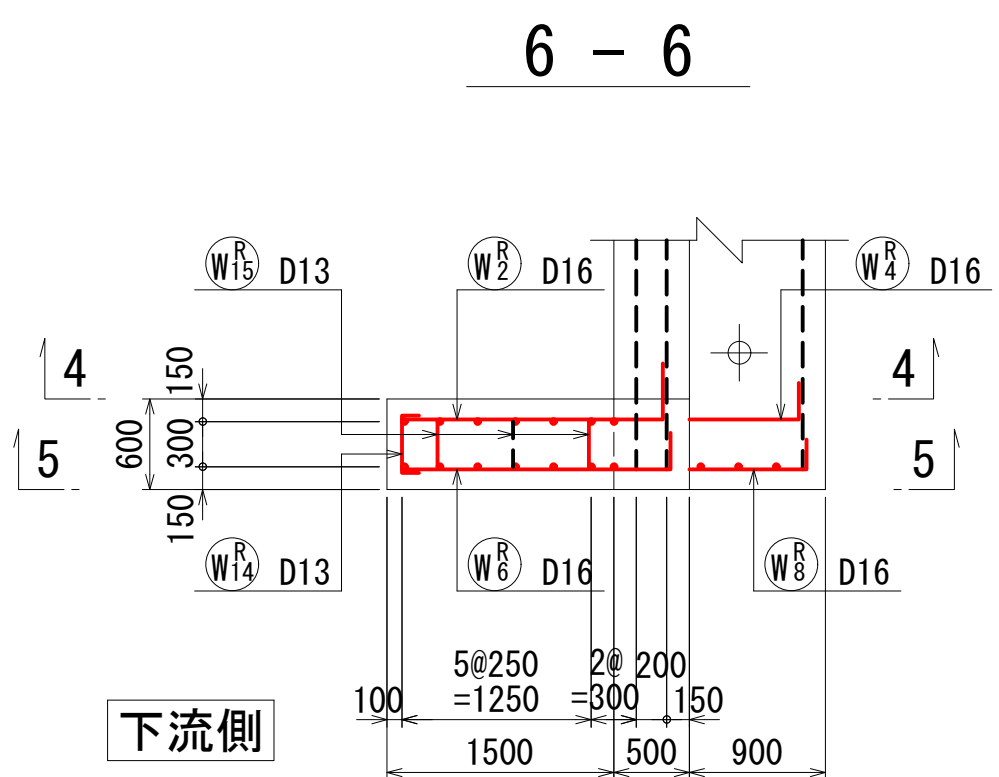
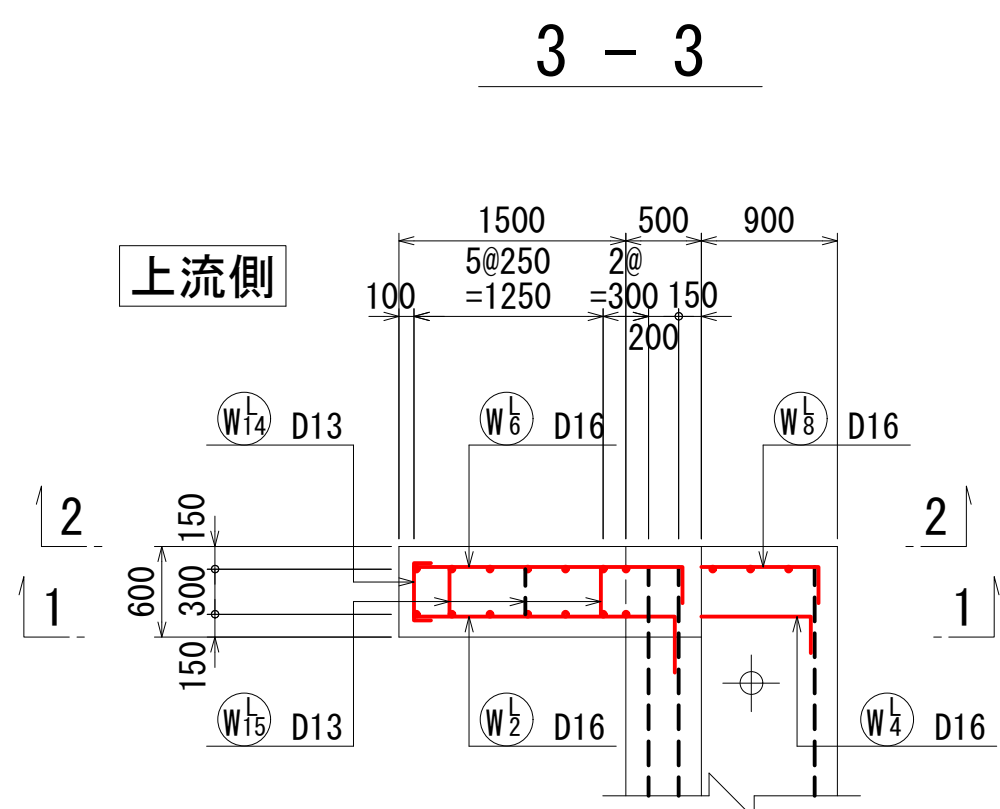


翼壁組立筋詳細図

S=1:20



※ 組立筋は、水平鉄筋にかけること。

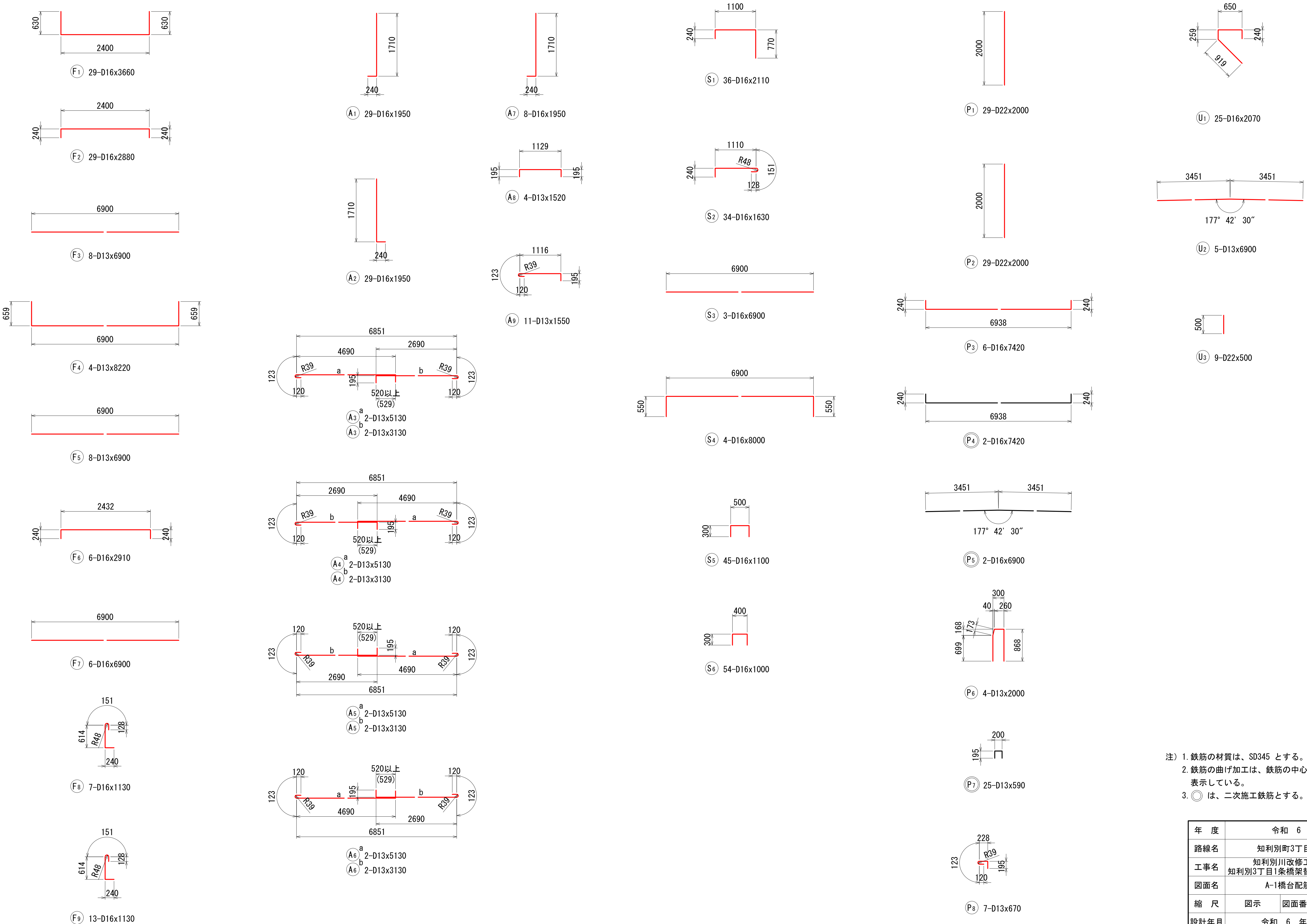


注) 1. 鉄筋の材質は、SD345 とする。
2. ◎ は、二次施工鉄筋とする。

年 度	令和 6 年度		
路線名	知利別町3丁目2条通線		
工事名	知利別川改修工事に伴う 知利別3丁目1条橋架替（下部工）工事		
図面名	A-1橋台配筋図(4)		
縮 尺	図示	図面番号	11
設計年月	令和 6 年 4 月		
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課		

A-1橋台配筋図(5)

S=1:50

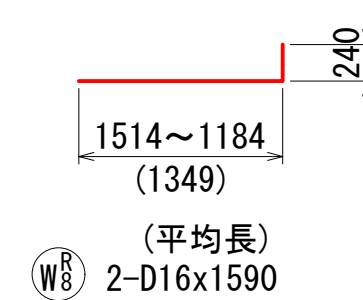
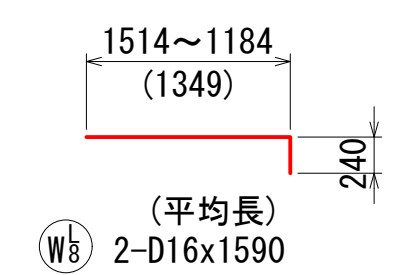
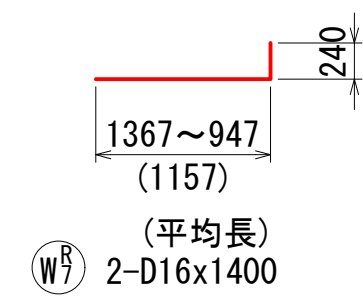
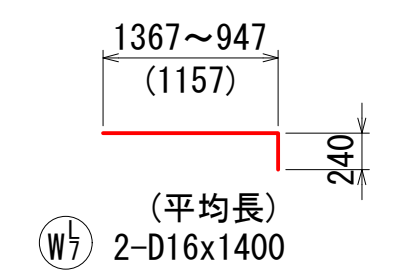
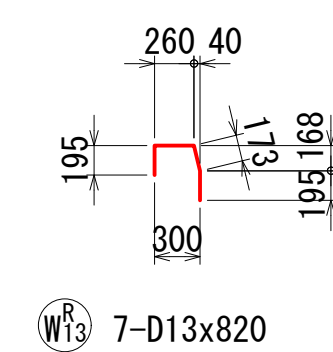
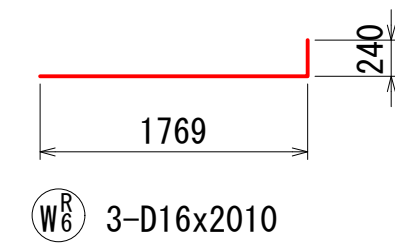
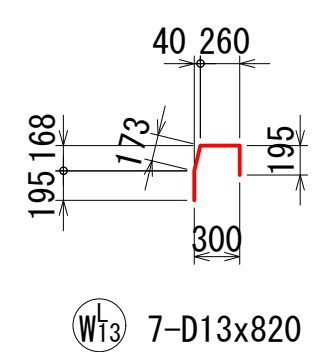
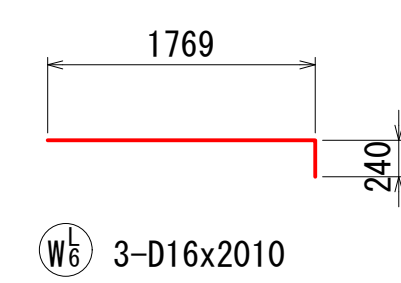
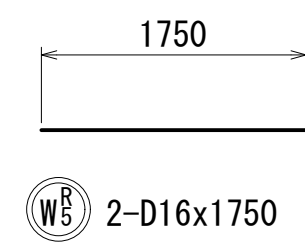
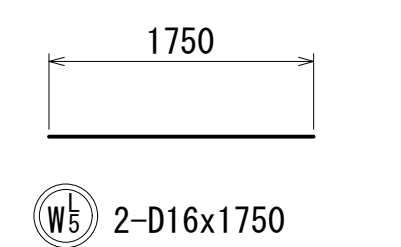
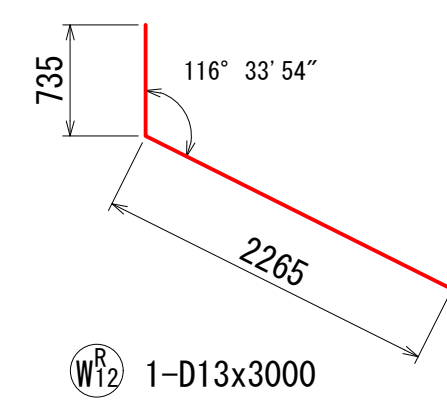
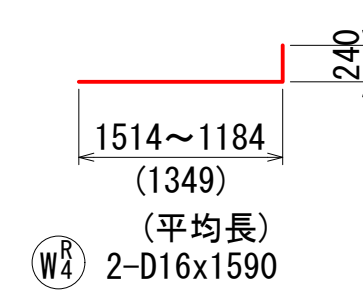
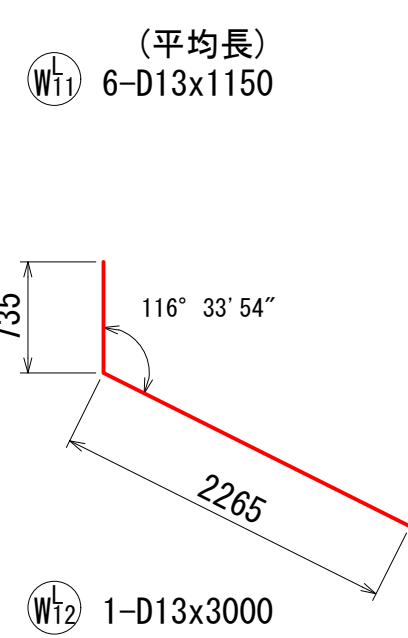
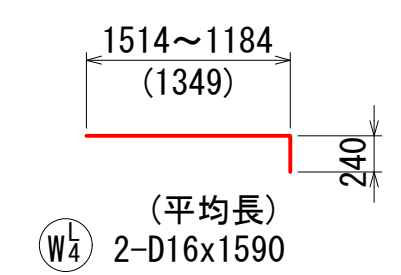
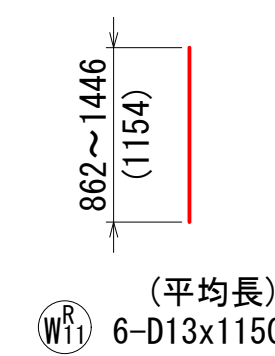
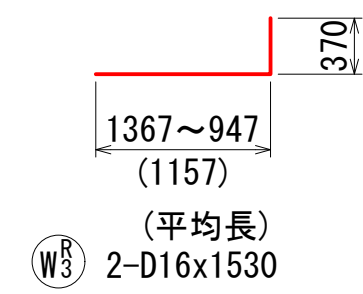
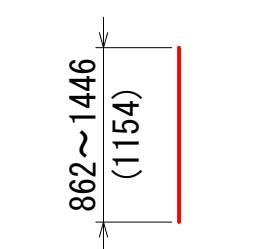
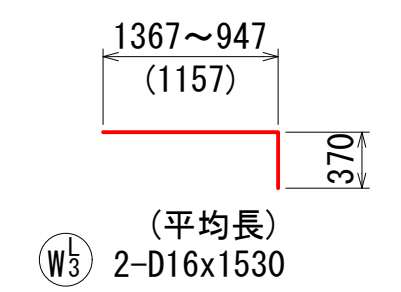
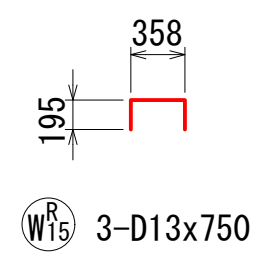
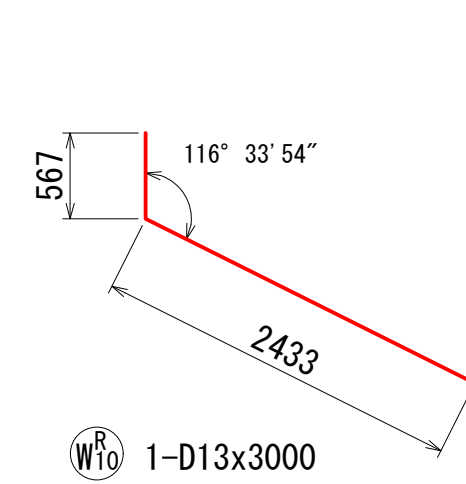
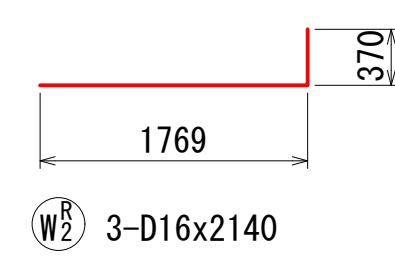
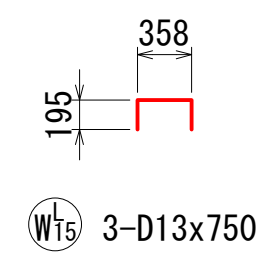
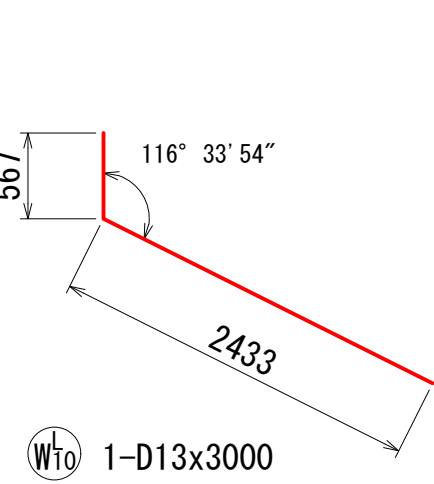
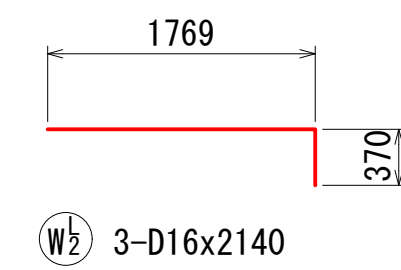
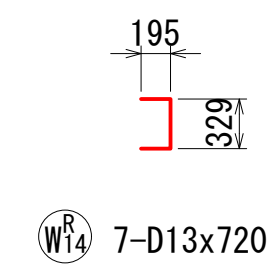
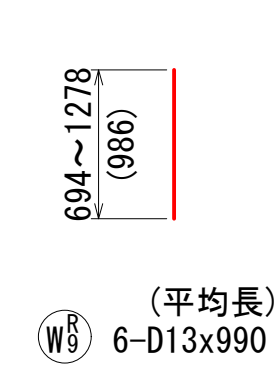
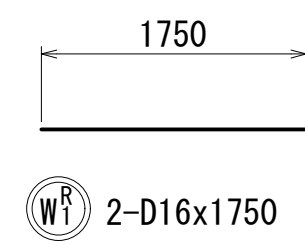
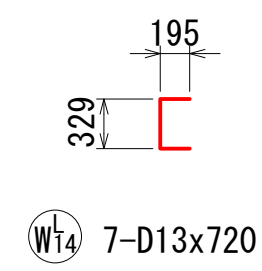
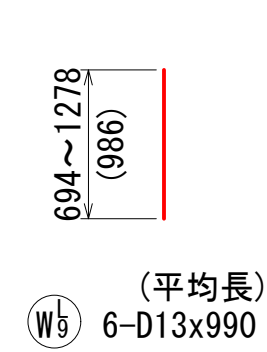
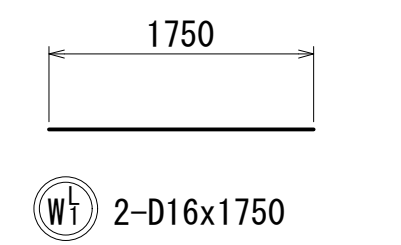


- 注) 1. 鉄筋の材質は、SD345 とする。
2. 鉄筋の曲げ加工は、鉄筋の中心寸法で表示している。
3. ◎ は、二次施工鉄筋とする。

年 度	令和 6 年度		
路線名	知利別町3丁目2条通線		
工事名	知利別川改修工事に伴う 知利別3丁目1条橋架替（下部工）工事		
図面名	A-1橋台配筋図(5)		
縮 尺	図示	図面番号	12
設計年月	令和 6 年 4 月		
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課		

A-1橋台配筋図(6)

S=1:50

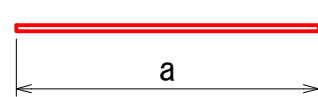
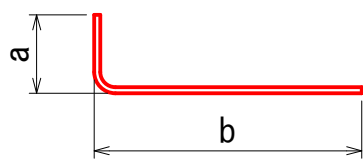
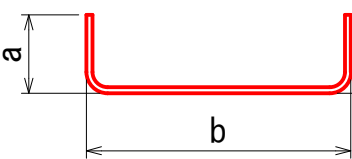
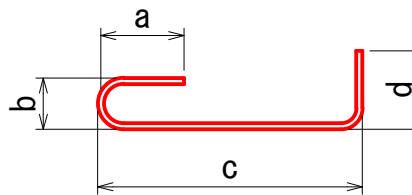
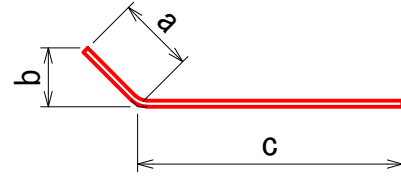
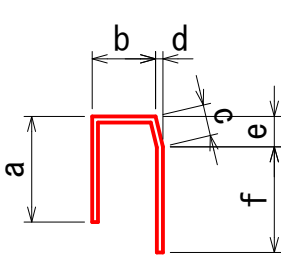
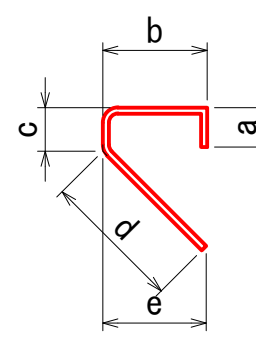


- 注) 1. 鉄筋の材質は、SD345 とする。
2. 鉄筋の曲げ加工は、鉄筋の中心寸法で表示している。
3. ◎ は、二次施工鉄筋とする。

年 度	令和 6 年度		
路線名	知利別町3丁目2条通線		
工事名	知利別川改修工事に伴う知利別3丁目1条橋架替（下部工）工事		
図面名	A-1橋台配筋図(6)		
縮 尺	図 示	図面番号	13
設計年月	令和 6 年 4 月		
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課		

A-1橋台配筋図(7)

鉄筋加工表

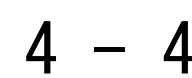
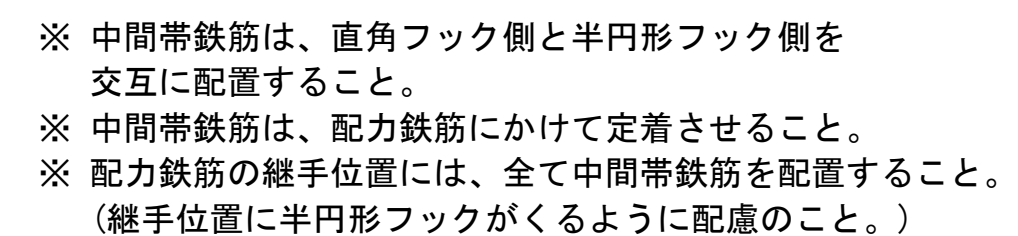
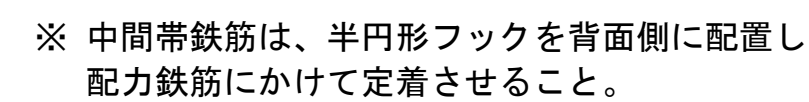
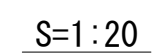
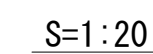
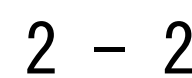
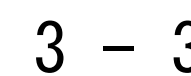
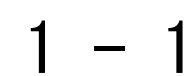
<div><div><div></div><div>形状 1</div></div><div><div></div><div>形状 2</div></div><div><div></div><div>形状 3</div></div><div><div></div><div>形状 4</div></div><div><div></div><div>形状 5</div></div><div><div></div><div>形状 6</div></div><div><div></div><div>形状 7</div></div></div>																			
部 材	鉄 筋 番 号	鋼 材 材 質	鉄 筋 公称径 (mm)	鉄筋長 (mm)	単 位 質 量 (kg/m)	1本当り 質 量 (kg)	部材数	各部材 の鉄筋 本 数	鉄 筋 総 数	総延長 (mm)	質 量 (kg)	形状 番号	曲 げ 寸 法 (mm)						備 考
													a	b	c	d	e	f	
底 版																			
	F1	SD345	D16	3660	1.560	5.71	1	29	29	106140	166	3	638	2416	638				
	F2	〃	D16	2880	1.560	4.49	1	29	29	83520	130	3	248	2416	248				
	F3	〃	D13	6900	0.995	6.87	1	8	8	55200	55	1	6900						
	F4	〃	D13	8220	0.995	8.18	1	4	4	32880	33	3	666	6913	666				
	F5	〃	D13	6900	0.995	6.87	1	8	8	55200	55	1	6900						
	F6	〃	D16	2910	1.560	4.54	1	6	6	17460	27	3	248	2448	248				
	F7	〃	D16	6900	1.560	10.76	1	6	6	41400	65	1	6900						
	F8	〃	D16	1130	1.560	1.76	1	7	7	7910	12	4	184	112	678	248			
	F9	〃	D16	1130	1.560	1.76	1	13	13	14690	23	4	184	112	678	248			
豎 壁																			
	A1	SD345	D16	1950	1.560	3.04	1	29	29	56550	88	2	248	1718					
	A2	〃	D16	1950	1.560	3.04	1	29	29	56550	88	2	248	1718					
	A3-a	〃	D13	5130	0.995	5.10	1	2	2	10260	10	4	166	91	4742	202			
	A3-b	〃	D13	3130	0.995	3.11	1	2	2	6260	6	4	166	91	2742	202			
	A4-a	〃	D13	5130	0.995	5.10	1	2	2	10260	10	4	166	91	4742	202			
	A4-b	〃	D13	3130	0.995	3.11	1	2	2	6260	6	4	166	91	2742	202			
	A5-a	〃	D13	5130	0.995	5.10	1	2	2	10260	10	4	166	91	4742	202			
	A5-b	〃	D13	3130	0.995	3.11	1	2	2	6260	6	4	166	91	2742	202			
	A6-a	〃	D13	5130	0.995	5.10	1	2	2	10260	10	4	166	91	4742	202			
	A6-b	〃	D13	3130	0.995	3.11	1	2	2	6260	6	4	166	91	2742	202			
	A7	〃	D16	1950	1.560	3.04	1	8	8	15600	24	2	248	1718					
	A8	〃	D13	1520	0.995	1.51	1	4	4	6080	6	3	202	1142	202				
	A9	〃	D13	1550	0.995	1.54	1	11	11	17050	17	4	166	91	1168	202			
沓 座																			
	S1	SD345	D16	2110	1.560	3.29	1	36	36	75960	118	3	248	1116	778				
	S2	〃	D16	1630	1.560	2.54	1	34	34	55420	86	4	184	112	1174	248			
	S3	〃	D16	6900	1.560	10.76	1	3	3	20700	32	1	6900						
	S4	〃	D16	8000	1.560	12.48	1	4	4	32000	50	3	558	6916	558				
	S5	〃	D16	1100	1.560	1.72	1	45	45	49500	77	3	308	516	308				
	S6	〃	D16	1000	1.560	1.56	1	54	54	54000	84	3	308	416	308				
胸壁																			
	P1	SD345	D22	2000	3.040	6.08	1	29	29	58000	176	1	2000						
	P2	〃	D22	2000	3.040	6.08	1	29	29	58000	176	1	2000						
	P3	〃	D16	7420	1.560	11.58	1	6	6	44520	69	3	248	6954	248				
	P4	〃	D16	7420	1.560	11.58	1	2	2	14840	23	3	248	6954	248			二次施工	
	P5	〃	D16	6900	1.560	10.76	1	2	2	13800	22	5	3451	138	3451			二次施工	
	P6	〃	D13	2000	0.995	1.99	1	4	4	8000	8	6	875	271	178	42	173	700	
	P7	〃	D13	590	0.955	0.59	1	25	25	14750	15	3	202	213	202			二次施工	
	P8	〃	D13	670	0.995	0.67	1	7	7	4690	5	4	166	91	280	202			

部 材	鉄 筋 番 号	鋼 材 材 質	鉄 筋 公称径 (mm)	鉄筋長 (mm)	単 位 質 量 (kg/m)	1本当り 質 量 (kg)	部材数	各部材 の鉄筋 本 数	鉄 筋 総 数	総延長 (mm)	質 量 (kg)	形状 番号	曲 げ 寸 法 (mm)						備 考
													a	b	c	d	e	f	
受 台																			
	U1	SD345	D16	2070	1.560	3.23	1	25	25	51750	81	7	248	666	270	923	664		
	U2	〃	D13	6900	0.995	6.87	1	5	5	34500	34	5	3451	138	3451				
	U3	〃	D22	500	3.040	1.52	1	9	9	4500	14	1	500						
翼壁L																			
	WL1	SD345	D16	1750	1.560	2.73	1	2	2	3500	5	1	1750						二次施工
	WL2	〃	D16	2140	1.560	3.34	1	3	3	6420	10	2	378	1777					
	WL3	〃	D16	1530	1.560	2.39	1	2	2	3060	5	2	378	1375 ~955					平均長
	WL4	〃	D16	1590	1.560	2.48	1	2	2	3180	5	2	248	1522 ~1192					平均長
	WL5	〃	D16	1750	1.560	2.73	1	2	2	3500	5	1	1750						二次施工
	WL6	〃	D16	2010	1.560	3.14	1	3	3	6030	9	2	248	1777					
	WL7	〃	D16	1400	1.560	2.18	1	2	2	2800	4	2	248	1375 ~955					平均長
	WL8	〃	D16	1590	1.560	2.48	1	2	2	3180	5	2	248	1522 ~1192					平均長
	WL9	〃	D13	990	0.995	0.99	1	6	6	5940	6	1	694 ~1278						平均長
	WL10	〃	D13	3000	0.995	2.99	1	1	1	3000	3	5	571	517	2437				
	WL11	〃	D13	1150	0.995	1.14	1	6	6	6900	7	1	862 ~1446						平均長
	WL12	〃	D13	3000	0.995	2.99	1	1	1	3000	3	5	739	667	2269				
	WL13	〃	D13	820	0.995	0.82	1	7	7	5740	6	6	202	271	178	42	173	196	
	WL14	〃	D13	720	0.995	0.72	1	7	7	5040	5	3	202	342	202				
	WL15	〃	D13	750	0.995	0.75	1	3	3	2250	2	3	202	371	202				
翼壁R																			
	WR1	SD345	D16	1750	1.560	2.73	1	2	2	3500	5	1	1750						二次施工
	WR2	〃	D16	2140	1.560	3.34	1	3	3	6420	10	2	378	1777					
	WR3	〃	D16	1530	1.560	2.39	1	2	2	3060	5	2	378	1375 ~955					平均長
	WR4	〃	D16	1590	1.560	2.48	1	2	2	3180	5	2	248	1522 ~1192					平均長
	WR5	〃	D16	1750	1.560	2.73	1	2	2	3500	5	1	1750						二次施工
	WR6	〃	D16	2010	1.560	3.14	1	3	3	6030	9	2	248	1777					
	WR7	〃	D16	1400	1.560	2.18	1	2	2	2800	4	2	248	1375 ~955					平均長
	WR8	〃	D16	1590	1.560	2.48	1	2	2	3180	5	2	248	1522 ~1192					平均長
	WR9	〃	D13	990	0.995	0.99	1	6	6	5940	6	1	694 ~1278						平均長
	WR10	〃	D13	3000	0.995	2.99	1	1	1	3000	3	5	571	517	2437				
	WR11	〃	D13	1150	0.995	1.14	1	6	6	6900	7	1	862 ~1446						平均長
	WR12	〃	D13	3000	0.995	2.99	1	1	1	3000	3	5	739	667	2269				
	WR13	〃	D13	820	0.995	0.82	1	7	7	5740	6	6	202	271	178	42	173	196	
	WR14	〃	D13	720	0.995	0.72	1	7	7	5040	5	3	202	342	202				
	WR15	〃	D13	750	0.995	0.75	1	3	3	2250	2	3	202	371	202				
合 計													2083	(kg)					

鉄筋径別集計(一次施工)

D10	0 kg	}	1662 kg
D13	341 kg		
D16	1296 kg		
D19	0 kg		
D22	366 kg		
D25	0 kg	}	0 kg
D29	0 kg		
D32	0 kg		
<hr/>			
合 計 =	2003 kg		

S=1:50


$$\begin{array}{ccc} \overrightarrow{\quad} & \overrightarrow{\quad} & \overrightarrow{\quad} \\ | & | & | \\ 2 & 1 & 3 \end{array}$$

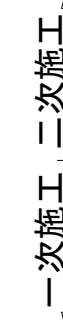
主) 1. 鉄筋の材質は、SD345 とする。

2. ○ は、二次施工鉄筋とする。

3. $\textcircled{P_1}$ $\textcircled{P_2}$ については、底版コンクリート打設前に組立のこと。

年 度	令和 6 年度		
路線名	知利別町3丁目2条通線		
工事名	知利別川改修工事に伴う 知利別3丁目1条橋架替（下部工）工事		
図面名	A-2橋台配筋図(1)		
縮 尺	図示	図面番号	15
設計年月	令和 6 年 4 月		
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課		

S=1:50

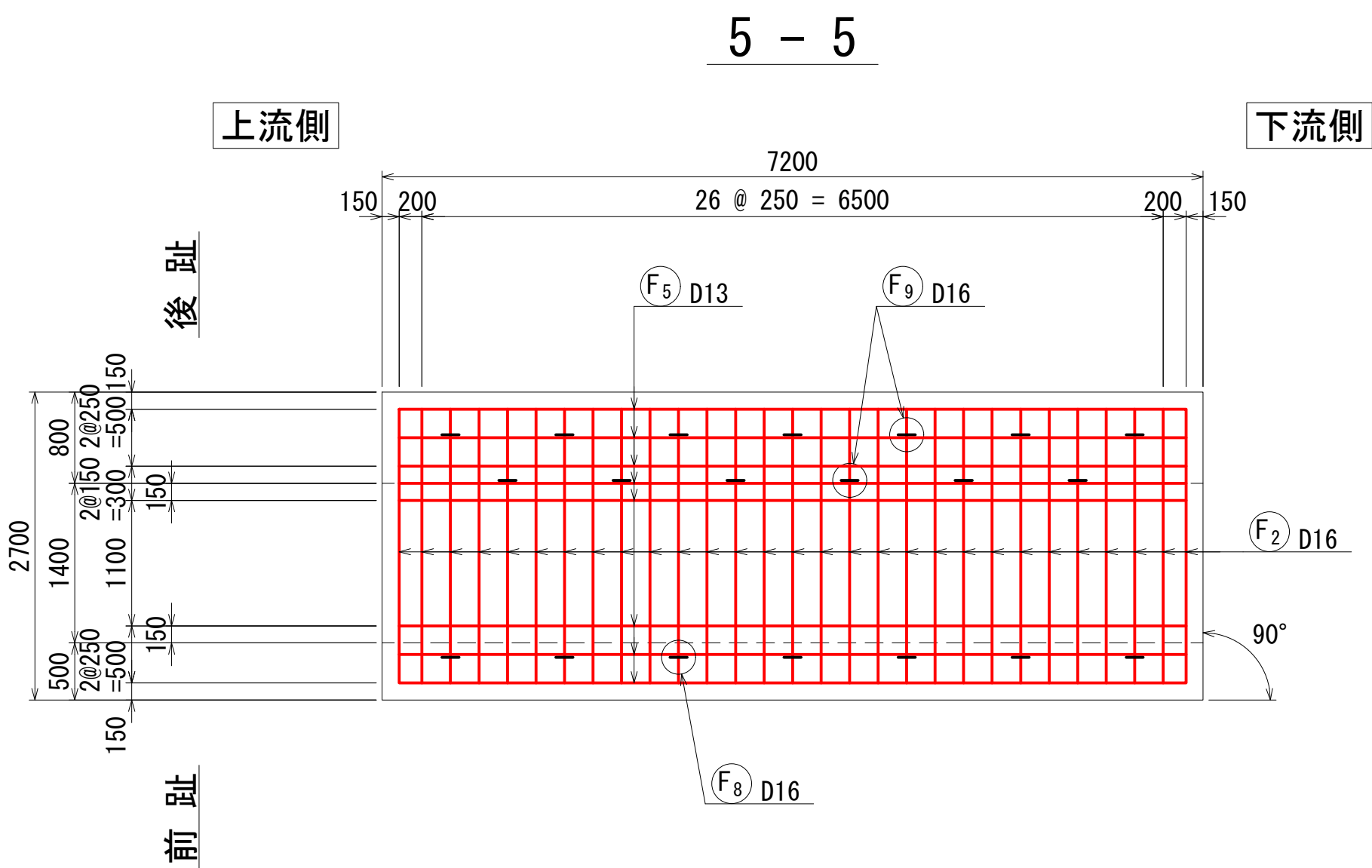
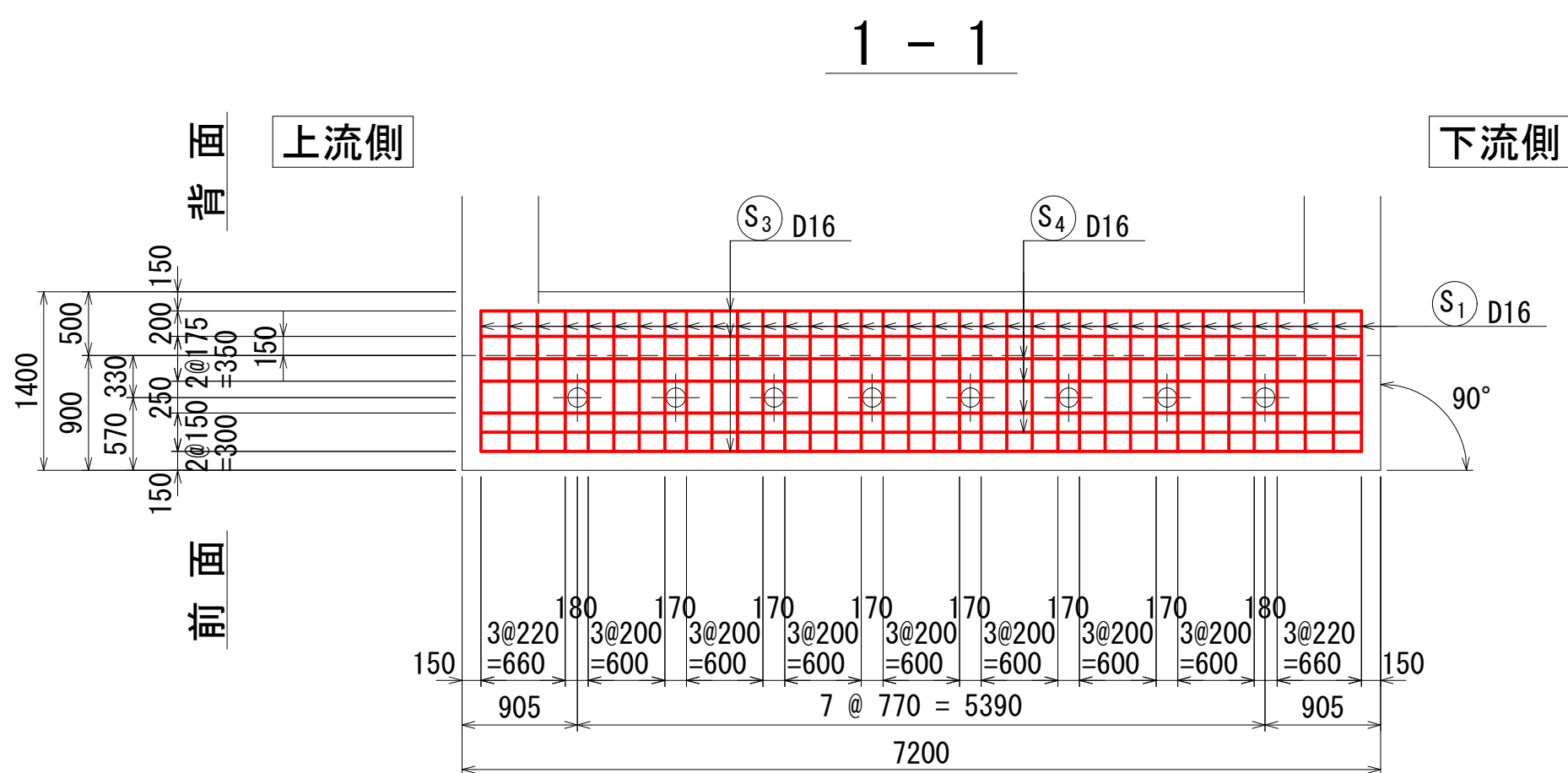


- 主) 1. 鉄筋の材質は、SD345 とする。

年 度	令和 6 年 度		
路線名	知利別町3丁目2条通線		
工事名	知利別川改修工事に伴う 知利別3丁目1条橋架替（下部工）工事		
図面名	A-2橋台配筋図(2)		
縮 尺	図示	図面番号	16
設計年月	令和 6 年 4 月		
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課		

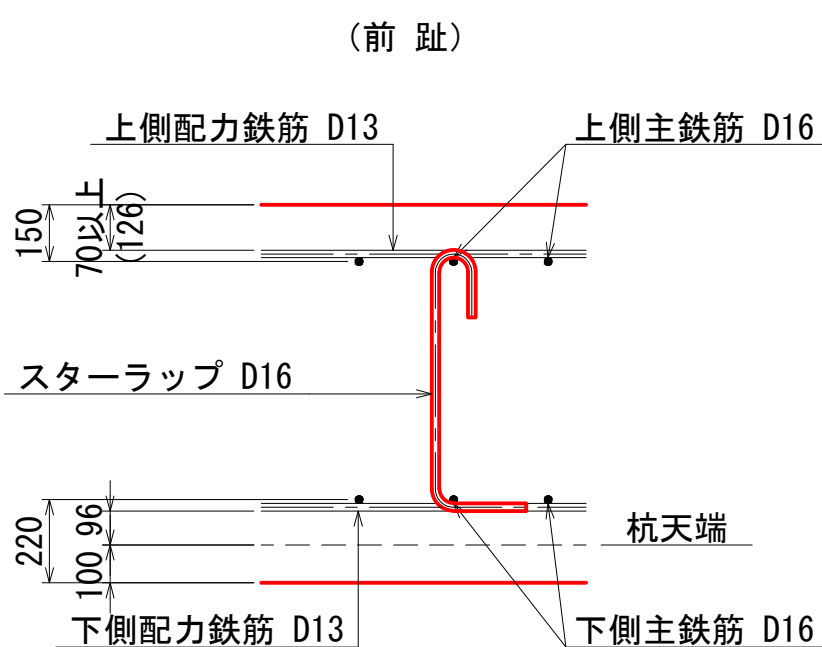
A-2橋台配筋図(3)

S=1:50

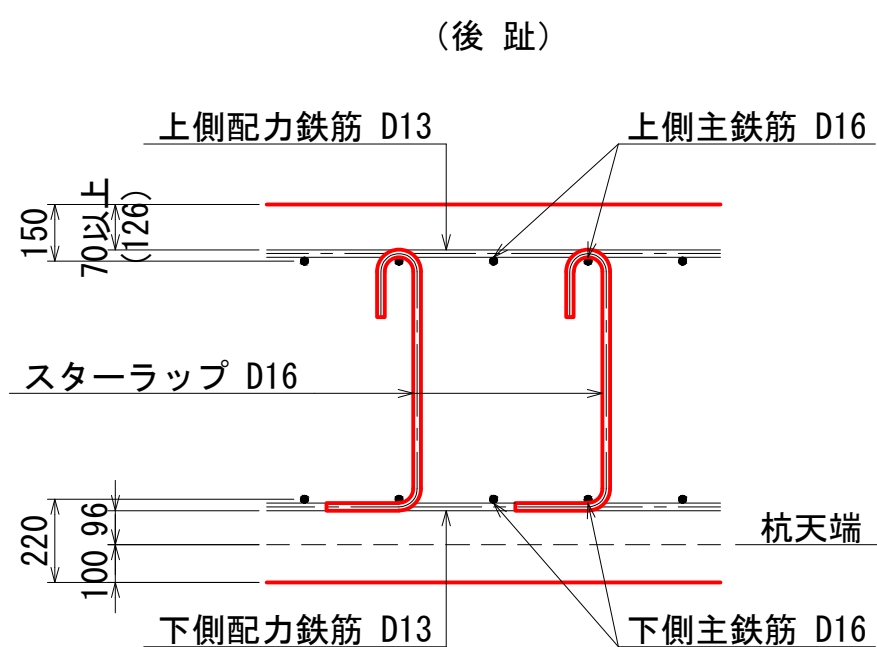
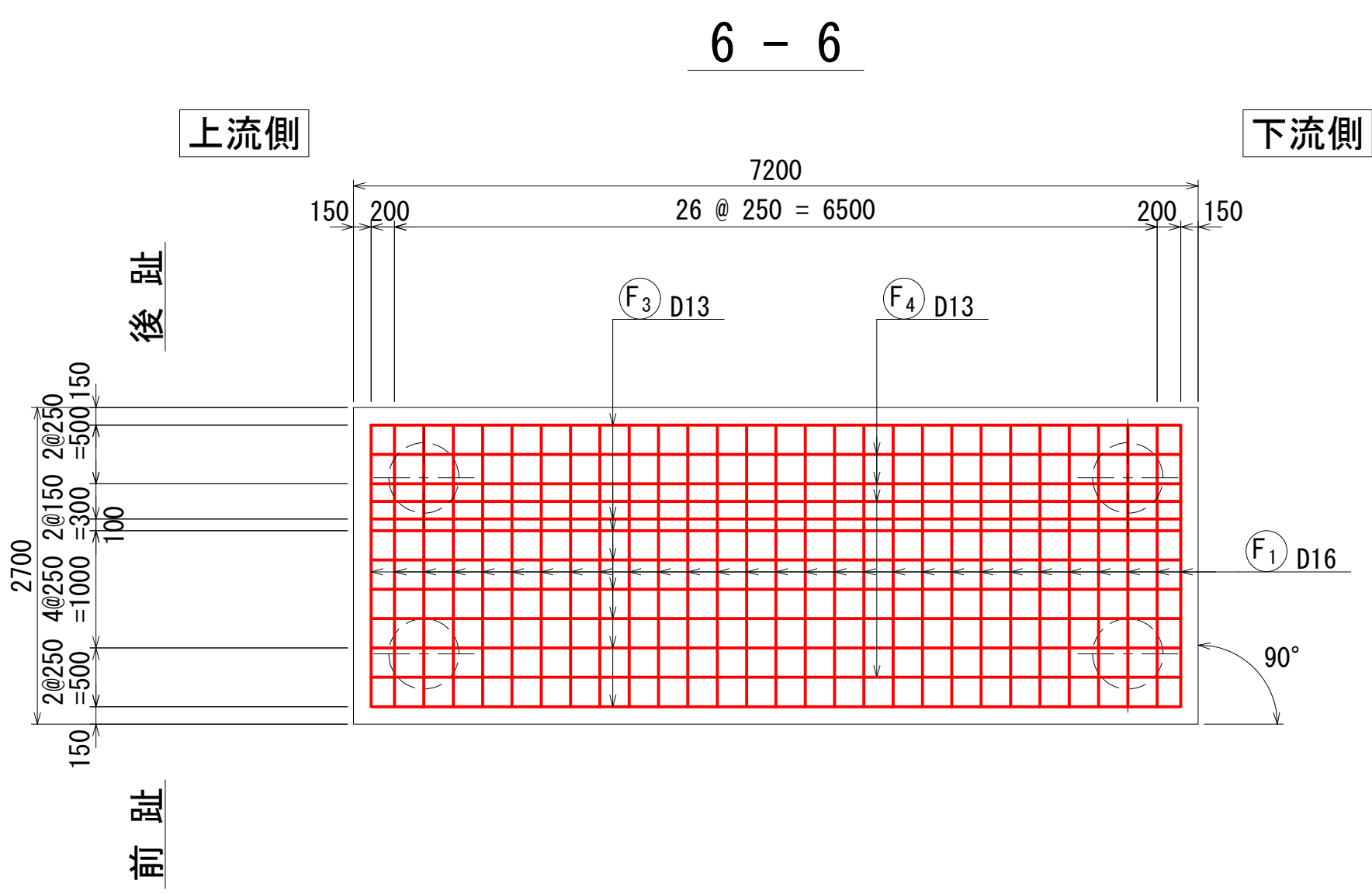
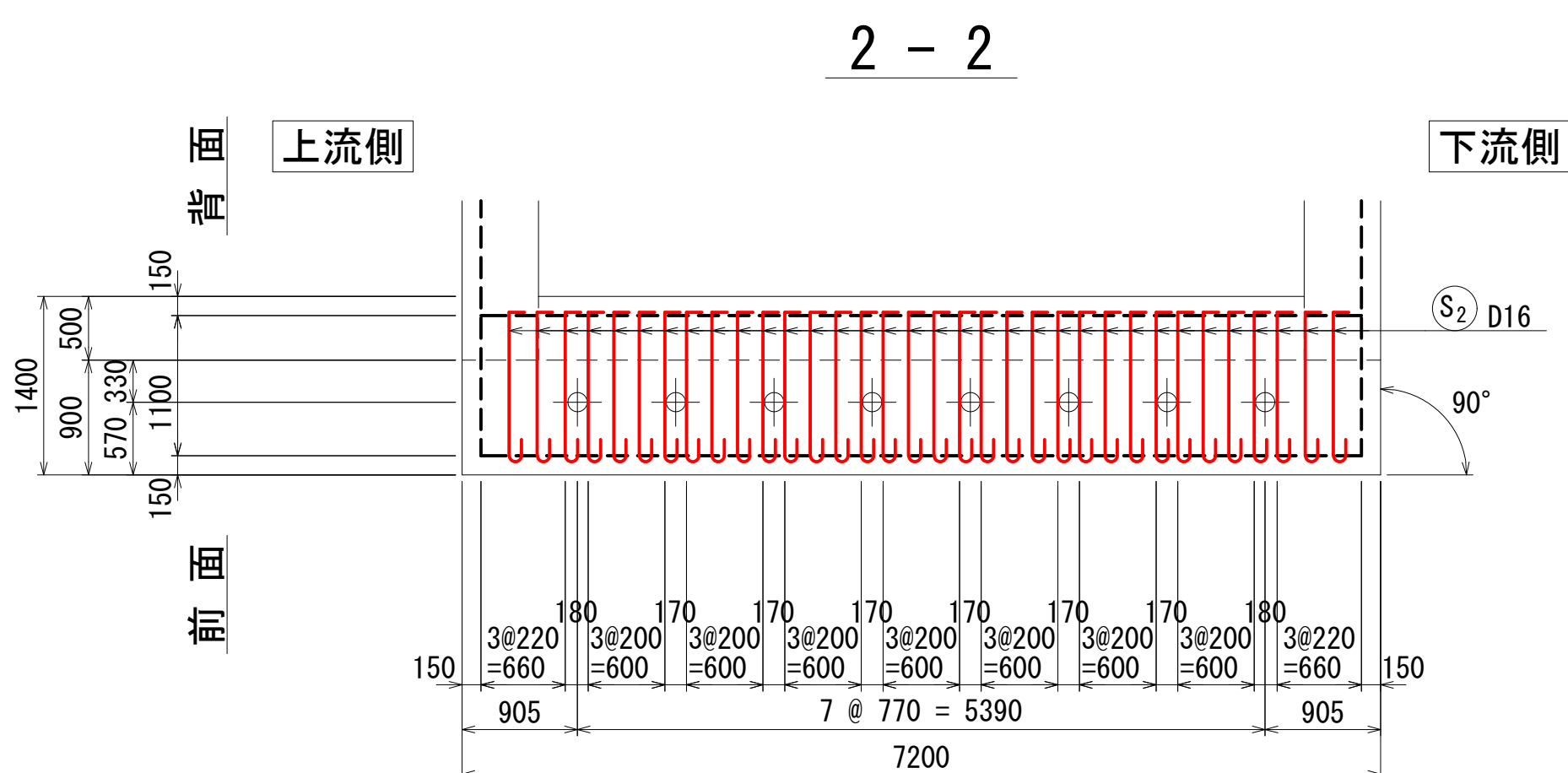


底版スターラップ詳細図

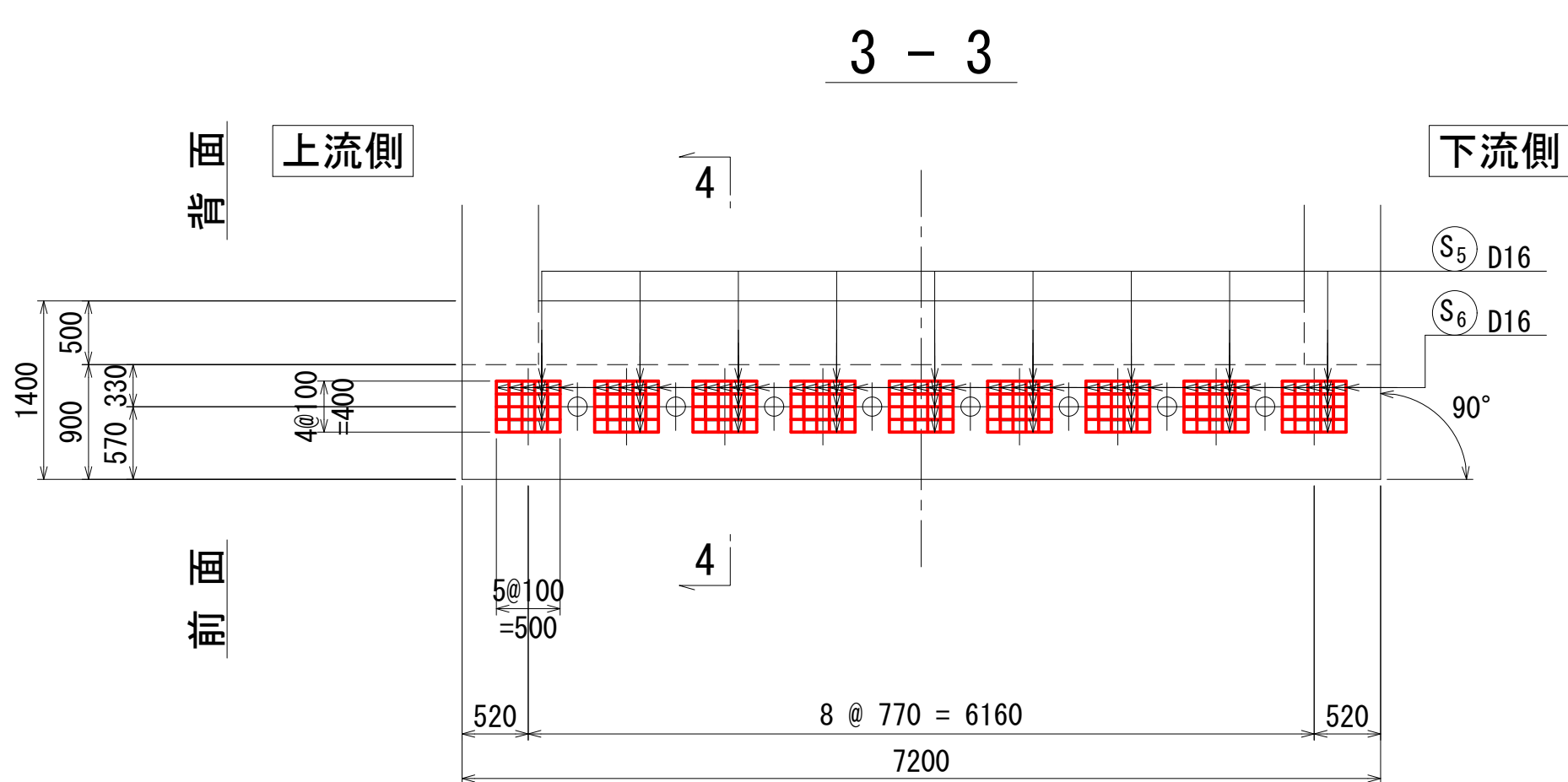
S=1:20



※ スターラップは、主鉄筋にかけて定着させること。
半円形フックを上側側に配置すること。
(引張側主鉄筋:上側)

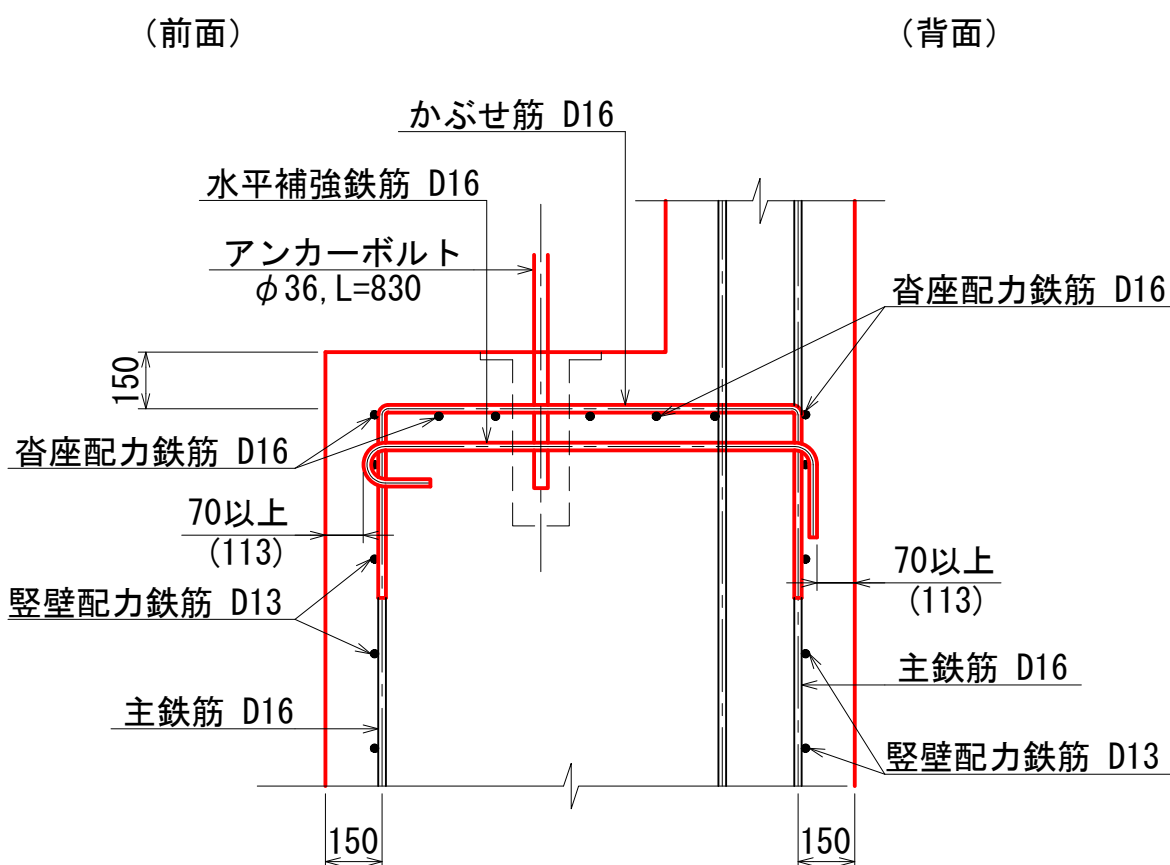


※ スターラップは、主鉄筋にかけて定着させること。
半円形フックを上側側に配置すること。
(引張側主鉄筋:上側)



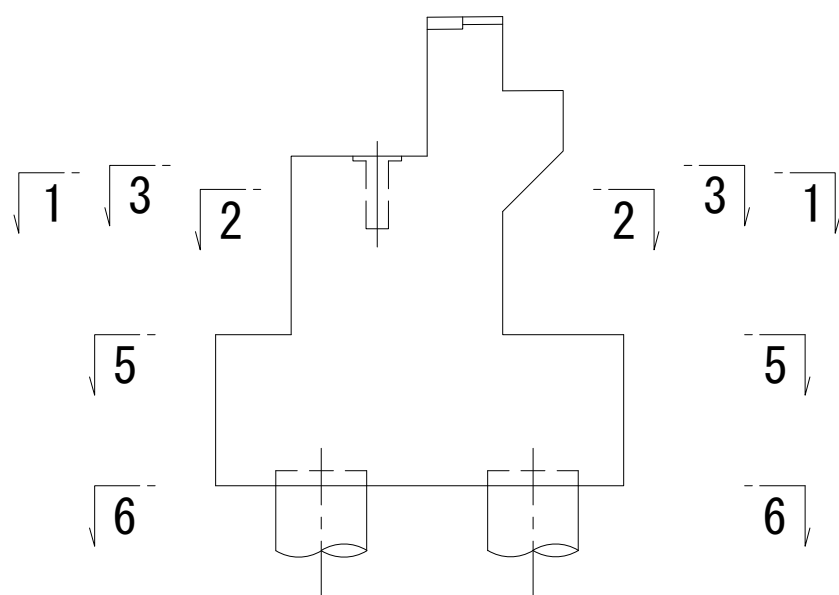
沓座筋詳細図

S=1:20



※ 水平補強鉄筋は、半円形フックを前面側に配置し
縦壁配力鉄筋にかけて定着させること。

位置図

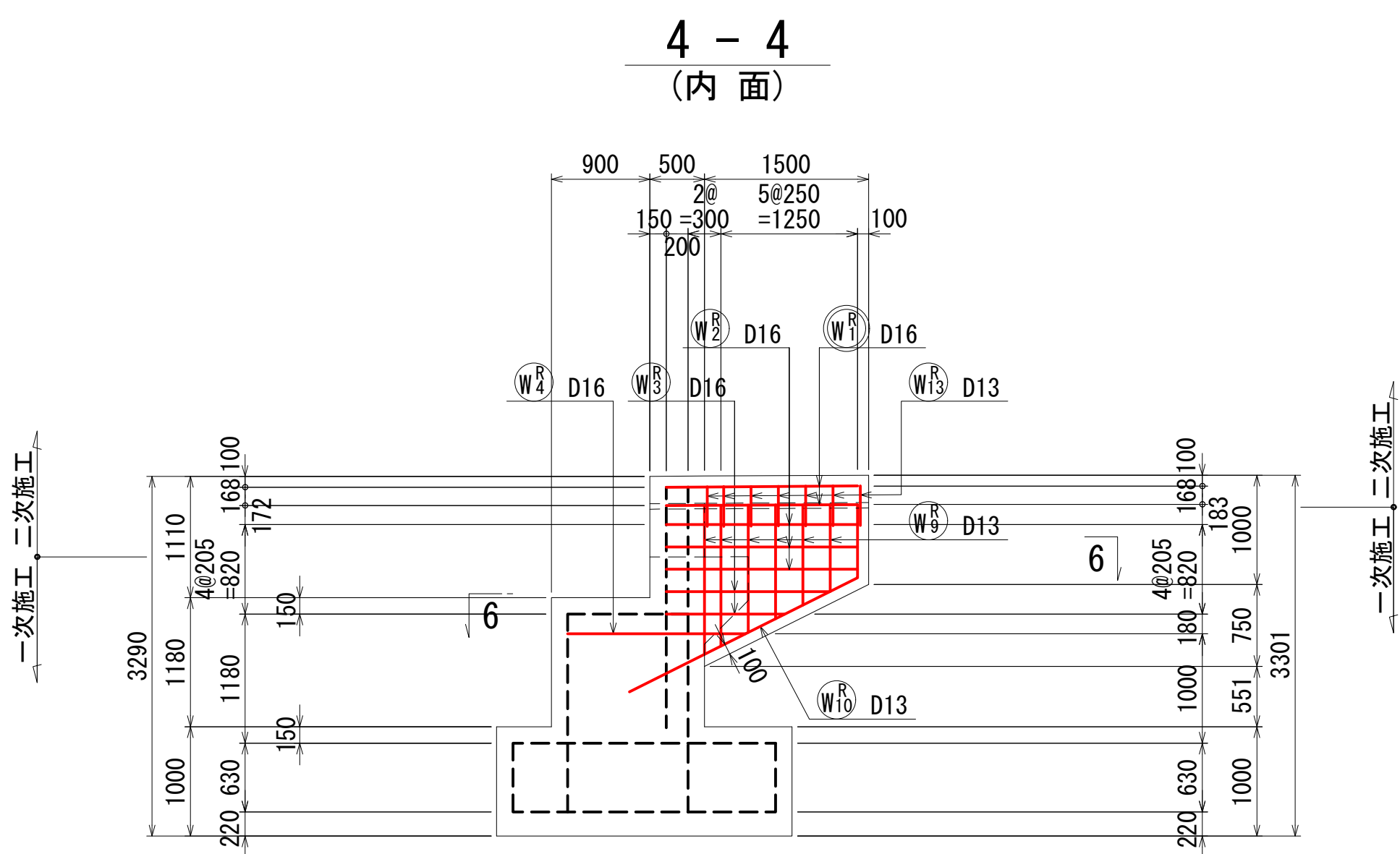
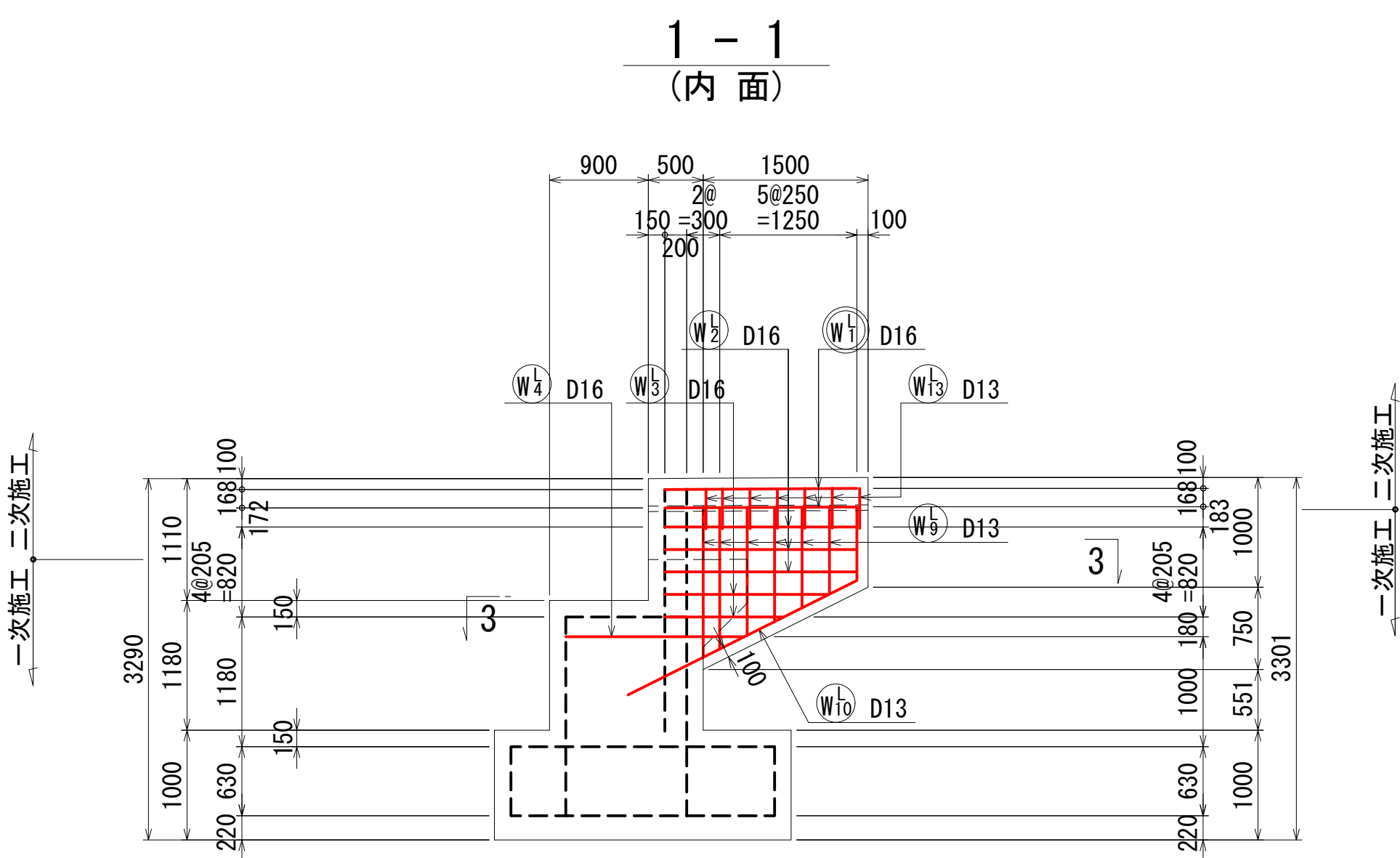


注) 1. 鉄筋の材質は、SD345 とする。
2. ◎ は、二次施工鉄筋とする。

年 度	令和 6 年度		
路線名	知利別町3丁目2条通線		
工事名	知利別川改修工事に伴う 知利別3丁目1条橋架替（下部工）工事		
図面名	A-2橋台配筋図(3)		
縮 尺	図示	図面番号	17
設計年月	令和 6 年 4 月		
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課		

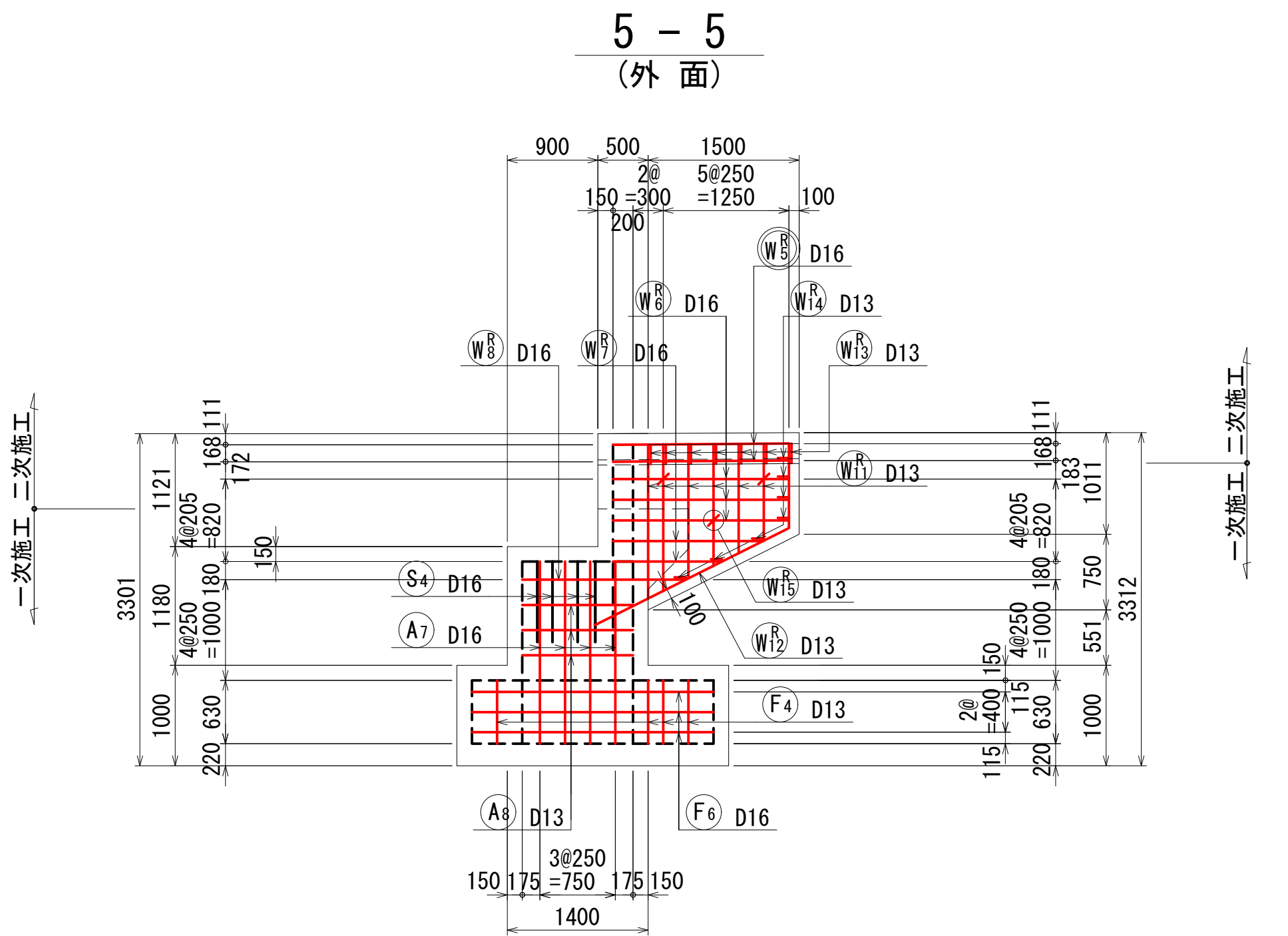
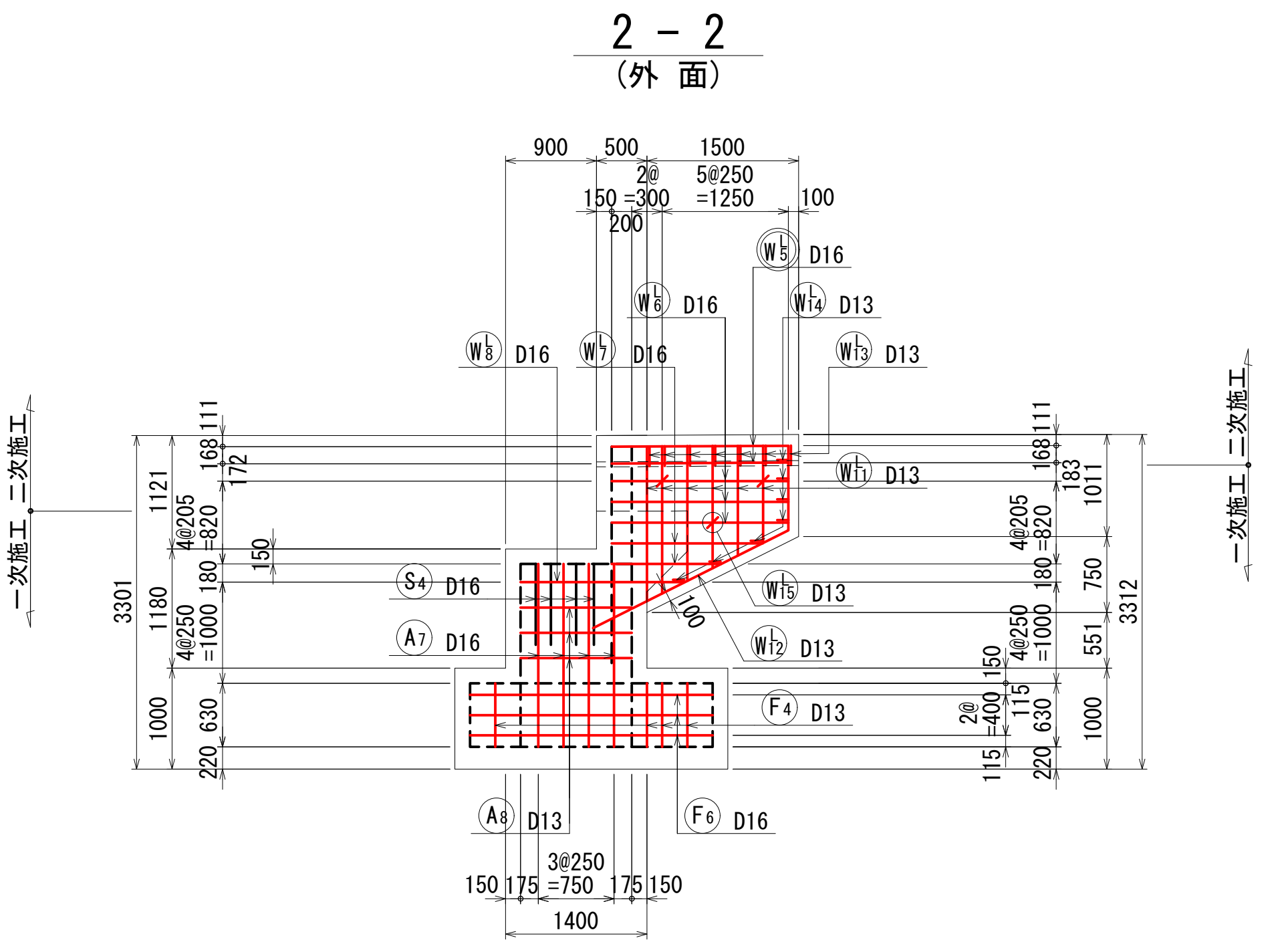
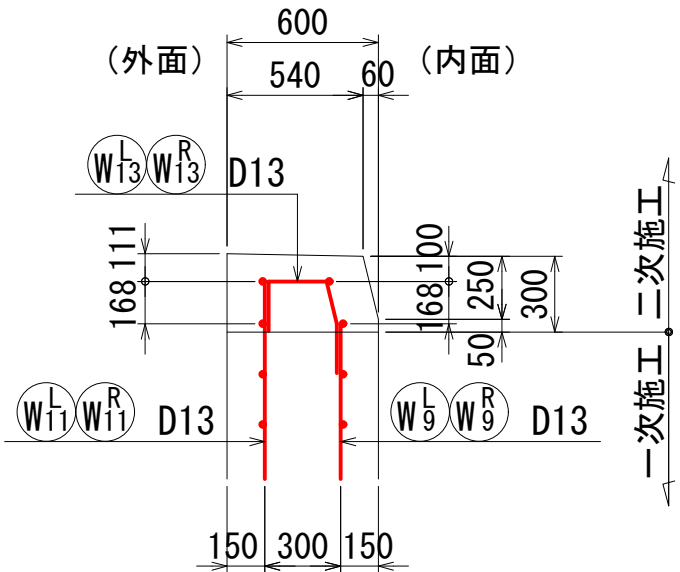
A-2橋台配筋図(4)

S=1:50



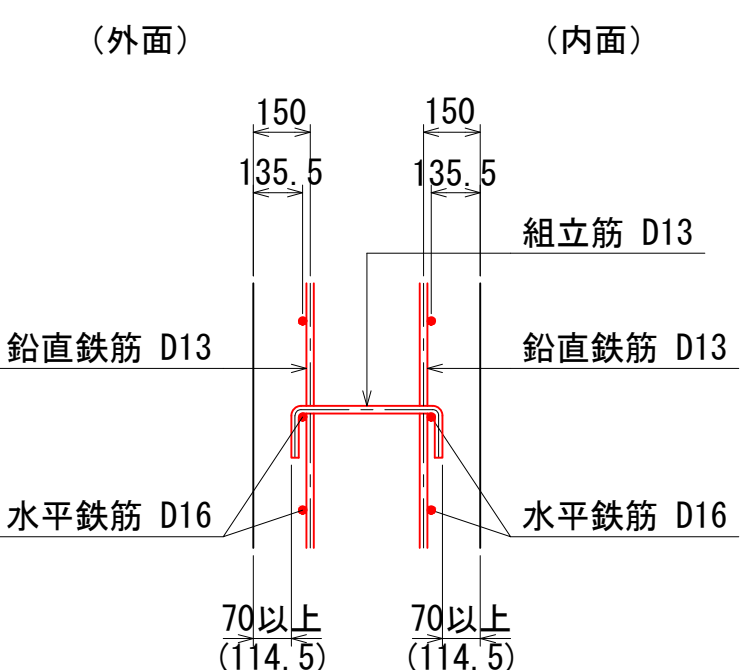
翼壁天端部詳細図

S=1:30

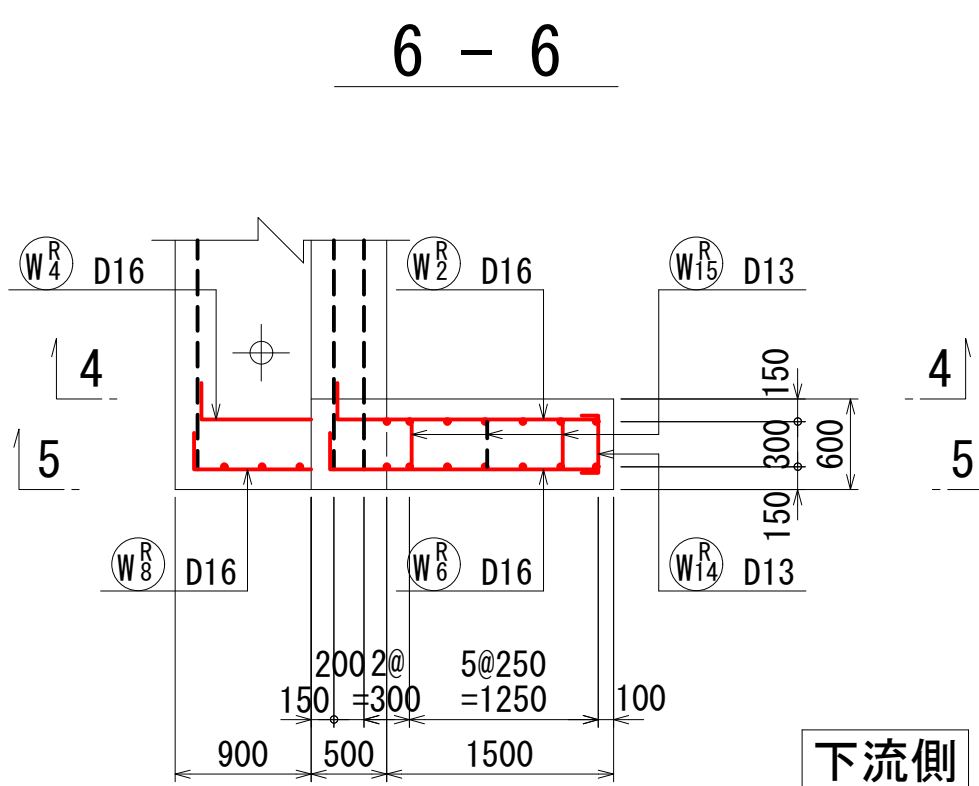
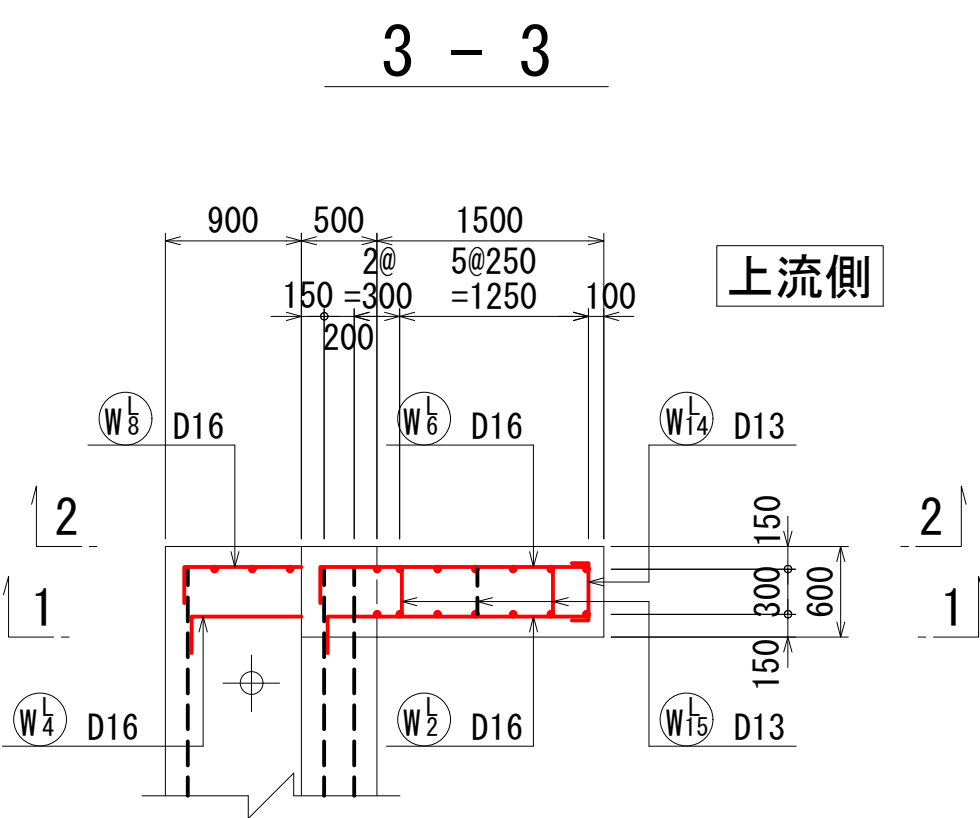


翼壁組立筋詳細図

S=1:20



※ 組立筋は、水平鉄筋にかけること。



注) 1. 鉄筋の材質は、SD345 とする。
2. ◎ は、二次施工鉄筋とする。

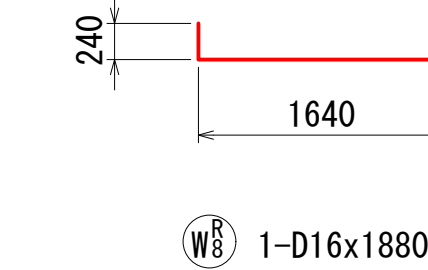
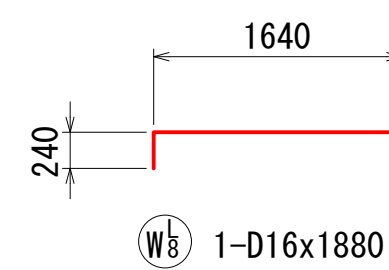
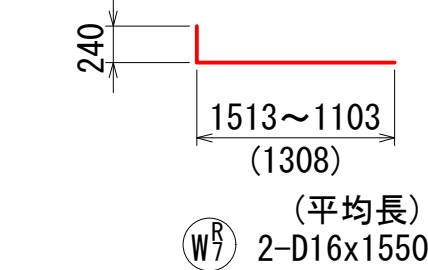
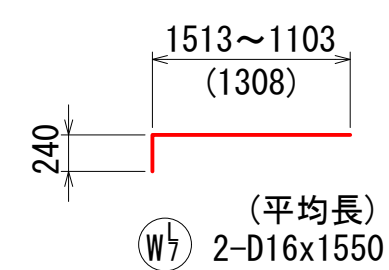
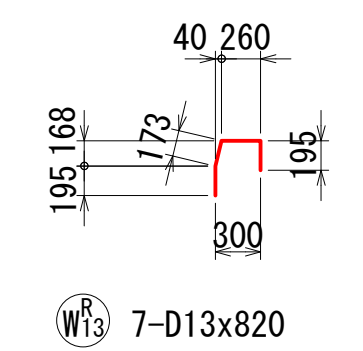
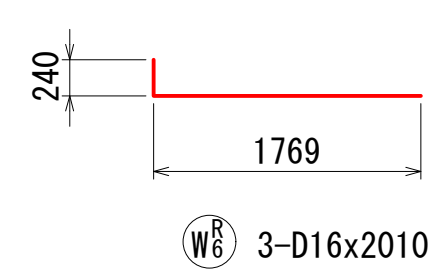
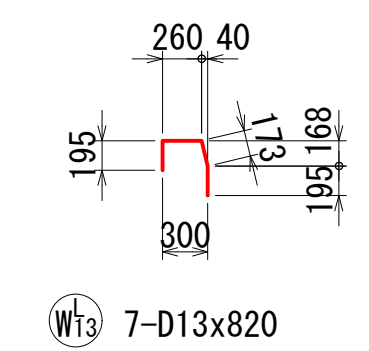
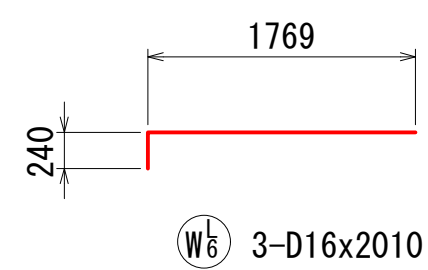
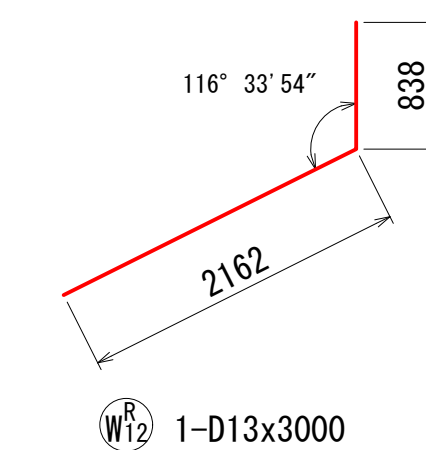
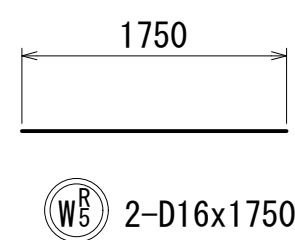
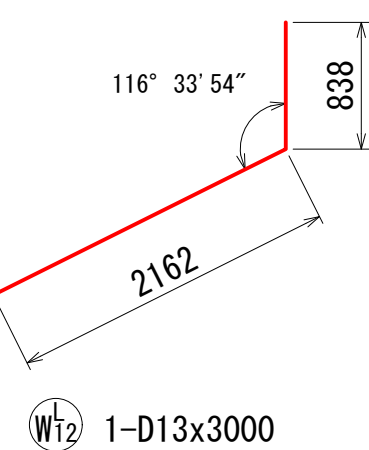
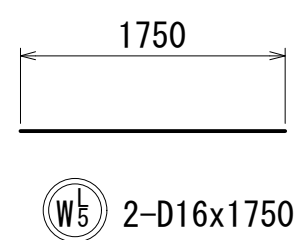
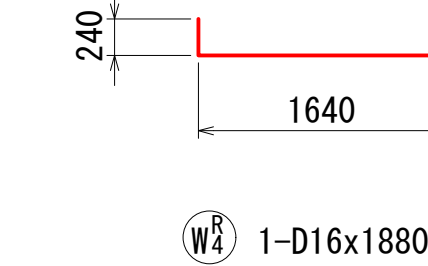
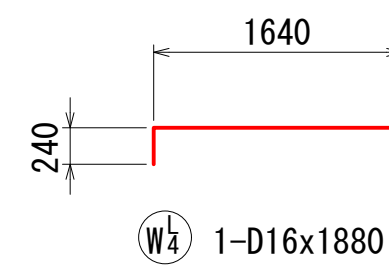
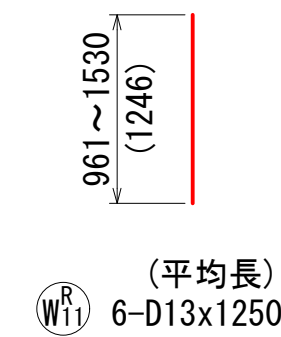
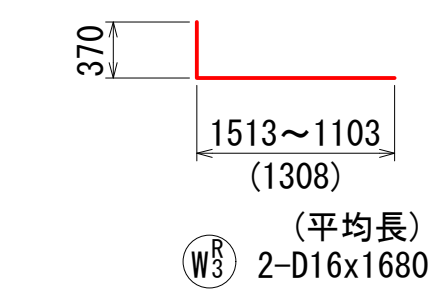
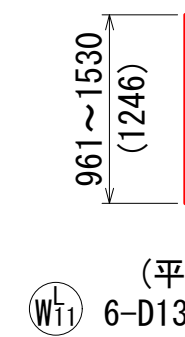
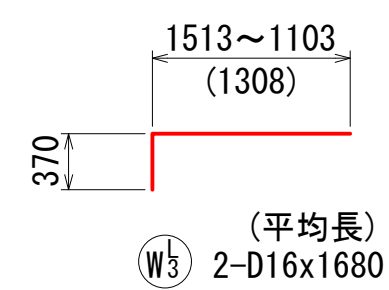
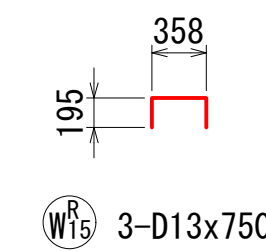
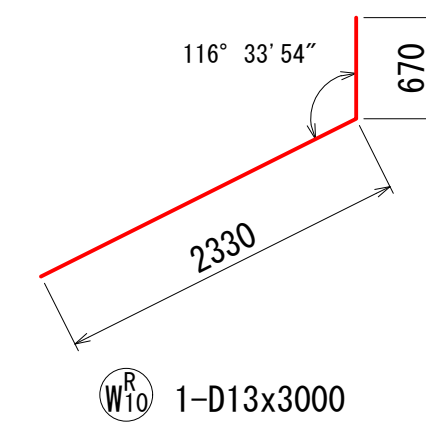
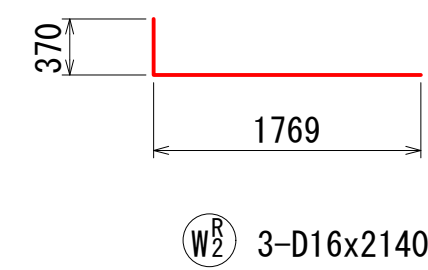
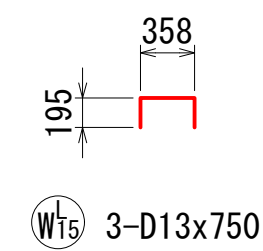
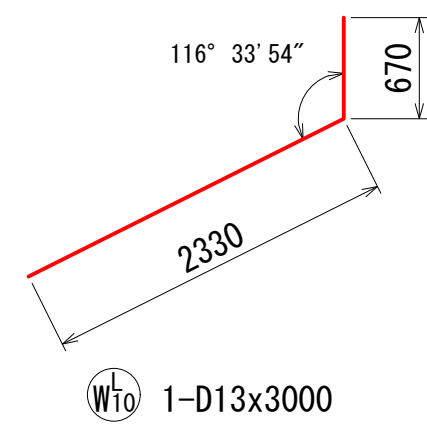
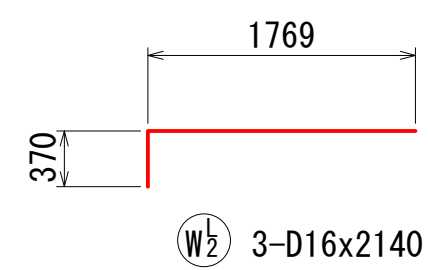
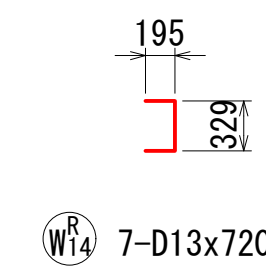
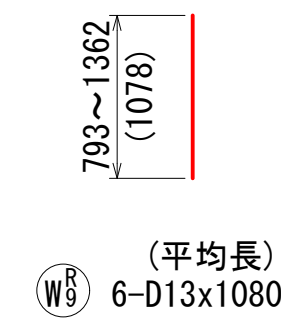
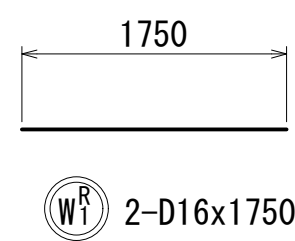
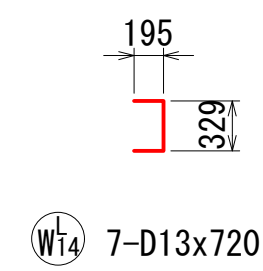
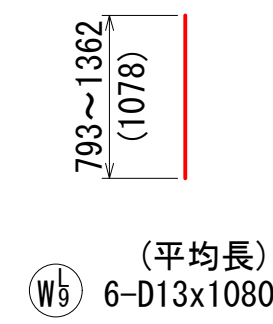
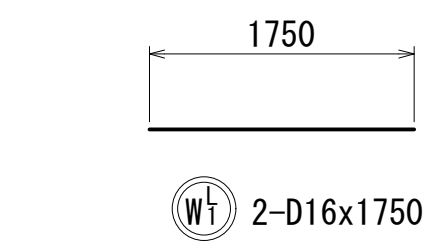
年 度	令和 6 年度		
路線名	知利別町3丁目2条通線		
工事名	知利別川改修工事に伴う 知利別3丁目1条橋架替（下部工）工事		
図面名	A-2橋台配筋図(4)		
縮 尺	図示	図面番号	18
設計年月	令和 6 年 4 月		
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課		

S=1:50

年 度	令和 6 年 度		
路線名	知利別町3丁目2条通線		
工事名	知利別川改修工事に伴う 知利別3丁目1条橋架替（下部工）工事		
図面名	A-2橋台配筋図(5)		
縮 尺	図示	図面番号	19
設計年月	令和 6 年 4 月		
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課		

A-2橋台配筋図(6)

S=1:50

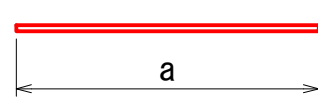
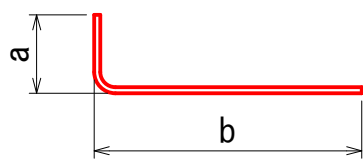
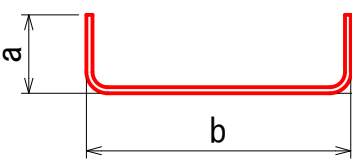
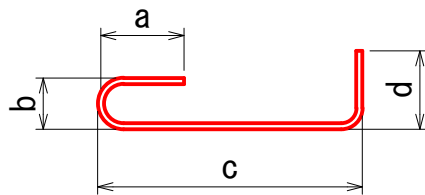
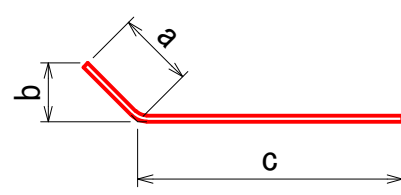
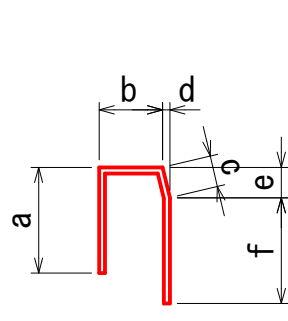
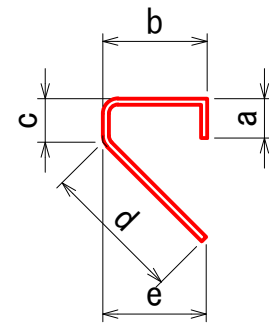


- 注) 1. 鉄筋の材質は、SD345 とする。
2. 鉄筋の曲げ加工は、鉄筋の中心寸法で表示している。
3. ◎ は、二次施工鉄筋とする。

年 度	令和 6 年度		
路線名	知利別町3丁目2条通線		
工事名	知利別川改修工事に伴う知利別3丁目1条橋架替（下部工）工事		
図面名	A-2橋台配筋図(6)		
縮 尺	図 示	図面番号	20
設計年月	令和 6 年 4 月		
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課		

A-2橋台配筋図(7)

鉄筋加工表

<div><div><p>形状 1</p></div><div><p>形状 2</p></div><div><p>形状 3</p></div><div><p>形状 4</p></div><div><p>形状 5</p></div><div><p>形状 6</p></div><div><p>形状 7</p></div></div>																			
部 材	鉄 筋 番 号	鋼 材 質	鉄 筋 公 称 径 (mm)	鉄筋長 (mm)	単 位 質 量 (kg/m)	1本当り 質 量 (kg)	部材数	各 部 材 の 鉄 筋 本 数	鉄 筋 総 数	総延長 (mm)	質 量 (kg)	形状 番号	曲 げ 寸 法 (mm)						備 考
													a	b	c	d	e	f	
底 版																			
	F1	SD345	D16	3660	1.560	5.71	1	29	29	106140	166	3	638	2416	638				
	F2	〃	D16	2880	1.560	4.49	1	29	29	83520	130	3	248	2416	248				
	F3	〃	D13	6900	0.995	6.87	1	8	8	55200	55	1	6900						
	F4	〃	D13	8220	0.995	8.18	1	4	4	32880	33	3	666	6913	666				
	F5	〃	D13	6900	0.995	6.87	1	8	8	55200	55	1	6900						
	F6	〃	D16	2910	1.560	4.54	1	6	6	17460	27	3	248	2448	248				
	F7	〃	D16	6900	1.560	10.76	1	6	6	41400	65	1	6900						
	F8	〃	D16	1130	1.560	1.76	1	7	7	7910	12	4	184	112	678	248			
	F9	〃	D16	1130	1.560	1.76	1	13	13	14690	23	4	184	112	678	248			
豎 壁																			
	A1	SD345	D16	2050	1.560	3.20	1	29	29	59450	93	2	248	1818					
	A2	〃	D16	2050	1.560	3.20	1	29	29	59450	93	2	248	1818					
	A3-a	〃	D13	5130	0.995	5.10	1	2	2	10260	10	4	166	91	4742	202			
	A3-b	〃	D13	3130	0.995	3.11	1	2	2	6260	6	4	166	91	2742	202			
	A4-a	〃	D13	5130	0.995	5.10	1	2	2	10260	10	4	166	91	4742	202			
	A4-b	〃	D13	3130	0.995	3.11	1	2	2	6260	6	4	166	91	2742	202			
	A5-a	〃	D13	5130	0.995	5.10	1	2	2	10260	10	4	166	91	4742	202			
	A5-b	〃	D13	3130	0.995	3.11	1	2	2	6260	6	4	166	91	2742	202			
	A6-a	〃	D13	5130	0.995	5.10	1	2	2	10260	10	4	166	91	4742	202			
	A6-b	〃	D13	3130	0.995	3.11	1	2	2	6260	6	4	166	91	2742	202			
	A7	〃	D16	2050	1.560	3.20	1	8	8	16400	26	2	248	1818					
	A8	〃	D13	1520	0.995	1.51	1	6	6	9120	9	3	202	1142	202				
	A9	〃	D13	1550	0.995	1.54	1	11	11	17050	17	4	166	91	1168	202			
沓 座																			
	S1	SD345	D16	2110	1.560	3.29	1	36	36	75960	118	3	778	1116	248				
	S2	〃	D16	1630	1.560	2.54	1	34	34	55420	86	4	184	112	1174	248			
	S3	〃	D16	6900	1.560	10.76	1	3	3	20700	32	1	6900						
	S4	〃	D16	8000	1.560	12.48	1	4	4	32000	50	3	558	6916	558				
	S5	〃	D16	1100	1.560	1.72	1	45	45	49500	77	3	308	516	308				
	S6	〃	D16	1000	1.560	1.56	1	54	54	54000	84	3	308	416	308				
胸 壁																			
	P1	SD345	D22	2000	3.040	6.08	1	29	29	58000	176	1	2000						
	P2	〃	D22	2000	3.040	6.08	1	29	29	58000	176	1	2000						
	P3	〃	D16	7420	1.560	11.58	1	6	6	44520	69	3	248	6954	248				
	P4	〃	D16	7420	1.560	11.58	1	2	2	14840	23	3	248	6954	248			二次施工	
	P5	〃	D16	6900	1.560	10.76	1	2	2	13800	22	5	3451	138	3451			二次施工	
	P6	〃	D13	2000	0.995	1.99	1	4	4	8000	8	6	875	271	178	42	173	700	
	P7	〃	D13	590	0.955	0.59	1	25	25	14750	15	3	202	213	202			二次施工	
	P8	〃	D13	670	0.995	0.67	1	7	7	4690	5	4	166	91	280	202			

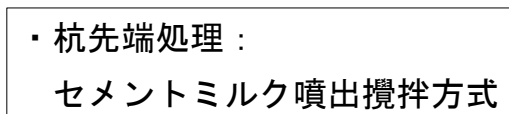
部 材	鉄 筋 番 号	鋼 材 質	鉄 筋 公 称 径 (mm)	鉄筋長 (mm)	単 位 質 量 (kg/m)	1本当り 質 量 (kg)	部材数	各 部 材 の 鉄 筋 本 数	鉄 筋 総 数	総延長 (mm)	質 量 (kg)	形状 番号	曲 げ 寸 法 (mm)						備 考
													a	b	c	d	e	f	
受 台																			
	U1	SD345	D16	2070	1.560	3.23	1	25	25	51750	81	7	248	666	270	923	664		
	U2	"	D13	6900	0.995	6.87	1	5	5	34500	34	5	3451	138	3451				
	U3	"	D22	500	3.040	1.52	1	9	9	4500	14	1	500						
翼 壁 L																			
	WL1	SD345	D16	1750	1.560	2.73	1	2	2	3500	5	1	1750						二次施工
	WL2	"	D16	2140	1.560	3.34	1	3	3	6420	10	2	378	1777					
	WL3	"	D16	1680	1.560	2.62	1	2	2	3360	5	2	378	1521 ~1111					平均長
	WL4	"	D16	1880	1.560	2.93	1	1	1	1880	3	2	248	1648					
	WL5	"	D16	1750	1.560	2.73	1	2	2	3500	5	1	1750						二次施工
	WL6	"	D16	2010	1.560	3.14	1	3	3	6030	9	2	248	1777					
	WL7	"	D16	1550	1.560	2.42	1	2	2	3100	5	2	248	1521 ~1111					平均長
	WL8	"	D16	1880	1.560	2.93	1	1	1	1880	3	2	248	1648					
	WL9	"	D13	1080	0.995	1.07	1	6	6	6480	6	1	793 ~1362						平均長
	WL10	"	D13	3000	0.995	2.99	1	1	1	3000	3	5	674	610	2335				
	WL11	"	D13	1250	0.995	1.24	1	6	6	7500	7	1	961 ~1530						平均長
	WL12	"	D13	3000	0.995	2.99	1	1	1	3000	3	5	842	761	2167				
	WL13	"	D13	820	0.995	0.82	1	7	7	5740	6	6	202	271	178	42	173	196	
	WL14	"	D13	720	0.995	0.72	1	7	7	5040	5	3	202	342	202				
	WL15	"	D13	750	0.995	0.75	1	3	3	2250	2	3	202	371	202				
翼 壁 R																			
	WR1	SD345	D16	1750	1.560	2.73	1	2	2	3500	5	1	1750						二次施工
	WR2	"	D16	2140	1.560	3.34	1	3	3	6420	10	2	378	1777					
	WR3	"	D16	1680	1.560	2.62	1	2	2	3360	5	2	378	1521 ~1111					平均長
	WR4	"	D16	1880	1.560	2.93	1	1	1	1880	3	2	248	1648					
	WR5	"	D16	1750	1.560	2.73	1	2	2	3500	5	1	1750						二次施工
	WR6	"	D16	2010	1.560	3.14	1	3	3	6030	9	2	248	1777					
	WR7	"	D16	1550	1.560	2.42	1	2	2	3100	5	2	248	1521 ~1111					平均長
	WR8	"	D16	1880	1.560	2.93	1	1	1	1880	3	2	248	1648					
	WR9	"	D13	1080	0.995	1.07	1	6	6	6480	6	1	793 ~1362						平均長
	WR10	"	D13	3000	0.995	2.99	1	1	1	3000	3	5	674	610	2335				
	WR11	"	D13	1250	0.995	1.24	1	6	6	7500	7	1	961 ~1530						平均長
	WR12	"	D13	3000	0.995	2.99	1	1	1	3000	3	5	842	761	2167				
	WR13	"	D13	820	0.995	0.82	1	7	7	5740	6	6	202	271	178	42	173	196	
	WR14	"	D13	720	0.995	0.72	1	7	7	5040	5	3	202	342	202				
	WR15	"	D13	750	0.995	0.75	1	3	3	2250	2	3	202	371	202				
合 計													2092	(kg)					

鉄筋径別集計(一次施工)

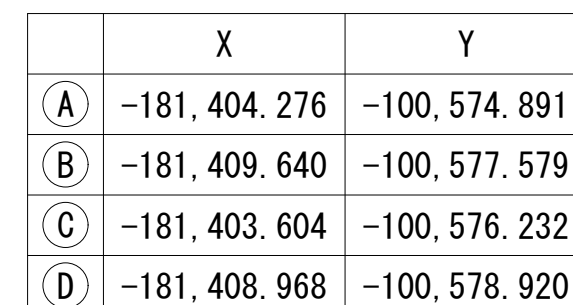
D10	0 kg	}	1668 kg
D13	344 kg		
D16	1302 kg		
D19	0 kg		
D22	366 kg	}	0 kg
D25	0 kg		
D29	0 kg		
D32	0 kg	}	
合 計 = 2012 kg			

(中掘り工法 SKK400, ϕ 600, t=9mm)

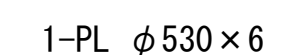
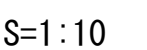
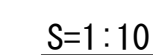
S=1:50



S=1:50



S=1:10

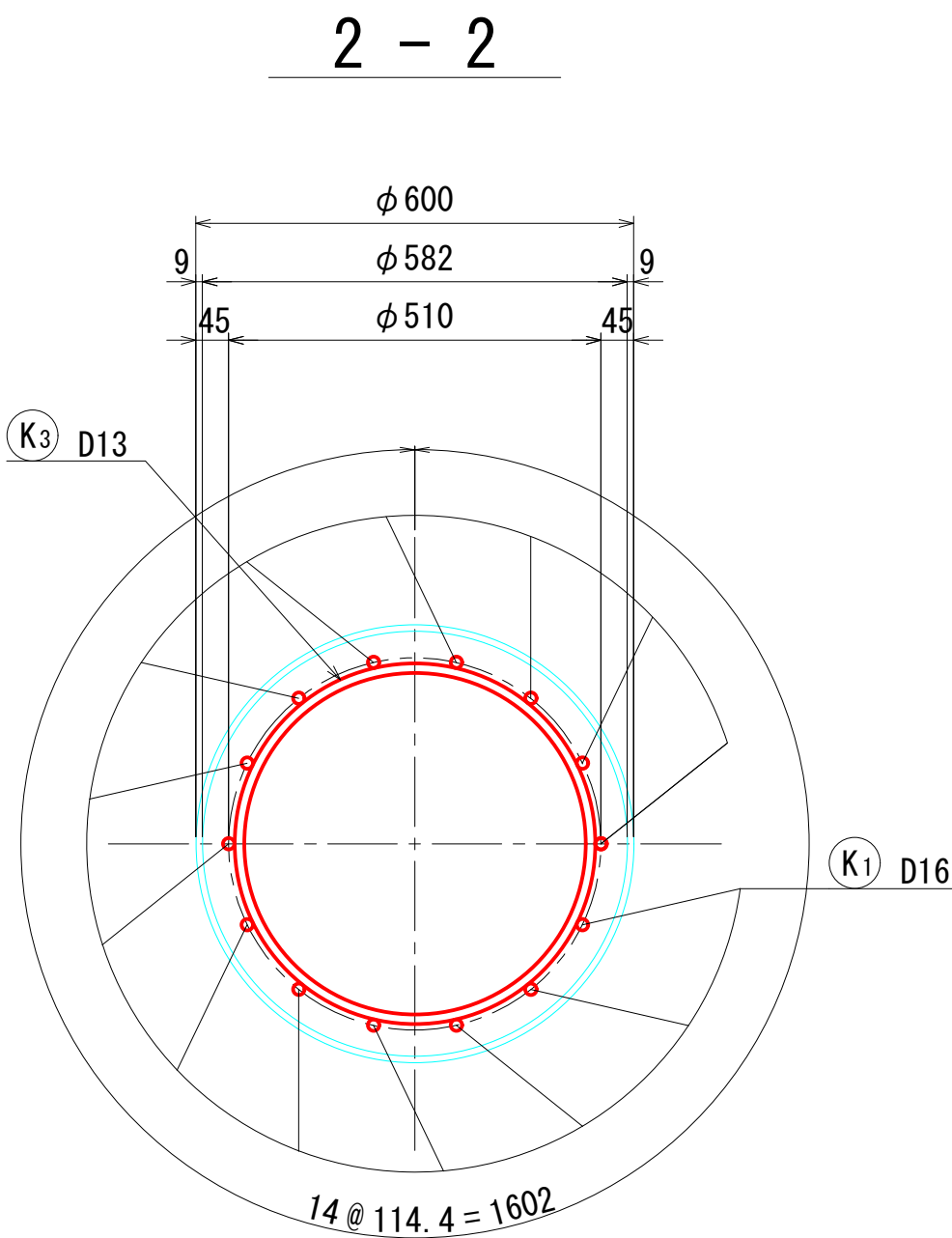
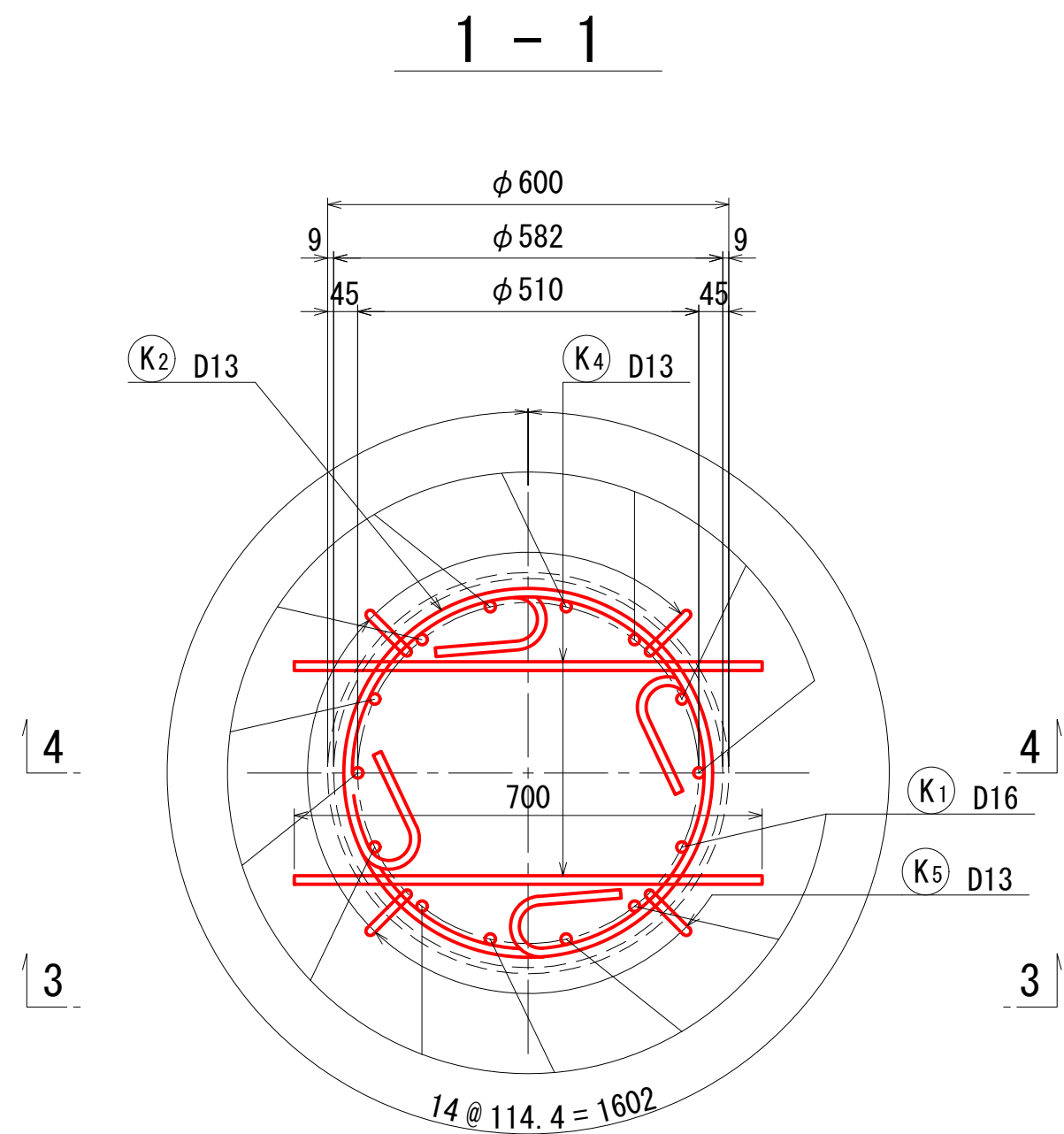


年 度	令和 6 年 度		
路線名	知利別町3丁目2条通線		
工事名	知利別川改修工事に伴う 知利別3丁目1条橋架替（下部工）工事		
図面名	A-1橋台鋼管杭許細図(1)		
縮 尺	図示	図面番号	22
設計年月	令和 6 年 4 月		
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課		

A-1橋台鋼管杭詳細図(2)

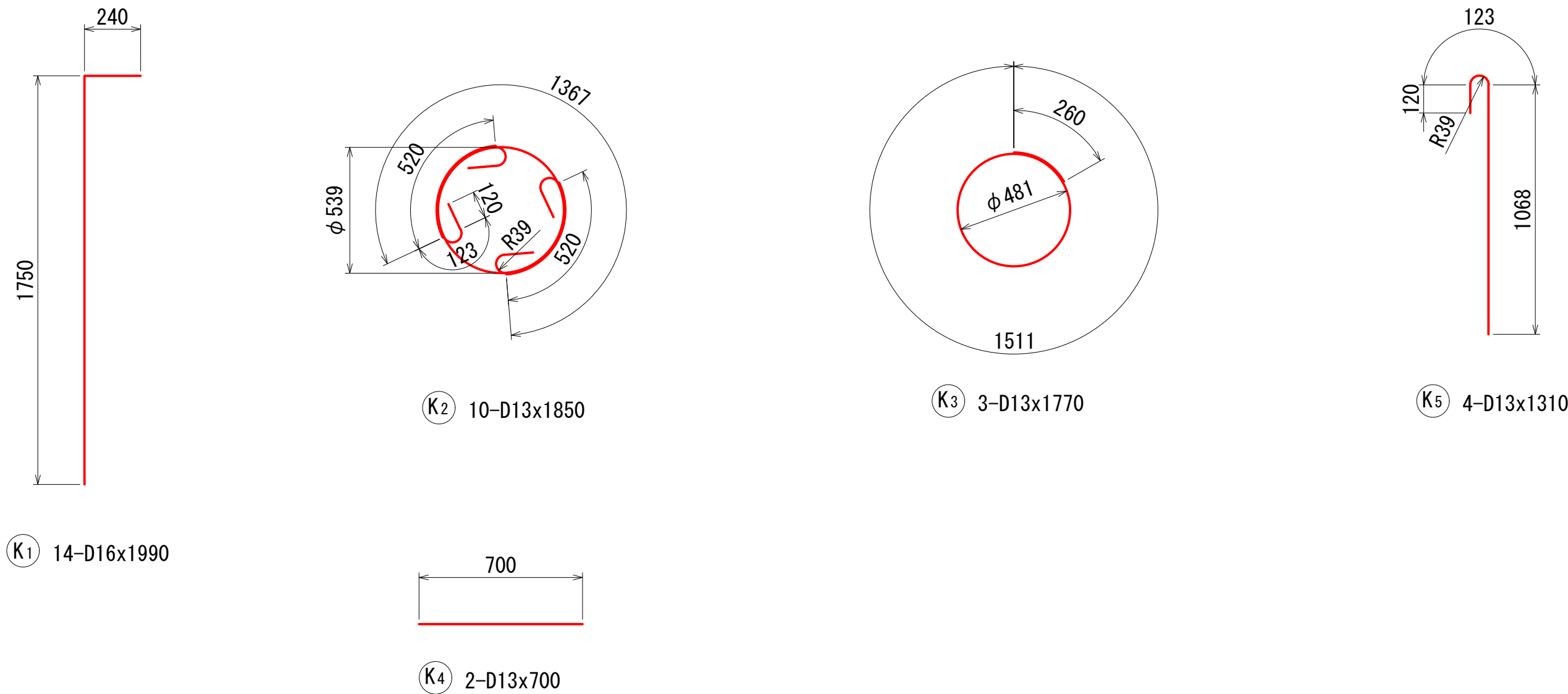
(中掘り工法 SKK400, φ 600, t=9mm)

S=1:10



鉄筋加工図
(杭1本当り)

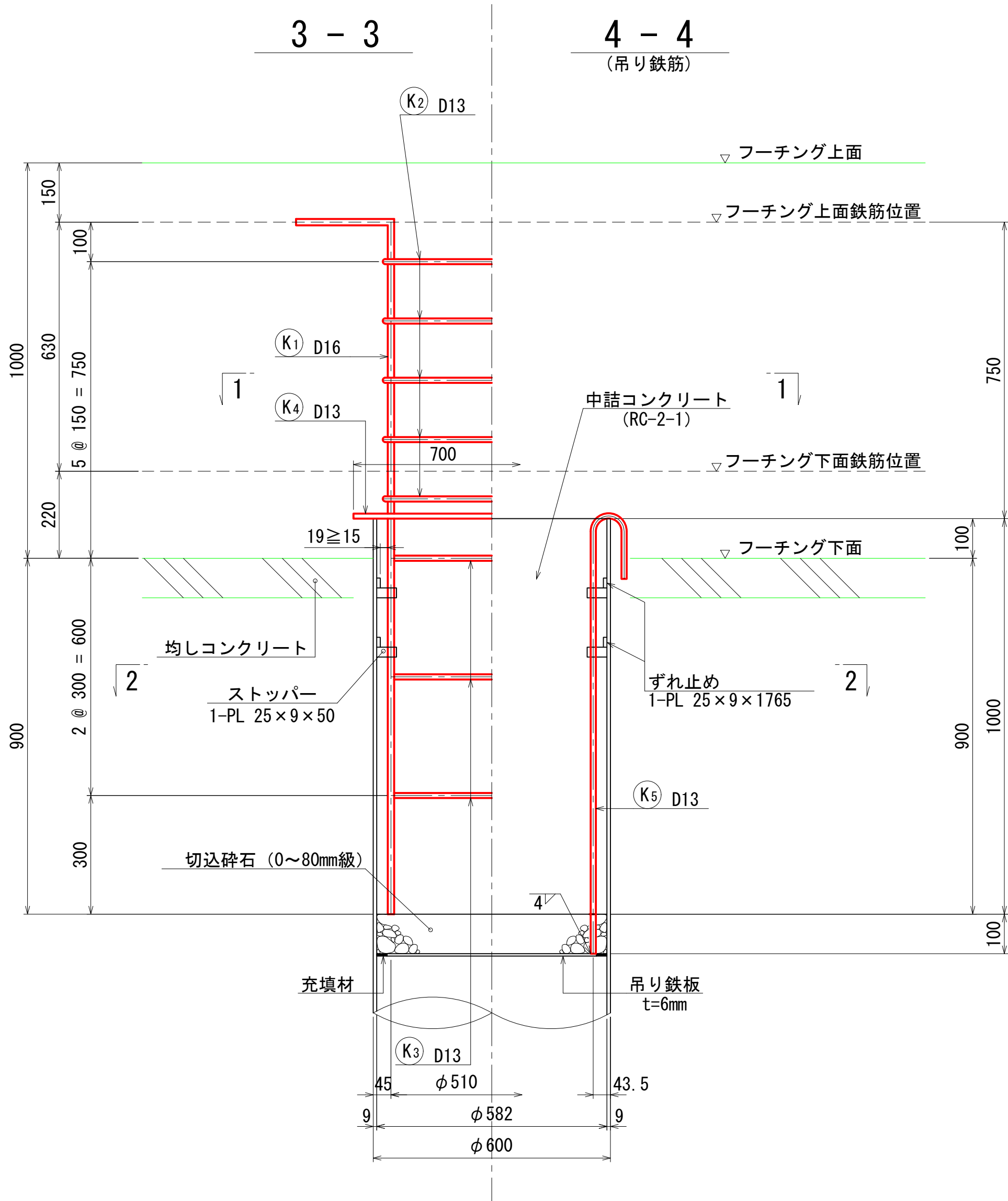
S=1:20



3 - 3

4 - 4

(吊り鉄筋)



鉄筋加工表 (杭1本当り)

部 材	鉄 筋 番 号	鋼 材 質	鉄 筋 公 称 径 (mm)	鉄 筋 長 (mm)	単 位 質 量 (kg/m)	1本当り 質 量 (kg)	部材数	各 部 材 の 鉄 筋 本 数	鉄 筋 総 数	総 延 長 (mm)	質 量 (kg)	形 状 番 号	曲 げ 寸 法 (mm)				
													a	b	c	d	R
杭	K1	SD345	D16	1990	1.560	3.10	4	14	56	111440	43	1	248	1758			
	K2	"	D13	1850	0.995	1.84	4	10	40	74000	18	3	166	91	1400		263
	K3	"	D13	1770	0.995	1.76	4	3	12	21240	5	4	494	267			
	K4	"	D13	700	0.995	0.70	4	2	8	5600	1	2	700				
	K5	"	D13	1310	0.995	1.30	4	4	16	20960	5	5	166	91	1114		
杭1本当り 合 計 =												72 (kg)					
杭4本当り 合 計 =												288 (kg)					

鉄筋径別集計

杭1本当り

D10	0 kg
D13	29 kg
D16	43 kg
D19	0 kg
D22	0 kg
D25	0 kg
D29	0 kg
D32	0 kg
合 計 = 72 kg	

鉄筋径別集計

杭4本当り

D10	0 kg
D13	116 kg
D16	172 kg
D19	0 kg
D22	0 kg
D25	0 kg
D29	0 kg
D32	0 kg
合 計 = 288 kg	

- 注) 1. 鉄筋の材質は、SD345とする。
2. 主筋はかぶりを確保し、ずれないよう施工のこと。
3. 帯鉄筋の重ね継ぎ手位置は、同一箇所集中させないよう位置を交互にして配置すること。
4. 鉄筋の曲げ加工寸法表示は、2009年度改訂版(土木製図基準)準拠する。
5. 曲げ寸法は、円弧部の曲げ半径は鉄筋の内径を示し、円弧以外は鉄筋の外形寸法を示す。
6. 鉄筋長は、鉄筋の中心寸法で示す。

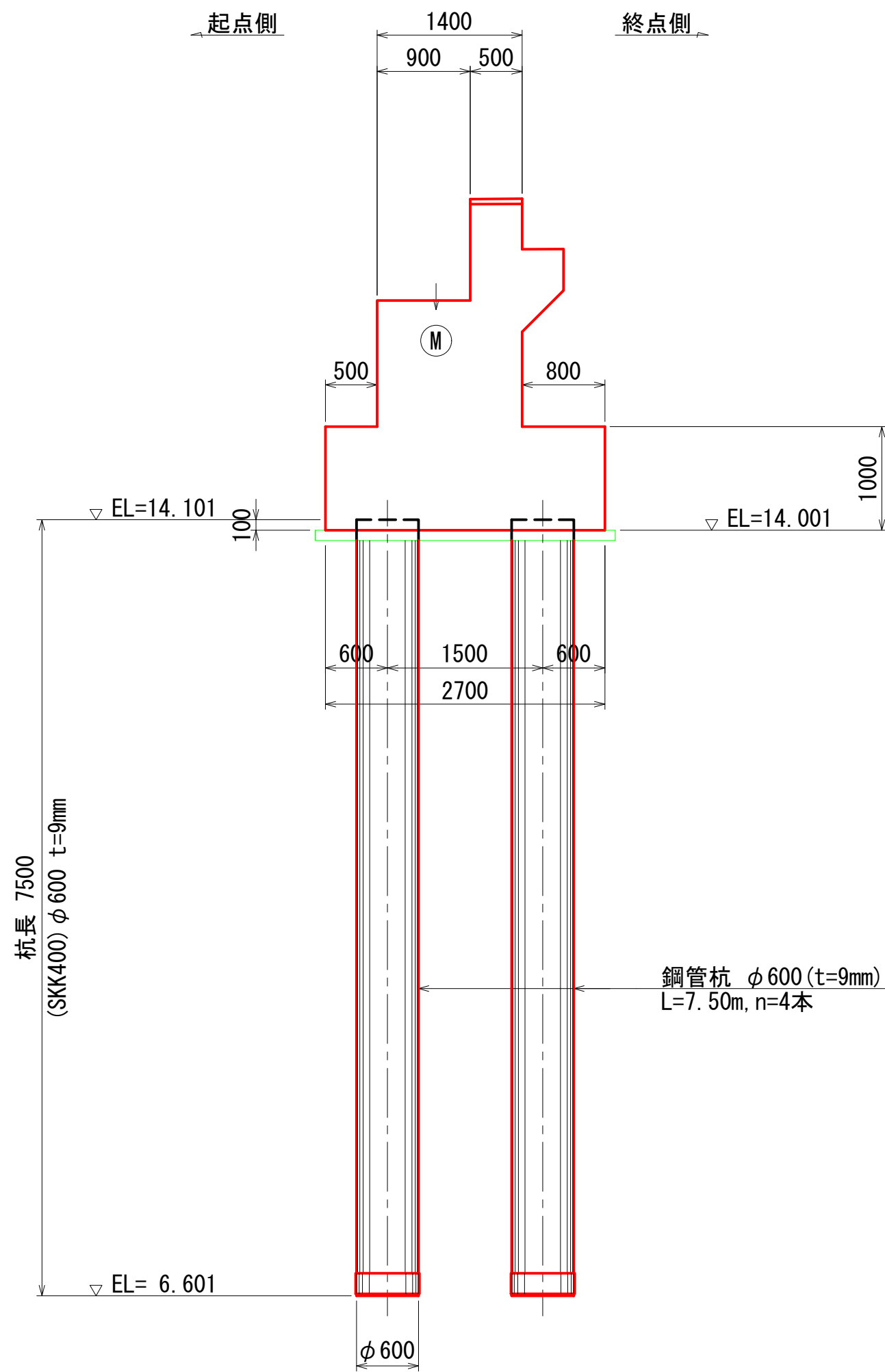
年 度	令和 6 年度		
路線名	知利別町3丁目2条通線		
工事名	知利別川改修工事に伴う知利別3丁目1条橋架替(下部工)工事		
図面名	A-1橋台鋼管杭詳細図(2)		
縮 尺	図示	図面番号	23
設計年月	令和 6 年 4 月		
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課		

A-2橋台鋼管杭詳細図(1)

(中掘り工法 SKK400, ϕ 600, t=9mm)

杭姿図

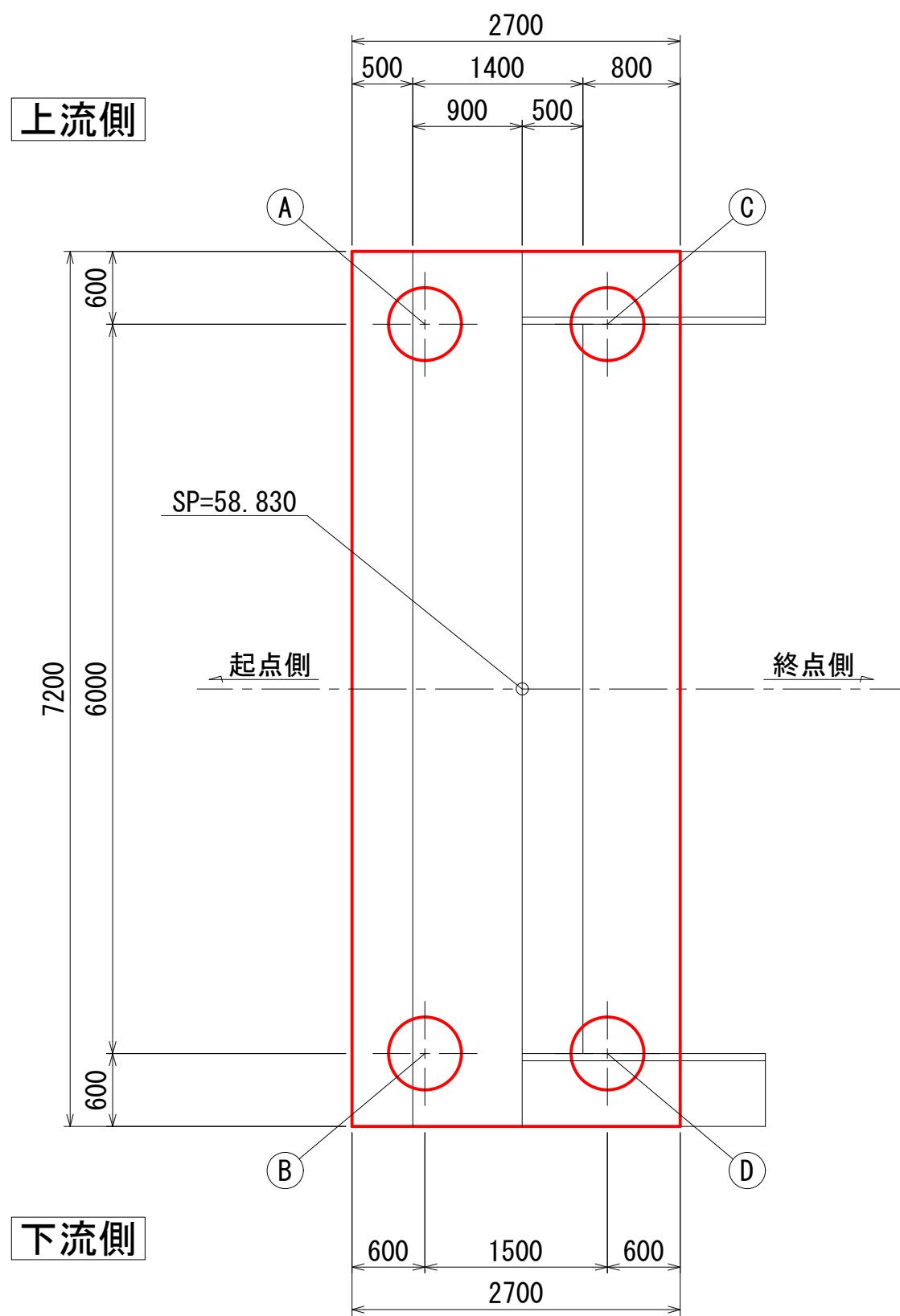
S=1:50



・杭先端処理：
セメントミルク噴出攪拌方式

平面図

S=1:50

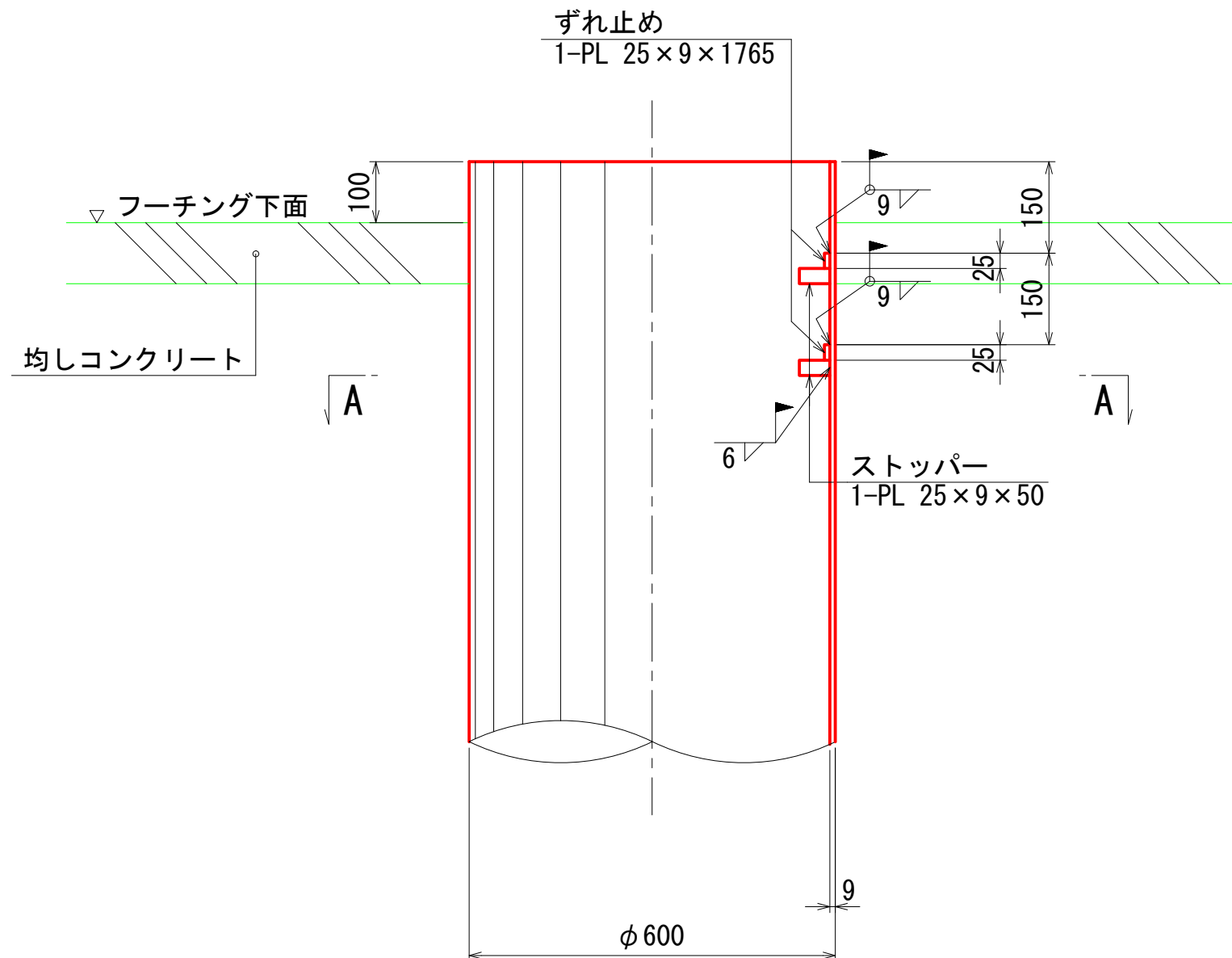


杭座標値 (大座標値)

	X	Y
(A)	-181,411.471	-100,560.532
(B)	-181,416.835	-100,563.220
(C)	-181,412.143	-100,559.191
(D)	-181,417.507	-100,561.879

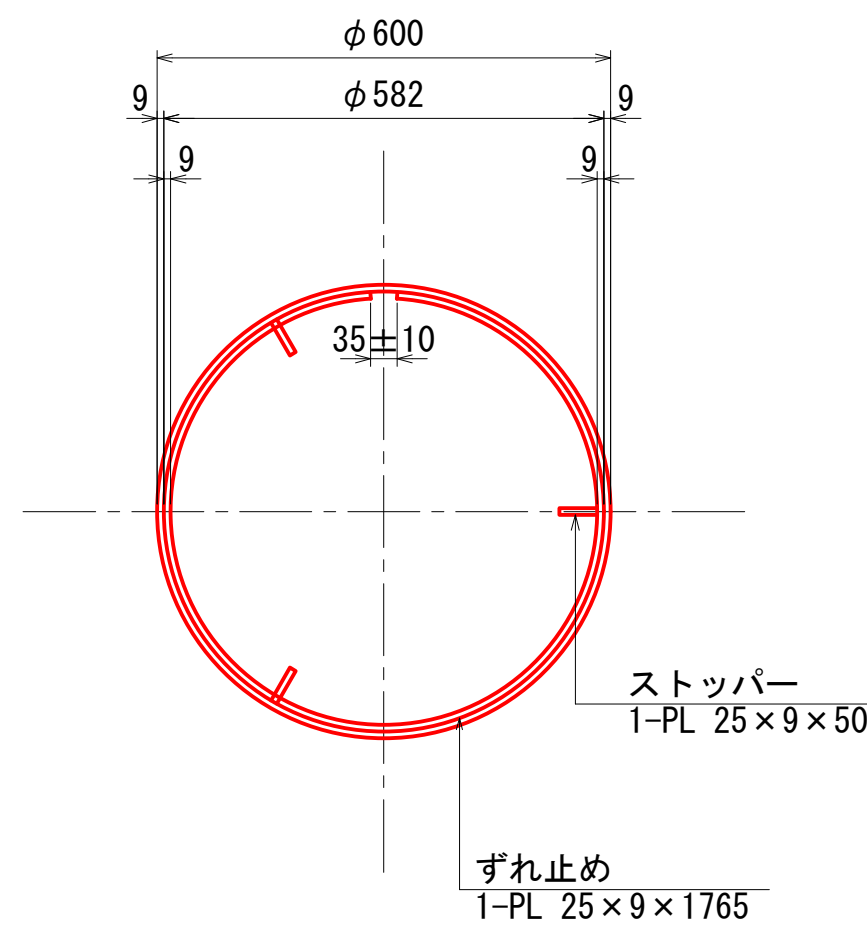
杭頭詳細図

S=1:10



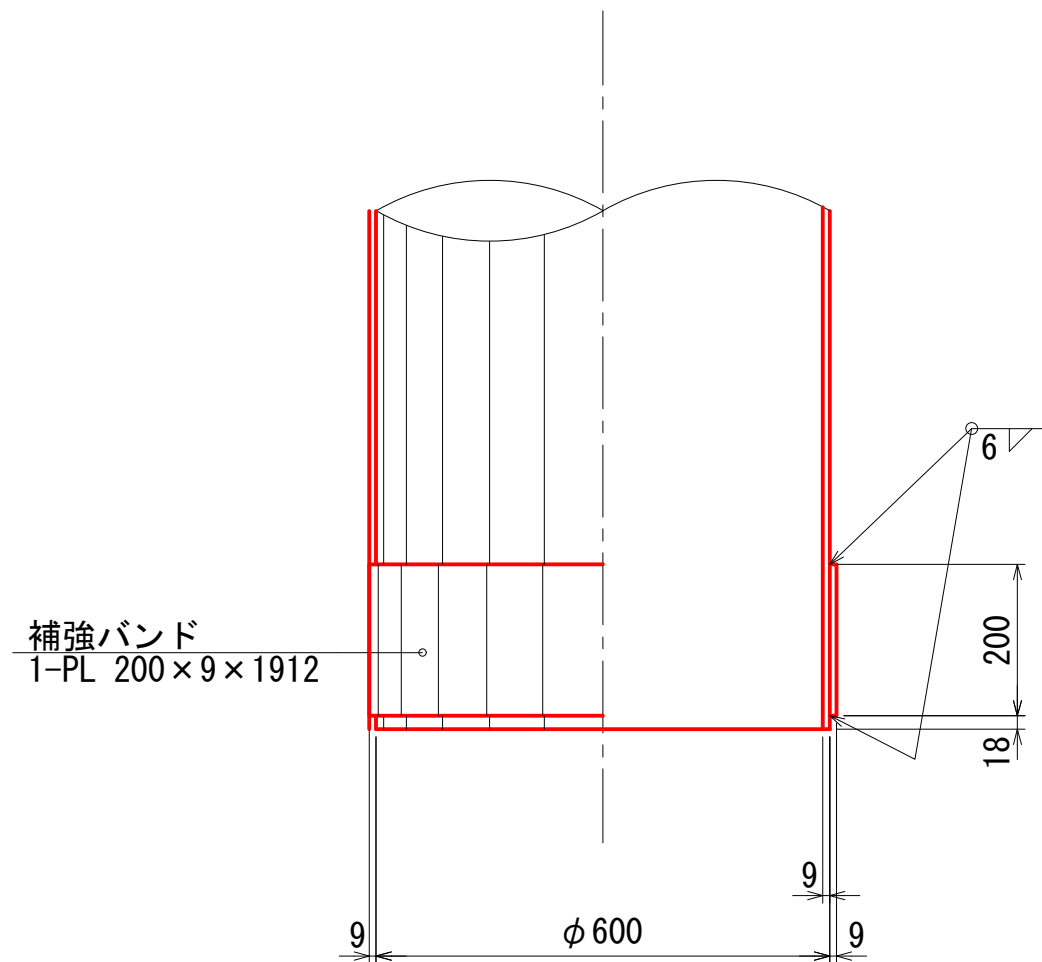
A - A

S=1:10



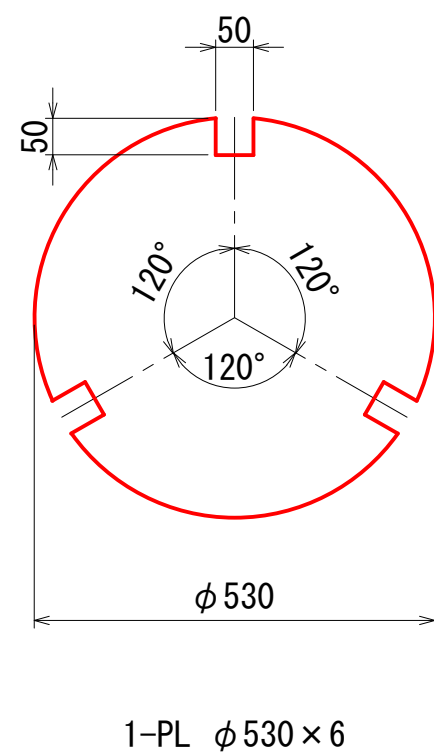
杭先端補強バンド

S=1:10



吊り鉄板

S=1:10

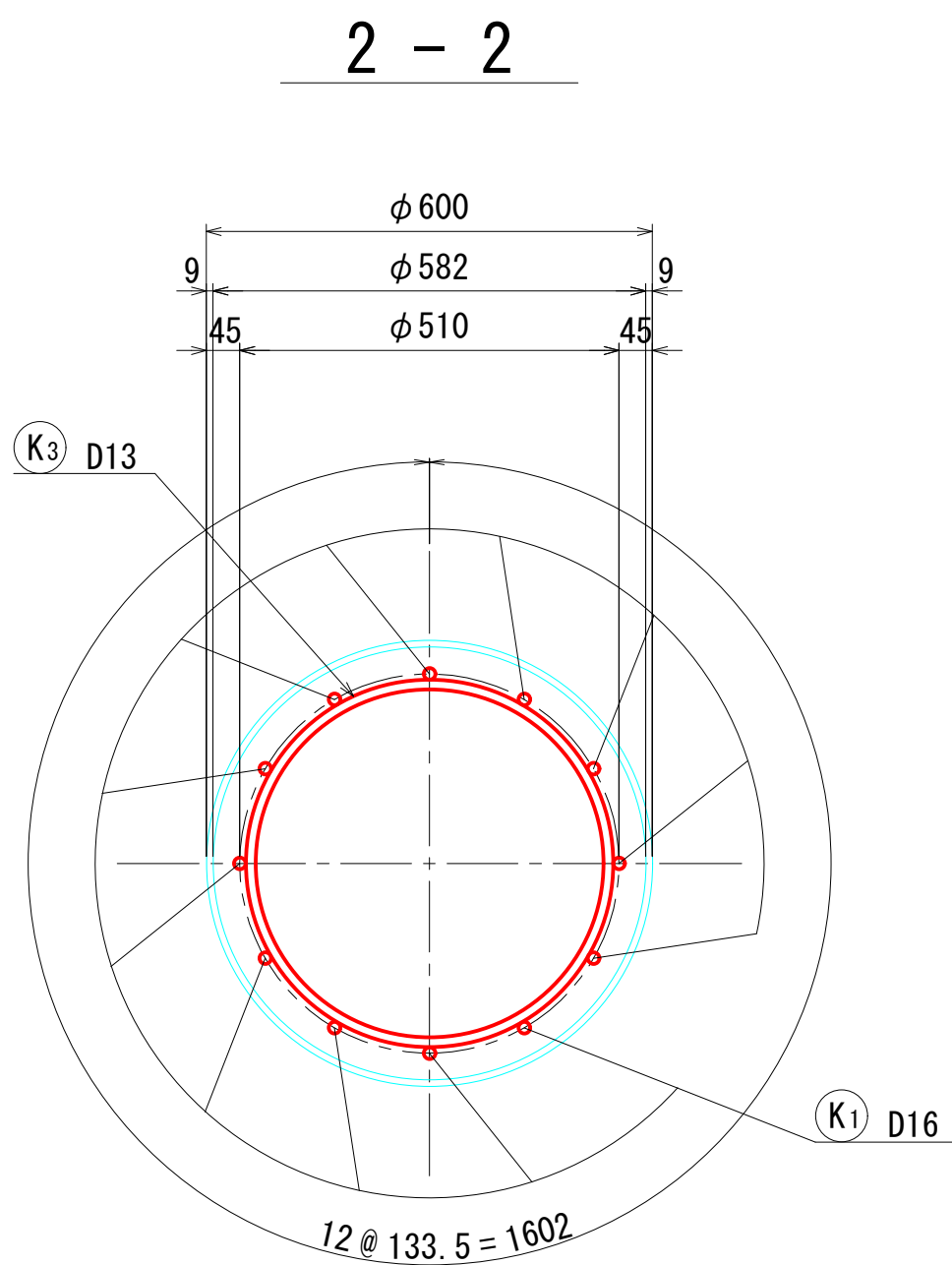
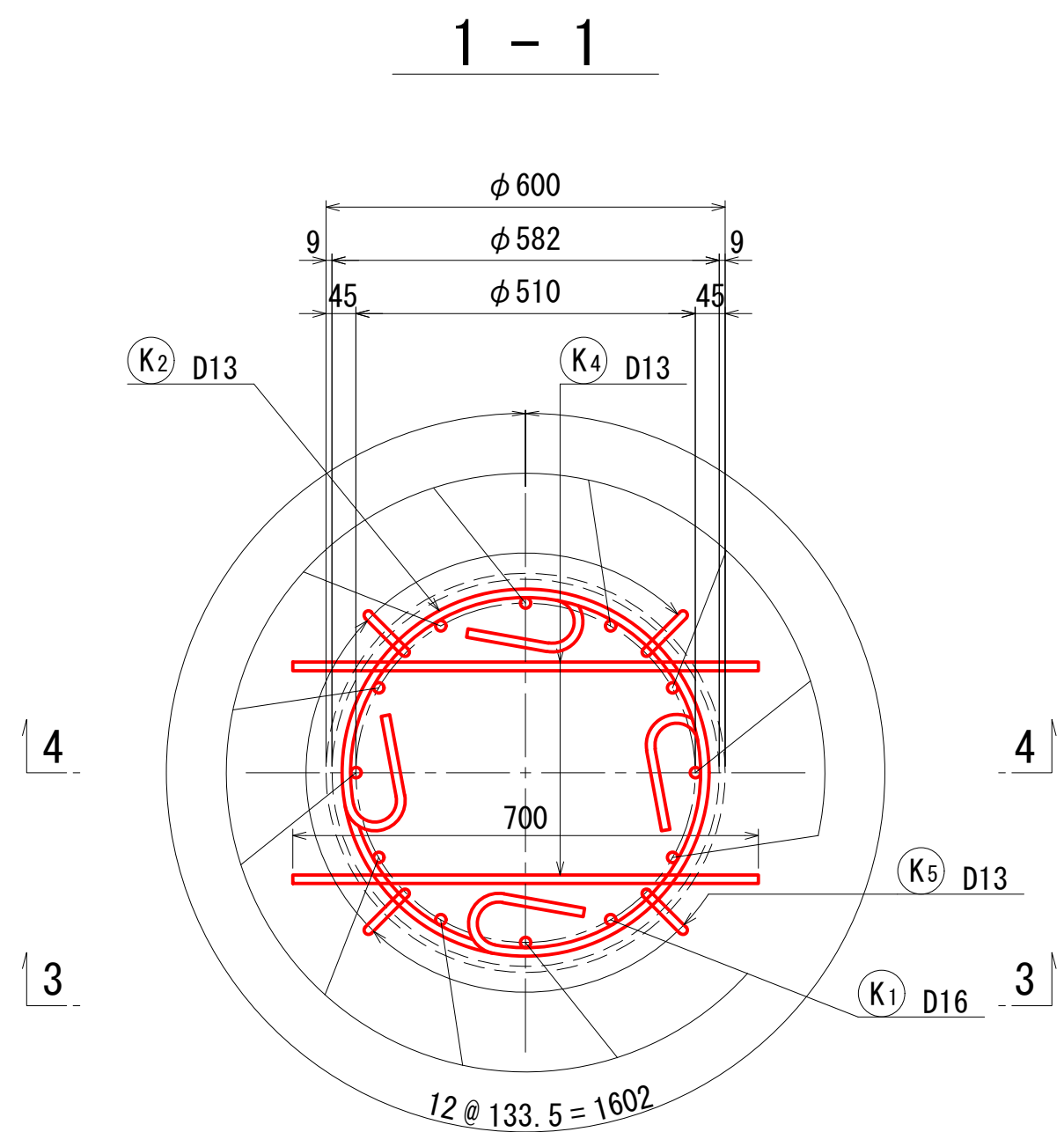


年度	令和 6 年度
路線名	知利別町3丁目2条通線
工事名	知利別川改修工事に伴う 知利別3丁目1条橋架替 (下部工) 工事
図面名	A-2橋台鋼管杭詳細図(1)
縮 尺	図示 図面番号 24
設計年月	令和 6 年 4 月
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課

A-2橋台鋼管杭詳細図(2)

(中掘り工法 SKK400, φ 600, t=9mm)

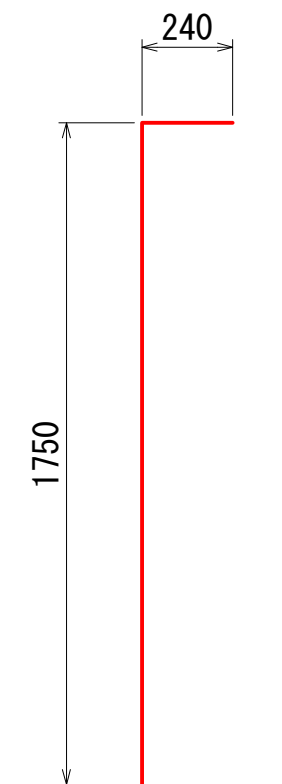
S=1:10



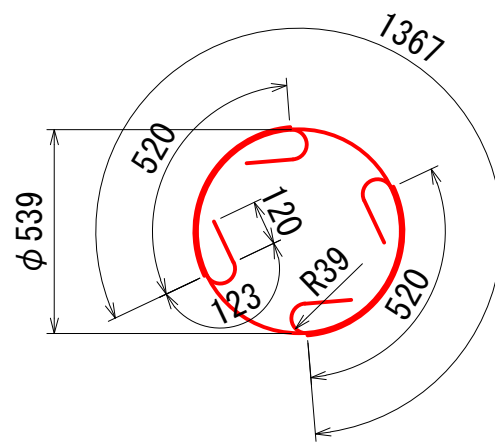
鉄筋加工図

(杭1本当り)

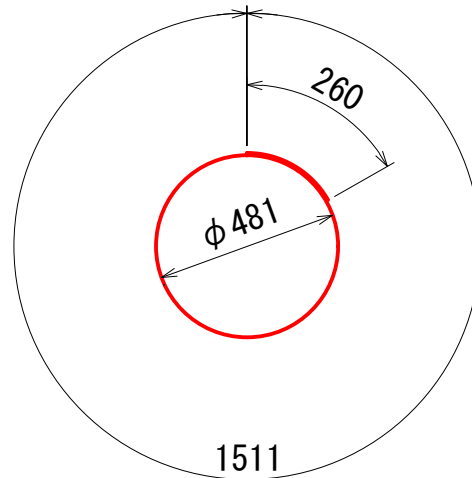
S=1:20



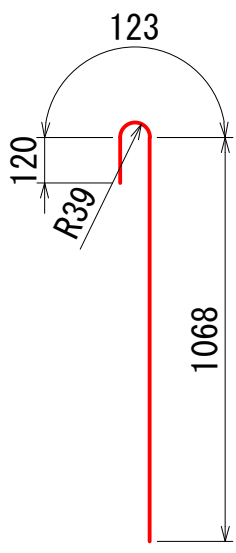
(K1) 12-D16x1990



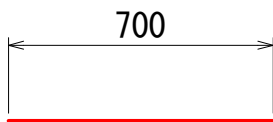
(K2) 10-D13x1850



(K3) 3-D13x1770



(K5) 4-D13x1310

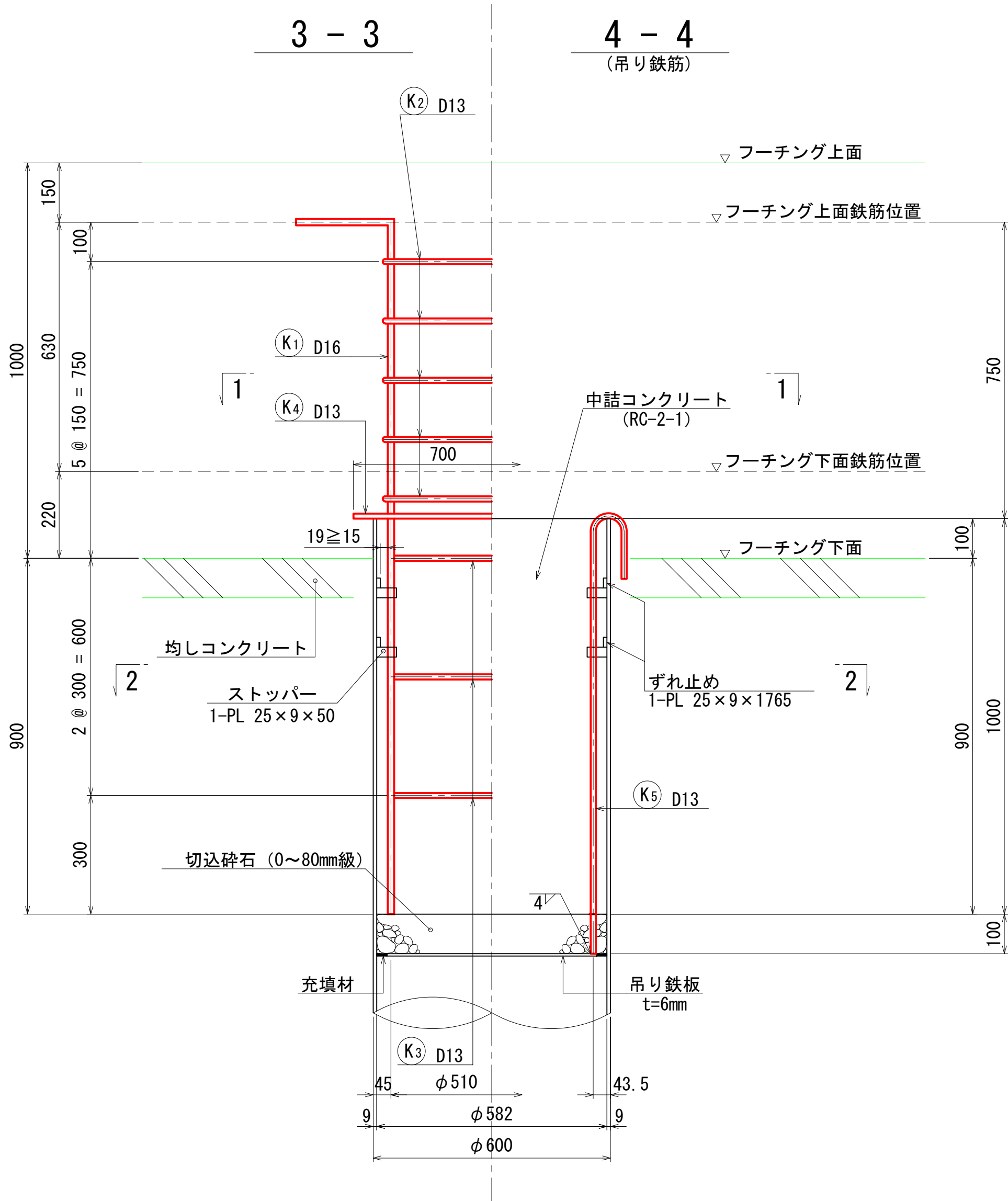


(K4) 2-D13x700

3 - 3

4 - 4

(吊り鉄筋)



鉄筋加工表 (杭1本当り)

部 材	鉄 筋 番 号	鋼 材 質	鉄 筋 公 称 径 (mm)	鉄 筋 長 (mm)	単 位 質 量 (kg/m)	1本当り 質 量 (kg)	部材数	各 部 材 の 鉄 筋 本 数	鉄 筋 総 数	総 延 長 (mm)	質 量 (kg)	形 状 番 号	曲 げ 寸 法 (mm)				
													a	b	c	d	R
杭	K1	SD345	D16	1990	1.560	3.10	4	12	48	95520	37	1	248	1758			
	K2	"	D13	1850	0.995	1.84	4	10	40	74000	18	3	166	91	1400		263
	K3	"	D13	1770	0.995	1.76	4	3	12	21240	5	4	494	267			
	K4	"	D13	700	0.995	0.70	4	2	8	5600	1	2	700				
	K5	"	D13	1310	0.995	1.30	4	4	16	20960	5	5	166	91	1114		
杭1本当り 合 計 =												66	(kg)				
杭4本当り 合 計 =												264	(kg)				

鉄筋径別集計

杭1本当り

D10	0 kg
D13	29 kg
D16	37 kg
D19	0 kg
D22	0 kg
D25	0 kg
D29	0 kg
D32	0 kg
合 計 = 66 kg	

鉄筋径別集計

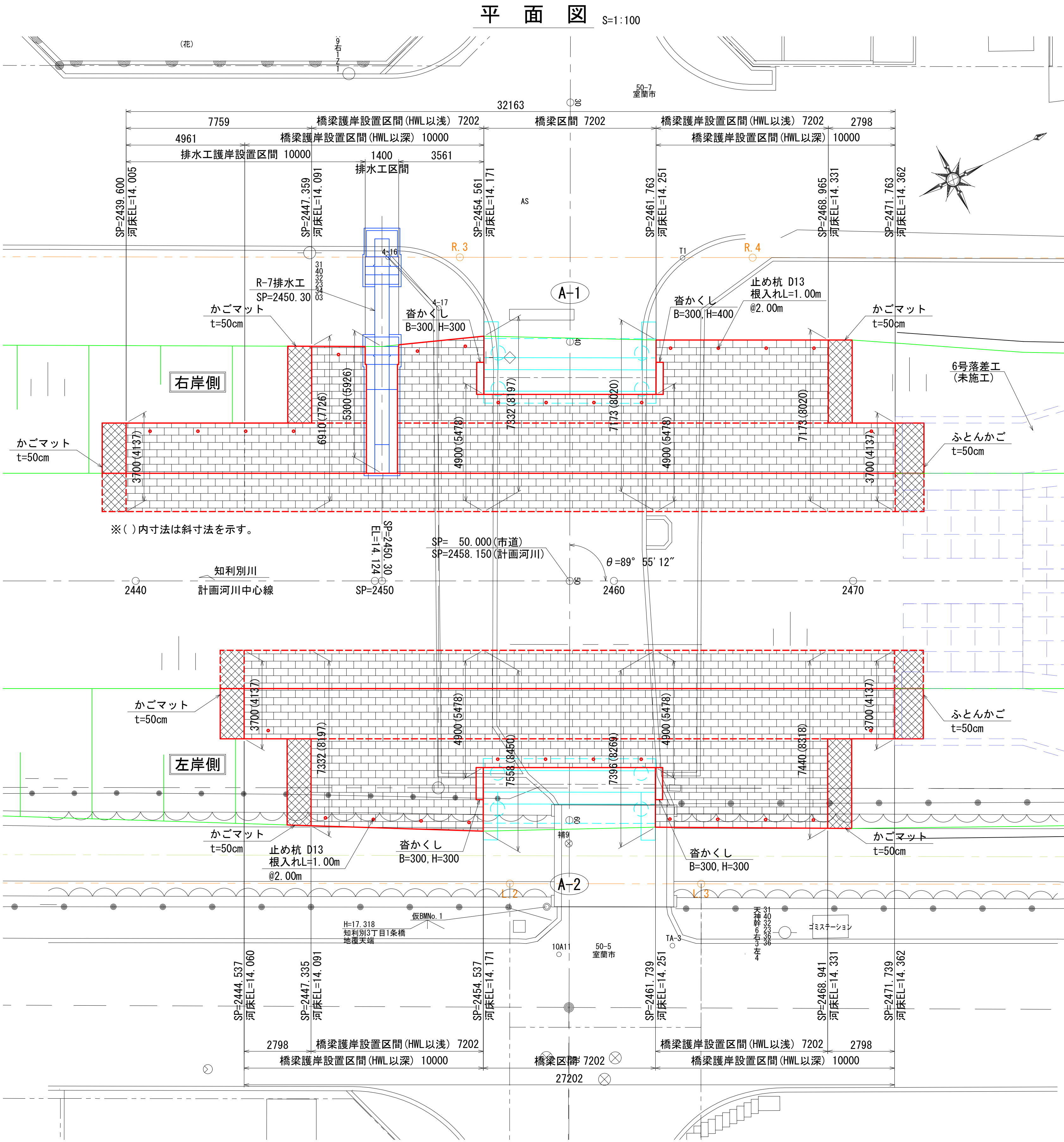
杭4本当り

D10	0 kg
D13	116 kg
D16	148 kg
D19	0 kg
D22	0 kg
D25	0 kg
D29	0 kg
D32	0 kg
合 計 = 264 kg	

- 注) 1. 鉄筋の材質は、SD345とする。
2. 主筋はかぶりを確保し、ずれないように施工のこと。
3. 帯鉄筋の重ね継ぎ手位置は、同一箇所に集中させないように位置を交互にして配置すること。
4. 鉄筋の曲げ加工寸法表示は、2009年度改訂版(土木製図基準)準拠する。
5. 曲げ寸法は、円弧部の曲げ半径は鉄筋の内径を示し、円弧以外は鉄筋の外形寸法を示す。
6. 鉄筋長は、鉄筋の中心寸法で示す。

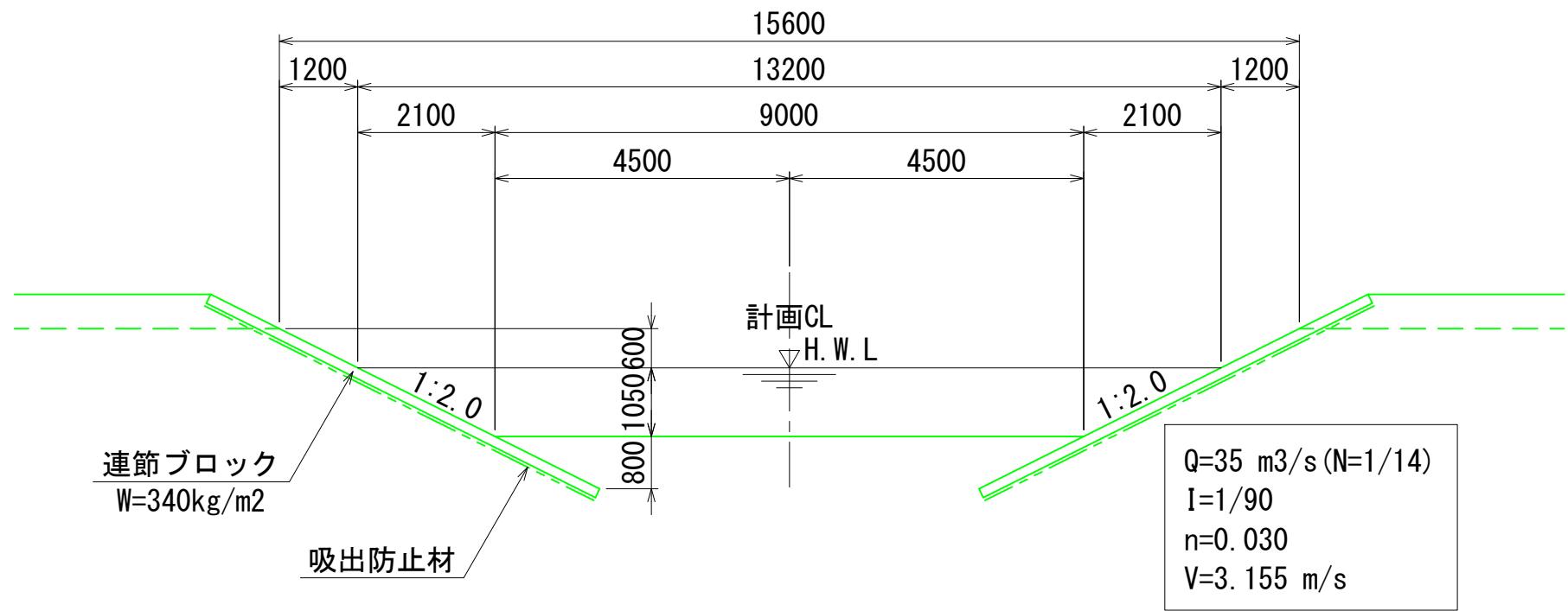
年 度	令和 6 年度		
路線名	知利別町3丁目2条通線		
工事名	知利別川改修工事に伴う知利別3丁目1条橋架替(下部工)工事		
図面名	A-2橋台鋼管杭詳細図(2)		
縮 尺	図示	図面番号	25
設計年月	令和 6 年 4 月		
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課		

護岸工平面図



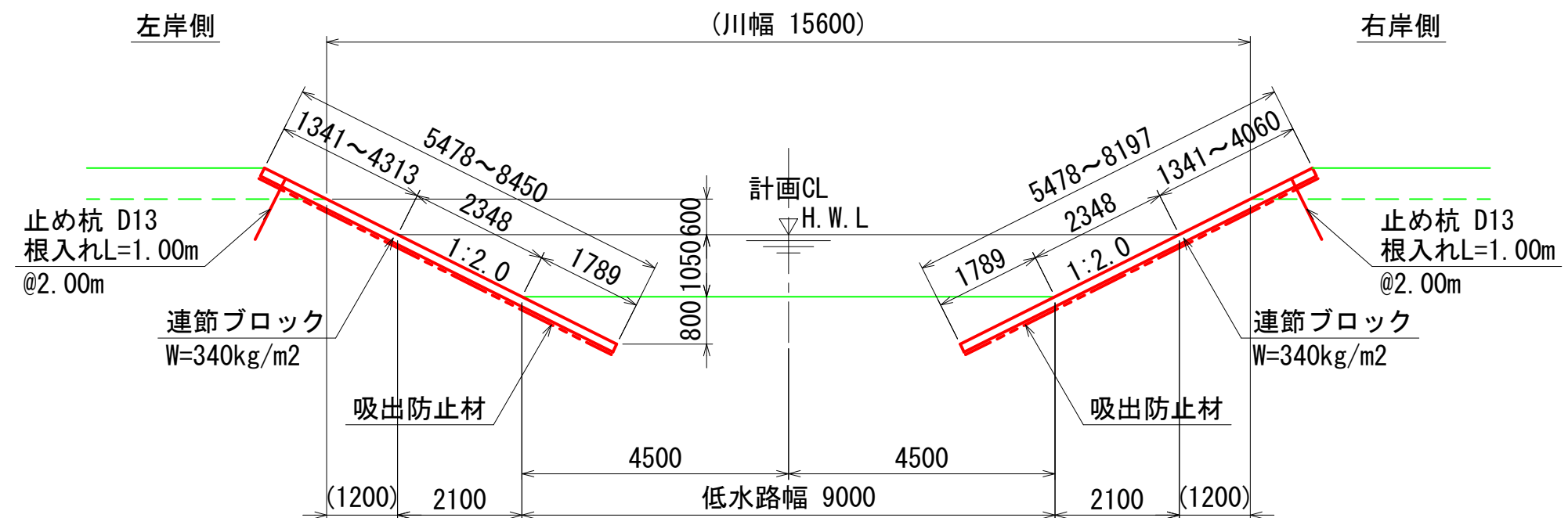
計画河川断面図 S=1:100

SP2089.48～SP2960.60 [H25計画]
(知利別3丁目1条橋 橋梁護岸区間)

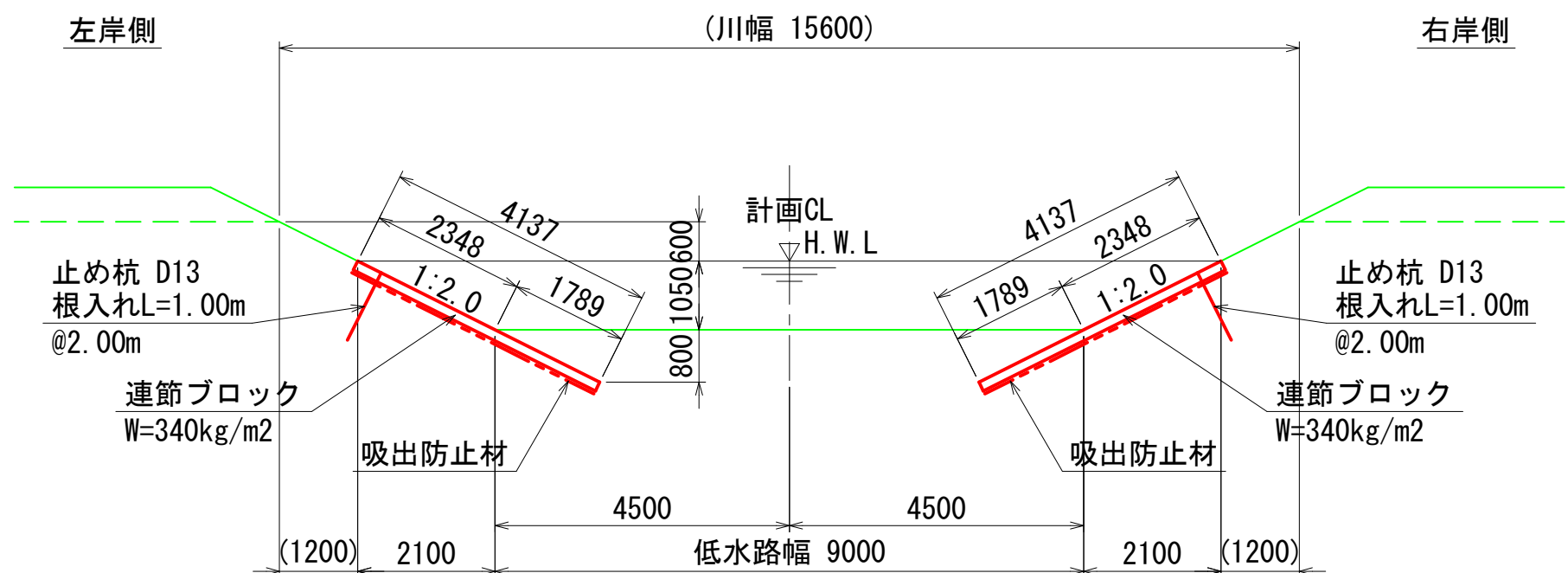


護岸工断面図 S=1:100

[橋梁護岸:高水敷保護区間]



[橋梁護岸:高水敷保護区間外]



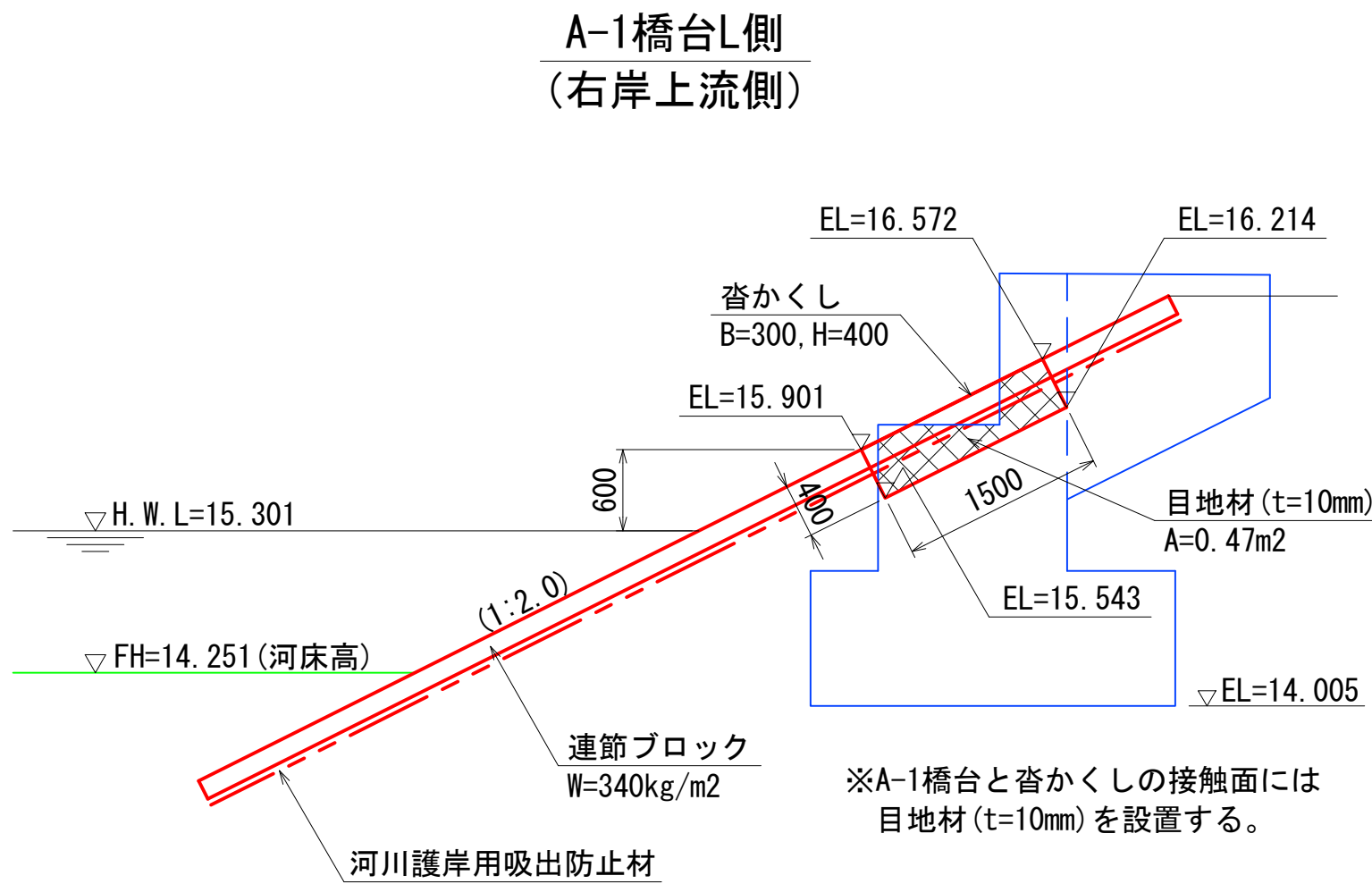
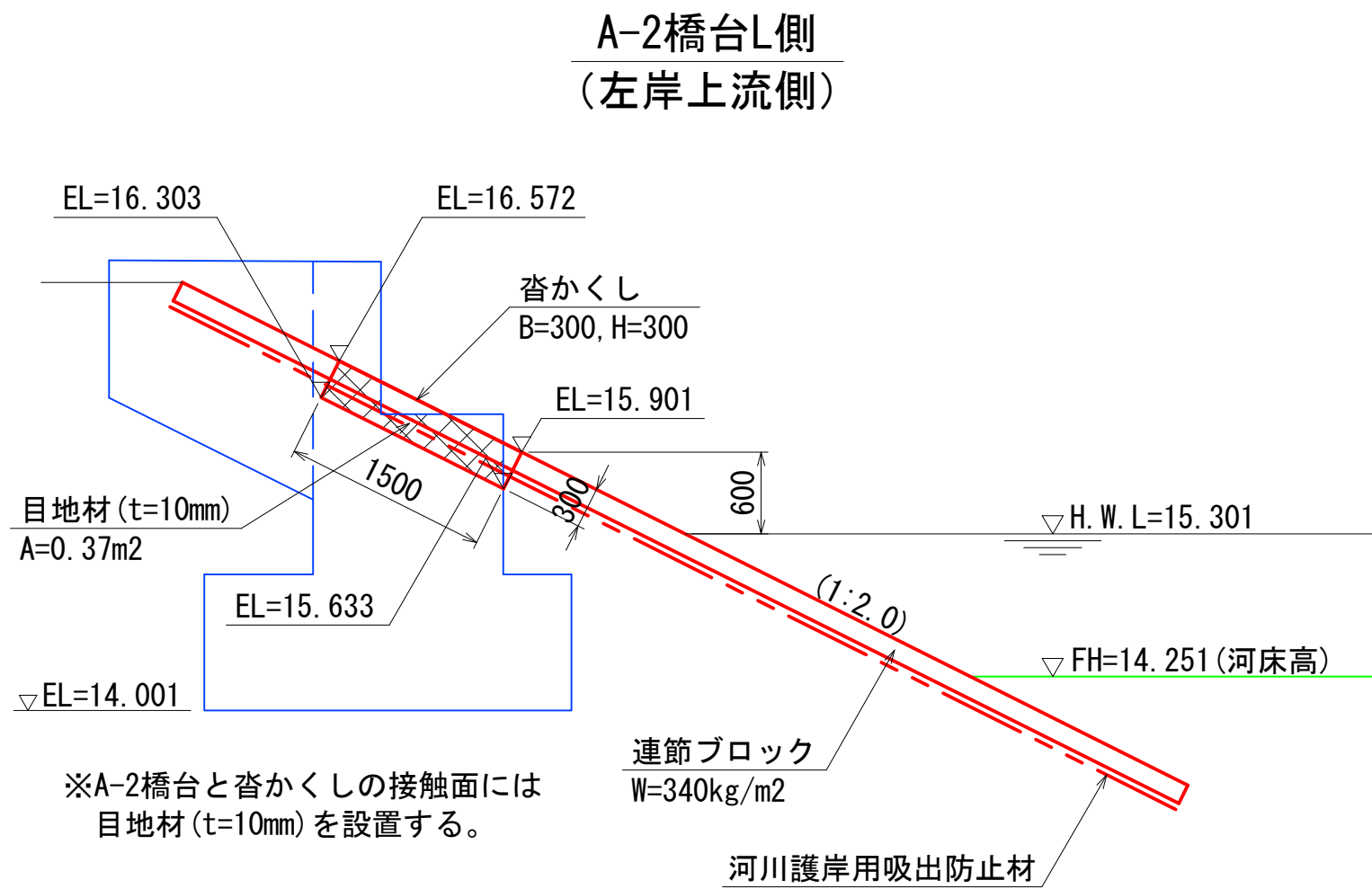
注意事項

- 本図における護岸工は橋梁護岸工としての必要範囲を示したもので、橋梁下流の排水工護岸範囲を含むものである。
- 橋台側面に設置する沓かかしが上部工架設時に支障となる場合は、上部工架設後に設置すること。
- HWL以深の上流側連節ブロック端部は、隣接する6号落差工と接続するため、接続されるまでの期間は仮設としてふとんかごを設置すること。
- 上流側護岸端部の施工に当たり、隣接予定の6号落差工に留意し、橋梁護岸・落差工間に離隔・隙間が生じないよう適宜調整のこと。

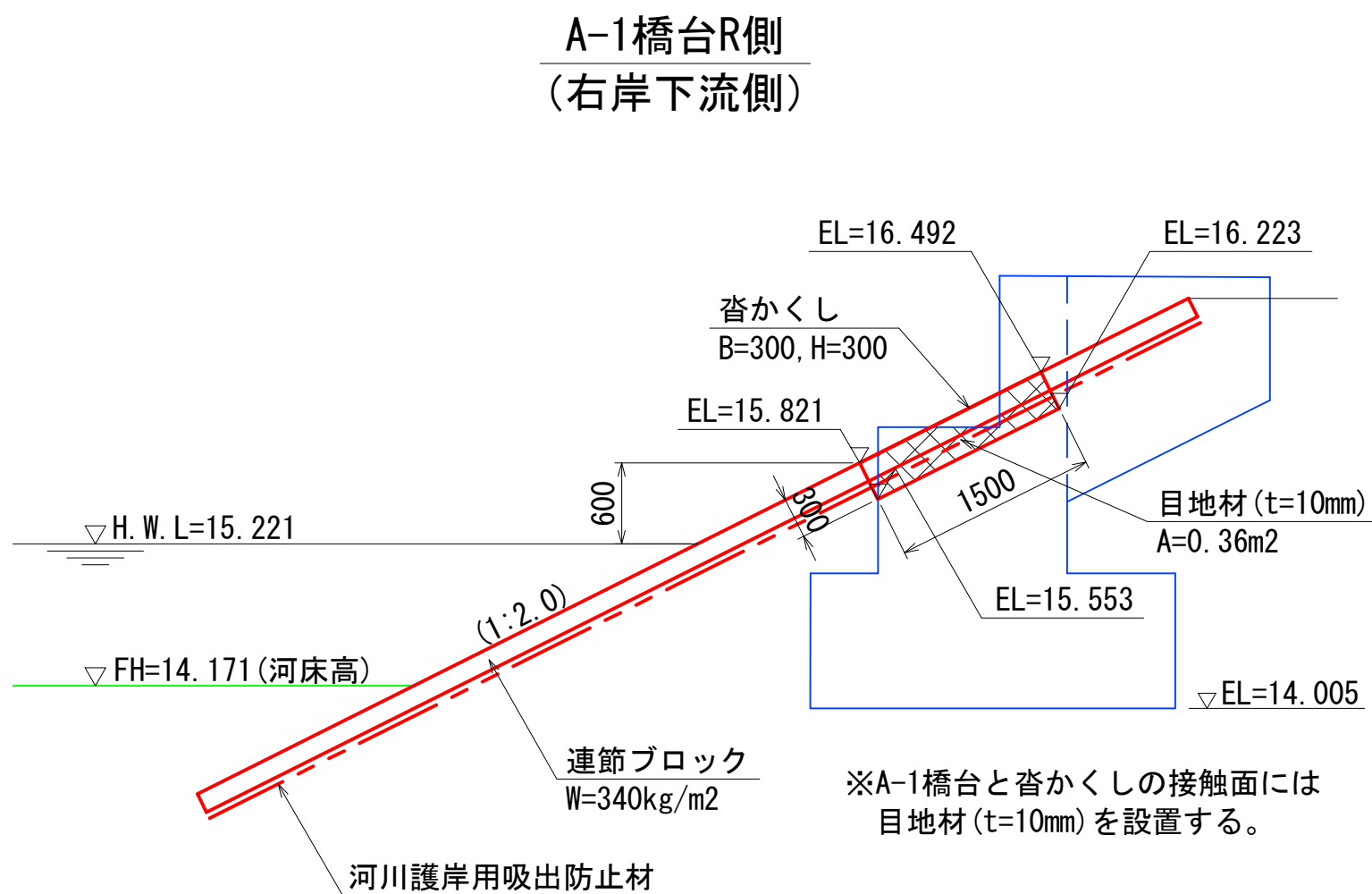
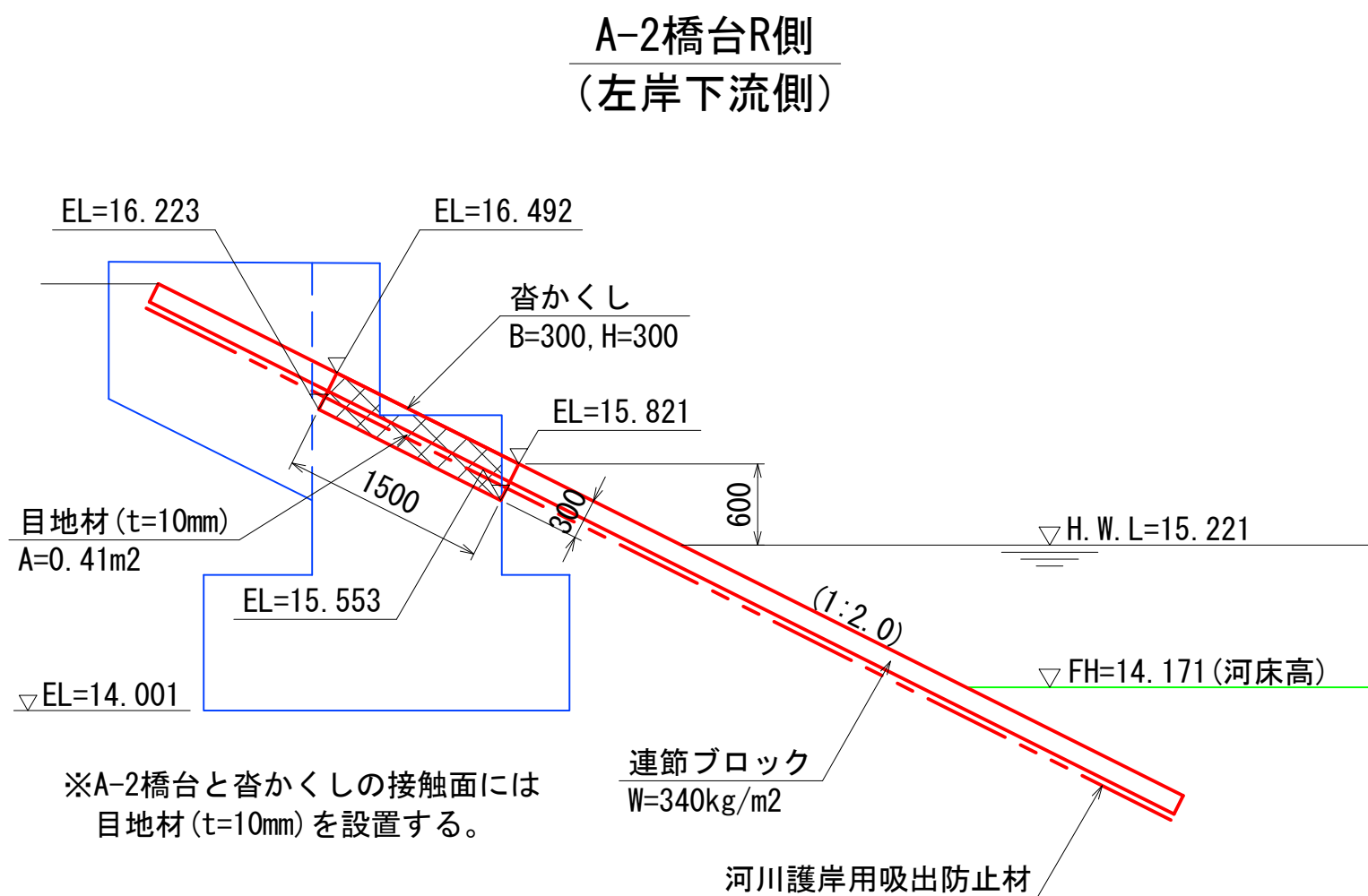
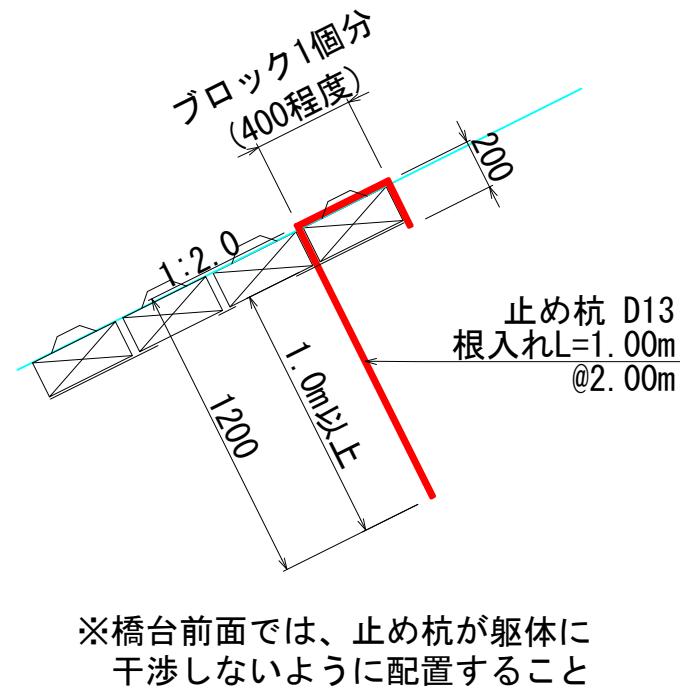
年度	令和 6 年度		
路線名	知利別町3丁目2条通線		
工事名	知利別川改修工事に伴う知利別3丁目1条橋架替（下部工）工事		
図面名	護岸工平面図		
縮 尺	図示	図面番号	26
設計年月	令和 6 年 4 月		
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課		

護岸工詳細図

沓かくし詳細図 S=1:50

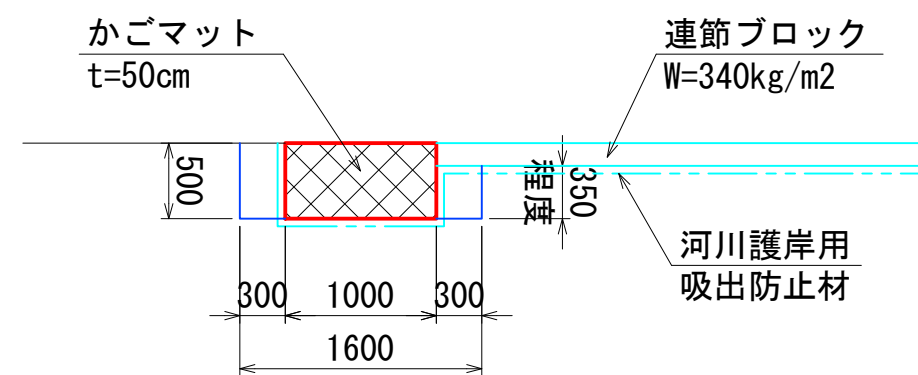


止め杭詳細図 S=1:30

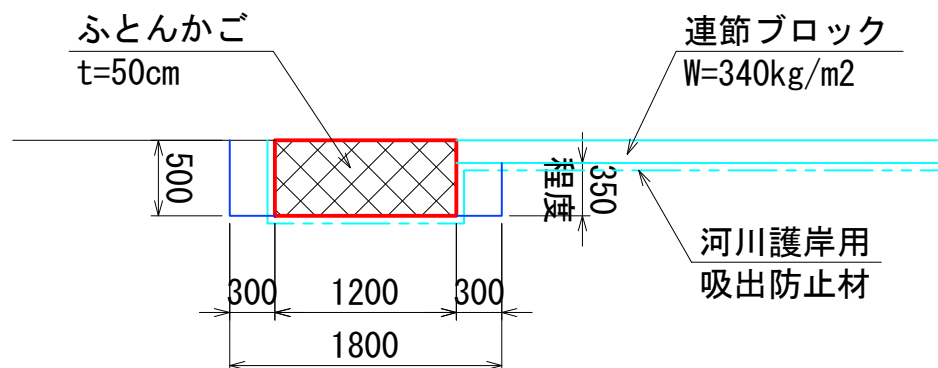


小口処理詳細図 S=1:50

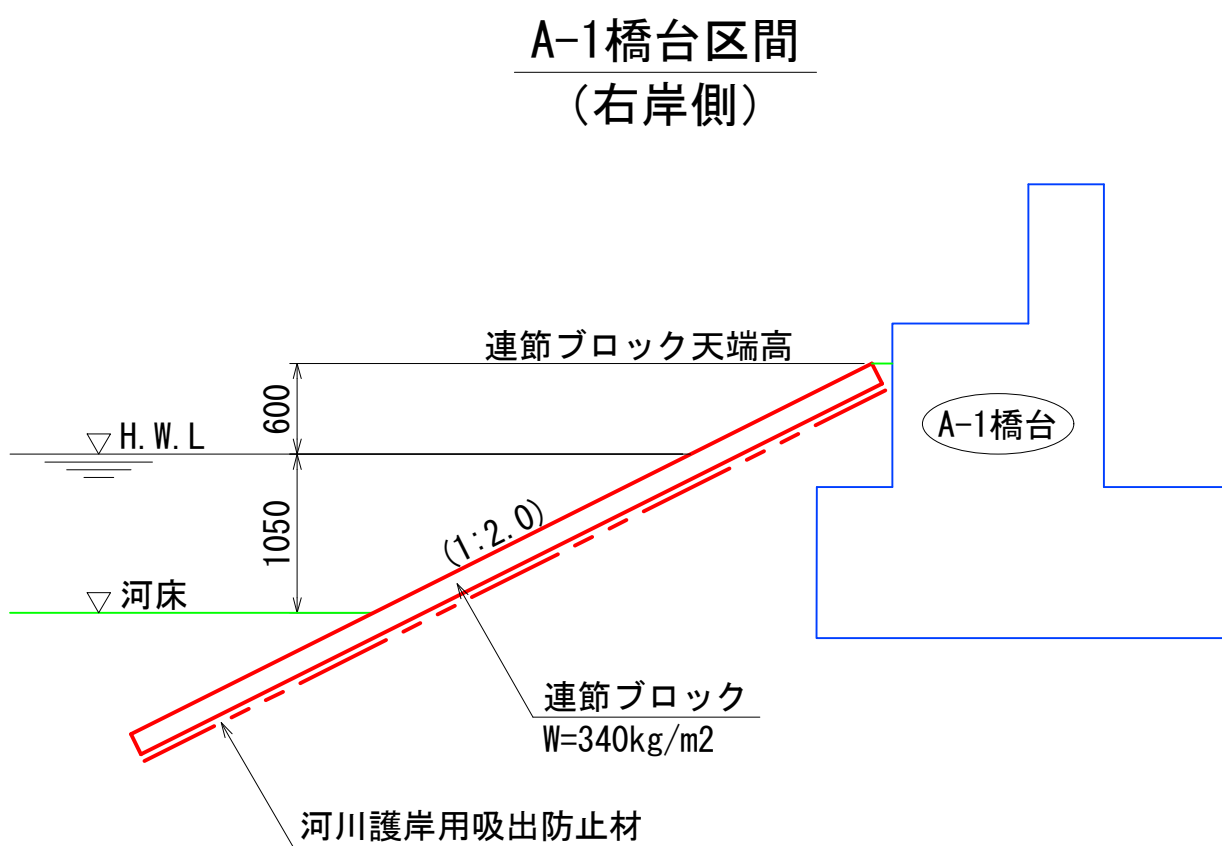
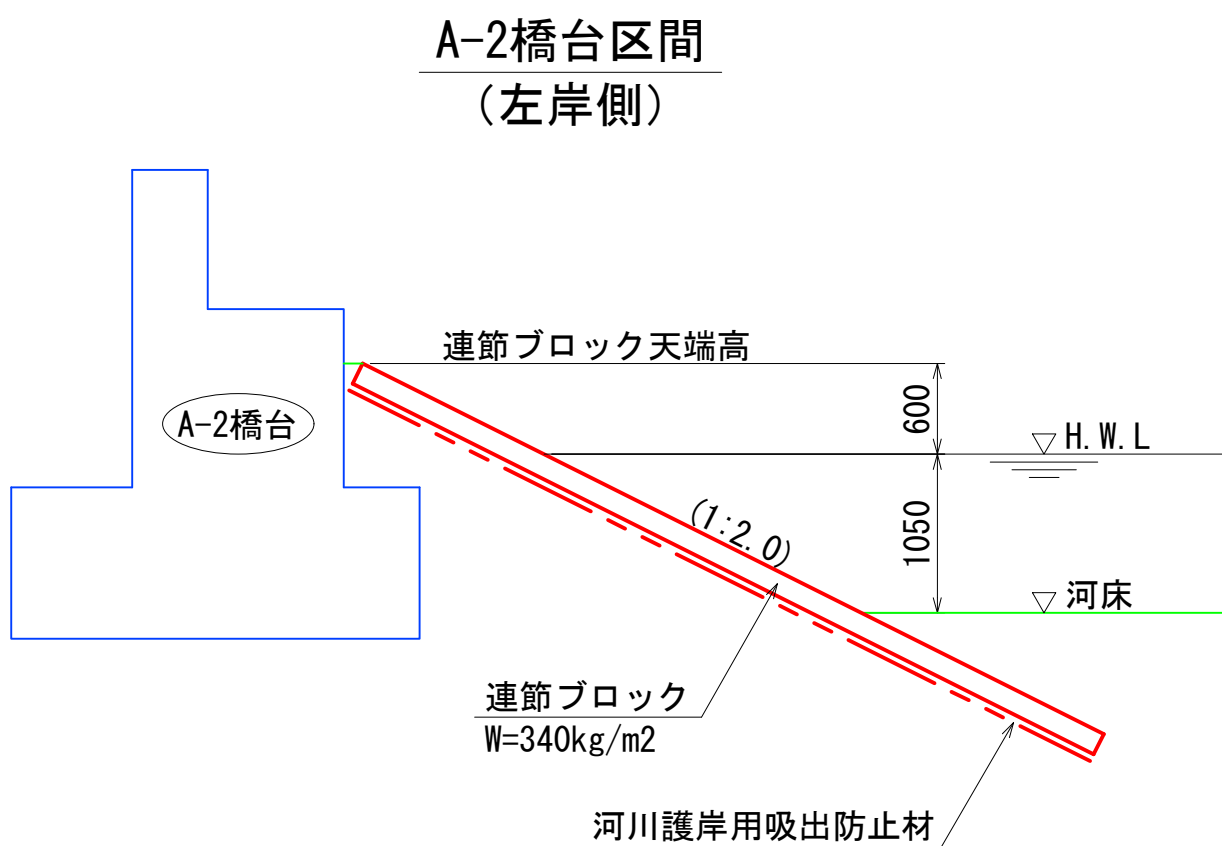
かごマット部



ふとんかご部 (落差工隣接部)



橋梁区間 S=1:50



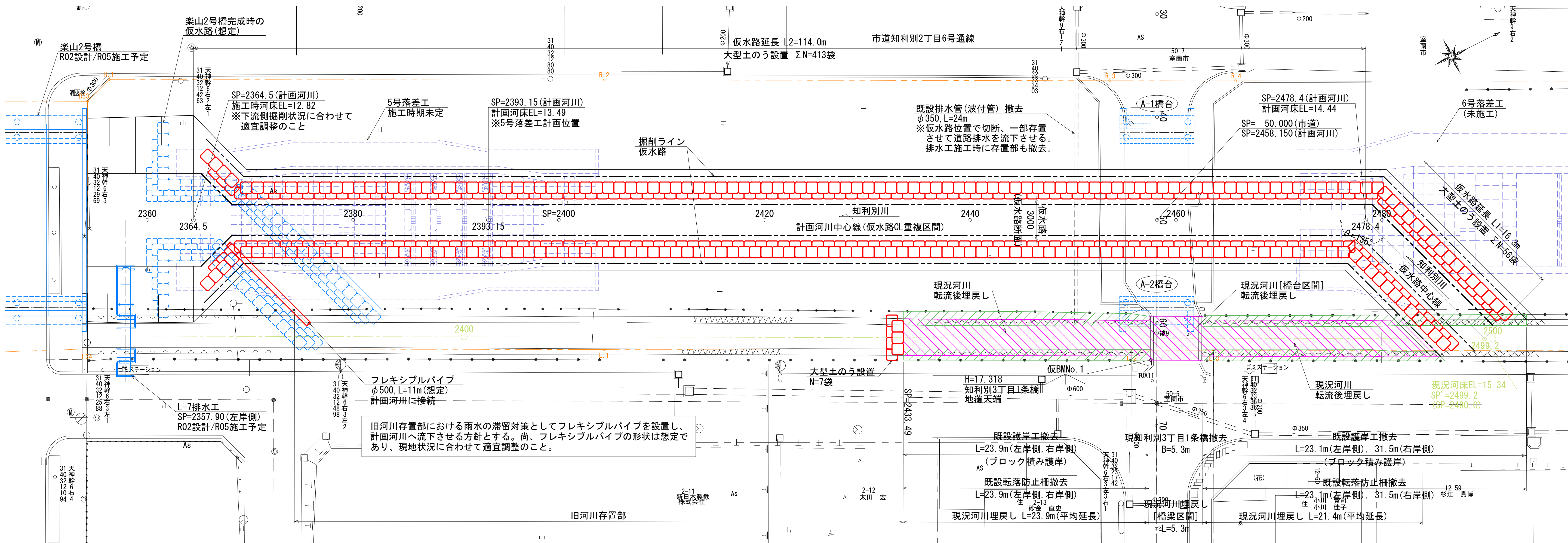
注意事項

- 本図における護岸工は橋梁護岸工としての必要範囲を示したもので、橋梁下流の排水工護岸範囲を含むものである。
- 橋台側面に設置する沓かくしが上部工架設時に支障となる場合は、上部工架設後に設置すること。
- H.W.L以深の上流側連節ブロック端部は、隣接する6号落差工と接続するため、接続されるまでの期間は仮設としてふとんかごを設置すること。
- 上流側護岸端部の施工に当たり、隣接予定の6号落差工に留意し、橋梁護岸・落差工間に離隔・隙間が生じないよう適宜調整のこと。

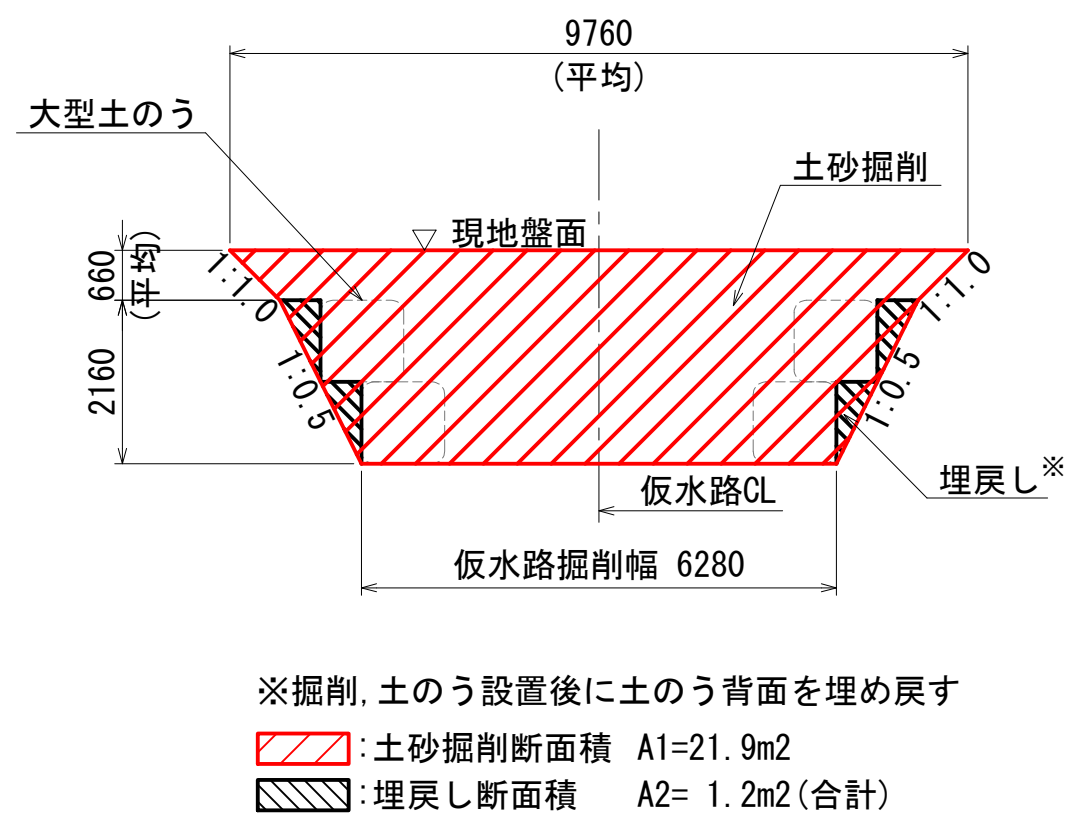
年 度	令和 6 年度		
路線名	知利別町3丁目2条通線		
工事名	知利別川改修工事に伴う知利別3丁目1条橋架替 (下部工) 工事		
図面名	護岸工詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	27
設計年月	令和 6 年 4 月		
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課		

施工時仮水路計画図(案)

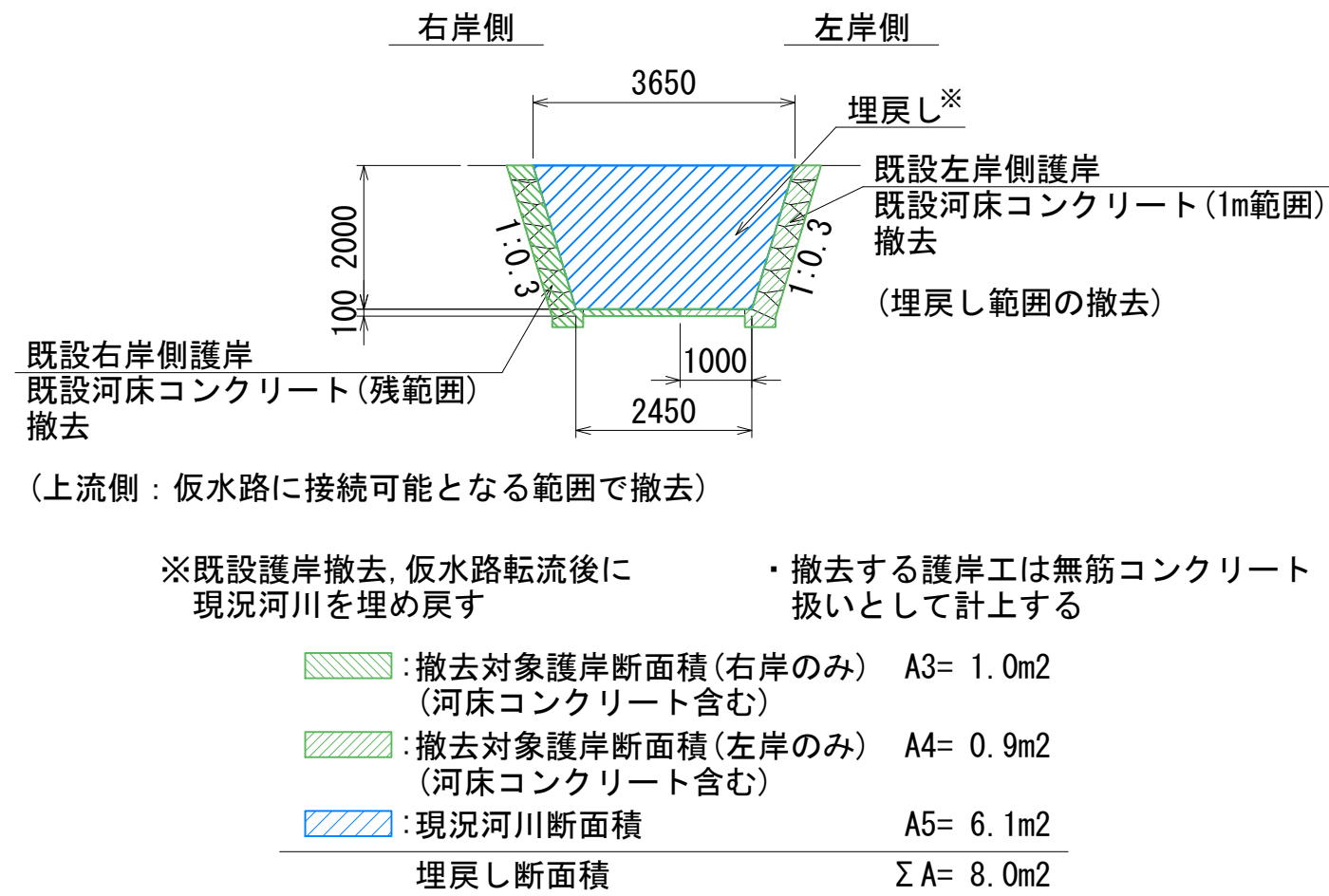
平面图 S=1:200



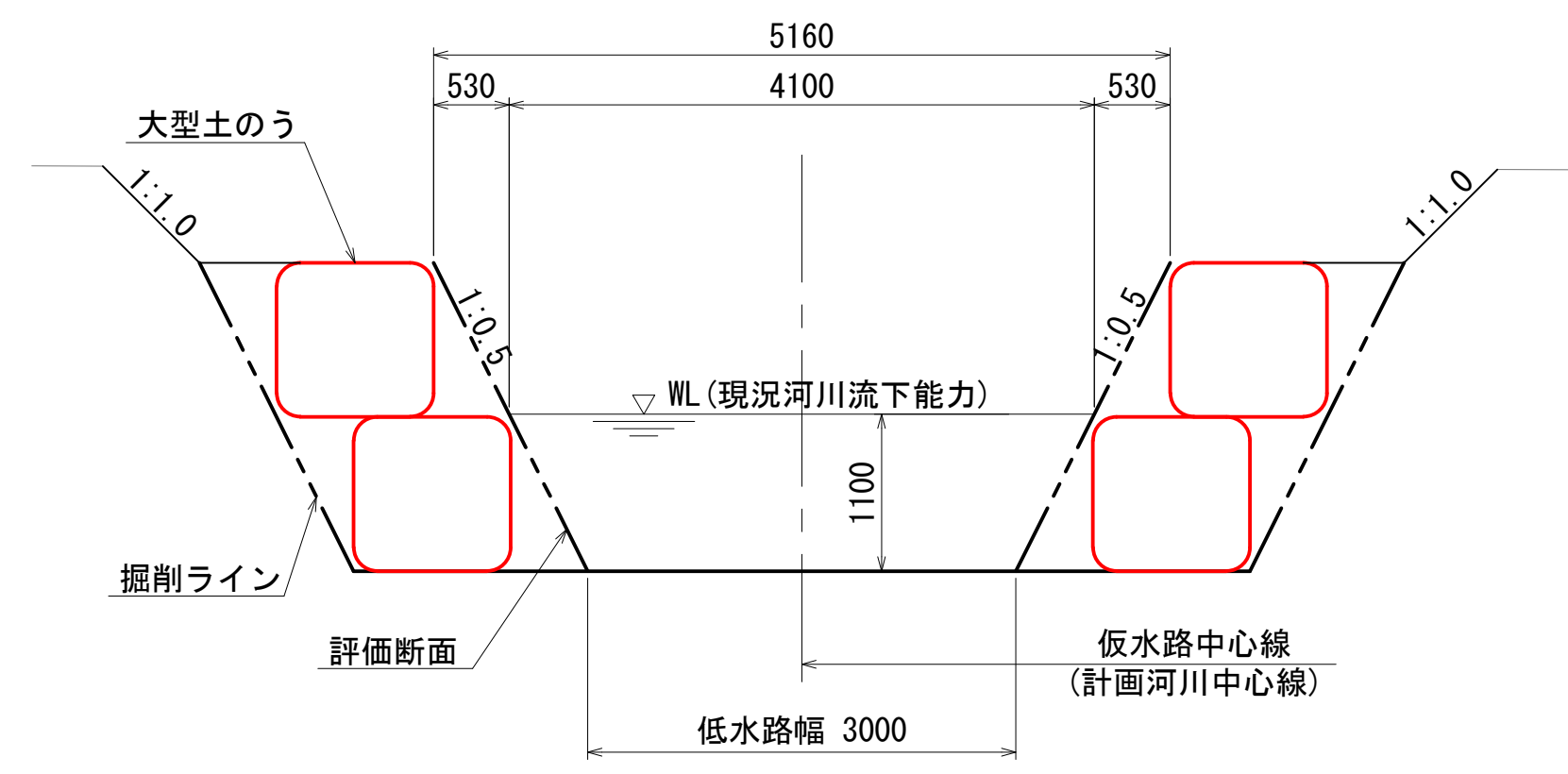
仮水路掘削要領図
(平均断面積算出)



現況河川埋戻し要領図
(平均断面積算出)



施工時河川断面図 S=1:50
(知利別3丁目1条橋施工時 仮水路断面)



施工時仮水路諸元

Q=10.91 m³/s
I=1/90 (計画河床勾配と同等)※
n=0.030
V=2.80 m/s

※ $I=1/90$ (計画) $<1/63$ (現況)より、勾配の緩い値を採用。

・WLは現河道SP=2560.00における流下能力($Q=10.91\text{m}^3/\text{s}$)に対する水位を示す。

[平成25年度 知利別川改修工事護岸設計外「報告書 P.4-5」-現況流下能力計算表(2)- より]

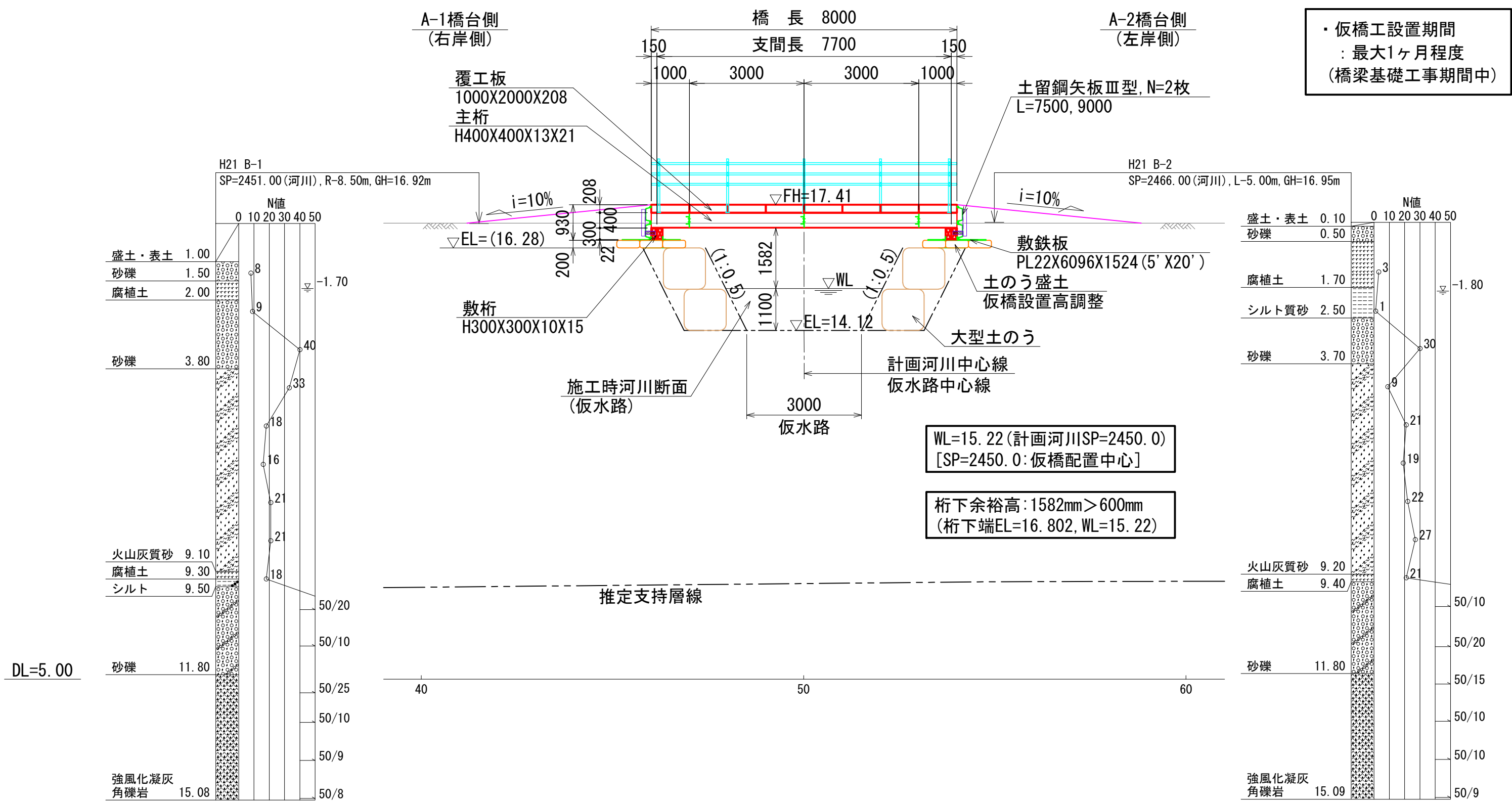
注意事項

1. 本図は施工計画案であり、施工図ではない。
現地状況を確認の上、施工を行うこと。
2. 撤去対象となる既設護岸形状は、現地計測結果をもとに復元したものである。
土中部形状は推定であることに留意のこと。
3. 既設橋梁の撤去に関する詳細については、
「既設橋梁撤去計画図(案)」を参照のこと。
4. 当該範囲内では施工時に支障となる地下埋設物
が無いことを確認しているが、実施工の際は
再度関係各所に確認のうえ着手すること。
5. 使用する大型土のうは耐候性(1年タイプ)と
する。
6. 大型土のうの前張りが懸念される場合は別途対
策を検討すること。

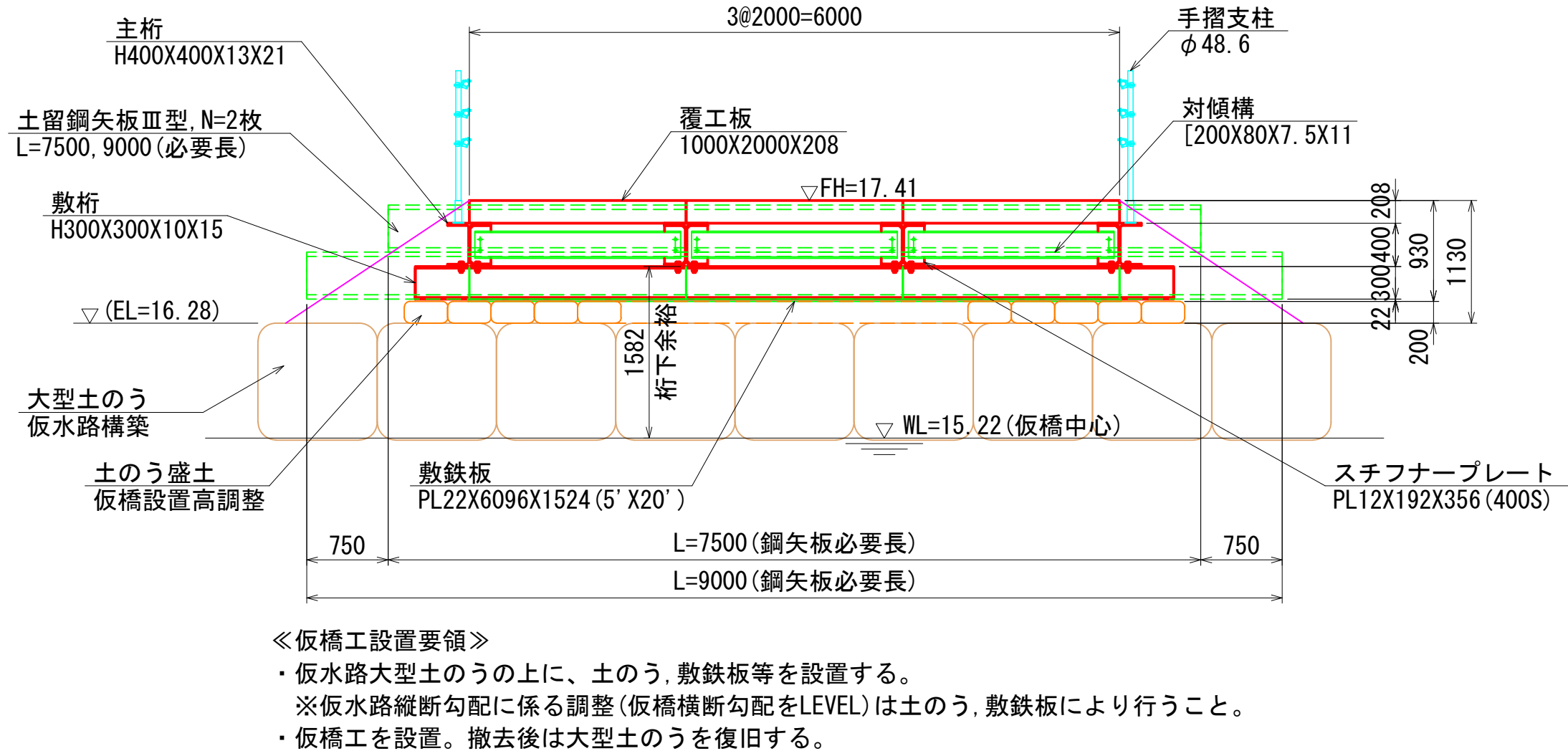
年 度	令和 6 年 度		
路線名	知利別町3丁目2条通線		
工事名	知利別川改修工事に伴う 知利別3丁目1条橋梁替（下部工） 工事		
図面名	施工時仮水路計画図(案)		
縮 尺	図示	図面番号	28
設計年月	令和 6 年 4 月		
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課		

仮橋工一般図(参考図)

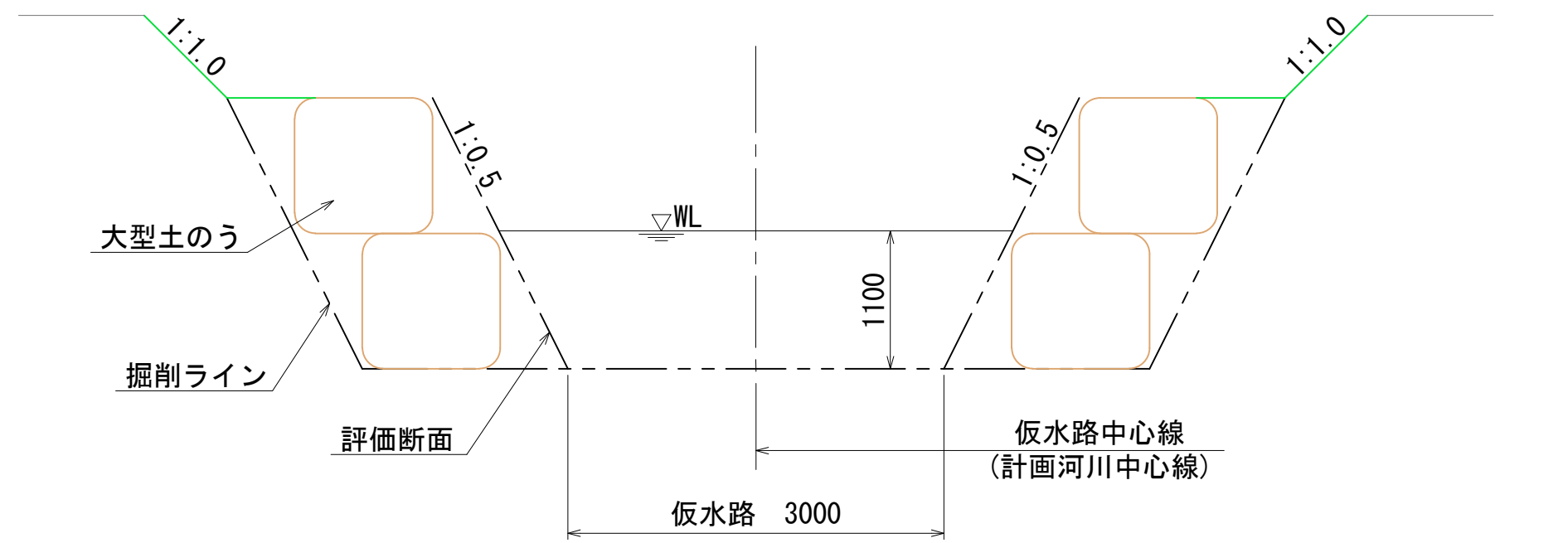
側面図 S=1:100



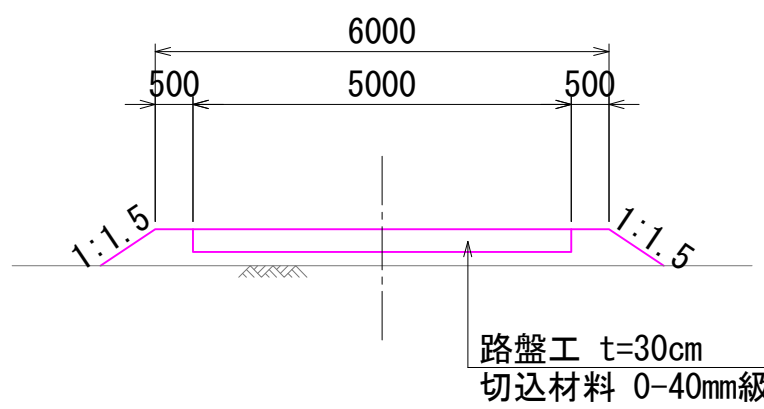
断面図 S=1:50



施工時河川断面図 S=1:50
(知利別3丁目1条橋施工時 仮水路断面)



工事用道路工定規図 S=1:100



注意事項

- 本図は計画案を示す参考図である。
仮橋位置、諸元等は本図の準拠を基本とし、
現地状況に応じて適宜調整のこと。
- 工事用道路構築、仮橋工設置に際し、支障となる電柱等は
事前に移設等措置を済ませておくこと。

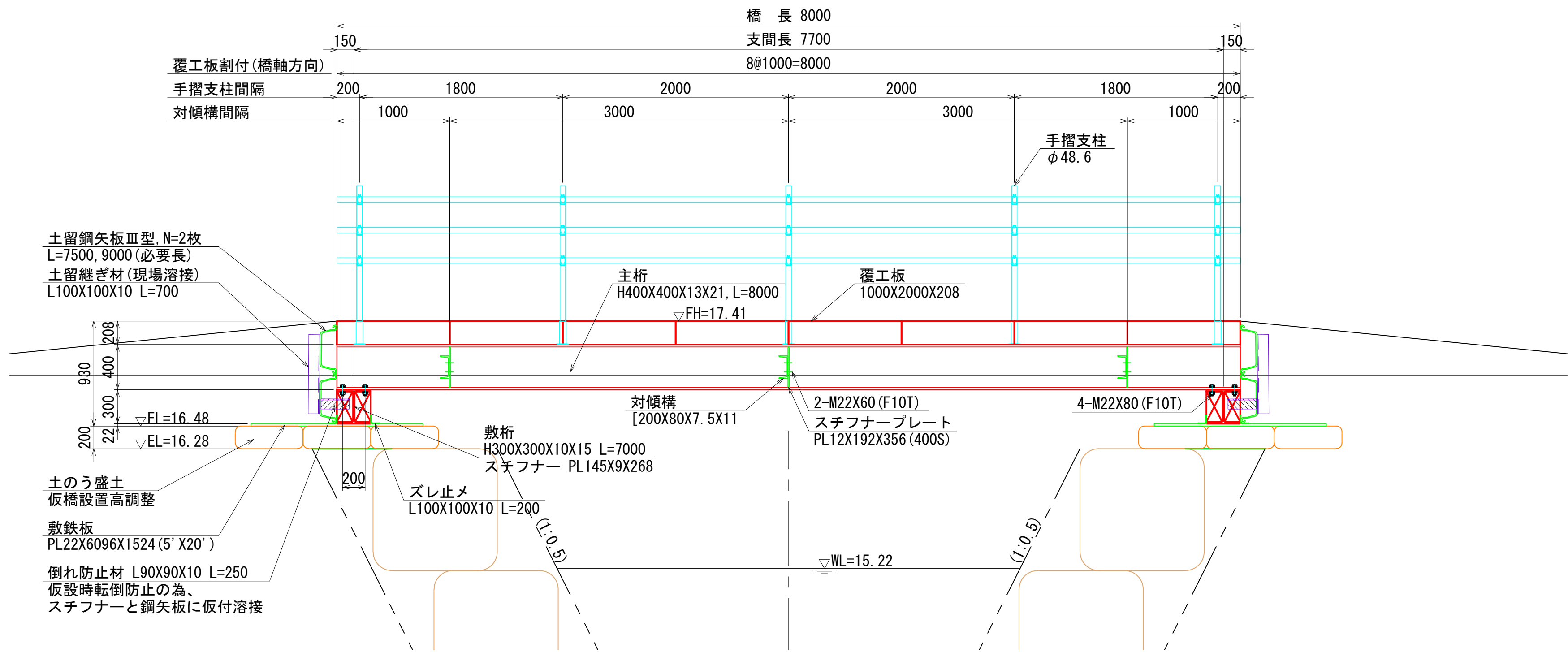
仮橋設計条件

用途	工事用仮橋 [一般車両の通行は想定しない]
活荷重	アースオーガ中掘機(55kw) 全装備質量W=1100kN
雪荷重	0kN/m ²
衝撃係数	覆工受桁(H形鋼): 0.3 覆工板: 0.4
たわみ	L/400以下、かつ2.5cm以下
平面線形	R=∞(直線区間)
横断勾配	LEVEL
縦断勾配	LEVEL
基礎工形式	直接基礎(土のう、敷鉄板養生)
許容応力度の割増係数	1.50(常時) [地震時の検討:省略]
適用示方書・指針等	道路土工—仮設構造物工指針:(社)日本道路協会 平成11年3月 道路事業設計要領:(社)北海道土木協会 令和2年4月 (参考)道路橋示方書・同解説:(社)日本道路協会 平成29年11月

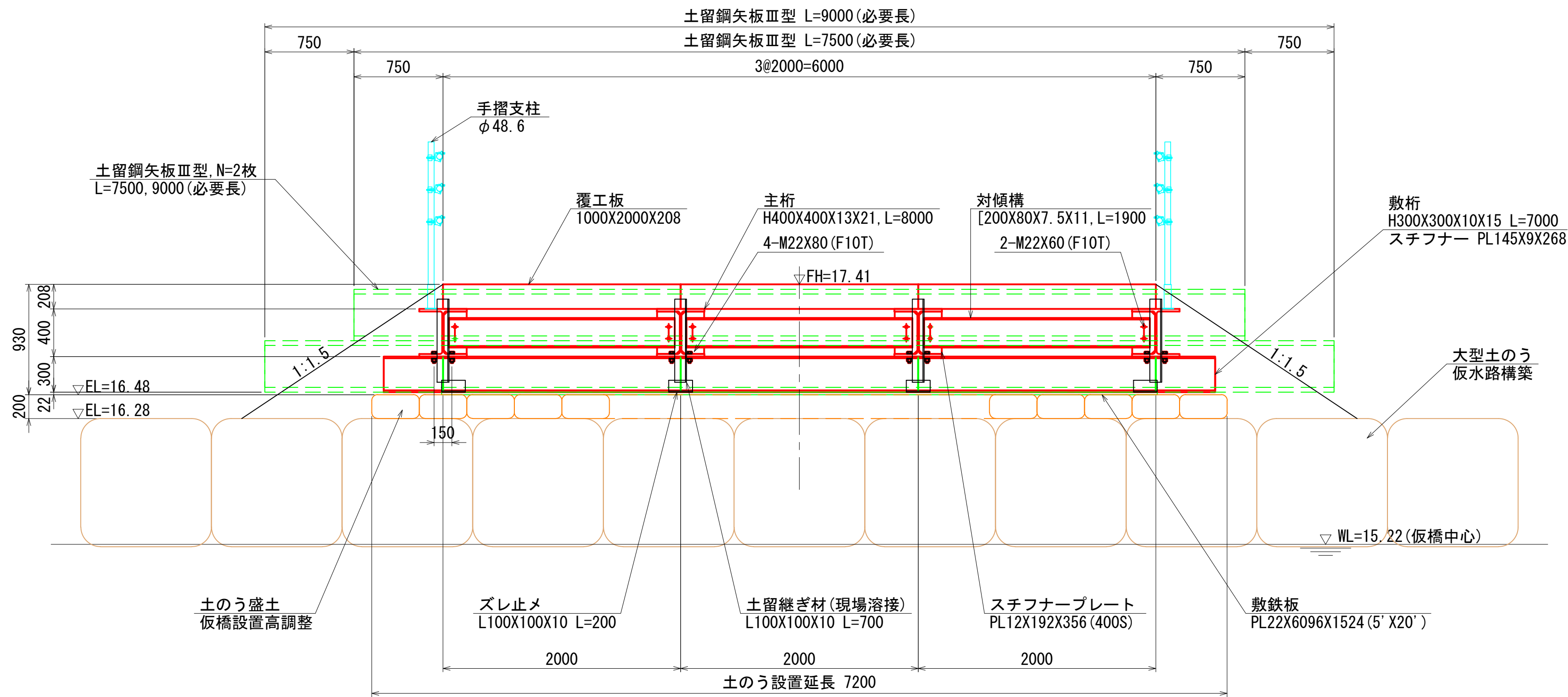
年度	令和 6 年度
路線名	知利別町3丁目2条通線
工事名	知利別川改修工事に伴う 知利別3丁目1条橋架替(下部工)工事
図面名	仮橋工一般図(参考図)
縮尺	図示 図面番号 29
設計年月	令和 6 年 4 月
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課

仮橋工詳細図(参考図)

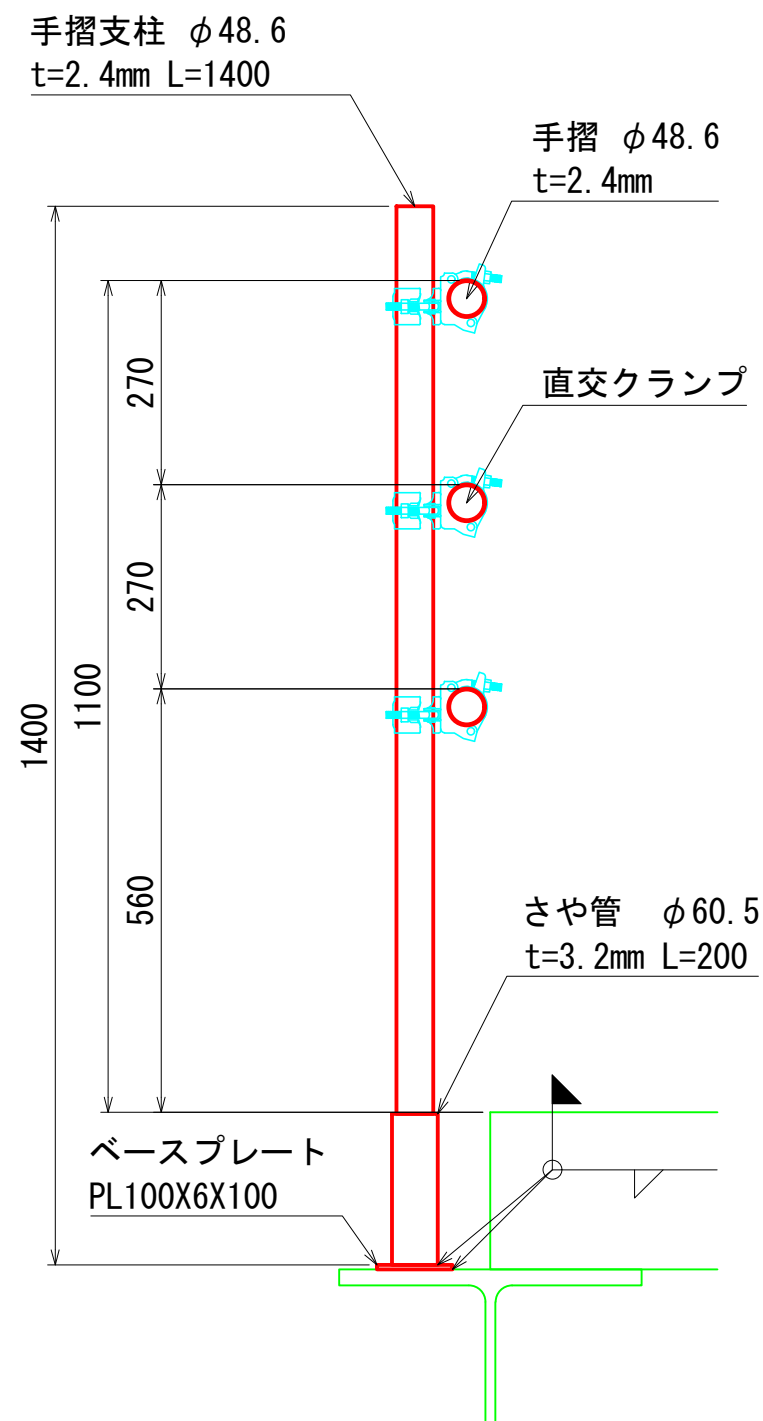
側面図 S=1:30



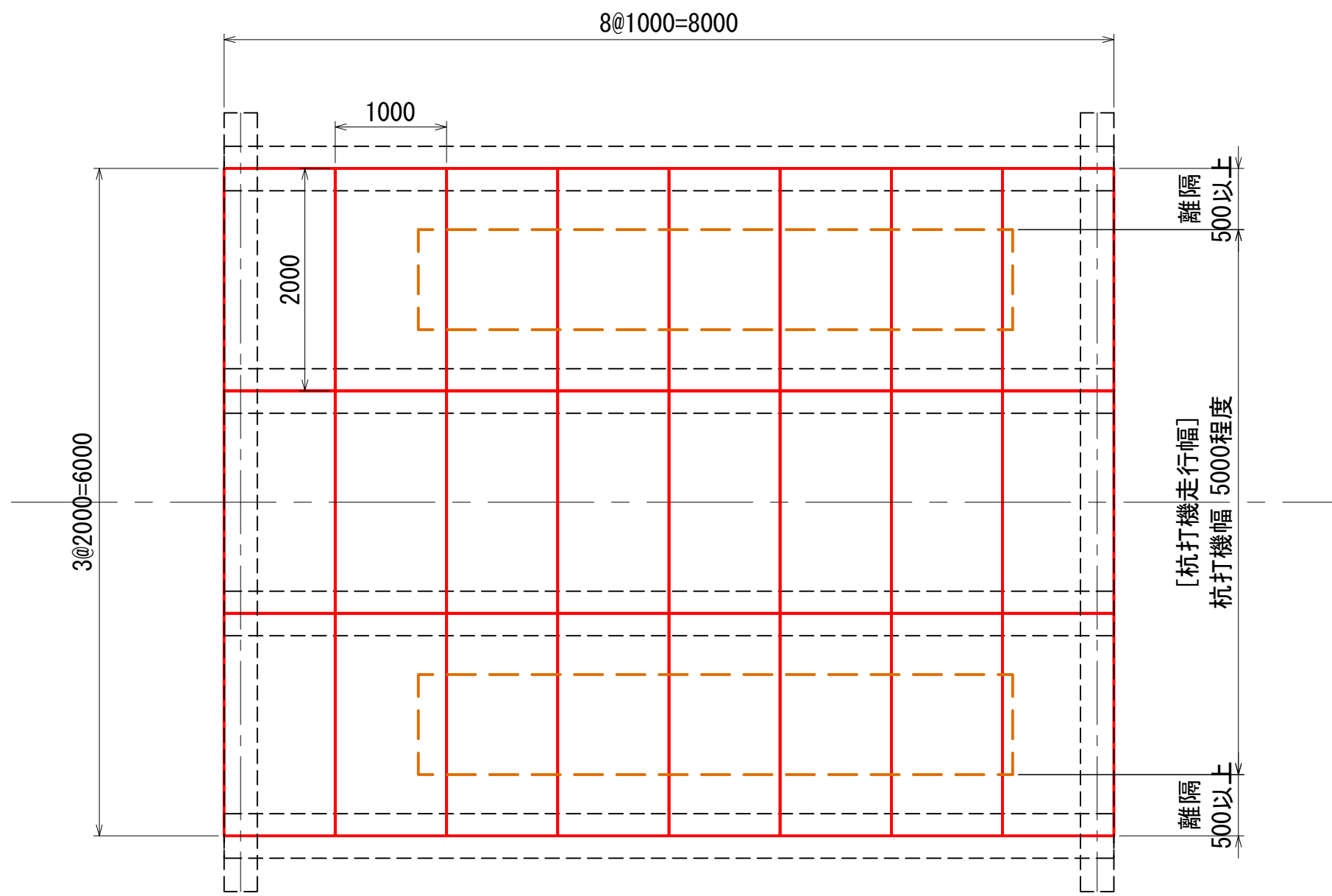
支点部断面図 S=1:30



手摺詳細図 S=1:10



覆工板配置図 S=1:50



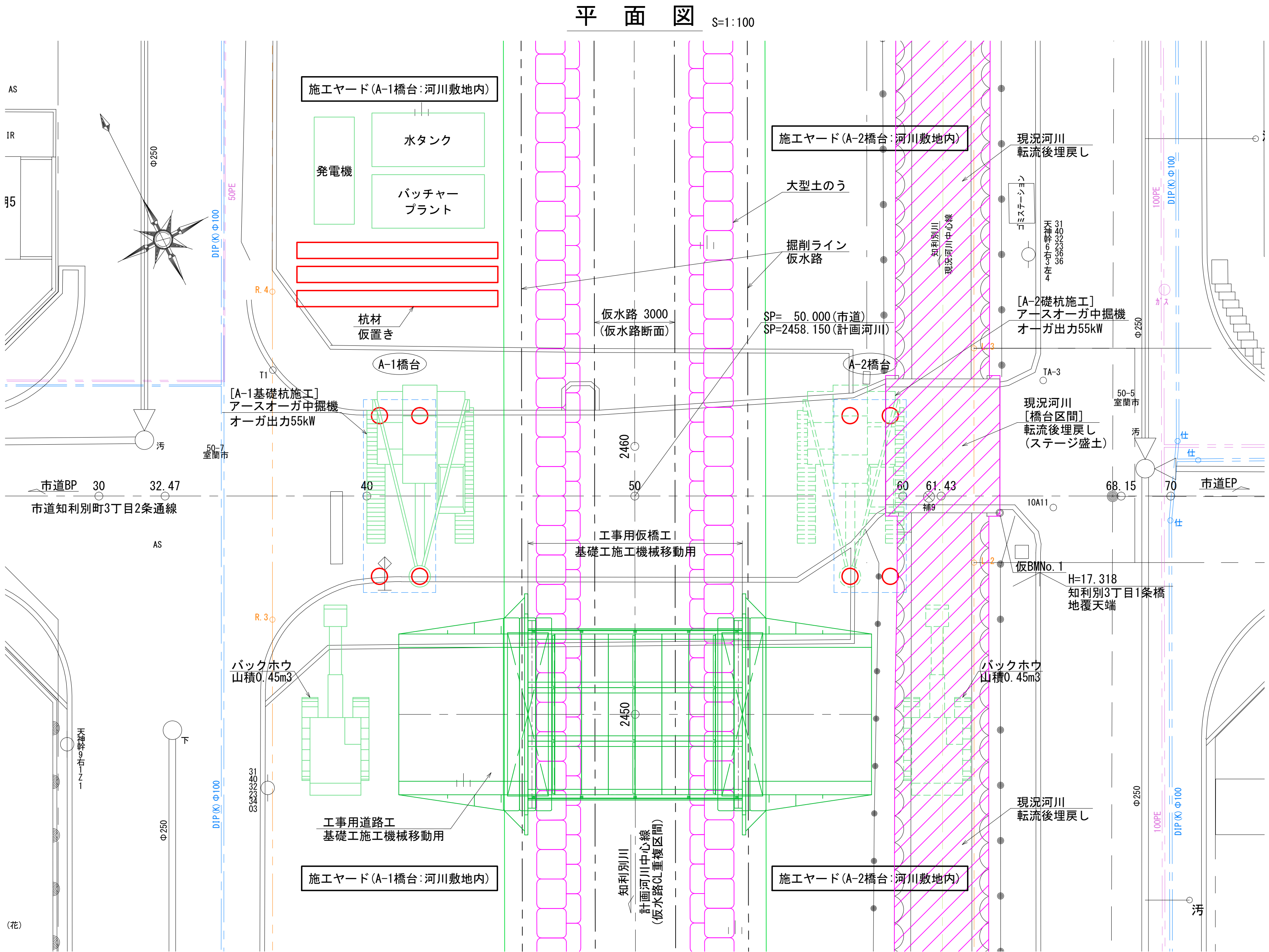
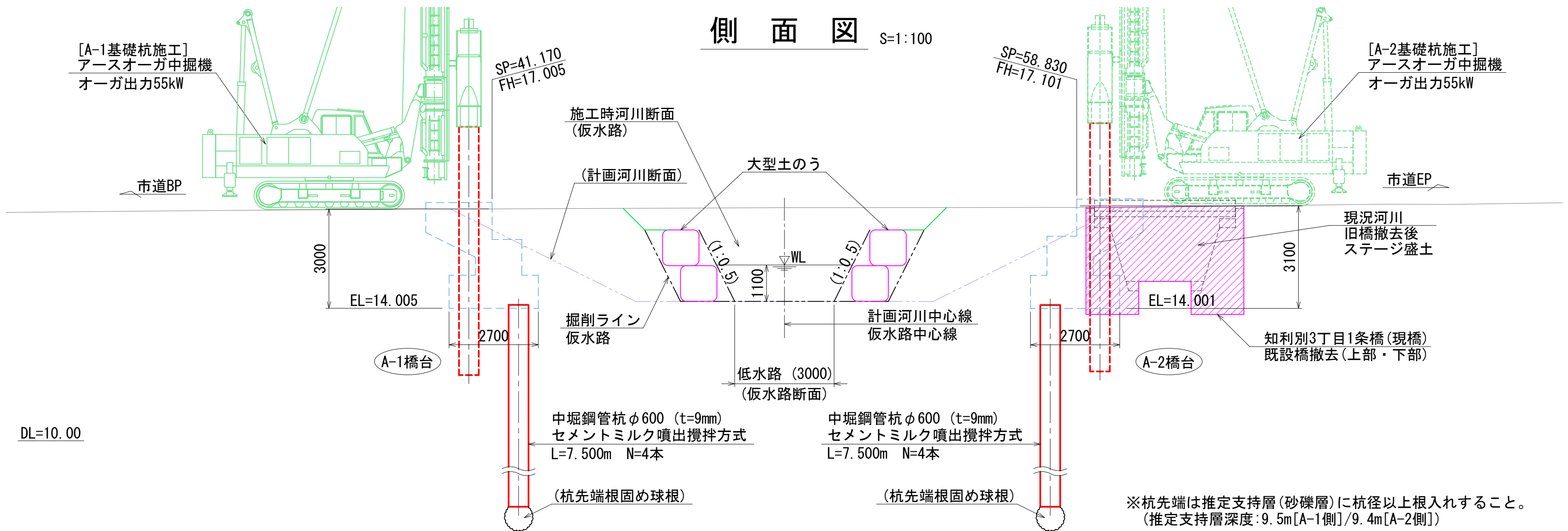
※杭打機走行時は幅員方向位置を限定し、仮橋中央を走行すること。(端部から500以上の離隔確保)
※覆工板:工事用途につき落とし込み式の適用を想定する。

注意事項

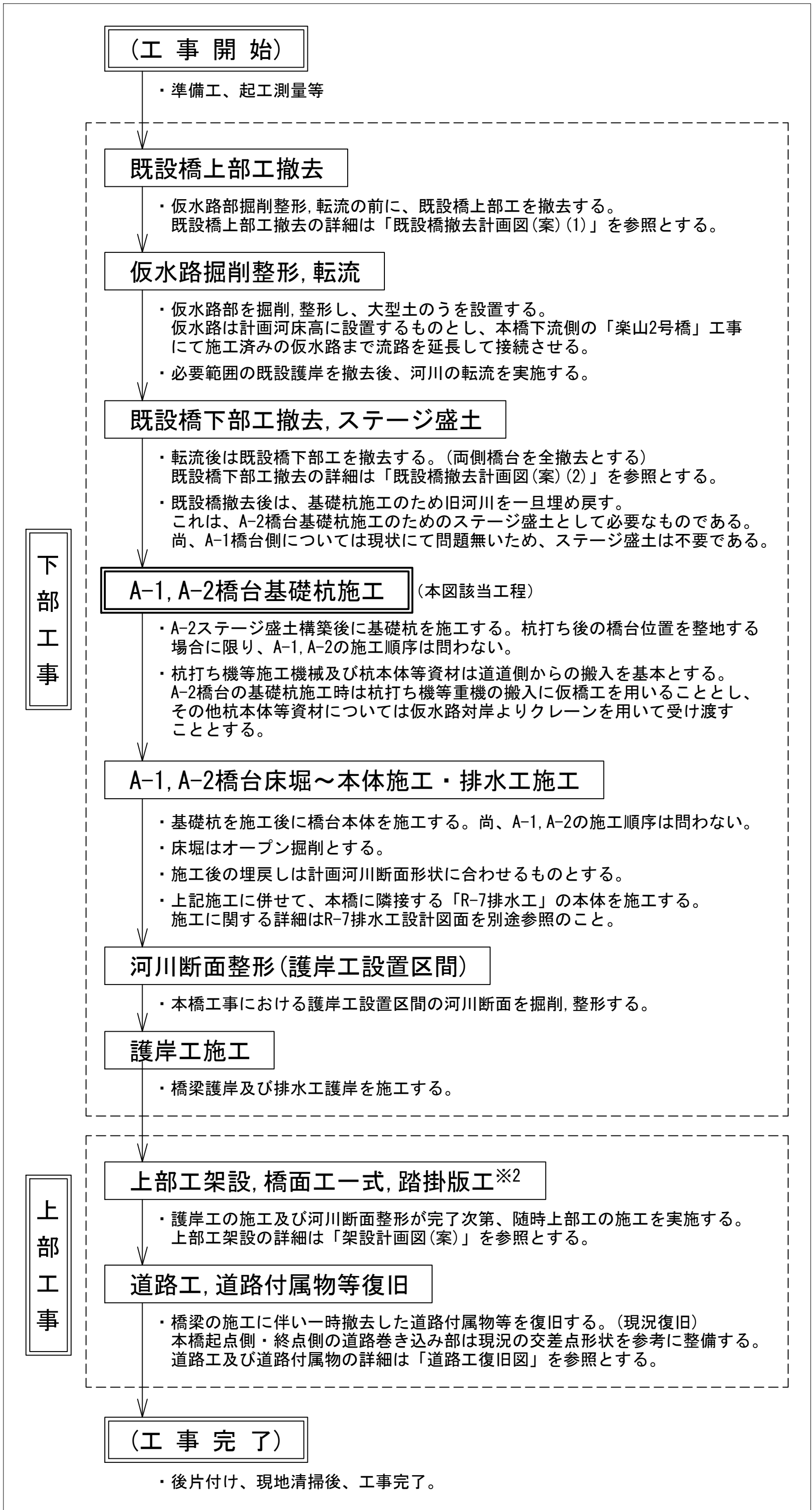
- 本図は計画案を示す参考図である。
仮橋位置、諸元等は本図の準拠を基本とし、現地状況に応じて適宜調整のこと。
- 土留鋼矢板施工時は、覆工板には溶接をしないこと。
(溶接作業等の熱を与える作業をした場合は覆工板がスクラップとなるため)
- 土留鋼矢板施工時に仮付溶接する場合は、倒れ防止材(L90x90x10)を使用のこと。
倒れ防止材は、土留鋼矢板と敷桁用スチフナーに仮付溶接とする。
(土留鋼矢板のセクション部に溶接した場合は、鋼矢板がスクラップとなるため)

年度	令和 6 年度		
路線名	知利別町3丁目2条通線		
工事名	知利別川改修工事に伴う 知利別3丁目1条橋架替 (下部工) 工事		
図面名	仮橋工詳細図(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	30
設計年月	令和 6 年 4 月		
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課		

基礎工施工計画図(案)



知利別3丁目1条号橋 施工手順(案)^{※1}



※1 本橋工事は令和6年度に橋梁単体での施工を予定しており、本橋上下流に位置する落差2基の施工は翌年以降の予定である。よって、本施工手順は橋梁単体施工を想定した手順として示す。

※2 護岸工の施工が完了したタイミングで上部工事が着手可能となるため、上部・下部工事間の施工時期の調整に留意すること。

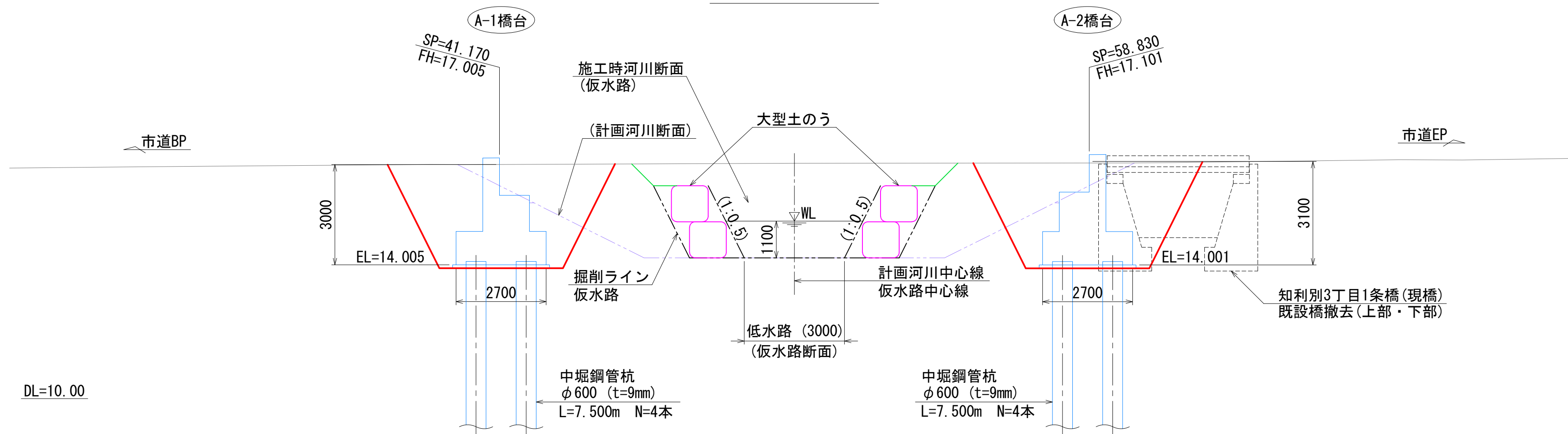
注意事項

本図は施工計画案であり、施工図ではない。
現地状況を確認の上、施工を行うこと。

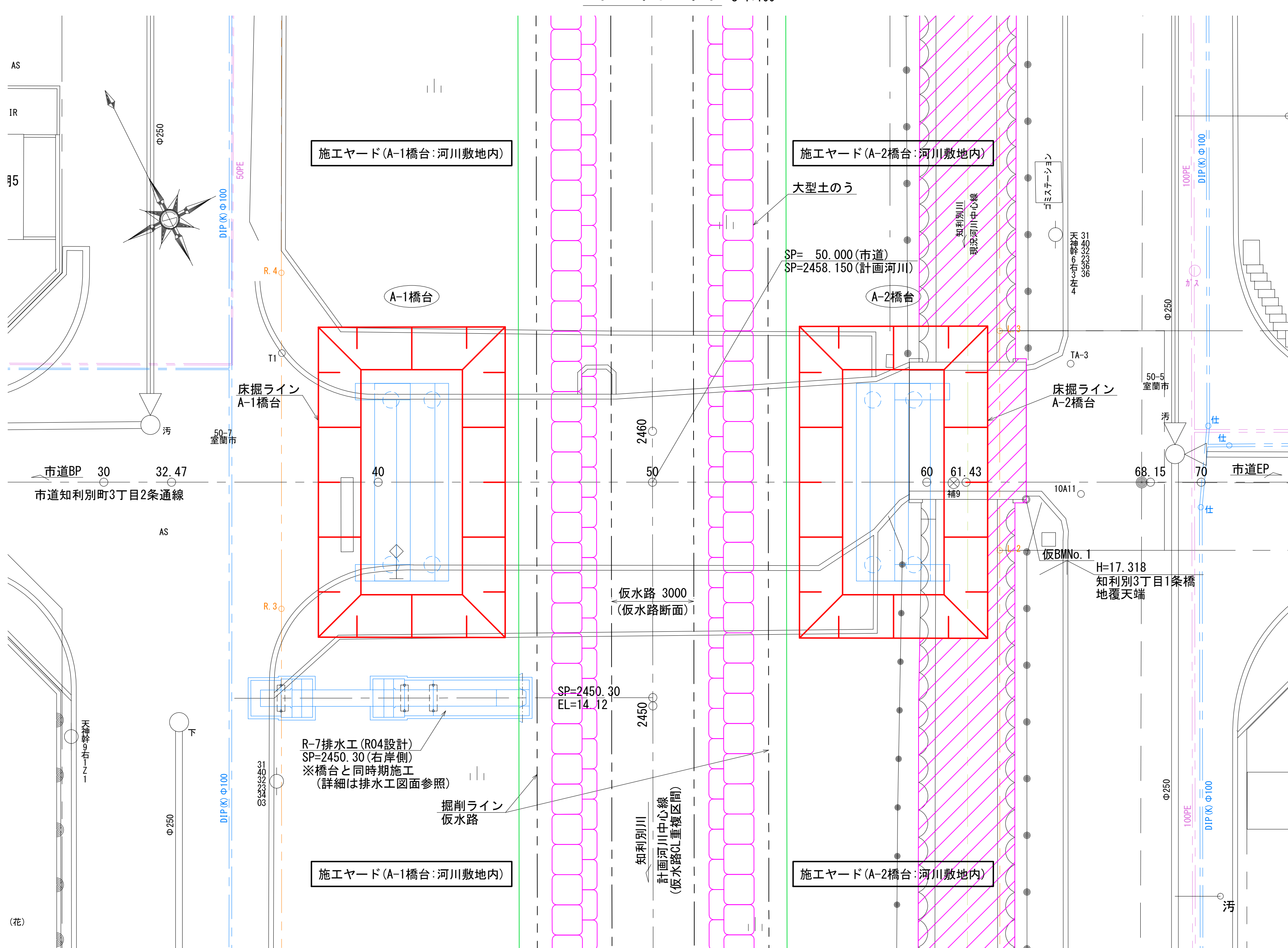
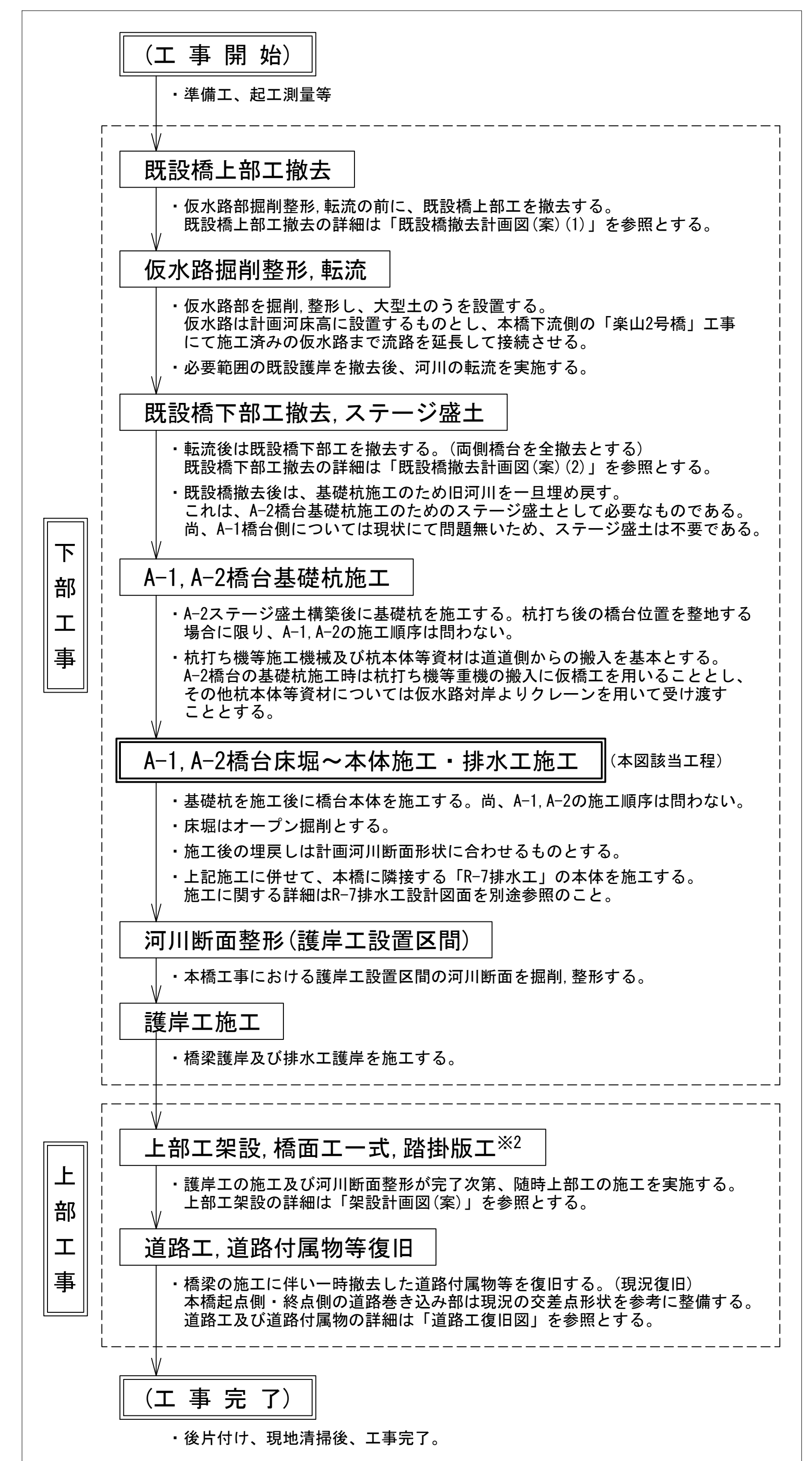
年度	令和 6 年度		
路線名	知利別町3丁目2条通線		
工事名	知利別川改修工事に伴う 知利別3丁目1条橋架替(下部工)工事		
図面名	基礎工施工計画図(案)		
縮尺	図示	図面番号	31
設計年月	令和 6 年 4 月		
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課		

下部工施工計画図(案)

側 面 図



平面图

知利別3丁目1条号橋 施工手順(案)^{※1}

※1 本橋工事は令和6年度に橋梁単体での施工を予定しており、本橋上下流に位置する落差工2基の施工は翌年以降の予定である。よって、本施工手順は橋梁単体施工を想定した手順として示す。

※2 護岸工の施工が完了したタイミングで上部工事が着手可能となるため、上部・下部工事間の施工時期の調整に留意すること。

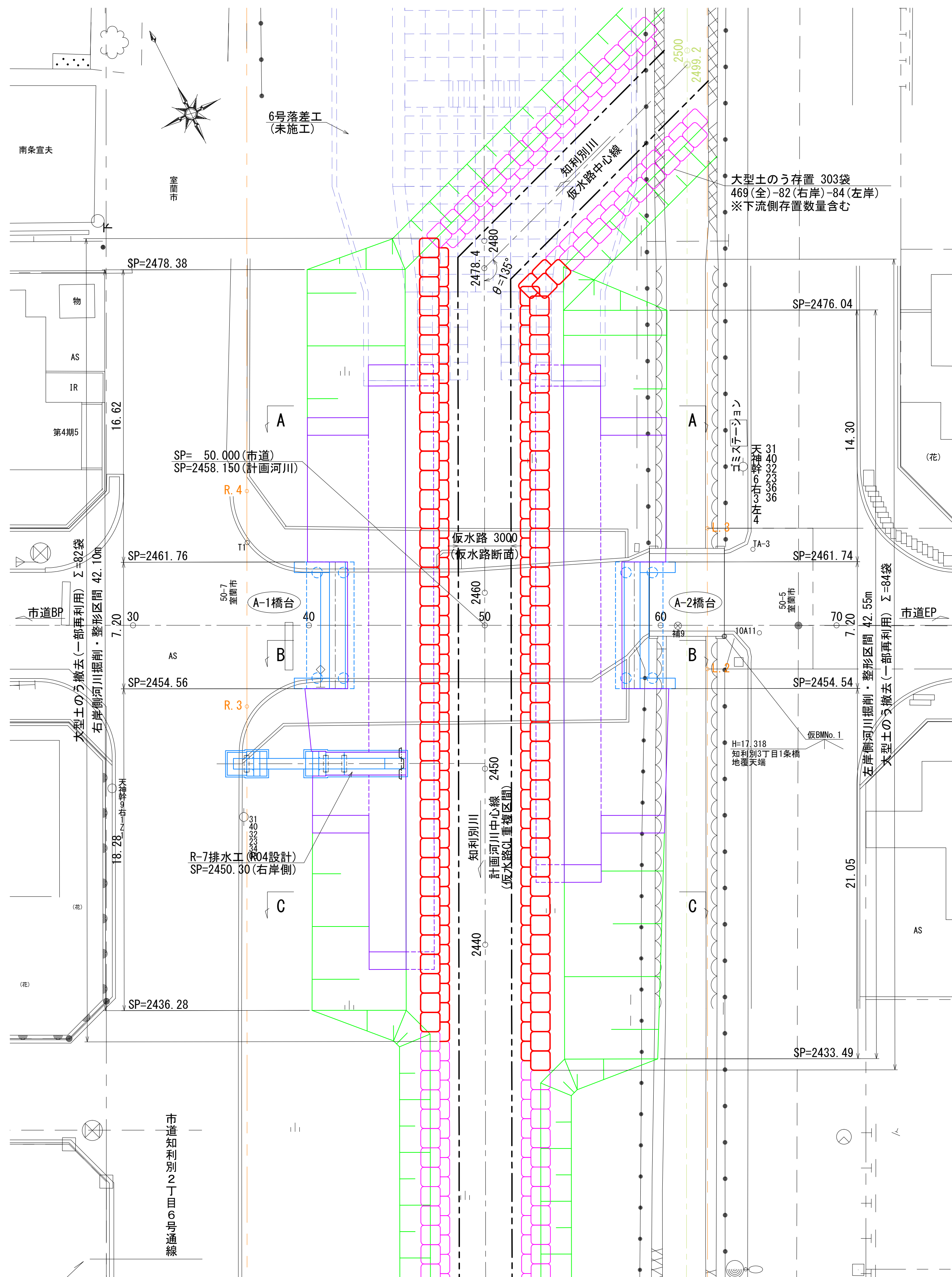
注意事項

本図は施工計画案であり、施工図ではない。
現地状況を確認の上、施工を行うこと。

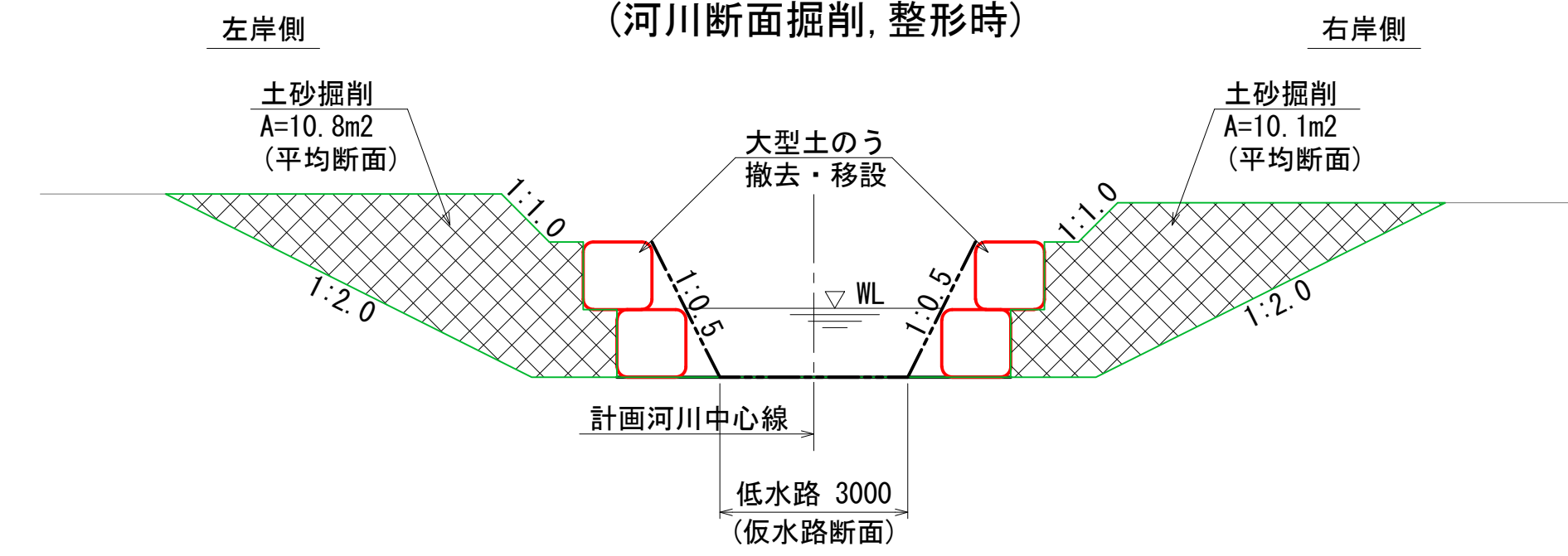
年 度	令和 6 年 度		
路線名	知利別町3丁目2条通線		
工事名	知利別川改修工事に伴う 知利別3丁目1条橋架替（下部工）工事		
図面名	下部工施工計画図(案)		
縮 尺	図示	図面番号	32
設計年月	令和 6 年 4 月		
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課		

護岸工施工計画図(案)(1)

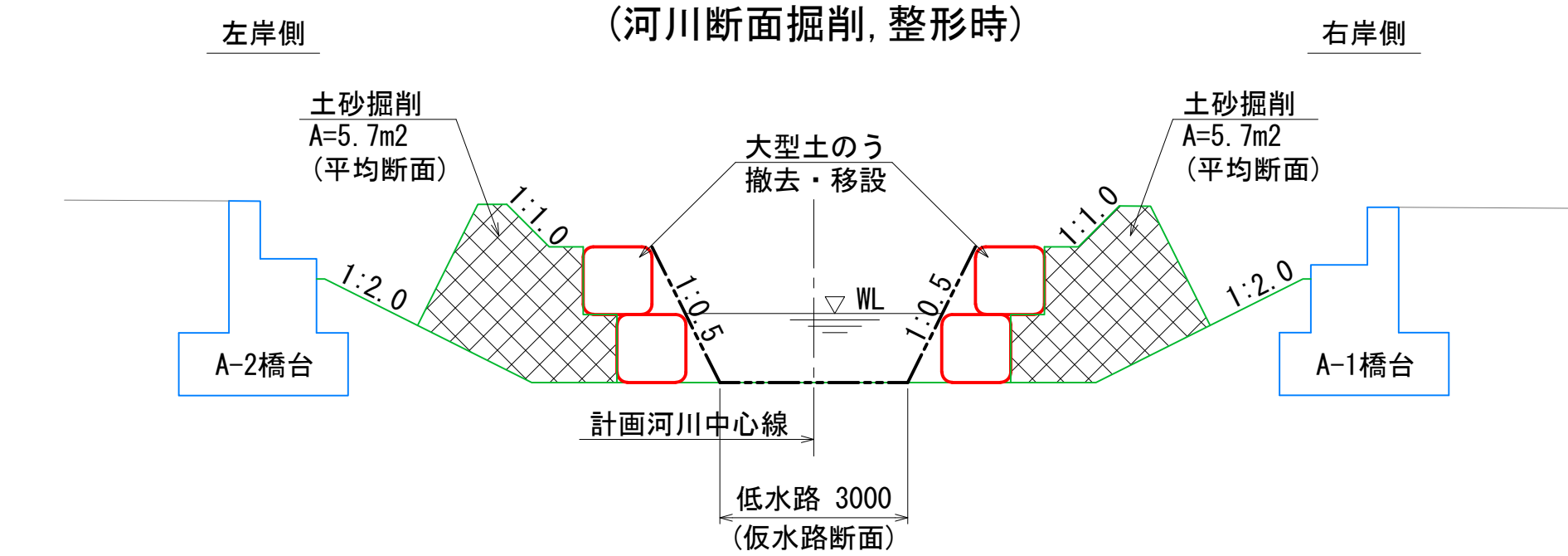
平面図 S=1:150
[1. 河川断面掘削, 整形時]



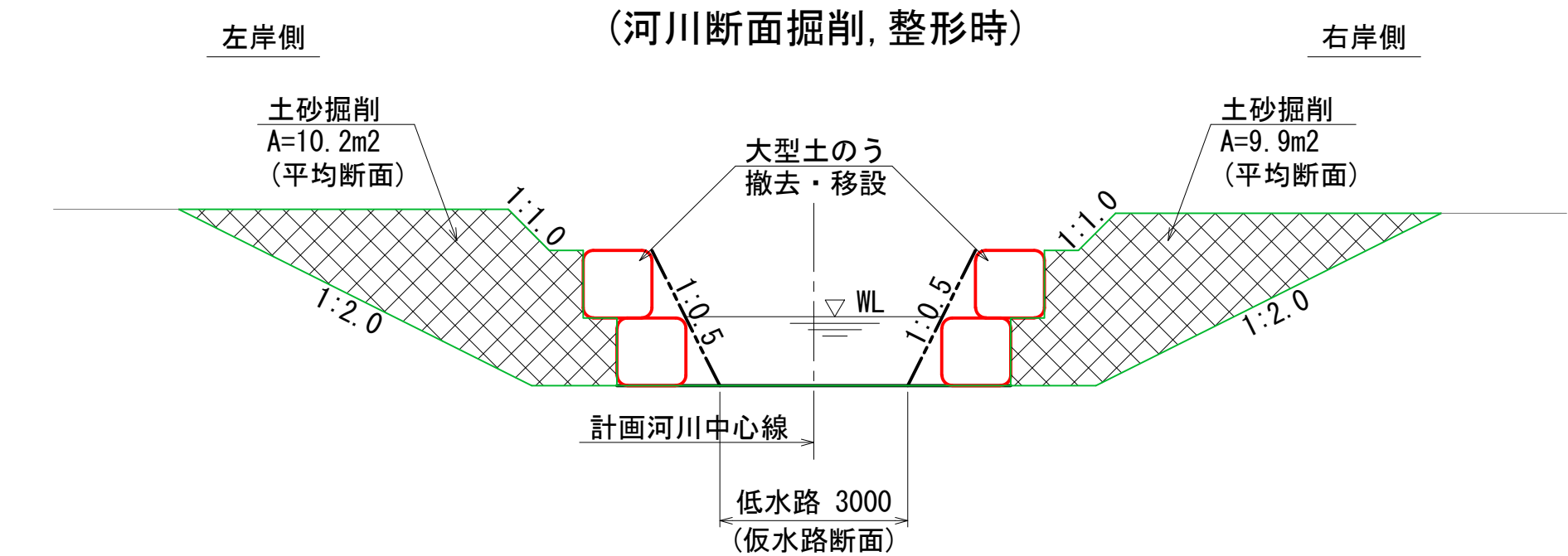
$\frac{A - A}{S=1:100}$
(河川断面掘削, 整形時)



B - B S=1:100
(河川断面掘削, 整形時)



C - C S=1:100
(河川断面掘削, 整形時)



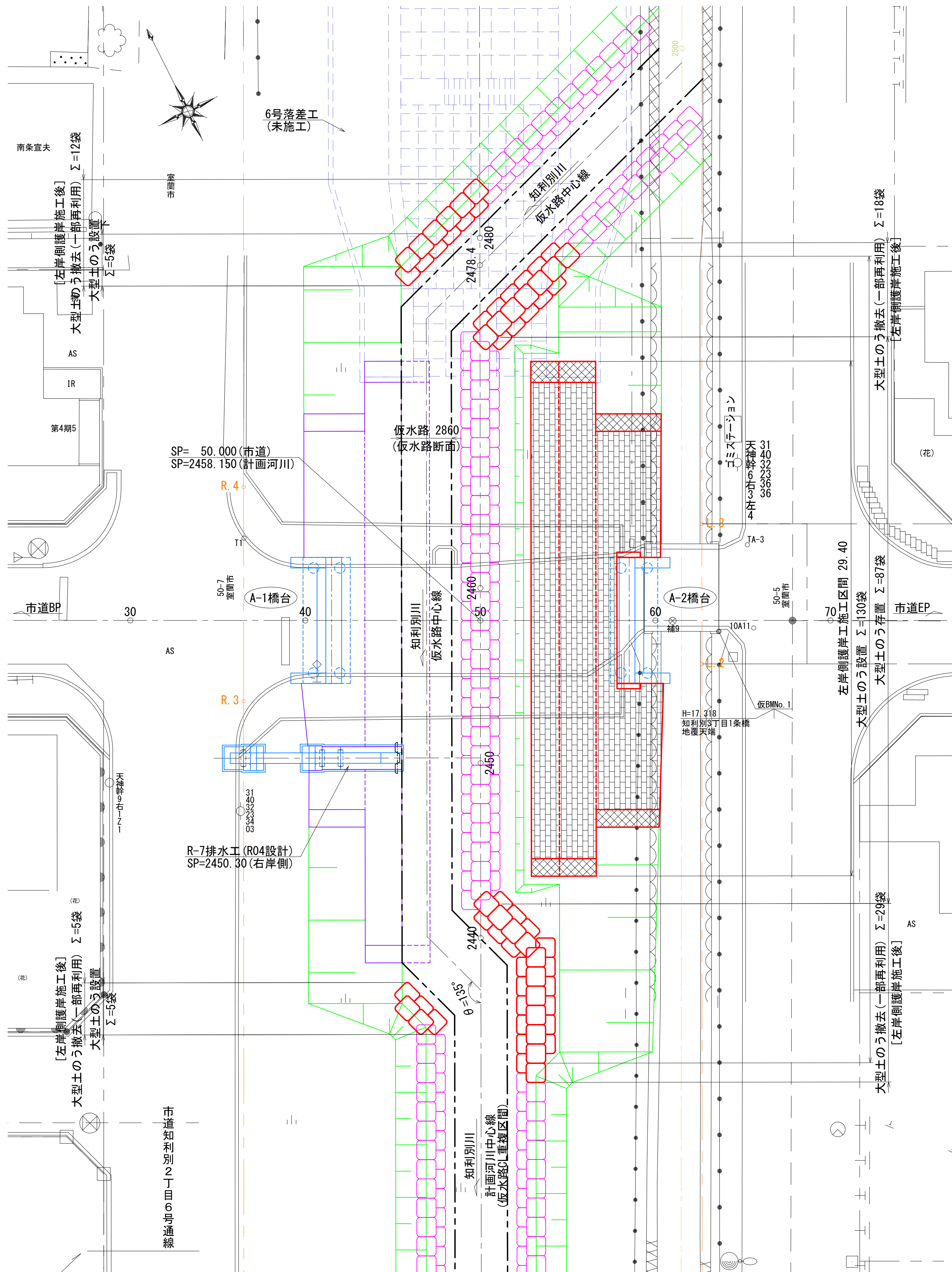
注意事項

1. 本図は施工計画案であり、施工図ではない。現地状況を確認の上、施工を行うこと。
2. 沓かくしが上部工架設時に支障となる場合は、上部工架設後に設置すること。
3. 河川掘削、整形範囲については、状況に応じて適宜対応すること。

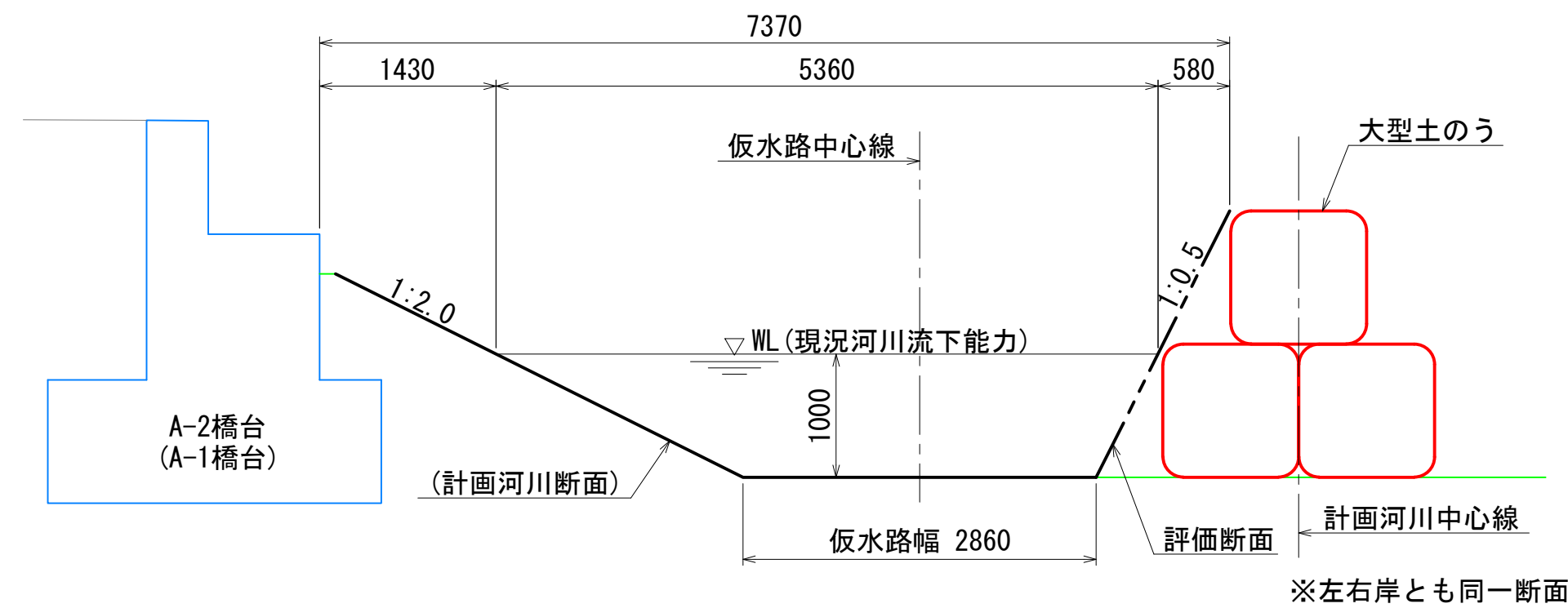
年 度	令和 6 年 度		
路線名	知利別町3丁目2条通線		
工事名	知利別川改修工事に伴う 知利別3丁目1条橋架替（下部工）工事		
図面名	護岸土工施工計画図(案)(1)		
縮 尺	図示	図面番号	33
設計年月	令和 6 年 4 月		
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課		

護岸工施工計画図(案) (2)

平面図 S=1:150
[2. 左岸側護岸工施工時]



施工時河川断面図 S=1:50
(知利別3丁目1条橋護岸工施工時 仮水路断面)

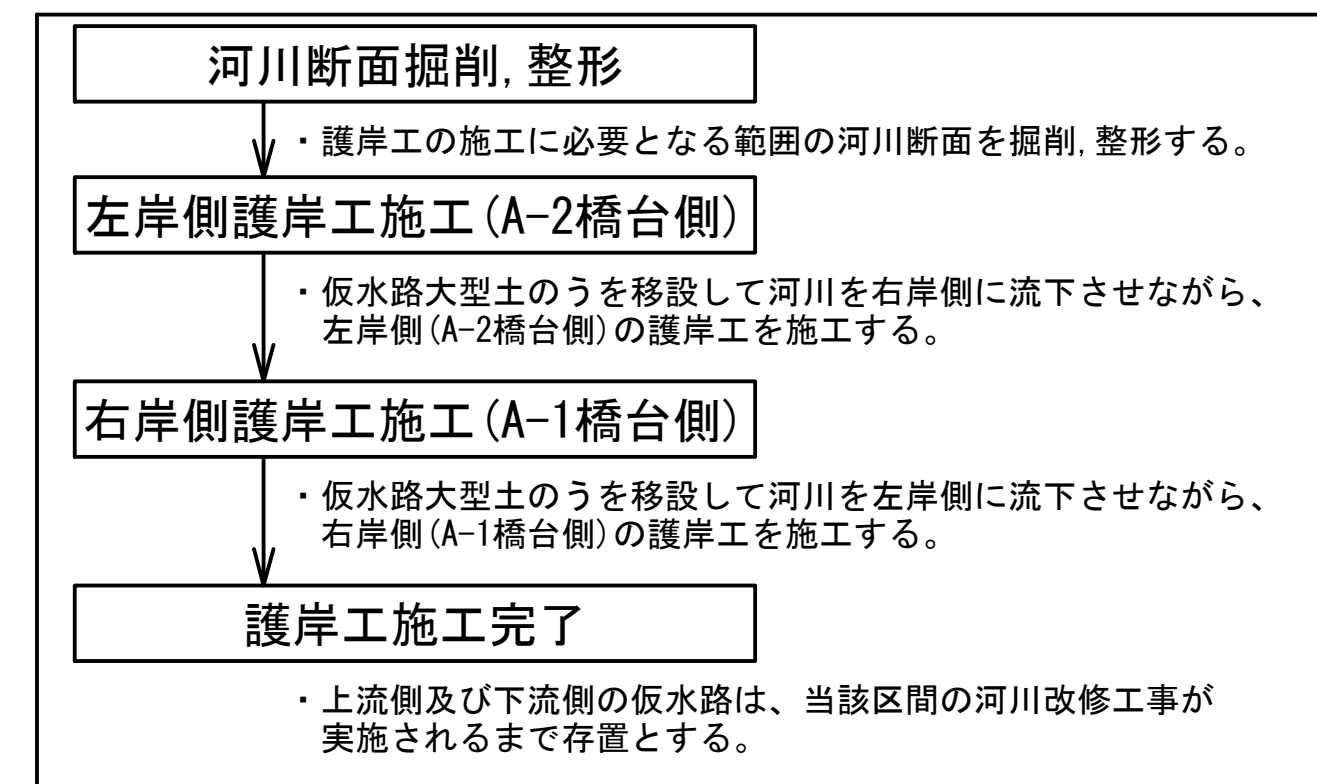


施工時仮水路諸元

Q=10.91 m³/s
I=1/90 (計画河床勾配と同等) ※
n=0.030
V=2.66 m/s

※I=1/90 (計画) < 1/63 (現況) より、勾配の緩い値を採用。
・WLは現河道SP=2560.00における流下能力 (Q=10.91m³/s) に対する水位を示す。
[平成25年度 知利別川改修工事護岸設計外「報告書 P.4-5」-現況流下能力計算表(2)-より]

護岸工施工手順(案)



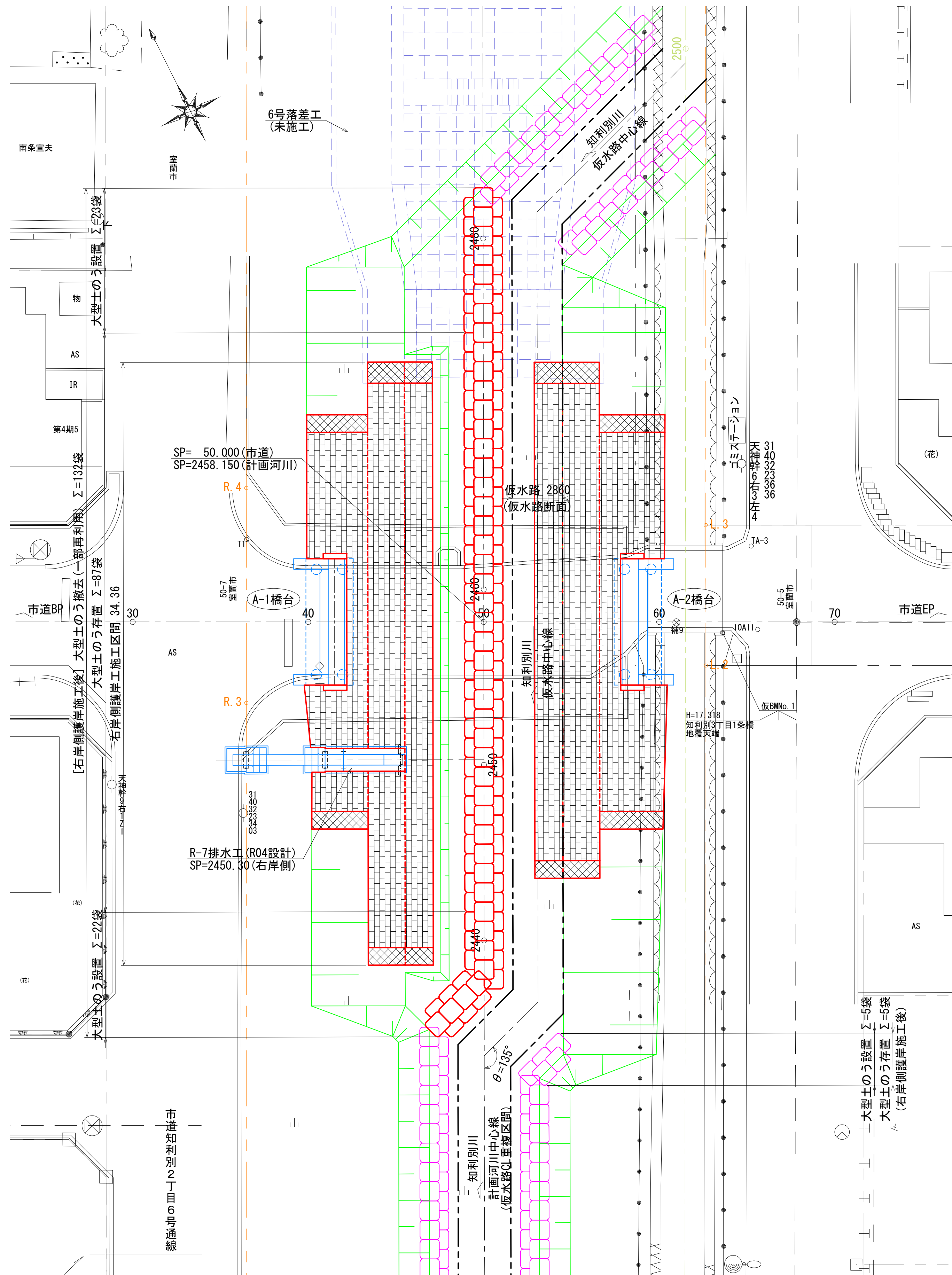
注意事項

- 本図は施工計画案であり、施工図ではない。現地状況を確認の上、施工を行うこと。
- 省かくしが上部工架設時に支障となる場合は、上部工架設後に設置すること。
- 河川掘削, 整形範囲については、状況に応じて適宜対応すること。

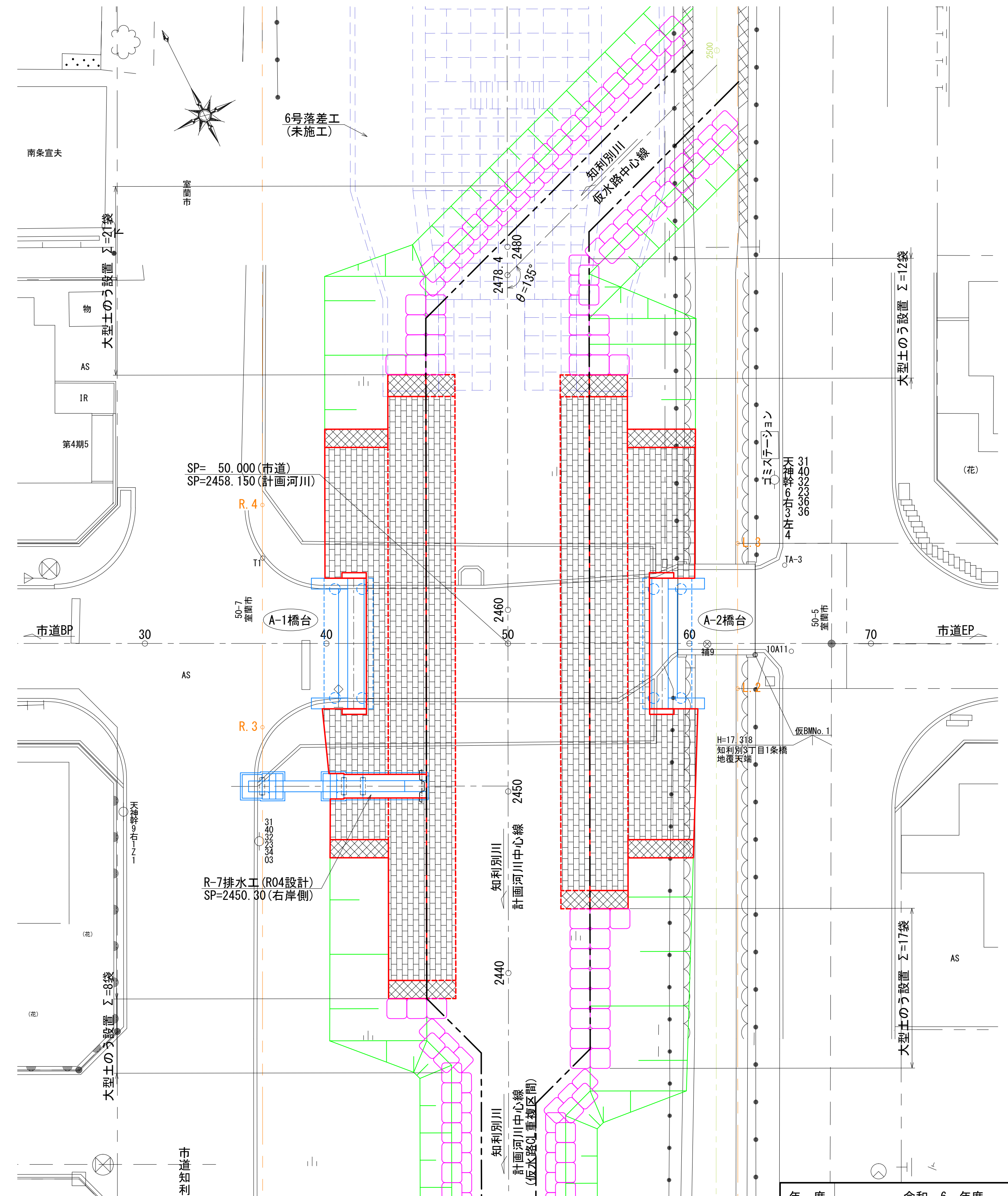
年 度	令和 6 年度		
路線名	知利別町3丁目2条通線		
工事名	知利別川改修工事に伴う 知利別3丁目1条橋架替 (下部工) 工事		
図面名	護岸工施工計画図(案) (2)		
縮 尺	図示	図面番号	34
設計年月	令和 6 年 4 月		
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課		

護岸工施工計画図(案) (3)

平面図 S=1:150
[3. 右岸側護岸工施工時]



平面図 S=1:150
[4. 護岸工施工完了時]



注意事項

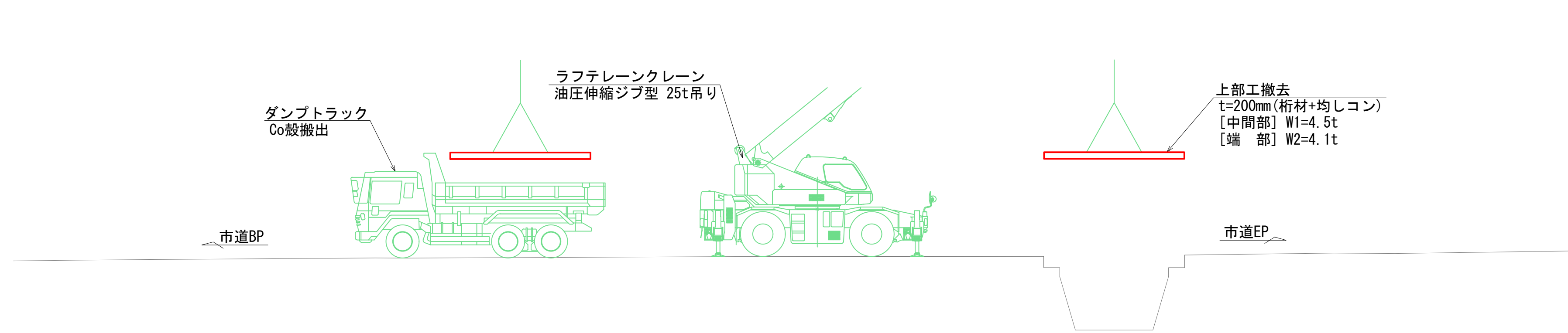
1. 本図は施工計画案であり、施工図ではない。現地状況を確認の上、施工を行うこと。
2. 沓かくしが上部工架設時に支障となる場合は、上部工架設後に設置すること。
3. 河川掘削、整形範囲については、状況に応じて適宜対応すること。

年 度	令和 6 年度		
路線名	知利別町3丁目2条通線		
工事名	知利別川改修工事に伴う 知利別3丁目1条橋架替（下部工）工事		
図面名	護岸工施工計画図(案) (3)		
縮 尺	図示	図面番号	35
設計年月	令和 6 年 4 月		
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課		

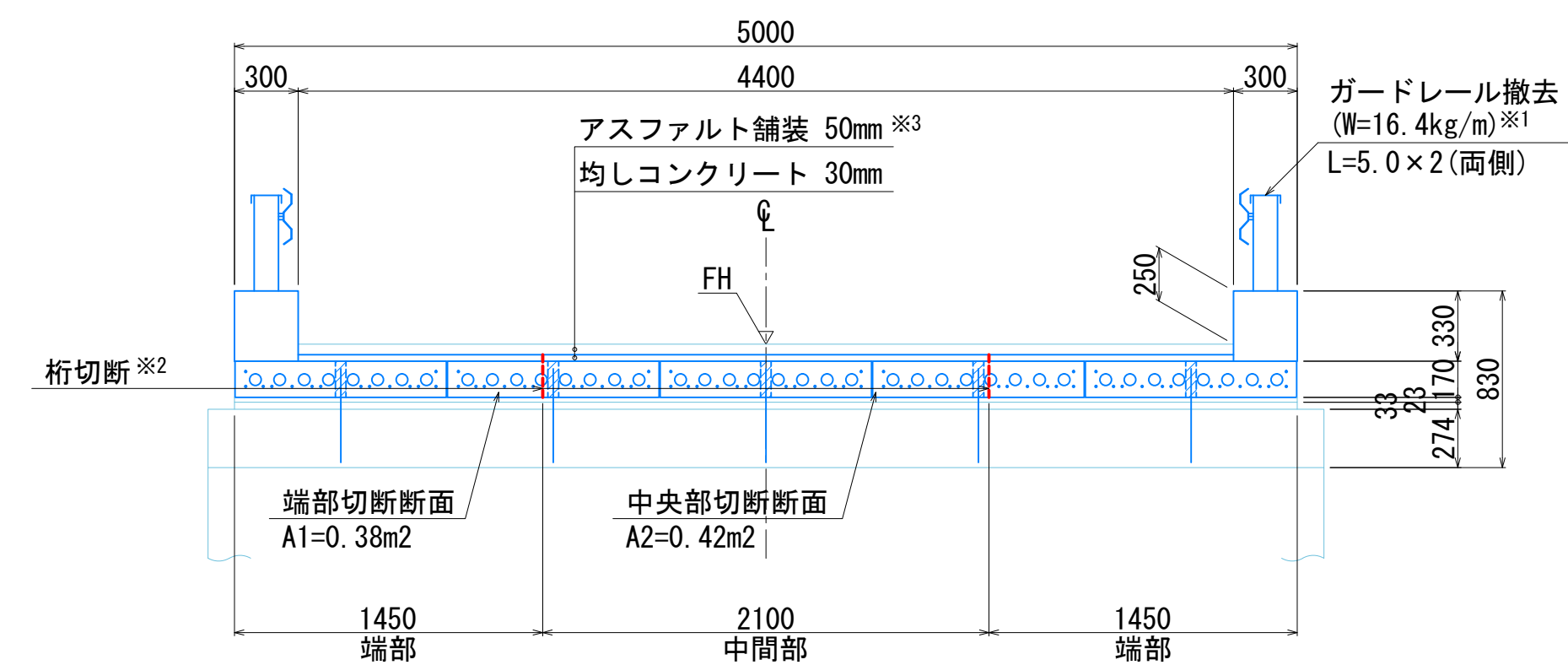
既設橋撤去計画図(案) (1)

上部工撤去時

側面図 S=1:100

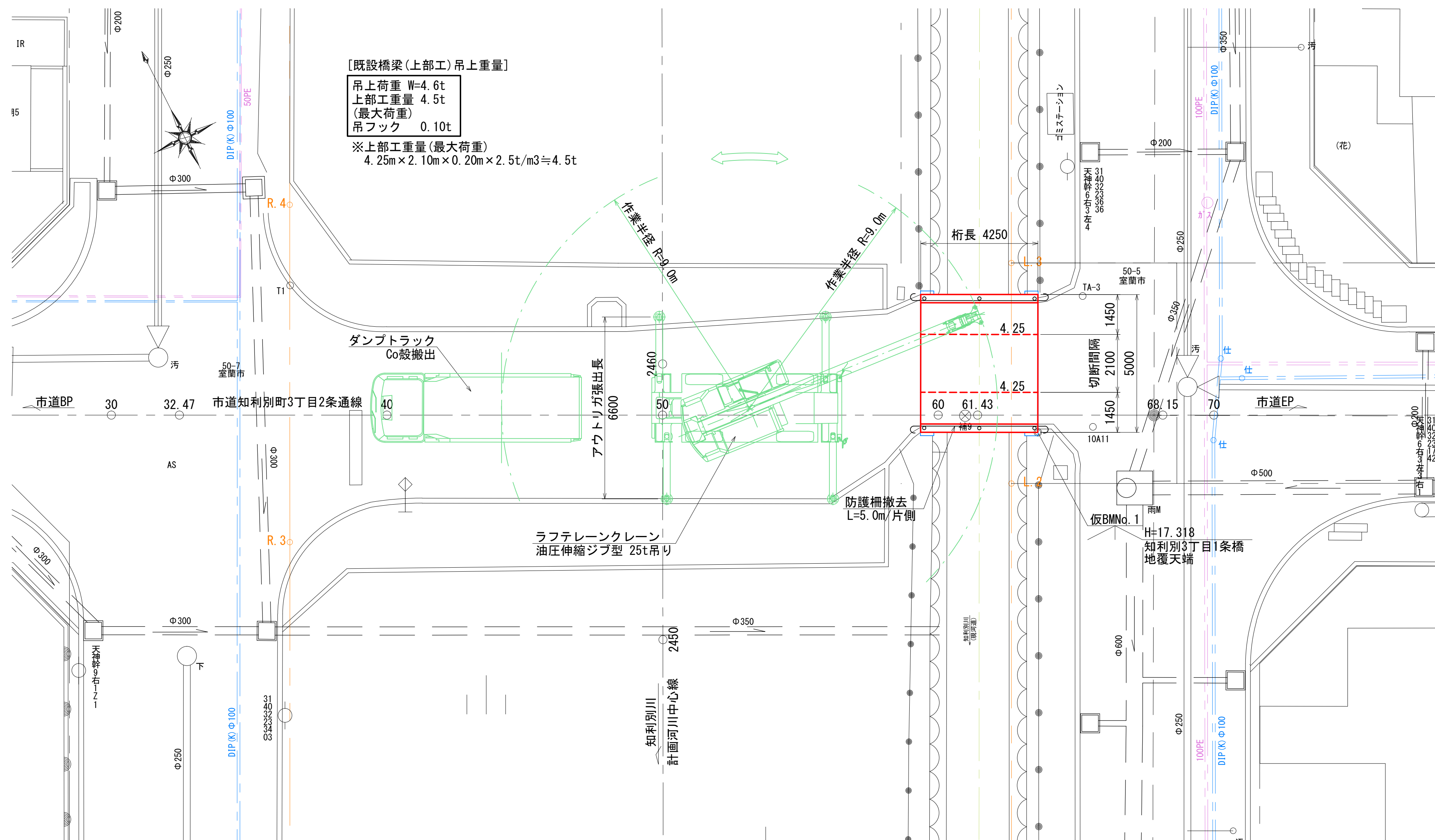


断面図 S=1:30



- ※1 既設ガードレール重量は、ガードレールC種相当の参考値として示す。
※2 端部断面積(地覆部含む)＜中間部断面積となるよう
切断位置を設定(最大荷重＝中間部と設定)
※3 旧橋部のアスファルト舗装は桁切断前に撤去し、均しコンクリートは
桁材と合わせて切断・撤去とする。

平面図 S=1:100



クレーン規格	最大吊り荷重	定格総荷重
ラフテレーンクレーン (25t吊)	4.60t	9.30t

- ※本条件におけるアウトリガ張出幅設定=6.6m(最大張出)
上記条件での定格総荷重:9.30t(メーカーカタログより)
・定格総荷重:9.30t > 最大吊り荷重 W=4.60t ... OK

- ※使用クレーンはラフテレーンクレーン(25t吊)を想定。
同クレーンにおけるアウトリガ張出長6.6mとしたときの切断間隔を示す。
本図面はクレーン規格設定の一例である。これによりクレーン規格を限定するものではない。
現地にて使用するクレーン規格に応じて切断間隔を適宜設定すること。

上部工撤去要領

- ※仮水路切り替え前に上部工の撤去を行う。
- 旧橋部のアスファルト舗装を事前撤去する。
 - 吊り上げを可能とするため、支承部の縁切りを行う。
 - 付属物(防護柵)を撤去後、コンクリートカッターにて上部工を切断する。
 - ラフテレーンクレーン(25t吊り)にて上部工を撤去する。
 - 撤去した上部工は状況に応じて運搬可能なブロックに解体してから運搬する。

注意事項

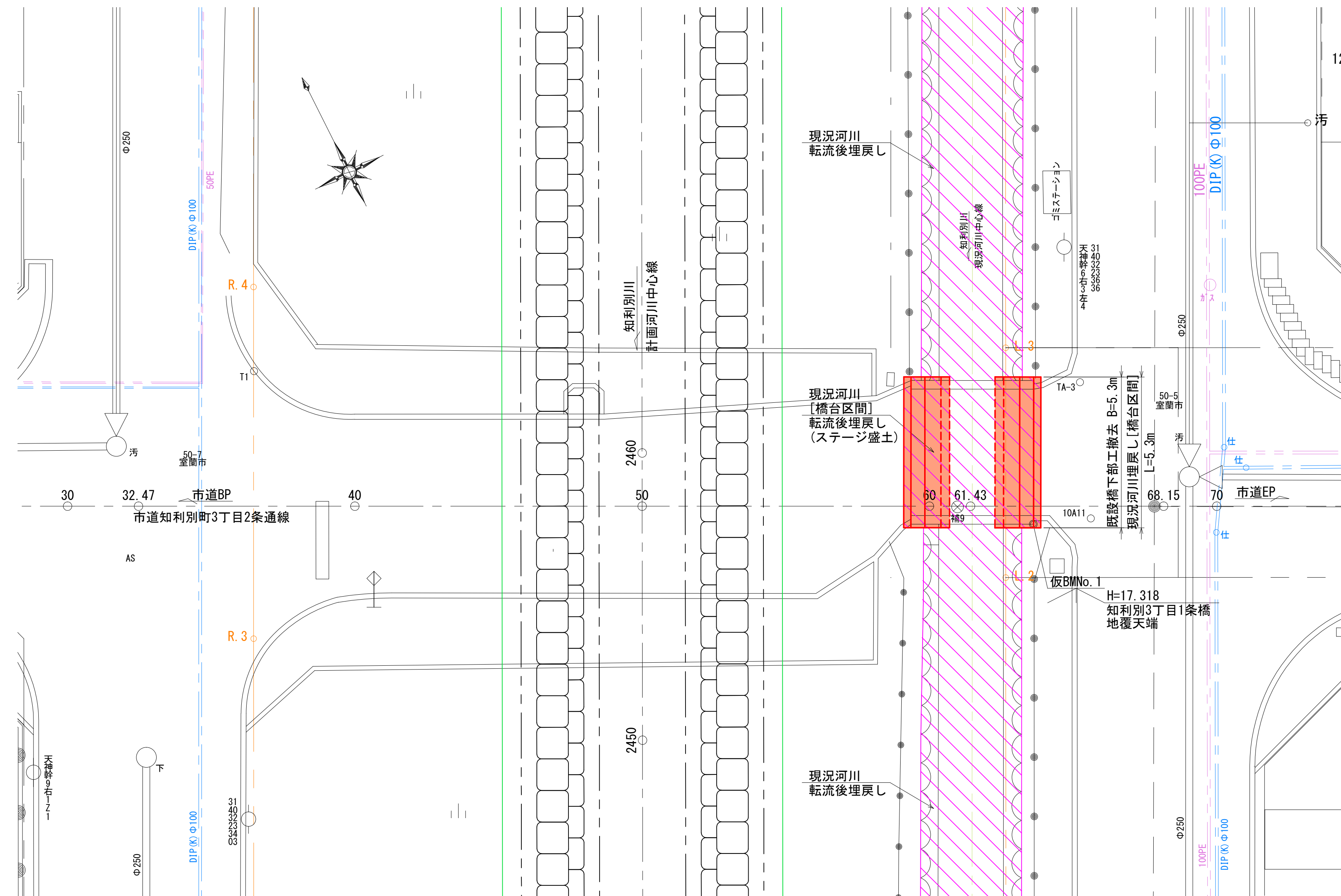
- 本図は施工計画案であり、施工図ではない。
現地状況を確認の上、施工を行うこと。
- 既設橋梁の上部工撤去時には、コンクリート殻を現況河川に落下させないよう十分注意すること。

年 度	令和 6 年度		
路線名	知利別川3丁目2条通線		
工事名	知利別川改修工事に伴う 知利別3丁目1条橋架替(下部工)工事		
図面名	既設橋撤去計画図(案) (1)		
縮 尺	図示	図面番号	36
設計年月	令和 6 年 4 月		
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課		

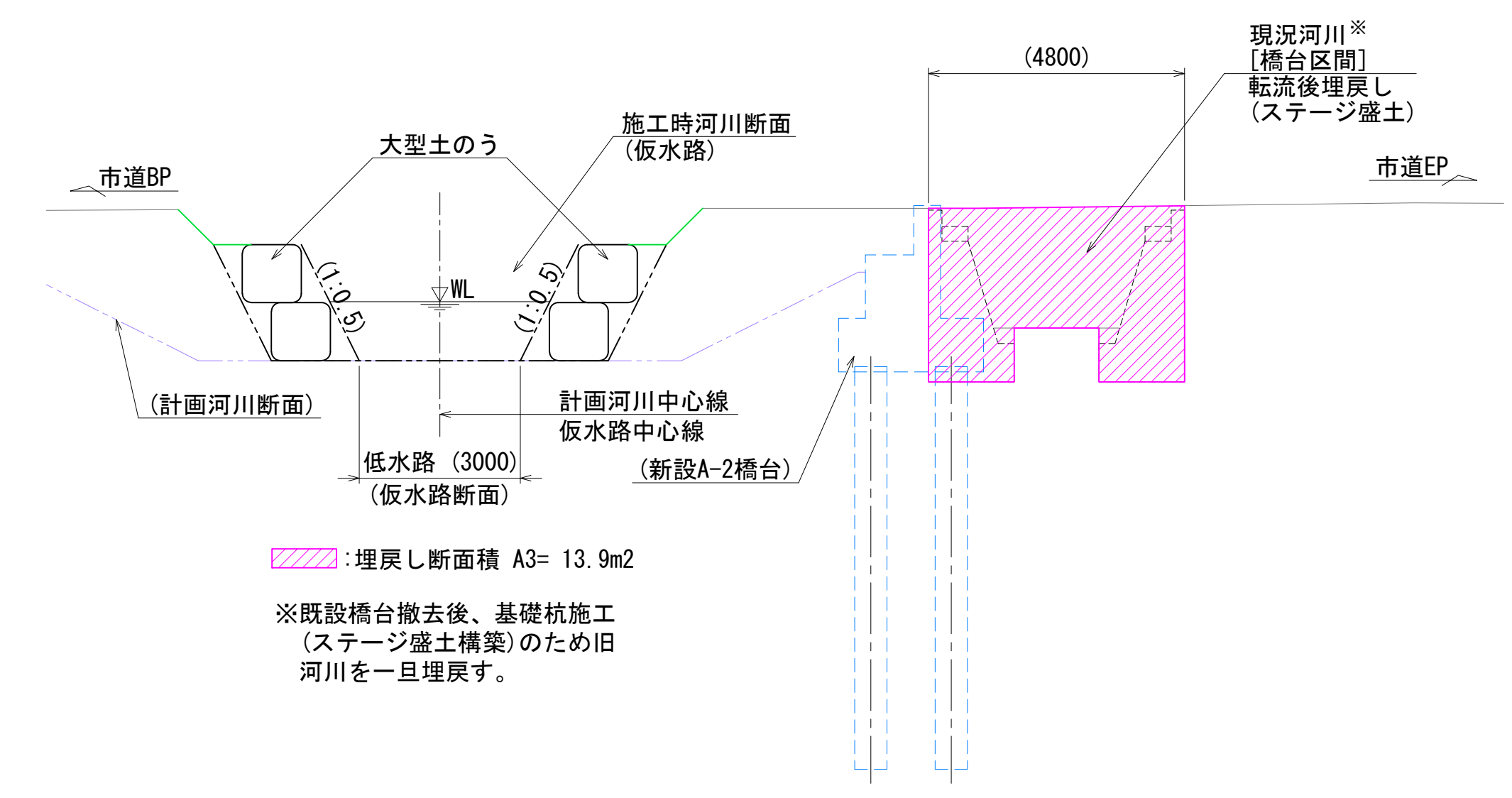
既設橋撤去計画図(案) (2)

下部工撤去時

平面図 S=1:100



現橋河川埋戻時側面図 S=1:100



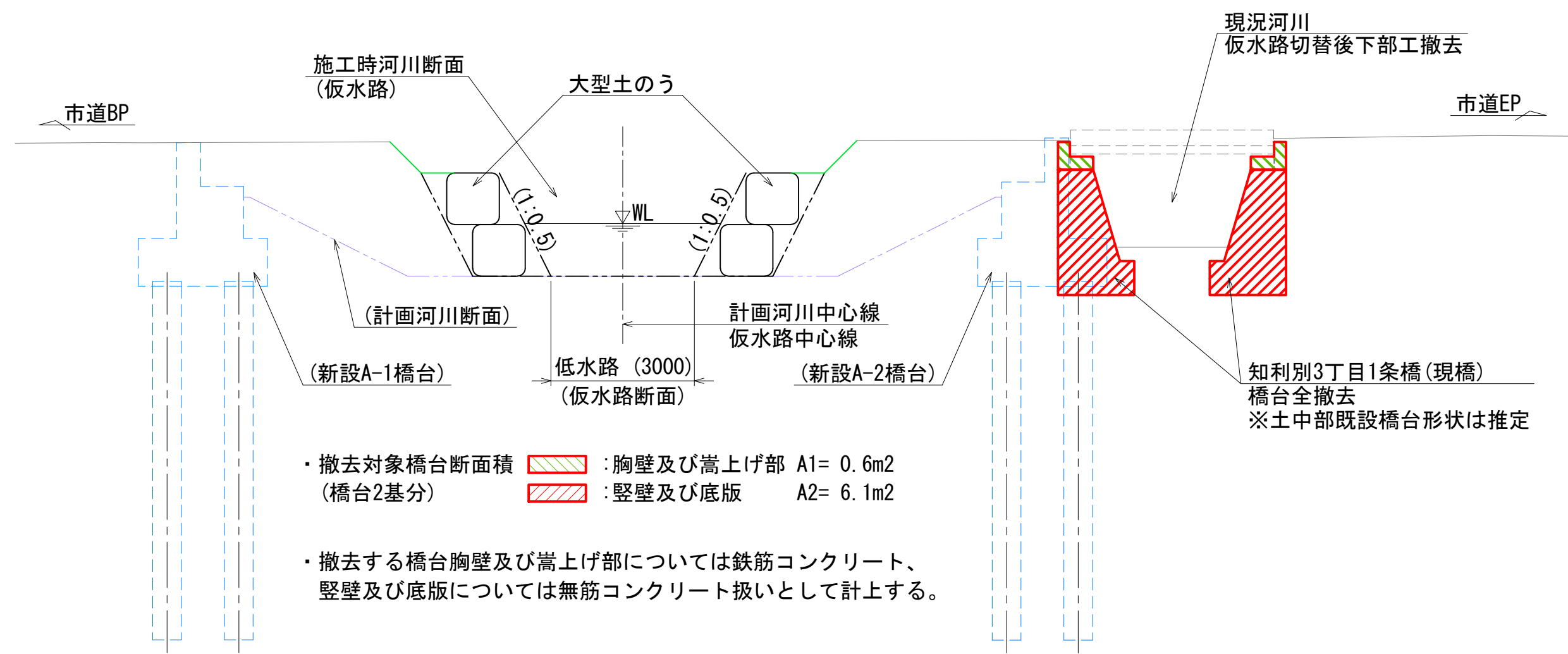
下部工撤去要領

※仮水路切り替え後に下部工の撤去を行う。

1. 油圧ブレーカーにて既設下部工の撤去を行う。
左岸側/右岸側既設橋台ともに全撤去とする。

2. 既設橋台撤去後、基礎工施工(ステージ盛土構築)のため旧河川を一旦埋戻す。

既設橋台撤去時断面図 S=1:100

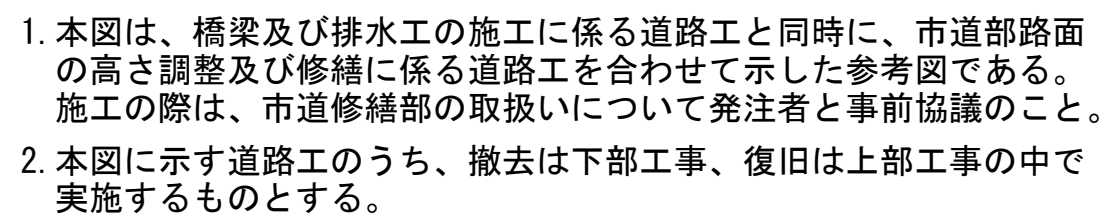


注意事項

- 本図は施工計画案であり、施工図ではない。
現地状況を確認の上、施工を行うこと。
- 撤去対象となる既設橋梁形状は、現地計測結果を基に復元したものである。土中部形状は推定であることに留意のこと。

年度	令和 6 年度		
路線名	知利別町3丁目2条通線		
工事名	知利別川改修工事に伴う 知利別3丁目1条橋架替 (下部工) 工事		
図面名	既設橋撤去計画図(案) (2)		
縮 尺	図示	図面番号	37
設計年月	令和 6 年 4 月		
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課		

S=1:100

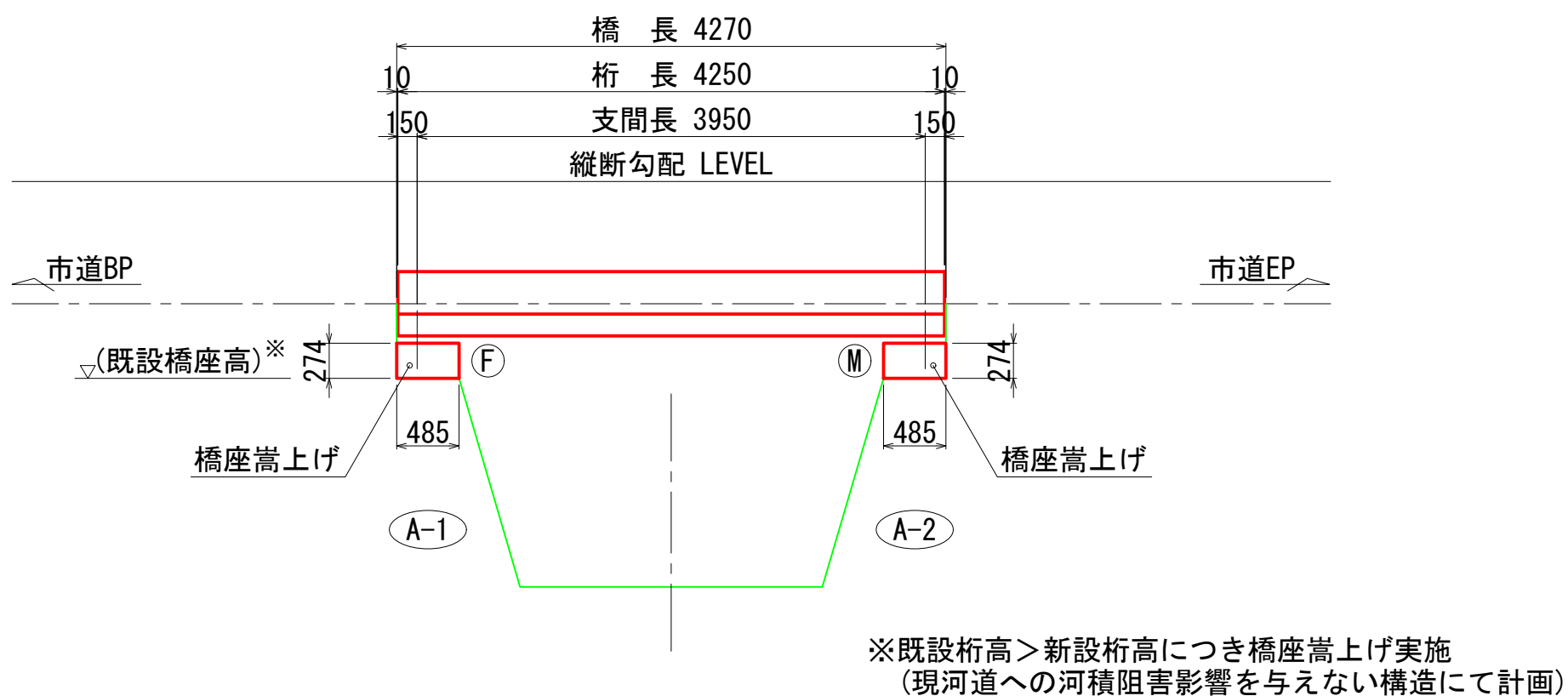


年 度	令和 6 年度		
路線名	知利別町3丁目2条通線		
工事名	知利別川改修工事に伴う 知利別3丁目1条橋梁替（下部工）工事		
図面名	道路工撤去図（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	38
設計年月	令和 6 年 4 月		
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課		

現況一般図(参考図)

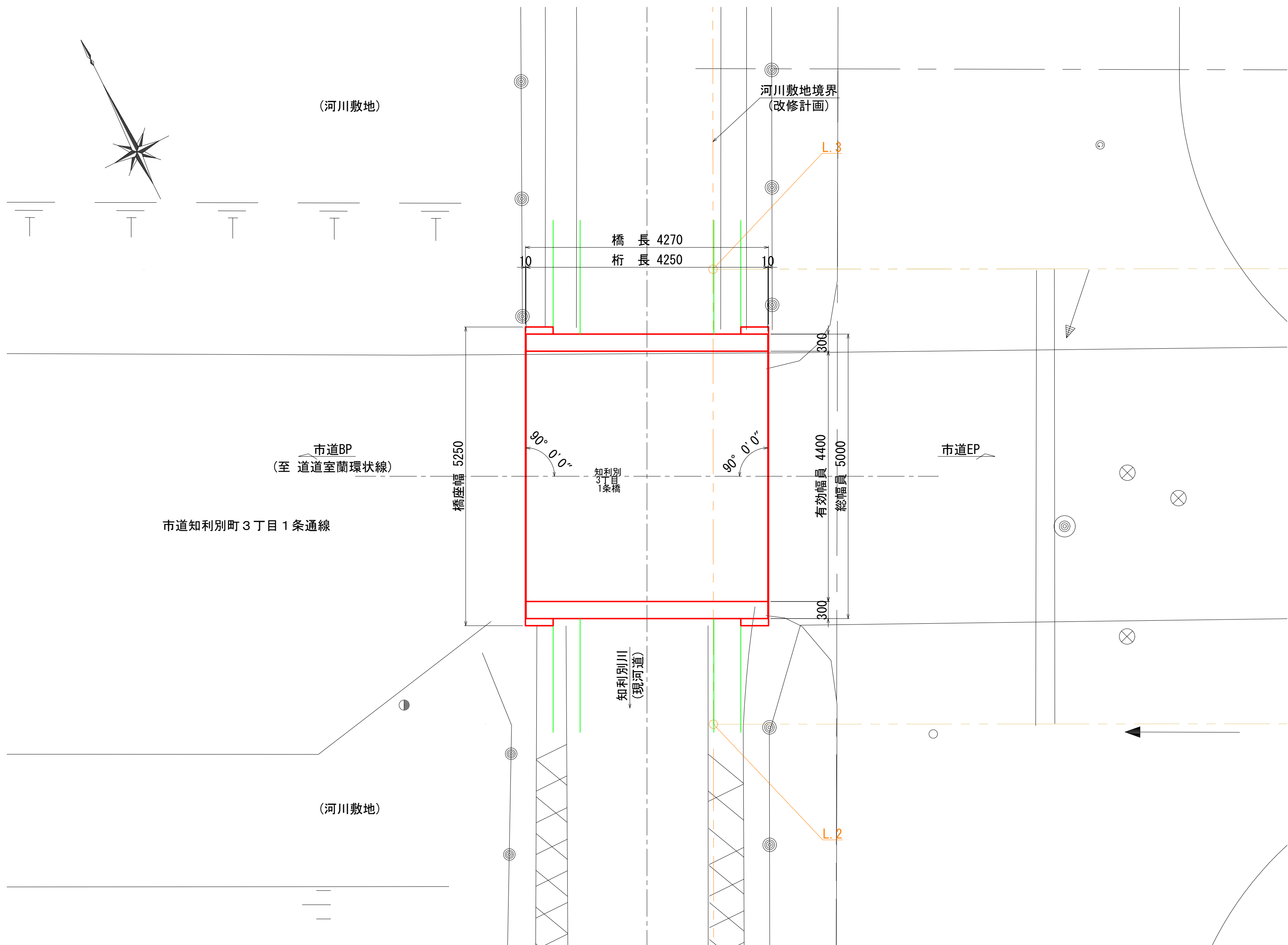
側面図

S=1:50



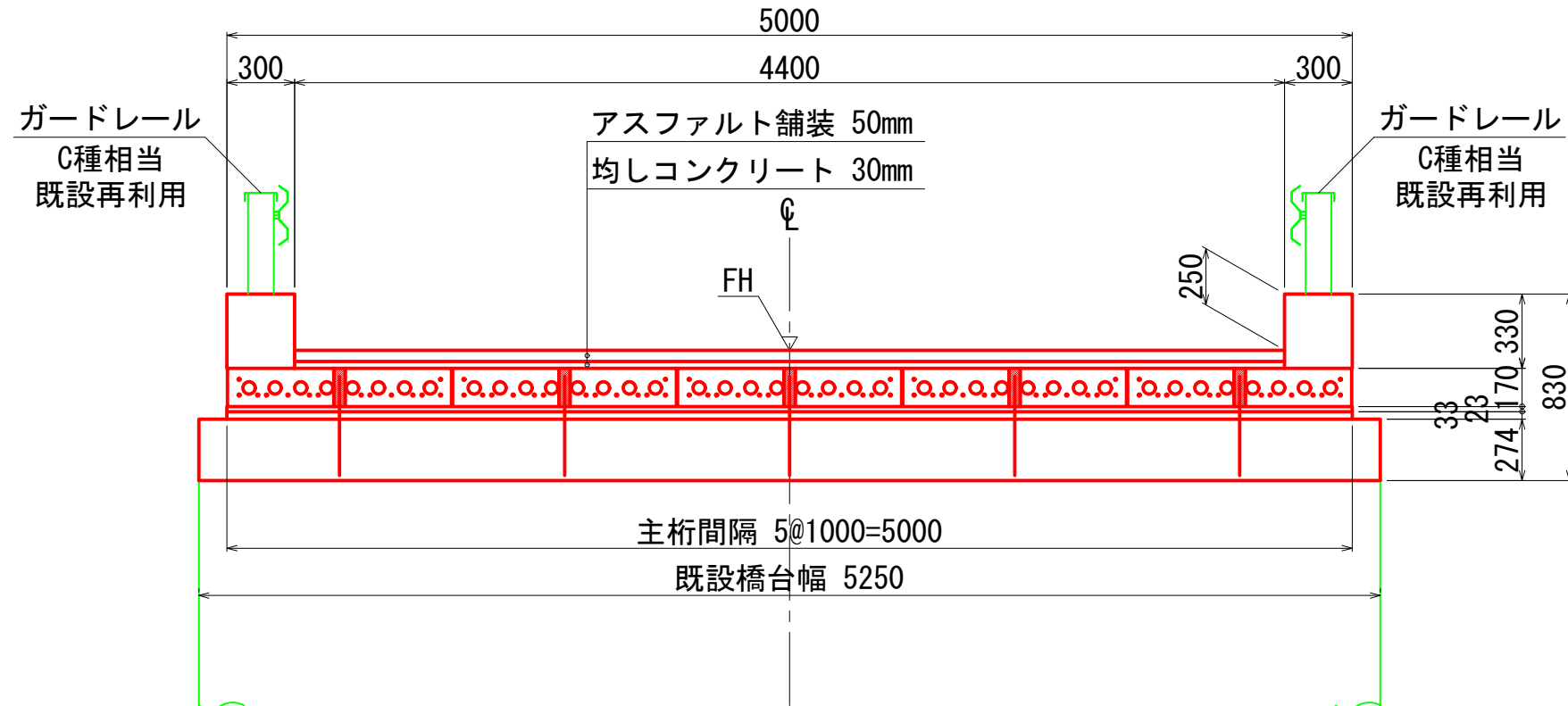
平面図

S=1:50



断面図

S=1:30



知利別3丁目1条橋 橋梁諸元	
橋長	4.270 m
支間長	3.950 m
幅員	4.400 m (総幅員 5.000 m)
設計荷重	TL-14
上部構造型式	軽荷重用床版橋 (NKL 14-17)
地盤種別	II種地盤

注意事項

- 本図は、知利別3丁目1条橋の上部工架替え工事 (H30実施) における図面を基に作成した現況一般図である。本計画における既設橋撤去の実施に当たっての参考図として示す。

年度	令和 6 年度		
路線名	知利別町3丁目2条通線		
工事名	知利別川改修工事に伴う知利別3丁目1条橋架替 (下部工) 工事		
図面名	現況一般図 (参考図)		
縮尺	図示	図面番号	39
設計年月	令和 6 年 4 月		
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課		

【R-7排水工】

縦断面図

河川用地界

測量法線

河川用地界

計画河床高 EL=14.12

H. W. L=15.17

計画河床幅 9000

計画法線

4500

5300

3000

10150

4550

3500

1200

2300

1050

1100

750

350

400

300

50

波付管 φ 300

管理用通路高 EL=16.77

角落し 50×50

計画築堤高 EL=15.77

角落し 50×50

終手(新材) 波付管 φ 300

(既設管曲げ角修正)

850 (新材)

1550

96

1320

1500

1900

180

400

EL=15.67

上流側流入水路 φ 300

EL=15.45

背後流入水路 φ 300

均しコンクリート C-1

止水板 目地板

止水板 目地板

均しコンクリート C-1

管体長 3700

ダクトイル鋳鉄管 φ 600 K型3種

基床材

400

350

400

1150

2200

1150

400

350

400

2650

1000

1650

600

1050

1150

400

1:2.0

1:2.0

敷高 EL=15.27

管体敷高 EL=15.27

管体断面図

ダクトイル鋳鉄管 K型3種 φ 600

管理用通路高

630.8

15

15

1:0.5

1:0.5

90°

2D=1200

1700

1790

590

500

基床材 (良質土)

管体敷高 EL=15.27

洗掘防止矢板 L=2.10m 広幅鋼矢板 II w型

ダクタイル鋳鉄管
K型3種 φ600

管理用通路高

630.8

15 600.8 15

1:0.5 1:0.5

管体敷高
EL=15.27

590

500

90°

2D=1200

1700

1790

基床材
(良質土)

[illegible]

特記事項

○使用材料について
コンクリート 鉄筋コンクリート $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ (RC-2-1)
均しコンクリート (C-1)

鉄筋 SD345

目地材 樹脂発泡体 0.1g/cm^3 以上級 $t=20\text{mm}$

止水板 ゴム伸縮止水板 耐震用 280B

鋼止水板 SYW295 (Ⅱ型)

○基床材および埋戻し土に用いる良質土の条件は以下とし、
現地発生土を流用する場合は、監督員と協議の上決定する事。

- ・粒度分布がよい。
- ・細粒分 ($75\mu\text{m}$ 以下) が土質材料の15%以下。
- ・シルト分のあまり多くない土。
- ・細粒分 ($75\mu\text{m}$ 以下) のあまり多くない土。(細粒分50%未満)

○その他使用材料の規格は北海道建設部土木工事共通仕様書による。

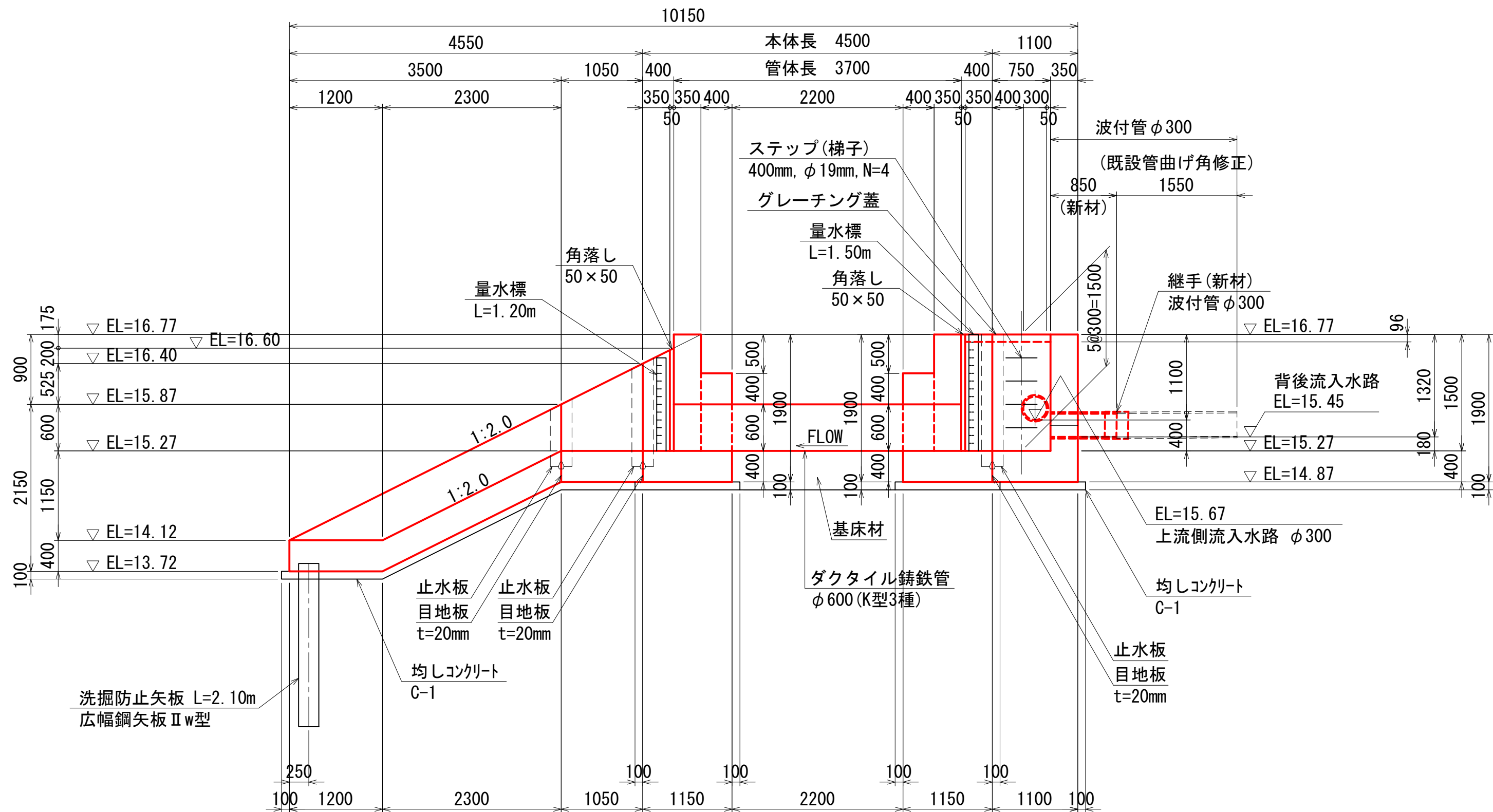
- ・梯子 $\phi 19\text{mm}$, $B=400\text{mm}$
- ・銘板 ブロンズ製 $350 \times 240 \times 20\text{mm}$

R-7排水工 SP=2450.30(R)
φ0.60m(簡易型柔構造)

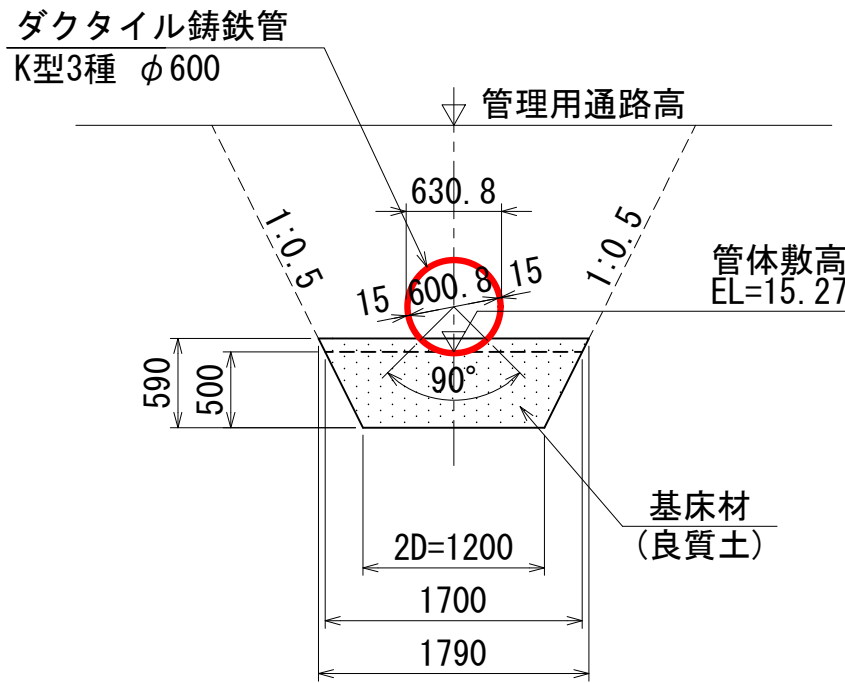
年 度	令和 6 年度		
路線名	知利別町3丁目2条通線		
工事名	知利別川改修工事に伴う 知利別3丁目1条橋架替（下部工）工事		
図面名	排水工一般図		
縮 尺	1:50	図面番号	40
設計年月	令和 6 年 4 月		
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課		

本體工詳細図
【R-7排水工】

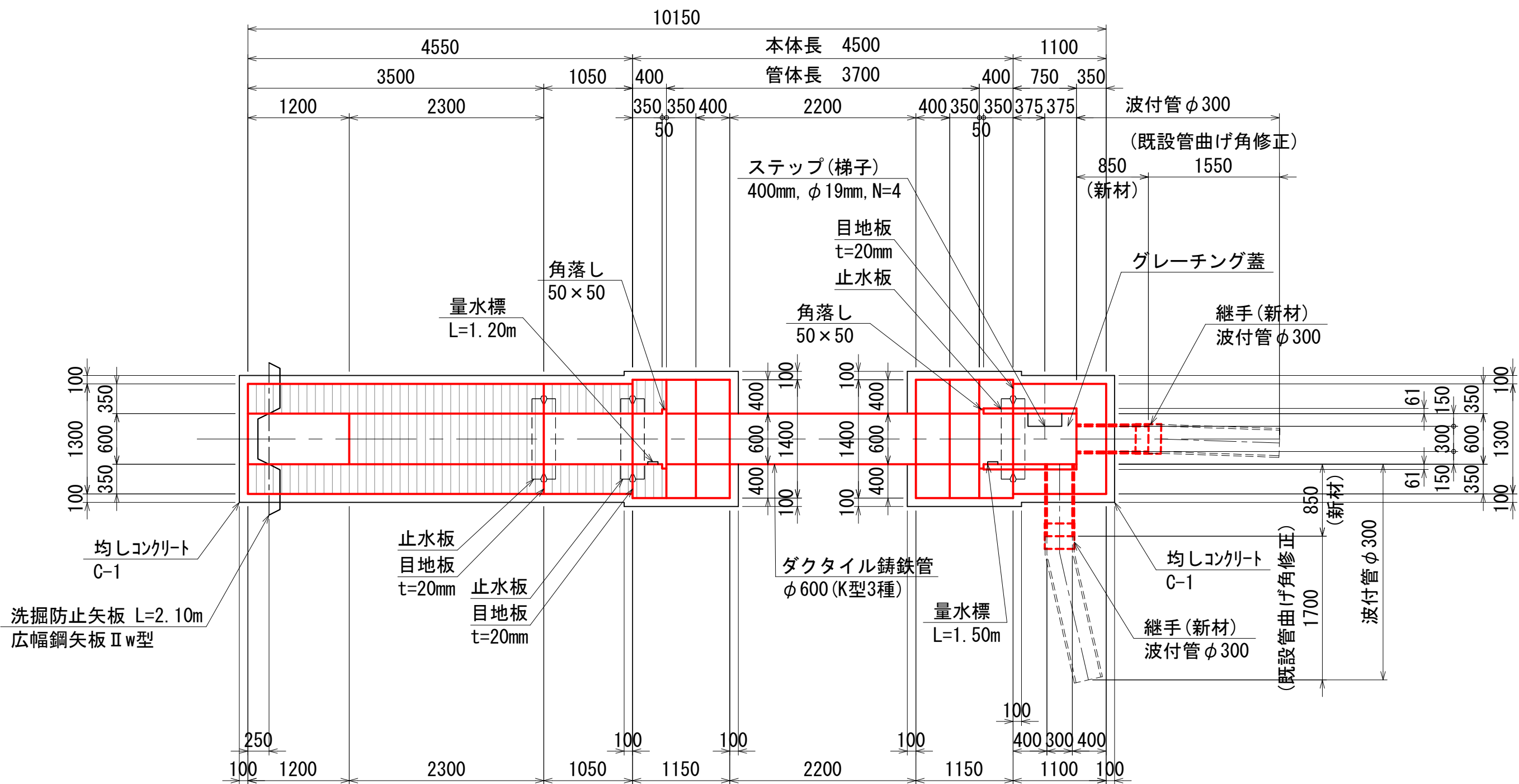
縦断面図



管体断面図



平面図



特記事項

- 使用材料について
コンクリート 鉄筋コンクリート $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ (RC-2-1)
均しコンクリート (C-1)
- 鉄筋 SD345
- 目地板 樹脂発泡体 0.1g/cm^3 以上級 $t=20\text{mm}$
- 止水板 ゴム伸縮止水板 耐震用 280B
- 鋼矢板 SYW295 (Ⅱw型)
- 基床材および埋戻し土に用いる良質土の条件は以下とし、
現地発生土を流用する場合は、監督員と協議の上決定する事。
 - ・粒度分布がよい。
 - ・細粒分 ($75\mu\text{m}$ 以下) が土質材料の15%以下。
 - ・シルト分のあまり多くない土。
 - ・細粒分 ($75\mu\text{m}$ 以下) のあまり多くない土。(細粒分50%未満)
- その他使用材料の規格は北海道建設部土木工事共通仕様書による。
 - ・梯子 $\phi 19\text{mm}$, $B=400\text{mm}$
 - ・銘板 ブロンズ製 $350 \times 240 \times 20\text{mm}$

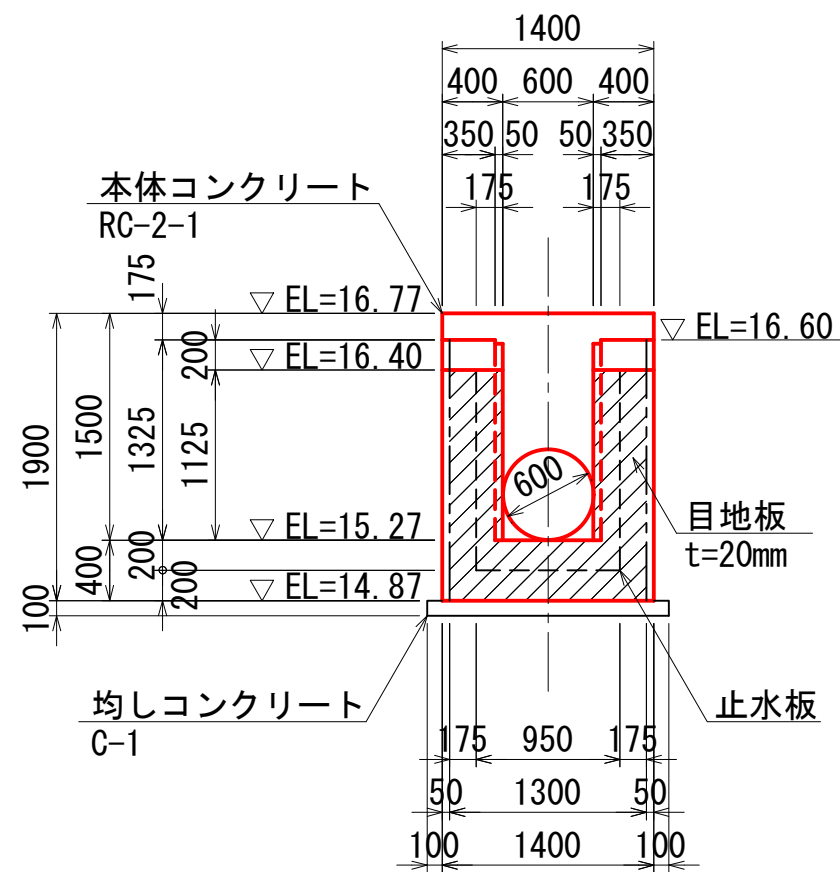
R-7排水工 SP=2450.30 (R)
 $\phi 0.60\text{m}$ (簡易型柔構造)

年 度	令和 6 年度		
路線名	知利別町3丁目2条通線		
工事名	知利別川改修工事に伴う 知利別3丁目1条橋架替 (下部工) 工事		
図面名	本體工詳細図		
縮 尺	1:50	図面番号	41
設計年月	令和 6 年 4 月		
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課		

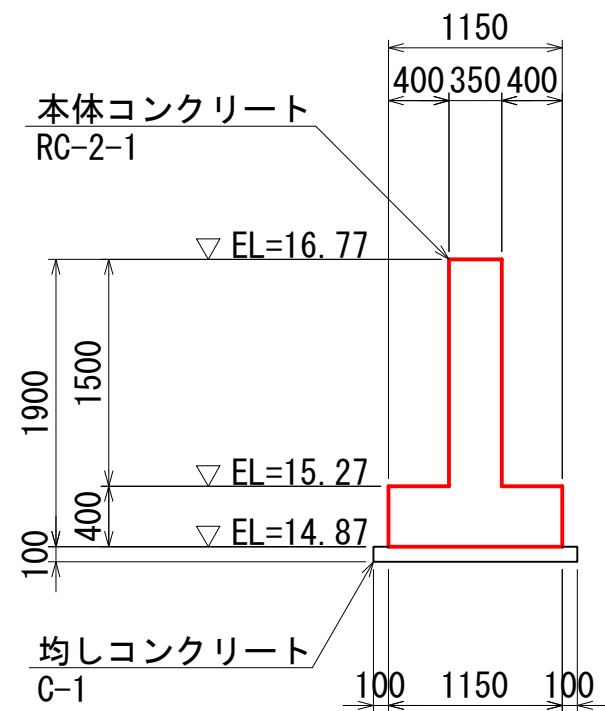
胸壁翼壁詳細図

【R-7排水工】

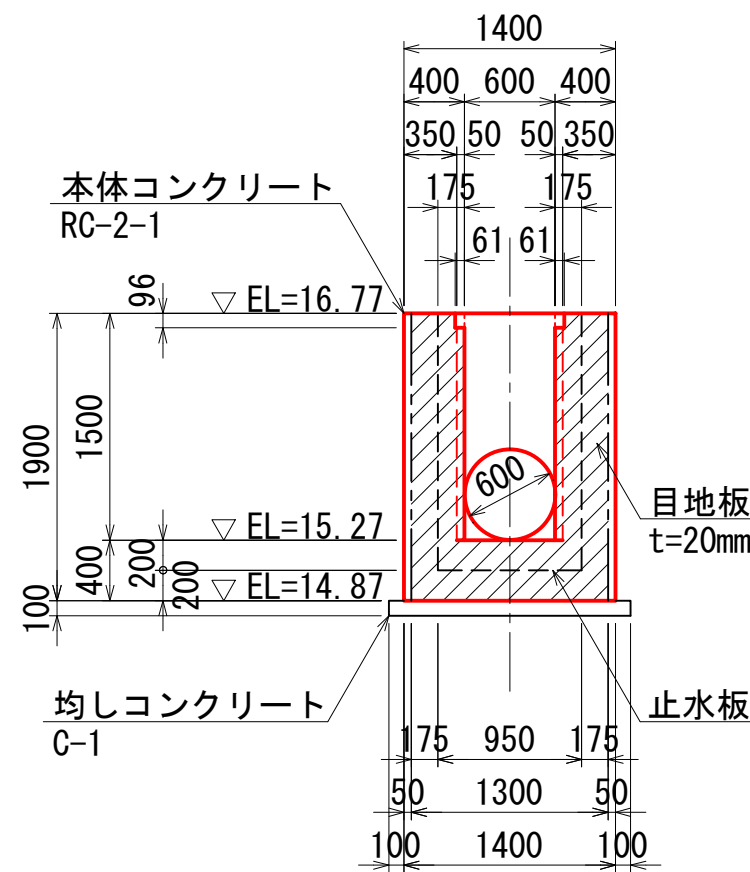
川表胸壁正面図



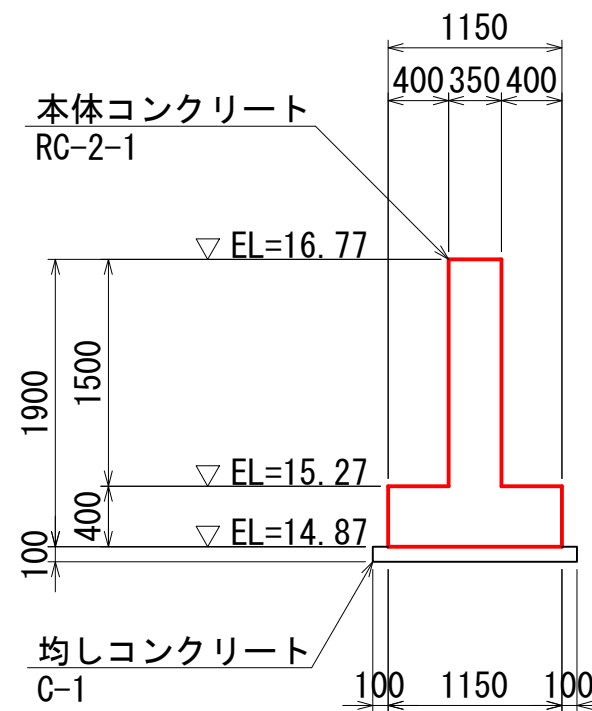
川表胸壁断面図



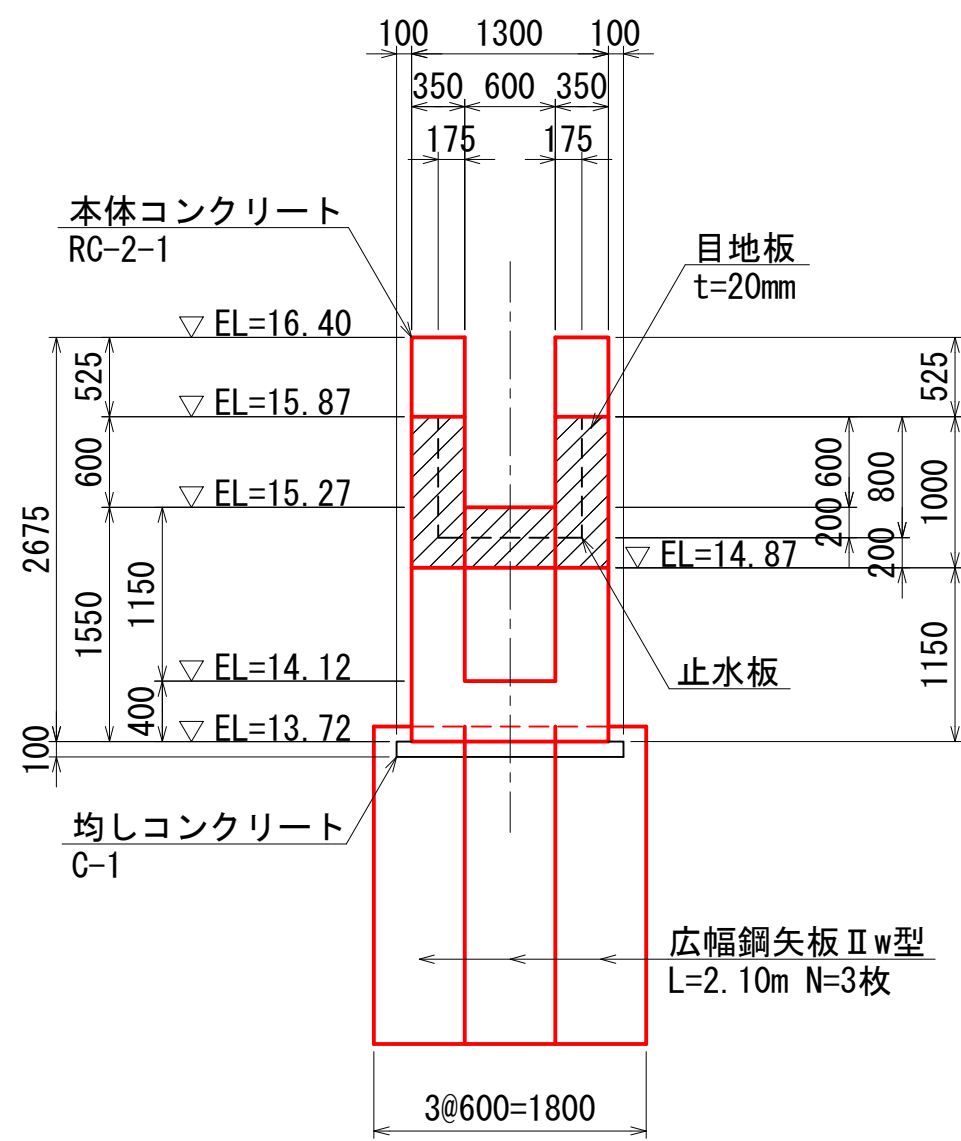
川裏胸壁正面図



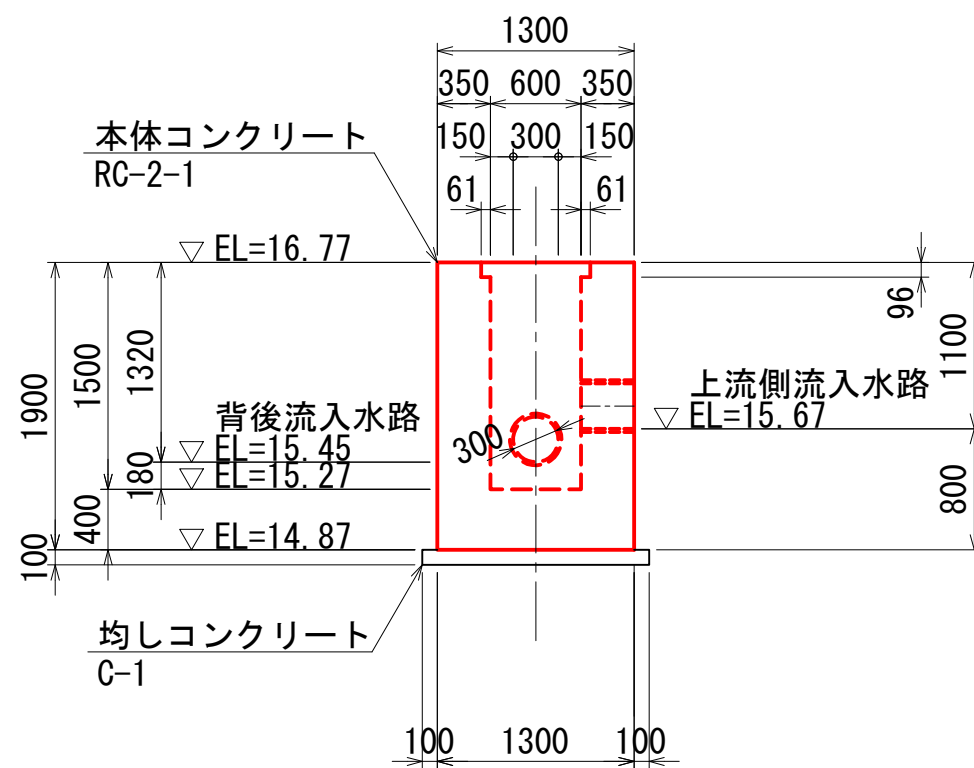
川裏胸壁断面図



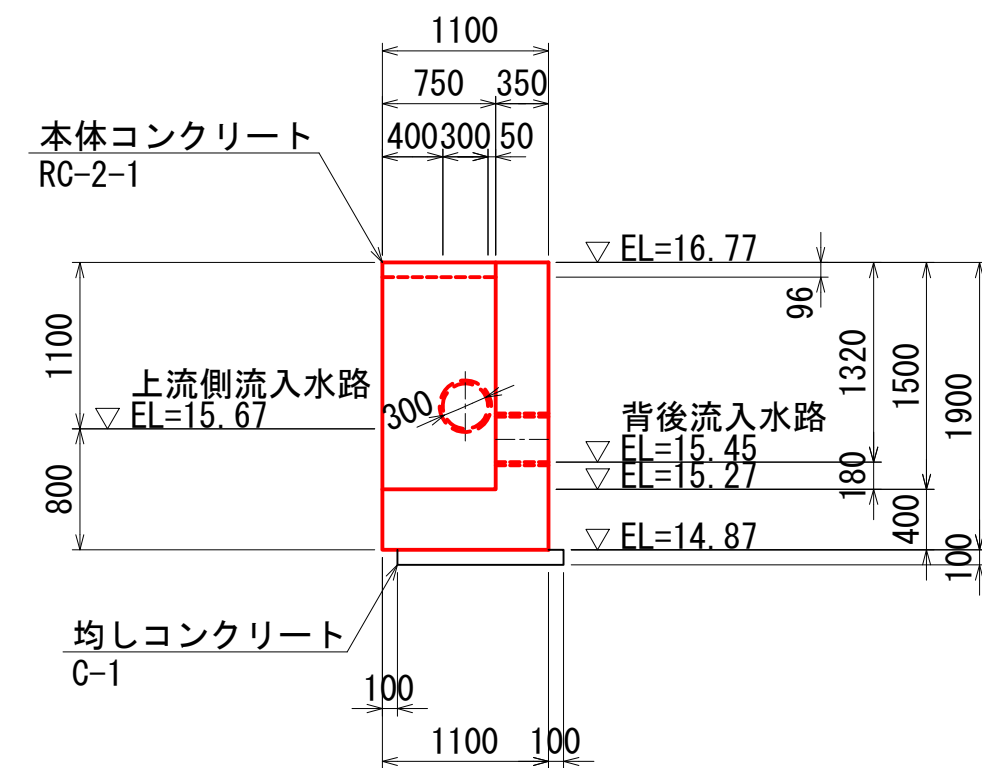
川表翼壁正面図



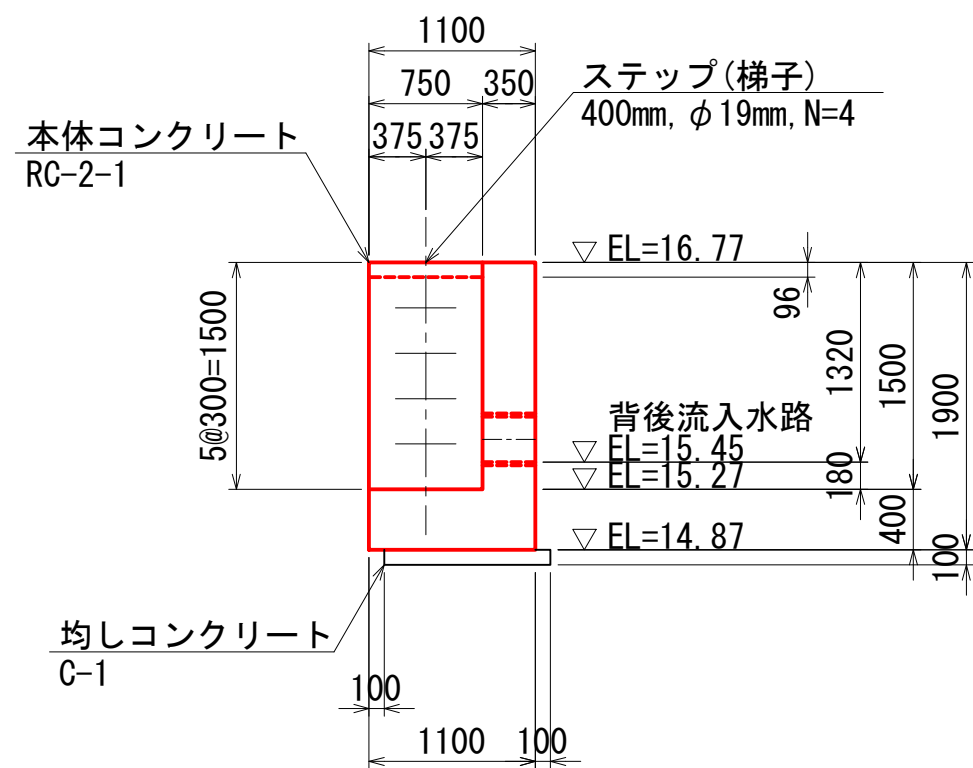
川裏翼壁正面図



川裏翼壁側面図
上流側



川裏翼壁側面図
下流側



特記事項

○使用材料について
コンクリート 鉄筋コンクリート $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ (RC-2-1)
均しコンクリート (C-1)

鉄筋 SD345
目地材 樹脂発泡体 0.10kg/m³以上級 t=20mm
止水板 ゴム伸縮止水板 耐震用 280B
鋼矢板 SYW295 (II w型)

○基床材および埋戻し土に用いる良質土の条件は以下とし、現地発生土を流用する場合は、監督員と協議の上決定する事。

- ・粒度分布がよい。
- ・細粒分 (75 μm 以下) が土質材料の15%以下。
- ・シルト分のあまり多くない土。
- ・細粒分 (75 μm 以下) のあまり多くない土。(細粒分50%未満)

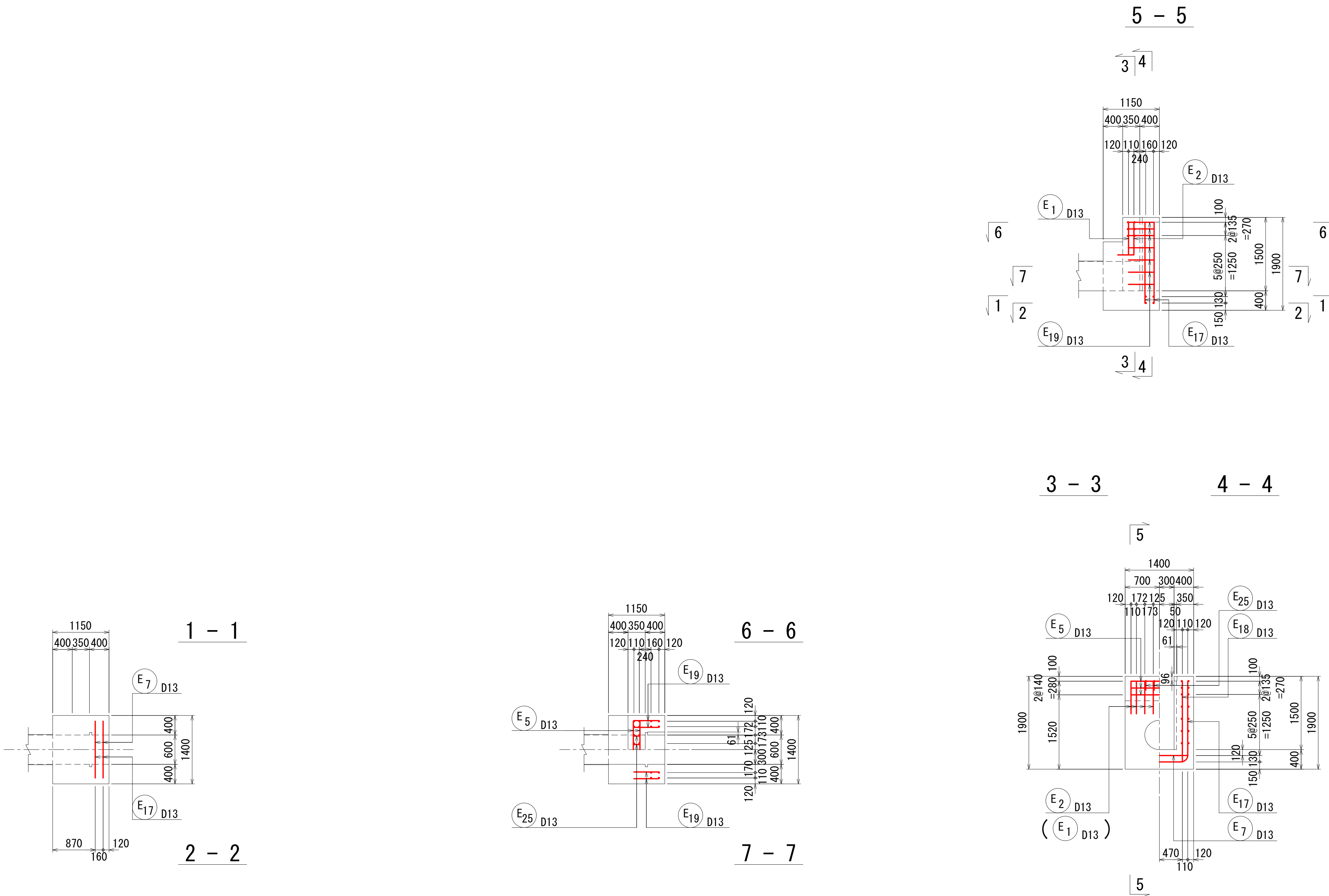
○その他使用材料の規格は北海道建設部土木工事共通仕様書による。

- ・梯子 $\phi 19\text{mm}$, B=400mm
- ・銘板 ブロンズ製350 \times 240 \times 20mm

R-7排水工 SP=2450.30 (R)
 $\phi 0.60\text{m}$ (簡易型柔構造)

年 度	令和 6 年度		
路線名	知利別町3丁目2条通線		
工事名	知利別川改修工事に伴う 知利別3丁目1条橋架替 (下部工) 工事		
図面名	胸壁翼壁詳細図		
縮 尺	1:50	図面番号	42
設計年月	令和 6 年 4 月		
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課		

川裏胸壁配筋図
【R-7排水工】

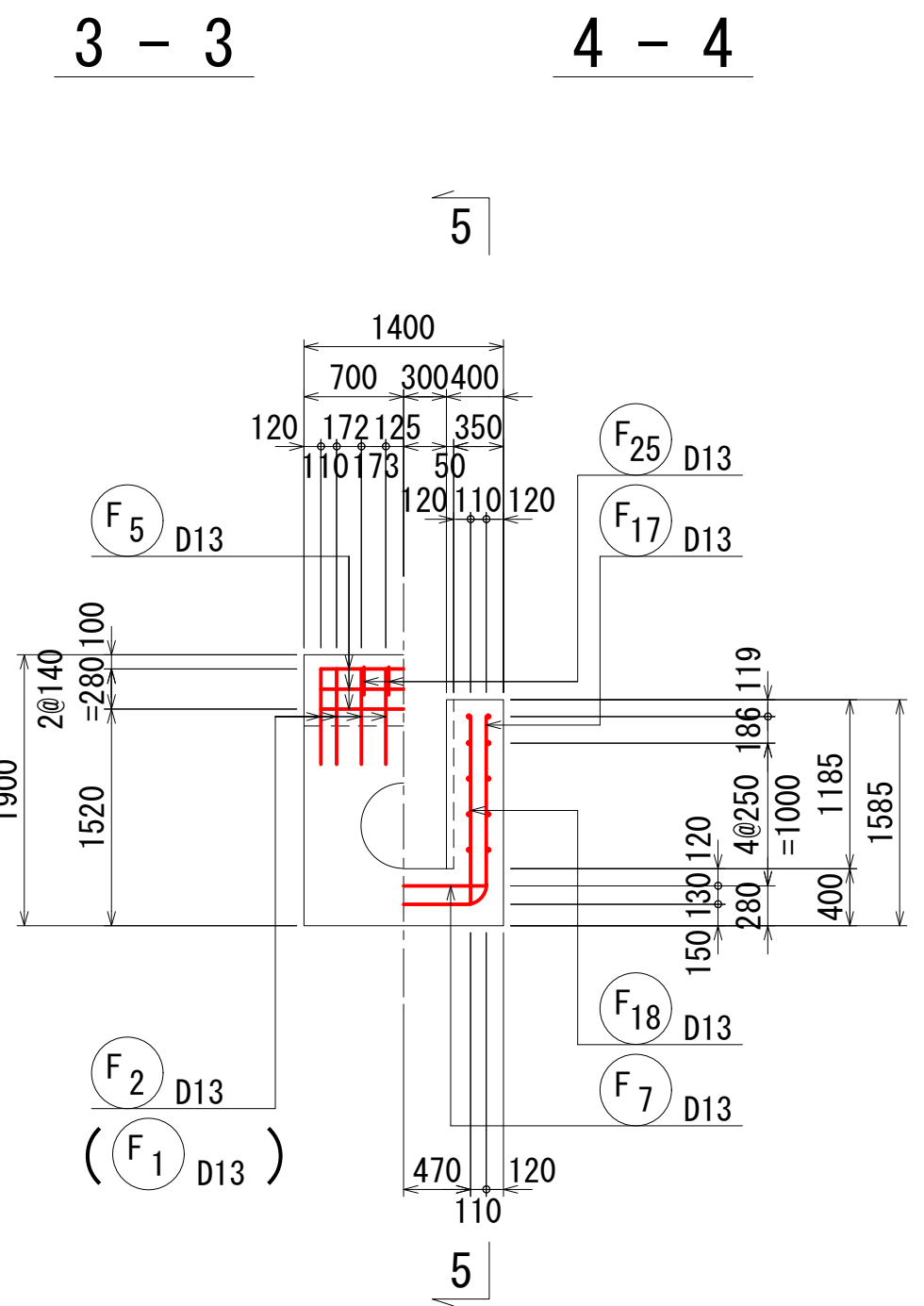
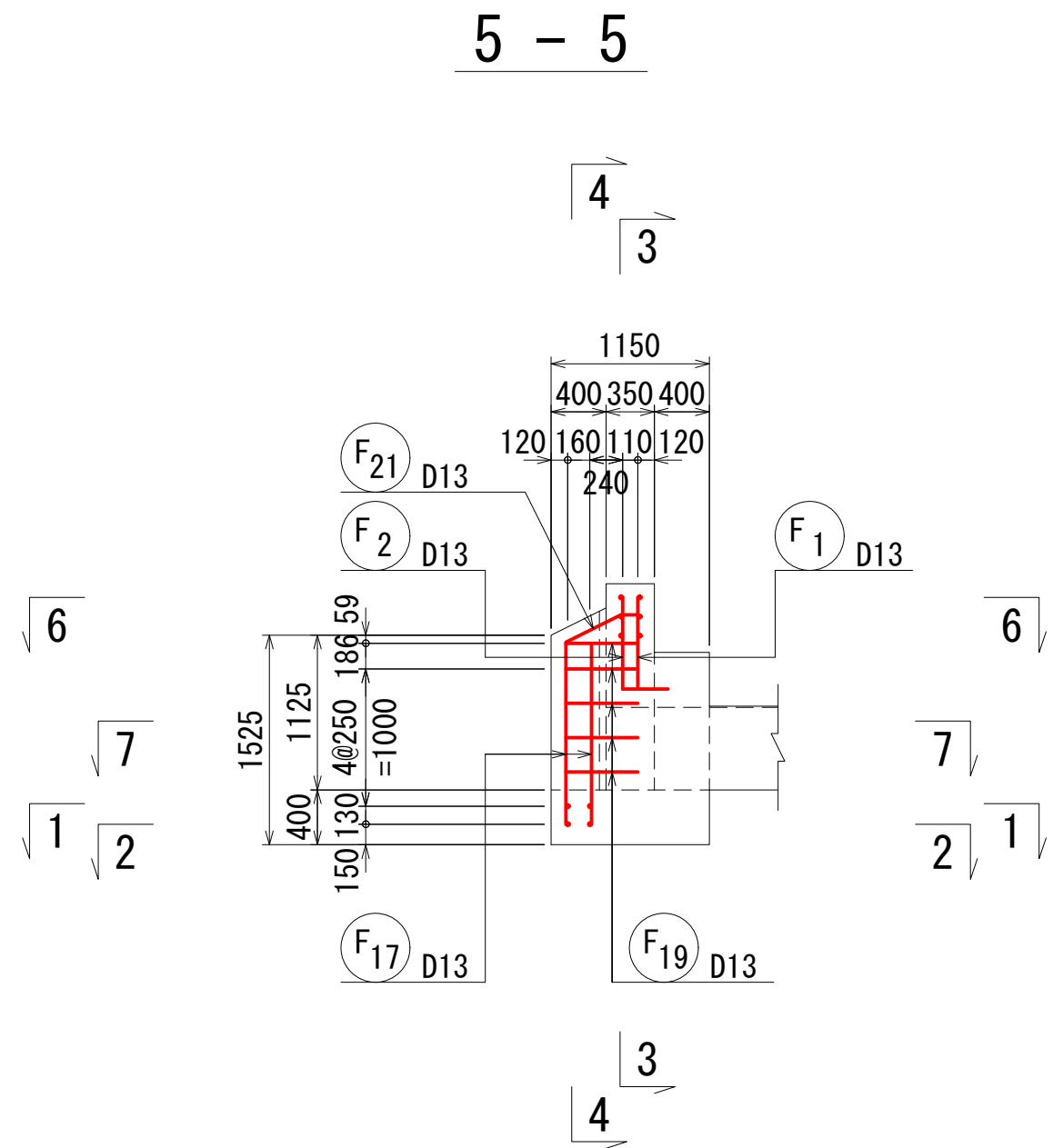
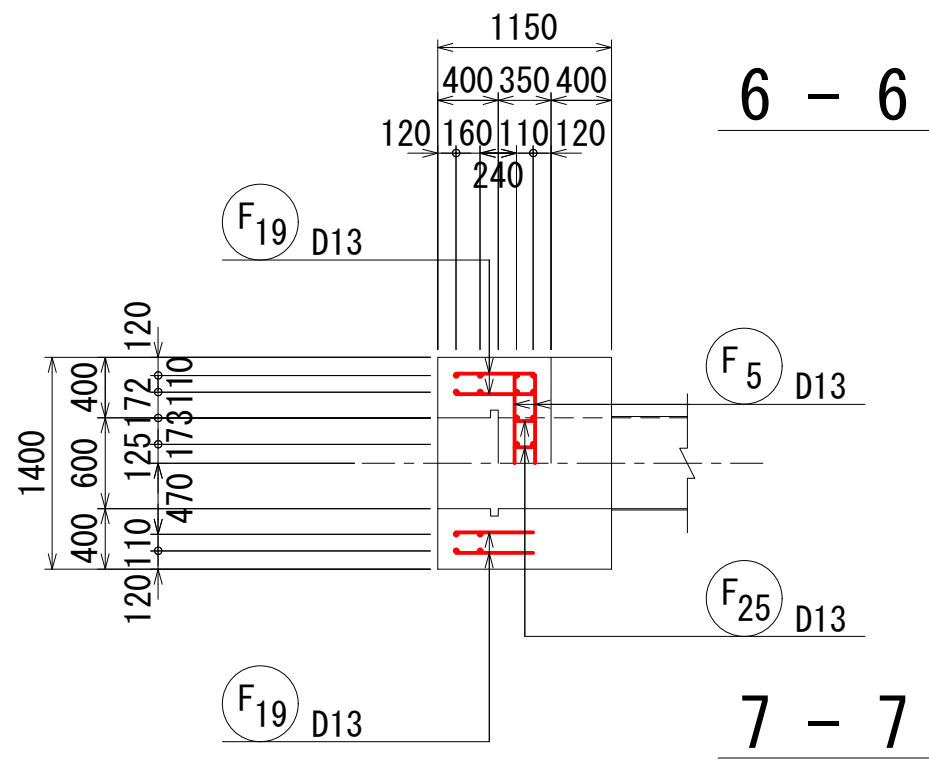
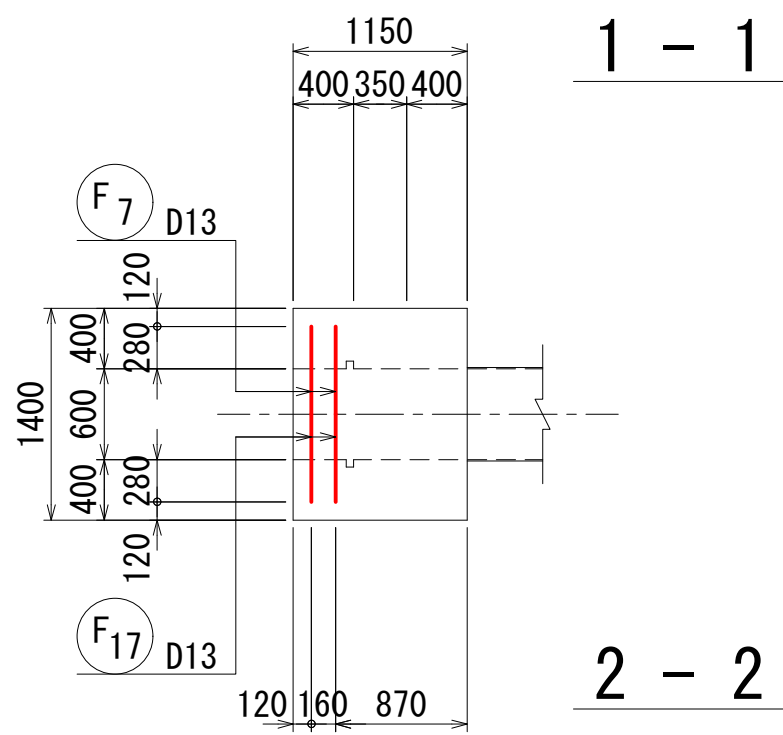


R-7排水工 SP=2450.30(R)
φ0.60m(簡易型柔構造)

注)
() 内は外側の鉄筋を示す。
* は、隅角部内側の鉄筋を示す。
図上の鉄筋のかぶり、内側の鉄筋芯から表面までの寸法を示す。
胸壁張り出し部の鉄筋曲げ加工部は本体側に設置するものとする。

年 度	令和 6 年度		
路線名	知利別町3丁目2条通線		
工事名	知利別川改修工事に伴う知利別3丁目1条橋架替（下部工）工事		
図面名	川裏胸壁配筋図		
縮 尺	1:50	図面番号	43
設計年月	令和 6 年 4 月		
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課		

川表胸壁配筋図
【R-7排水工】



注)
() 内は外側の鉄筋を示す。
＊は、隅角部内側の鉄筋を示す。
図上の鉄筋のかぶり厚は、内側の鉄筋芯から表面までの寸法を示す。
胸壁張り出し部の鉄筋曲げ加工部は本体側に設置するものとする。

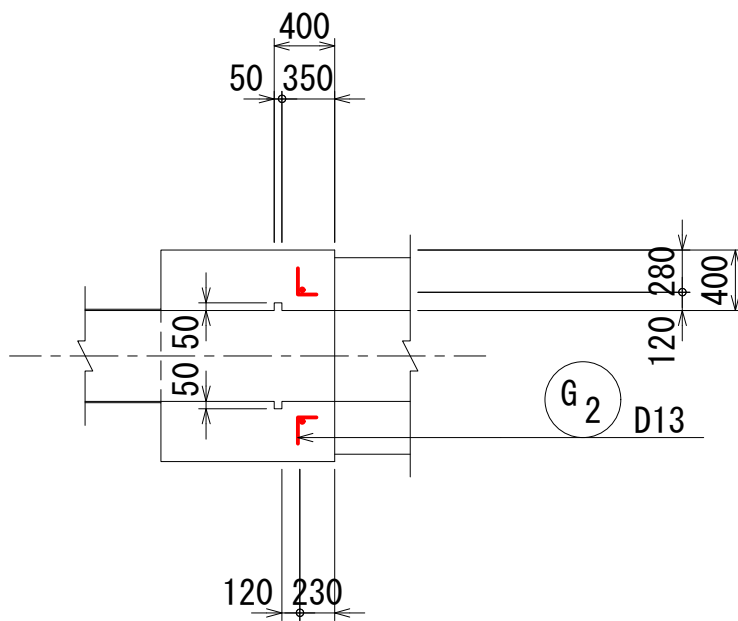
R-7排水工 SP=2450.30(R)
φ0.60m(簡易型柔構造)

年 度	令和 6 年度		
路線名	知利別町3丁目2条通線		
工事名	知利別川改修工事に伴う知利別3丁目1条橋架替（下部工）工事		
図面名	川表胸壁配筋図		
縮 尺	1:50	図面番号	44
設計年月	令和 6 年 4 月		
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課		

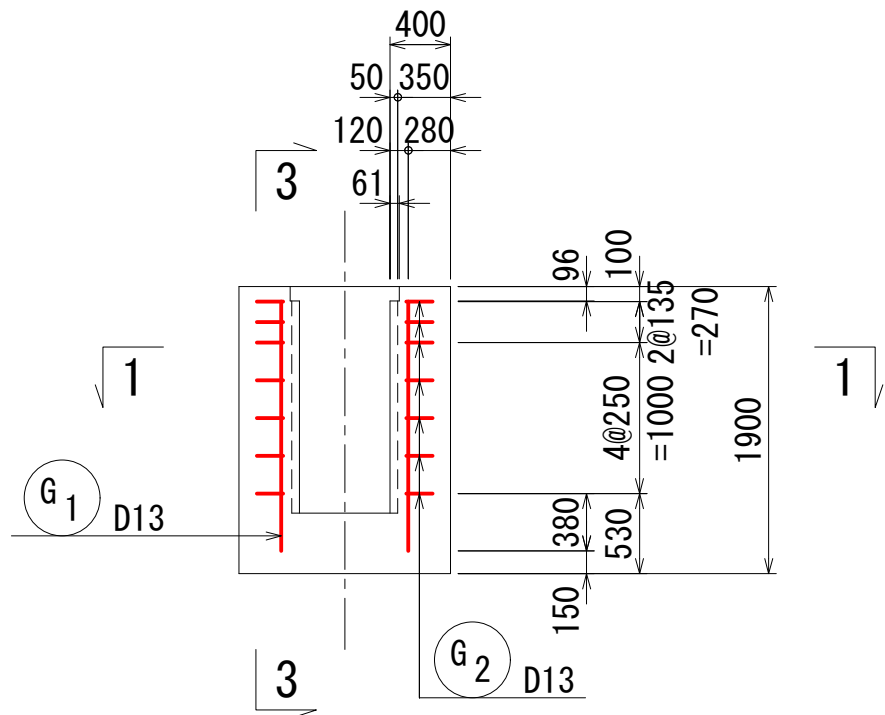
角落し配筋図
 【R-7排水工】

川裏角落し

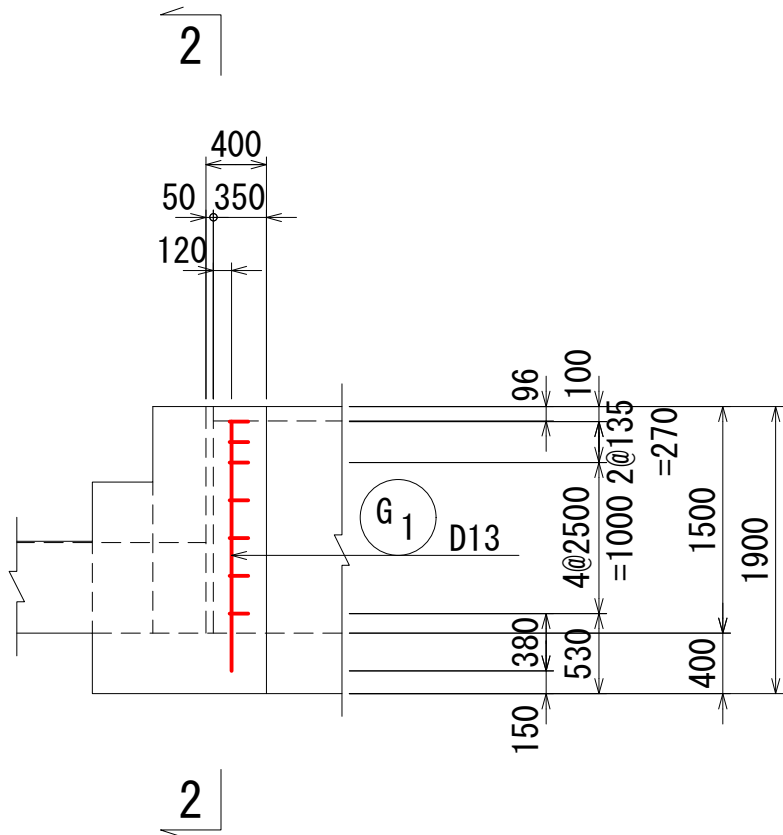
1 - 1



2 - 2

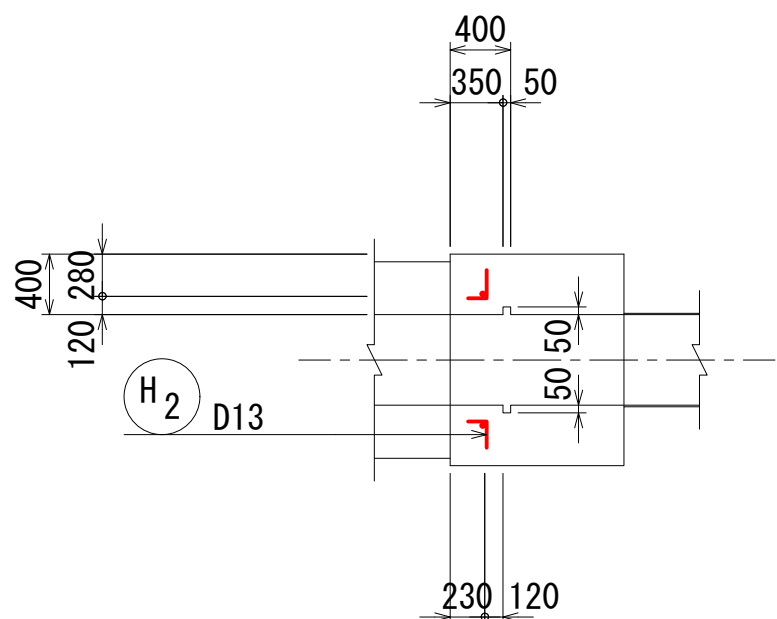


3 - 3

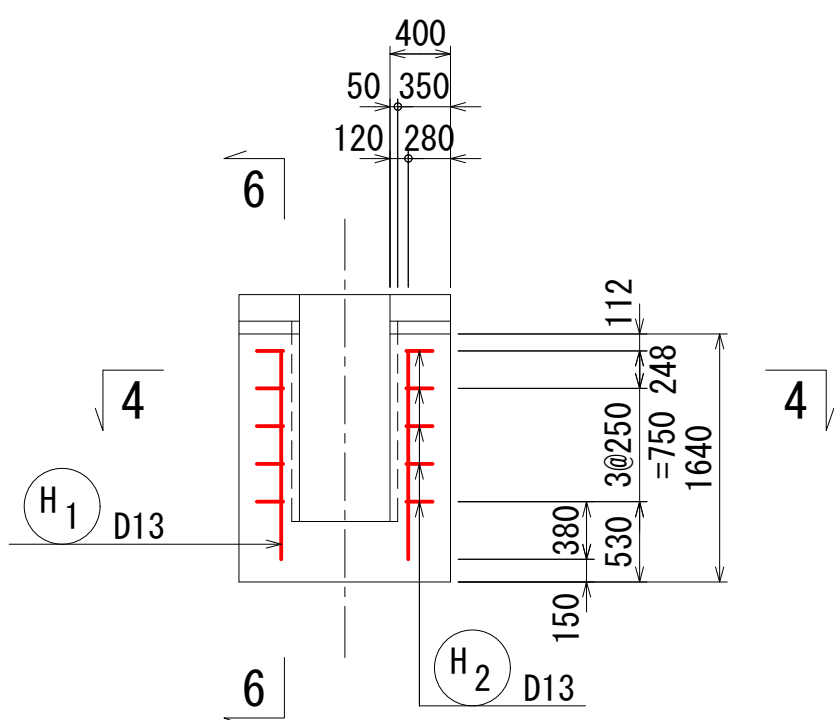


川表角落し

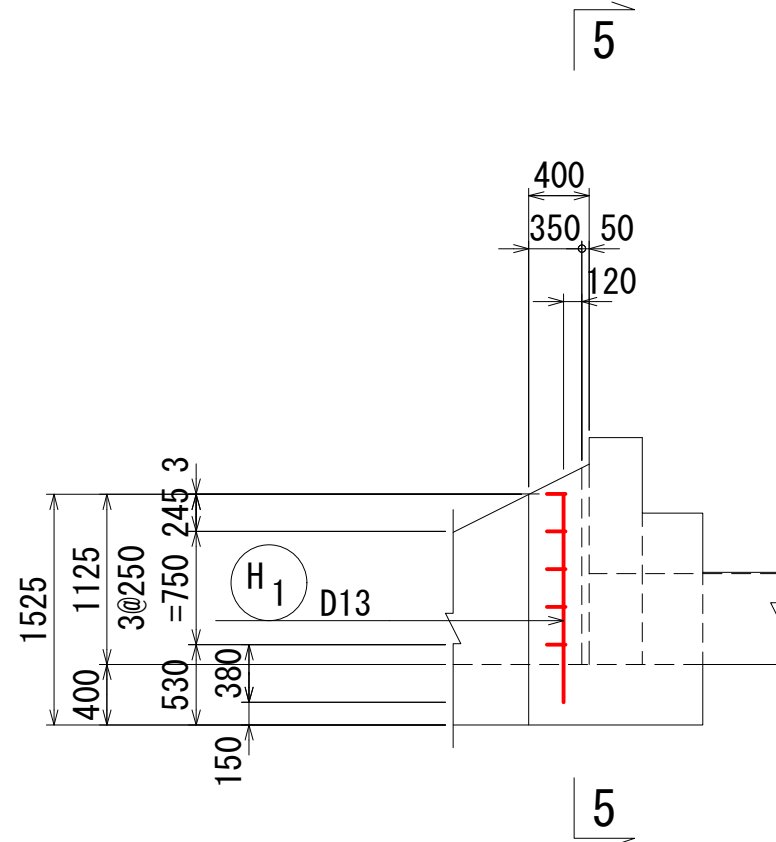
4 - 4



5 - 5



6 - 6



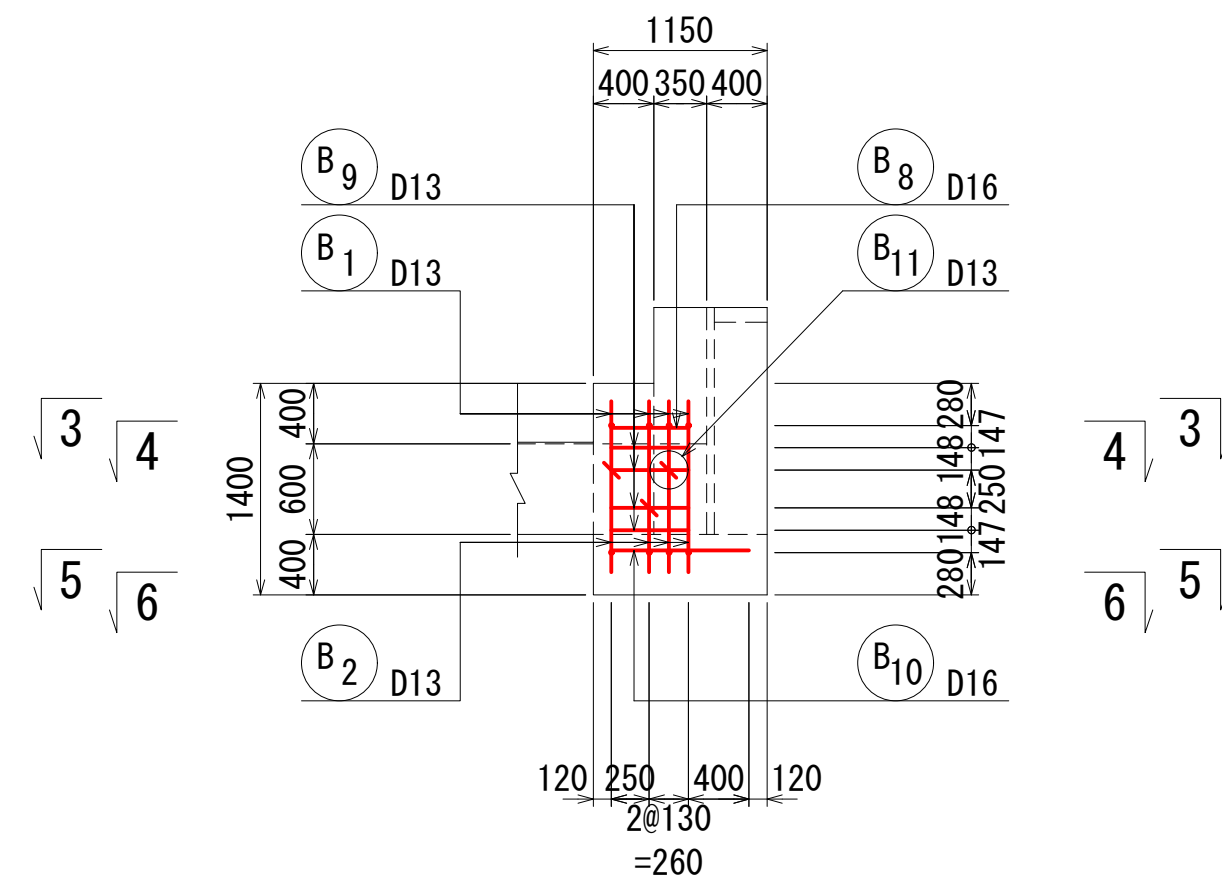
R-7排水工 SP=2450.30 (R)
 φ0.60m(簡易型柔構造)

注)
 () 内は外側の鉄筋を示す。
 * は、隅角部内側の鉄筋を示す。
 図上の鉄筋のかぶり、内側の鉄筋芯から
 表面までの寸法を示す。

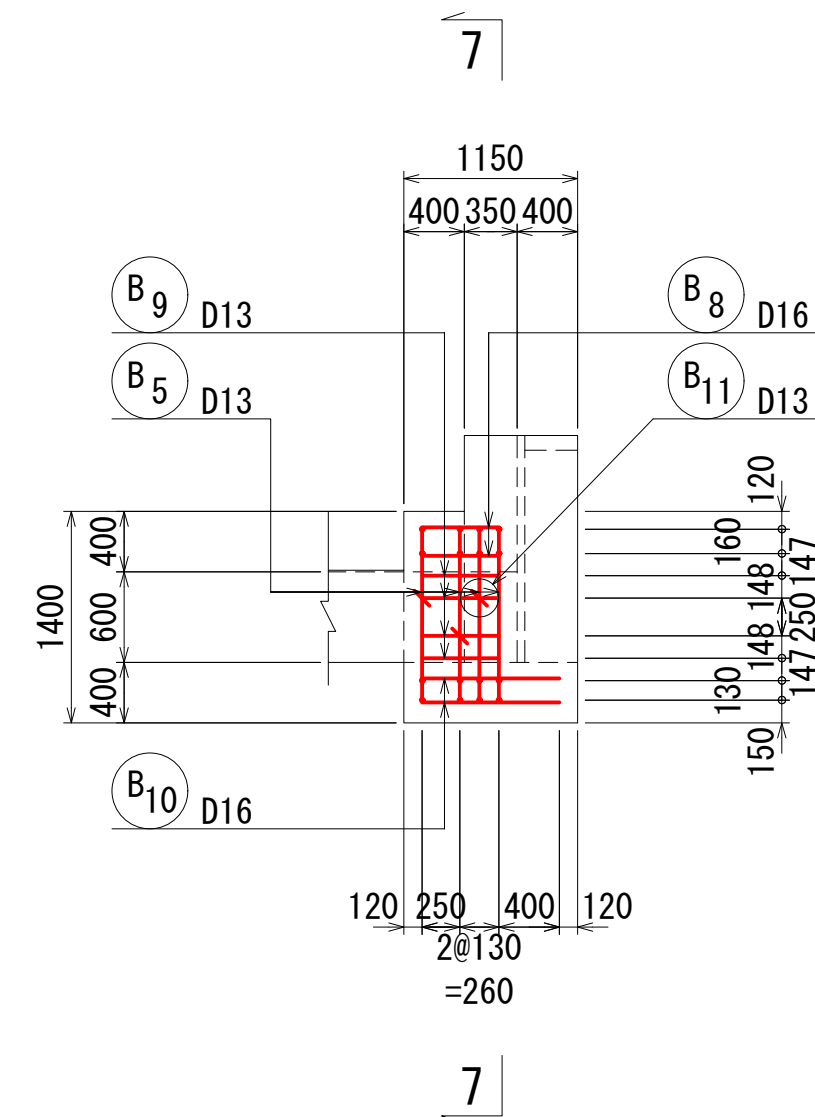
年 度	令和 6 年度		
路線名	知利別町3丁目2条通線		
工事名	知利別川改修工事に伴う 知利別3丁目1条橋架替（下部工）工事		
図面名	角落し配筋図		
縮 尺	1:50	図面番号	45
設計年月	令和 6 年 4 月		
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課		

川裏補強部配筋図

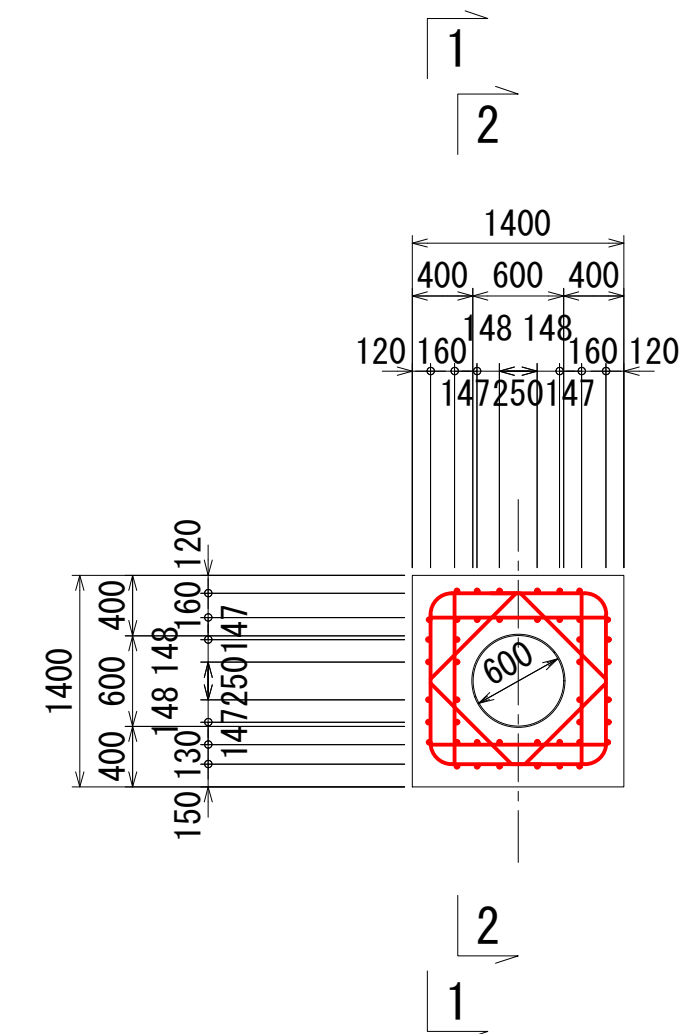
【R-7排水工】



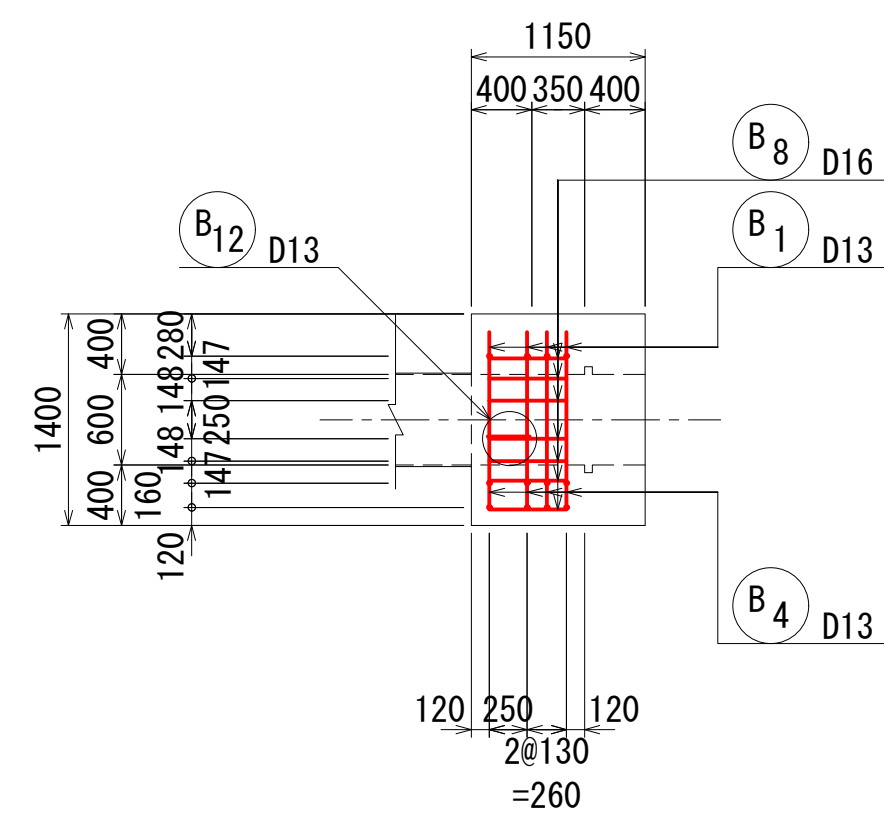
2 - 2



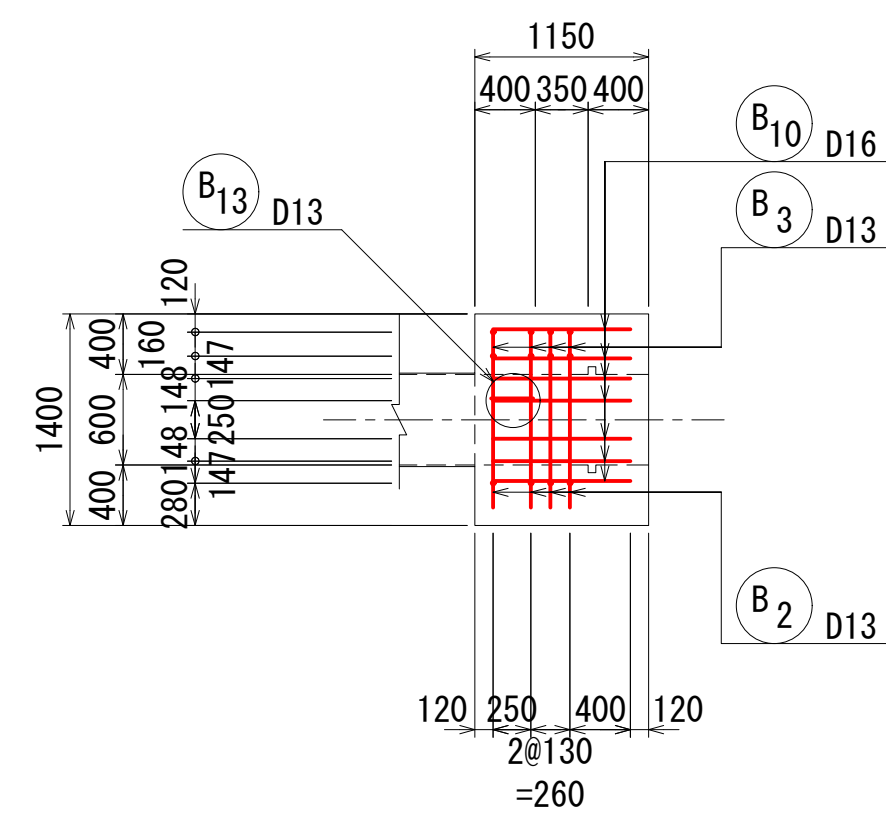
7 - 7



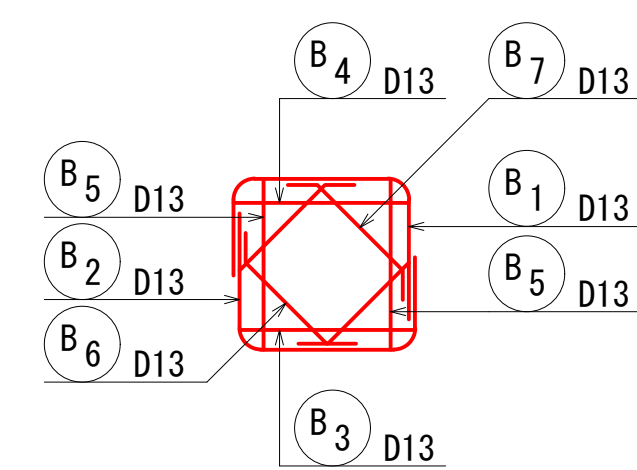
3 - 3



5 - 5



4 - 4



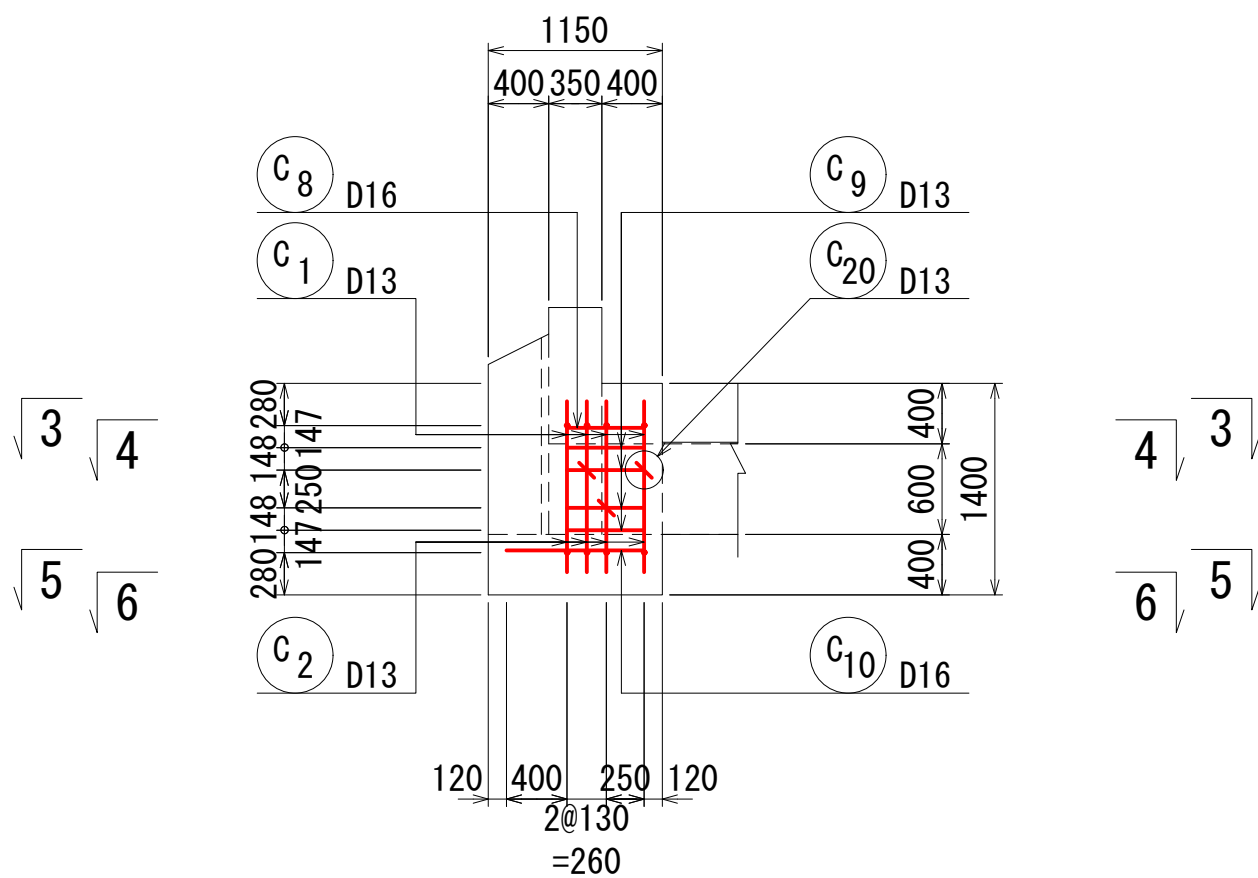
注)
() 内は外側の鉄筋を示す。
* は、隅角部内側の鉄筋を示す。
図上の鉄筋のかぶり、内側の鉄筋芯から表面までの寸法を示す。

R-7排水工 SP=2450.30(R)
φ0.60m(簡易型柔構造)

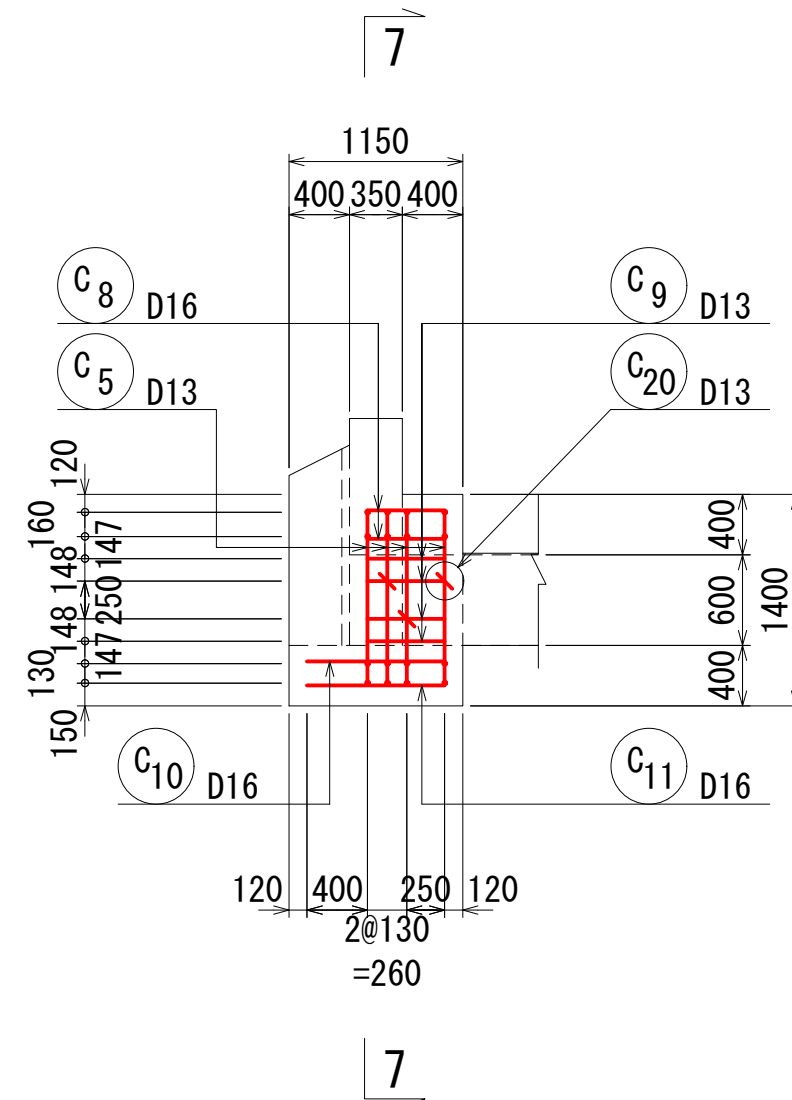
年 度	令和 6 年度		
路線名	知利別町3丁目2条通線		
工事名	知利別川改修工事に伴う 知利別3丁目1条橋架替（下部工）工事		
図面名	川裏補強部配筋図		
縮 尺	1:50	図面番号	46
設計年月	令和 6 年 4 月		
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課		

川表補強部配筋図
【R-7排水工】

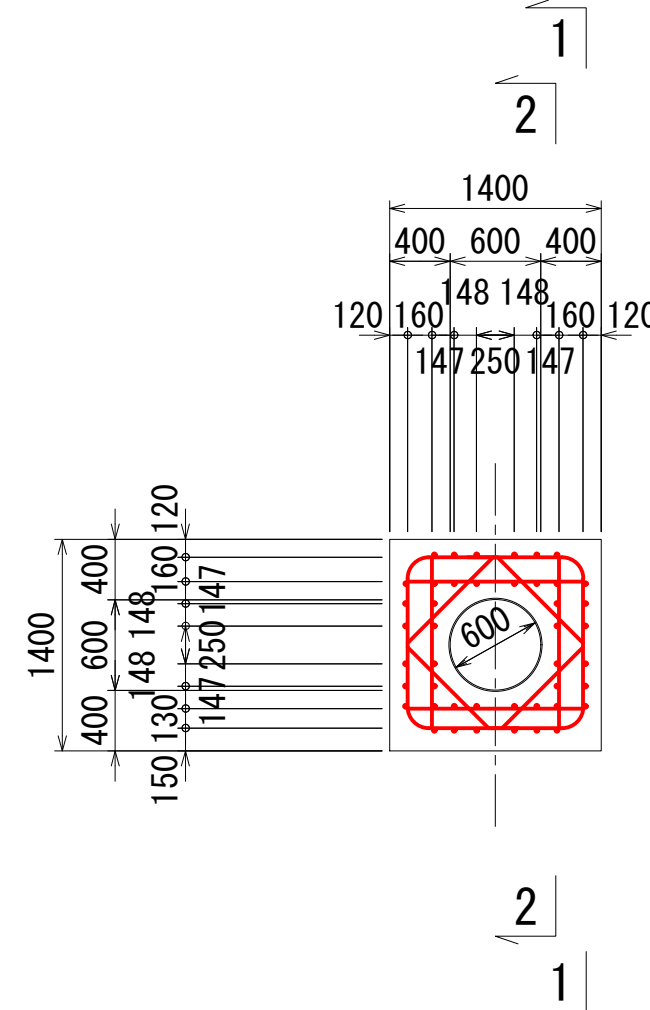
1 - 1



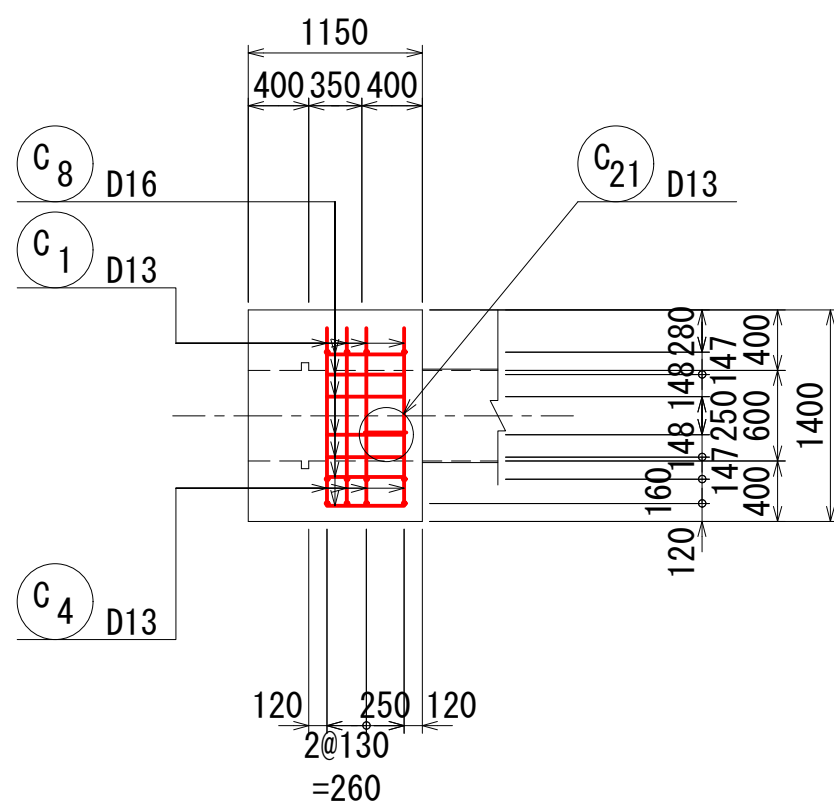
2 - 2



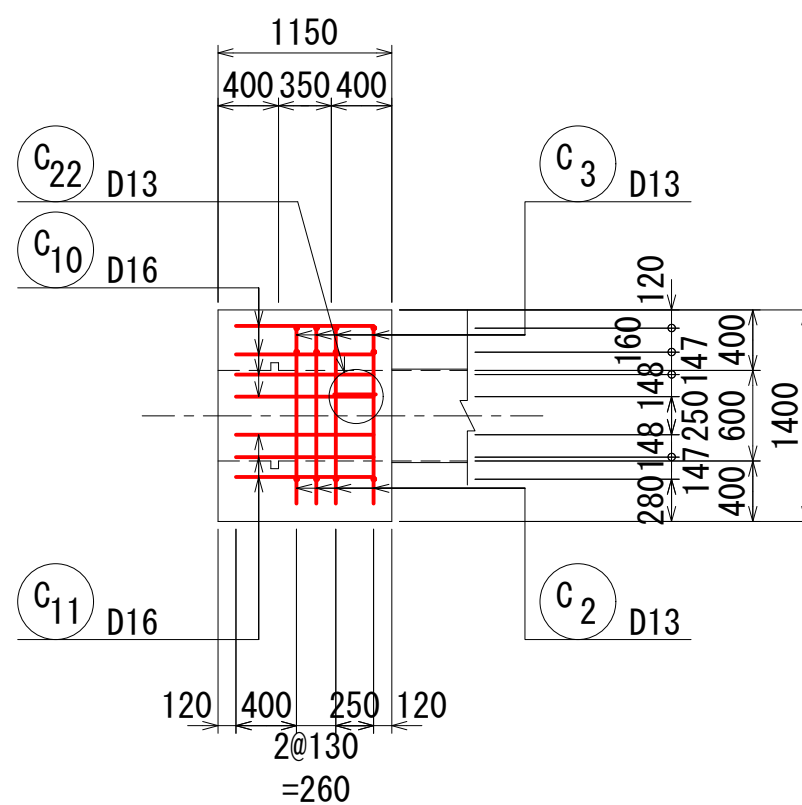
7 - 7



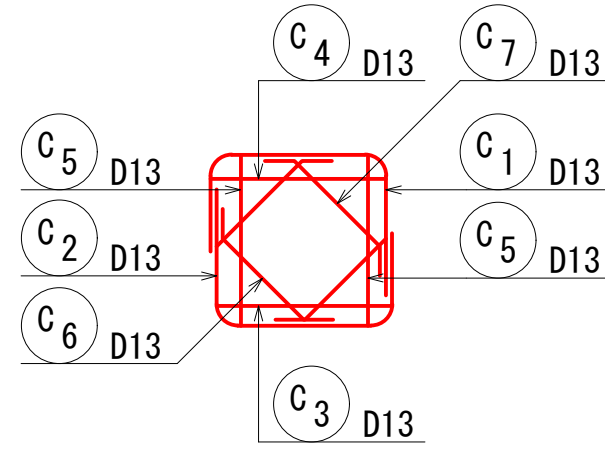
3 - 3



5 - 5



補強部主鉄筋組合せ図



4 - 4

6 - 6

注)
() 内は外側の鉄筋を示す。
* は、隅角部内側の鉄筋を示す。
図上の鉄筋のかぶり高は、内側の鉄筋芯から
表面までの寸法を示す。

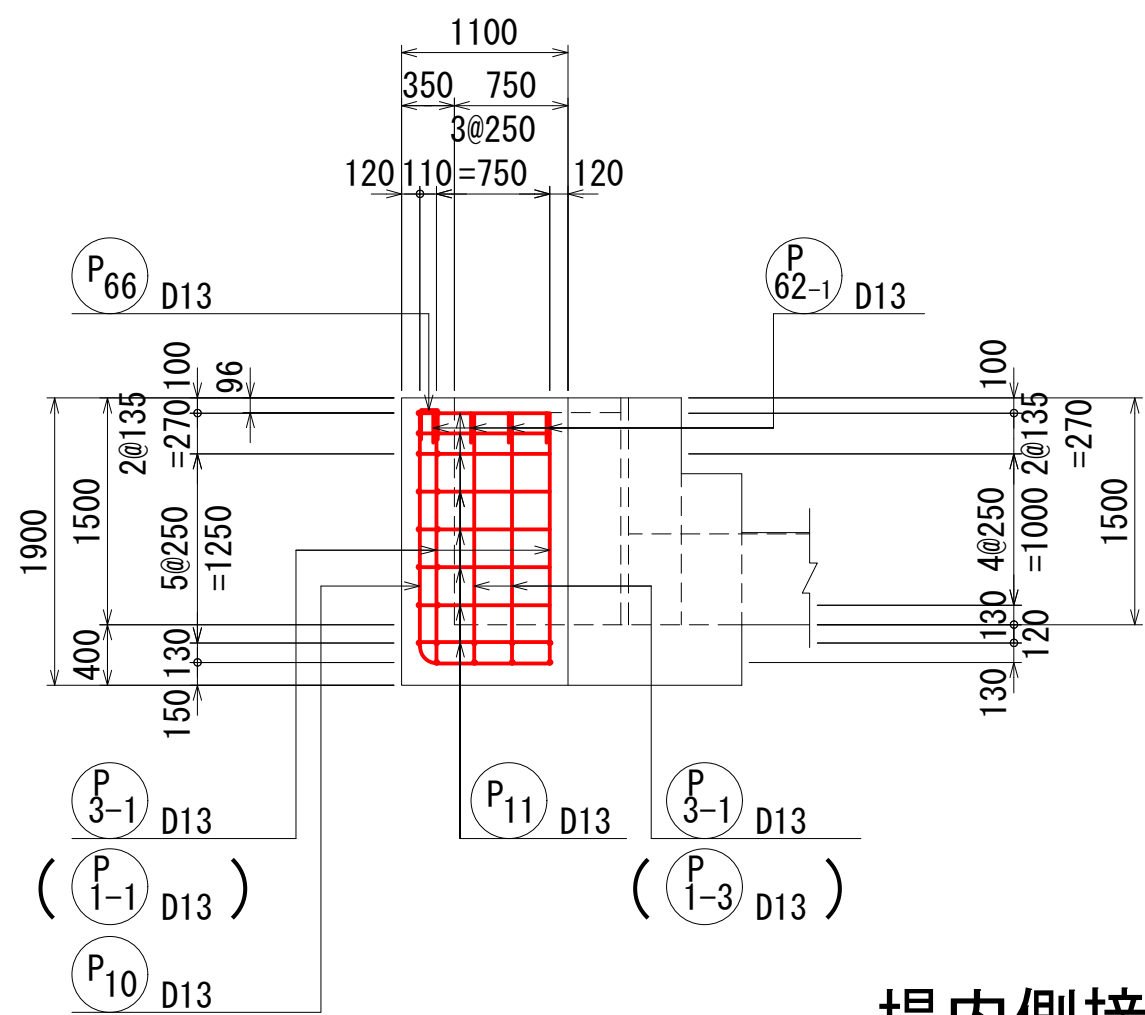
R-7排水工 SP=2450.30(R)
φ0.60m(簡易型柔構造)

年 度	令和 6 年度		
路線名	知利別町3丁目2条通線		
工事名	知利別川改修工事に伴う 知利別3丁目1条橋架替（下部工）工事		
図面名	川表補強部配筋図		
縮 尺	1:50	図面番号	47
設計年月	令和 6 年 4 月		
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課		

川裏翼壁配筋図

【R-7排水工】

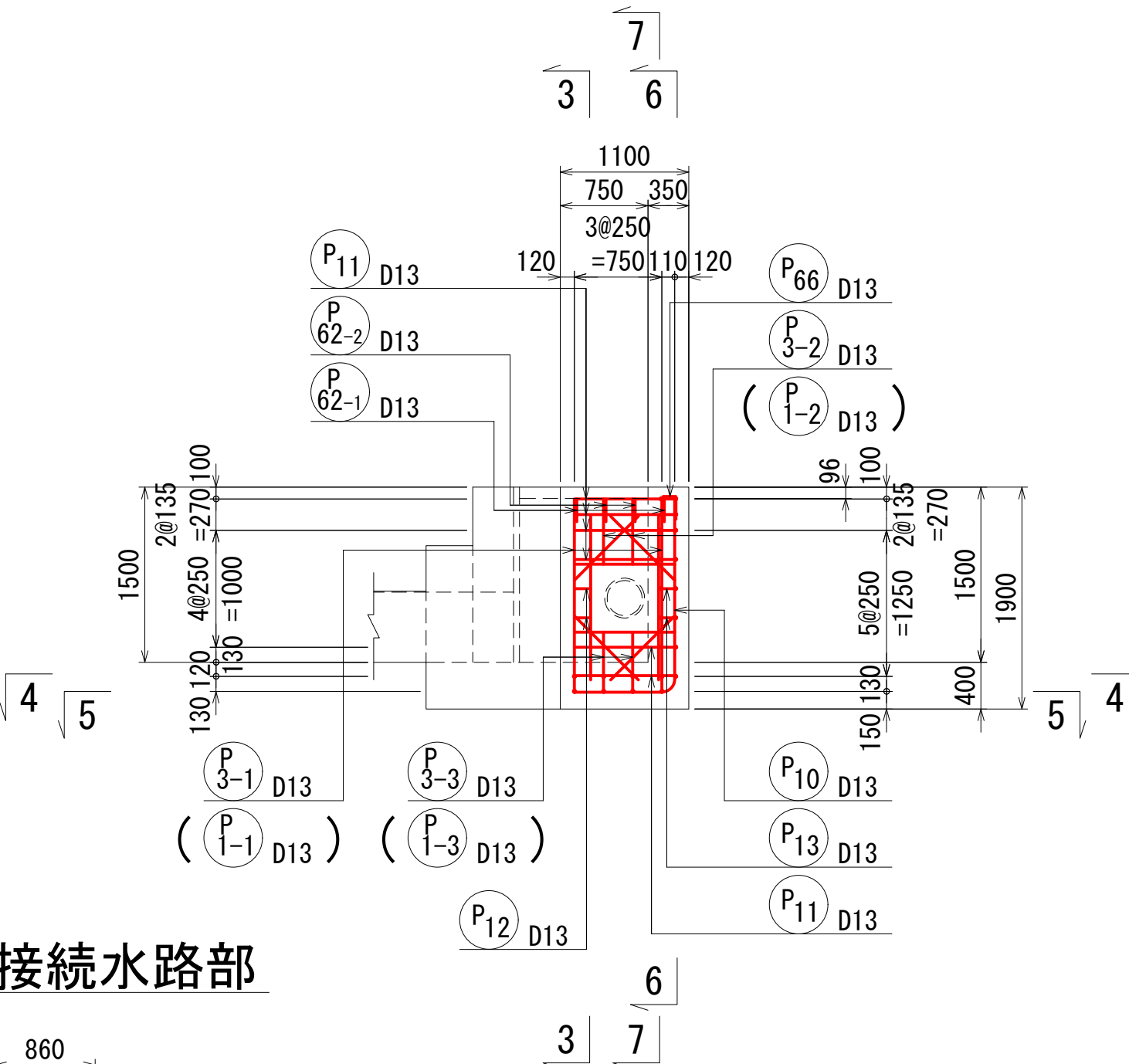
2 - 2



堤内側接続水路部

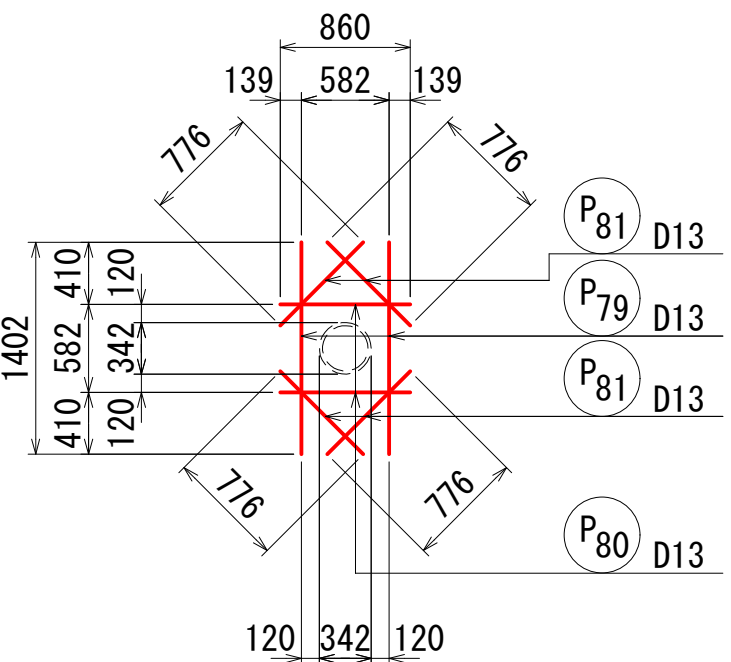
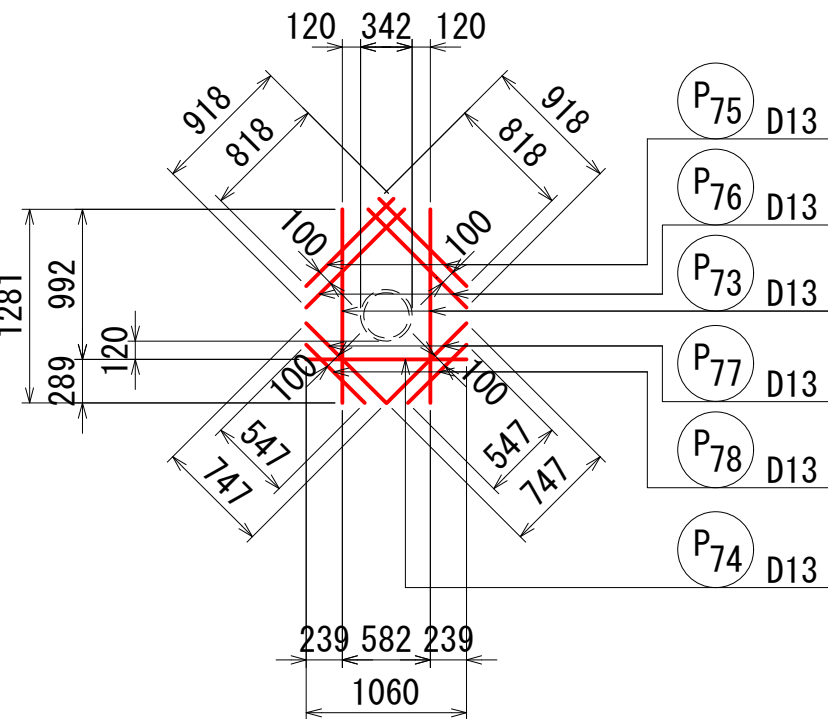
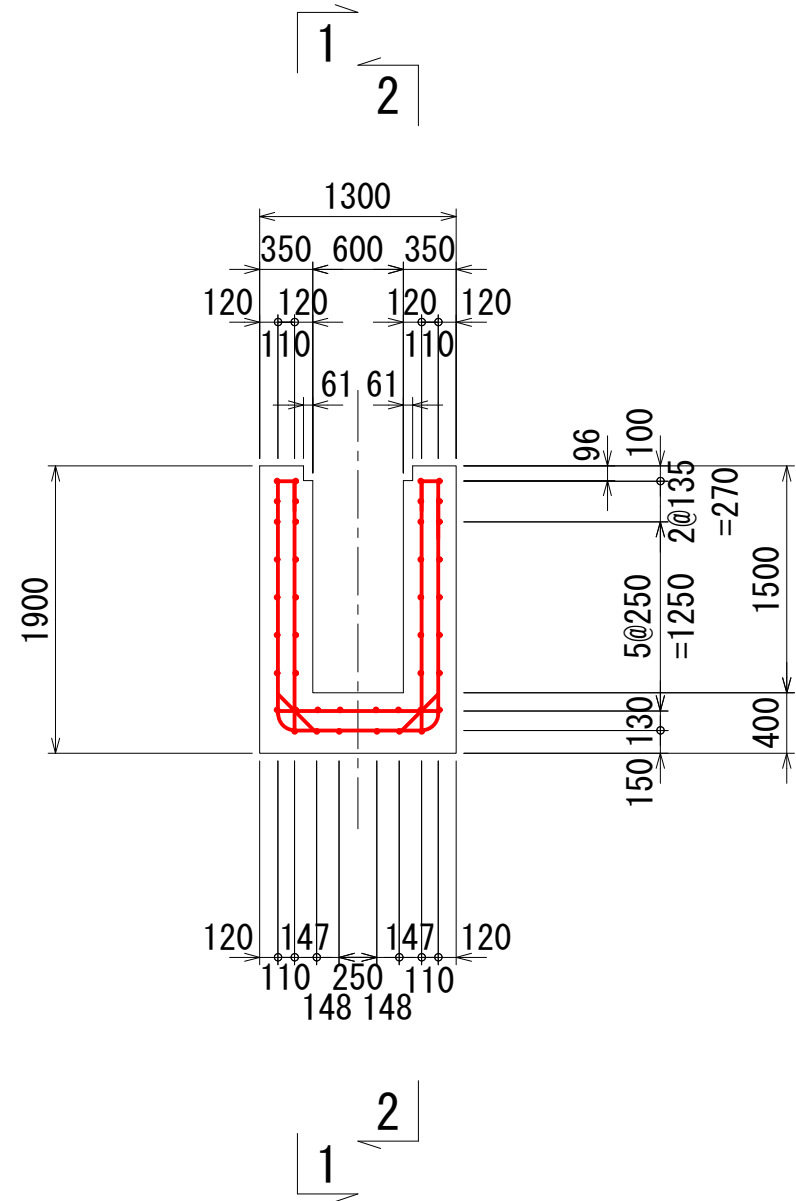
補強鉄筋

1 - 1

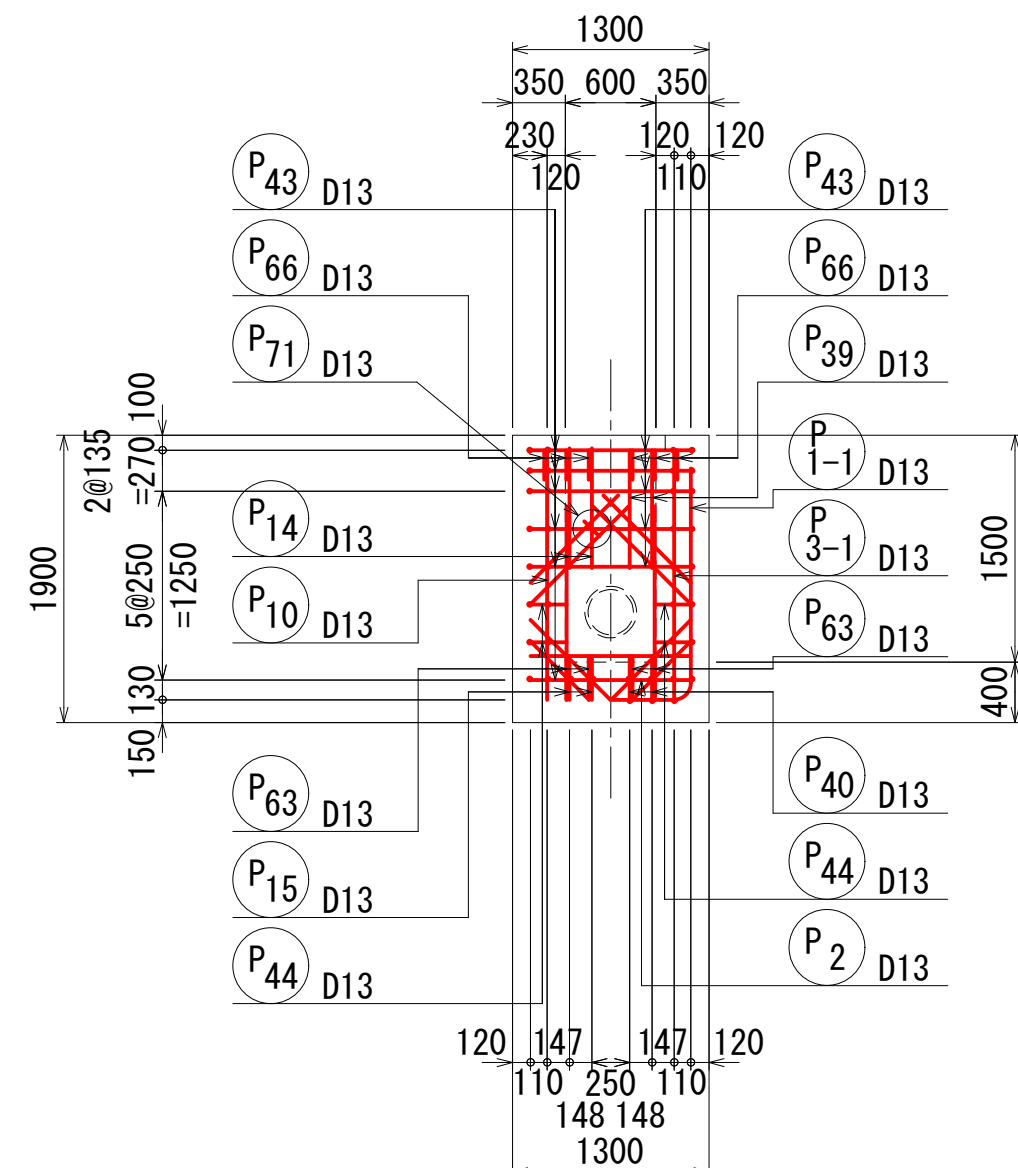


上流側接続水路部

3 - 3

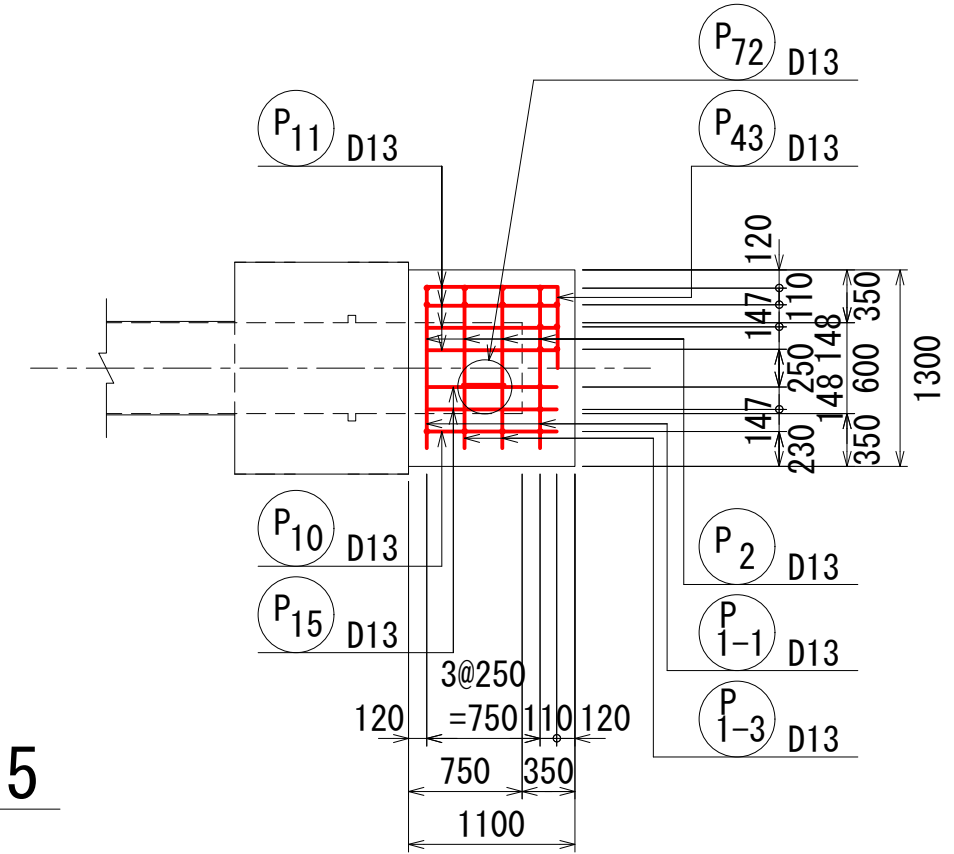


6 - 6

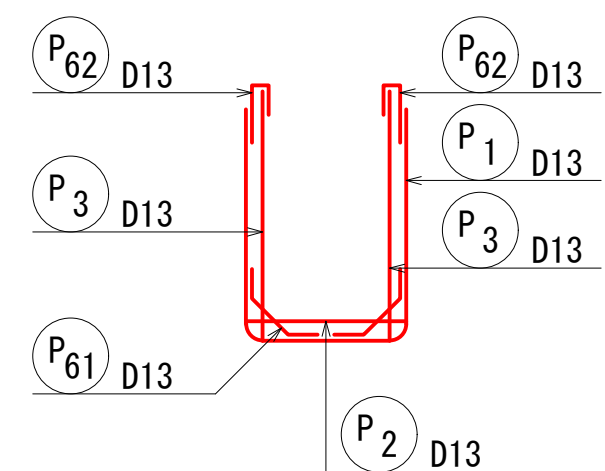


7 - 7

4 - 4



主鉄筋組合せ図



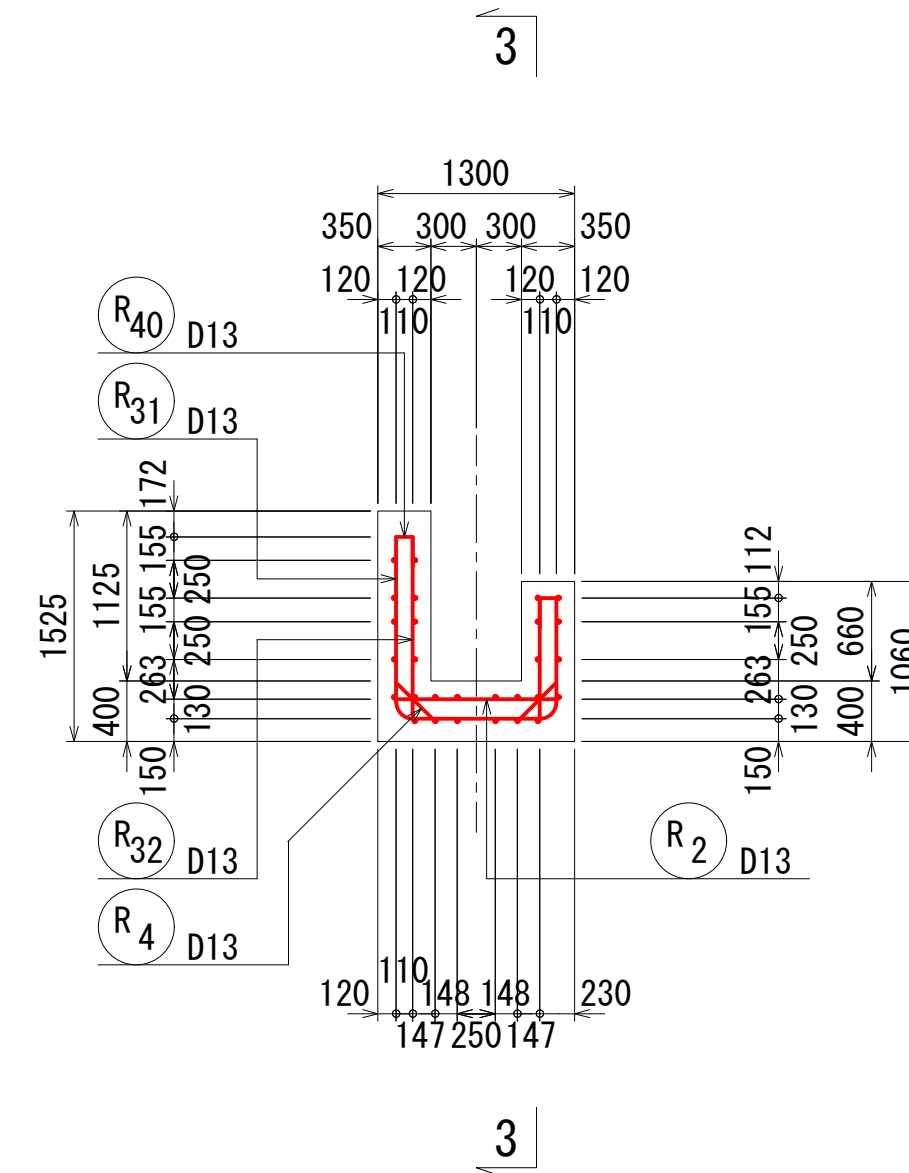
R-7排水工 SP=2450.30(R)
φ0.60m(簡易型柔構造)

注)
() 内は外側の鉄筋を示す。
* は、隅角部内側の鉄筋を示す。
図上の鉄筋のかぶり、内側の鉄筋芯から
表面までの寸法を示す。

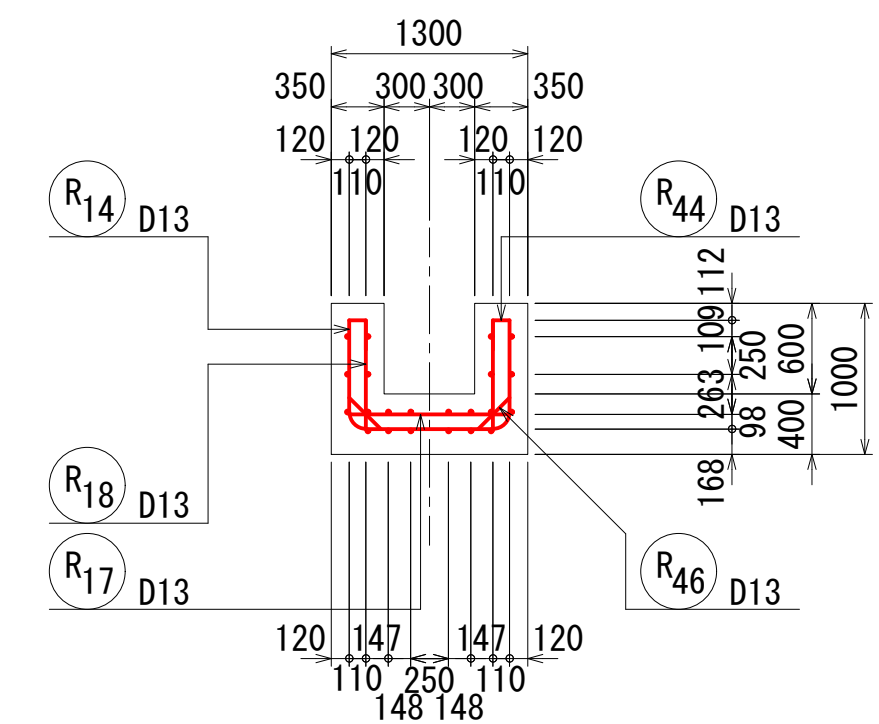
年 度	令和 6 年度		
路線名	知利別町3丁目2条通線		
工事名	知利別川改修工事に伴う 知利別3丁目1条橋架替（下部工）工事		
図面名	川裏翼壁配筋図		
縮 尺	1:50	図面番号	48
設計年月	令和 6 年 4 月		
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課		

【R-7排水工】

2 - 2



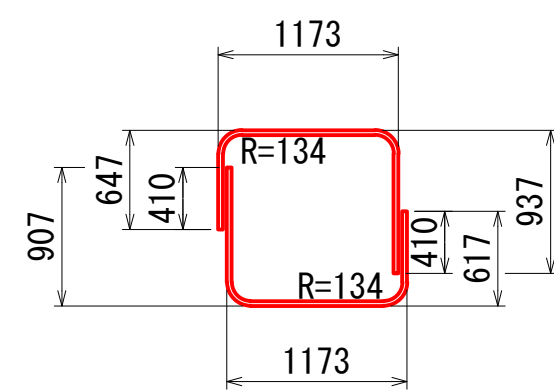
6 - 6



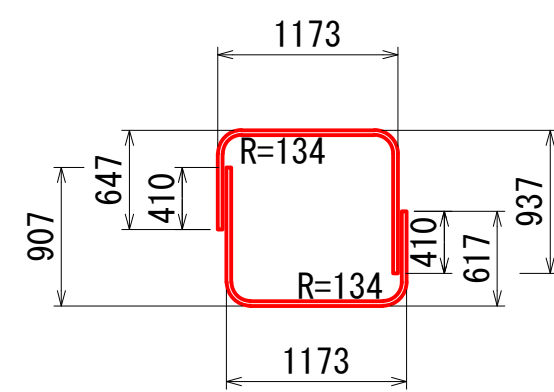
R-7排水工 SP=2450.30(R)
φ0.60m(簡易型柔構造)

年 度	令和 6 年度		
路線名	知利別町3丁目2条通線		
工事名	知利別川改修工事に伴う 知利別3丁目1条橋架替（下部工）工事		
図面名	川表翼壁配筋図		
縮 尺	1:50	図面番号	49
設計年月	令和 6 年 4 月		
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課		

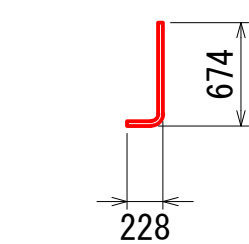
加工筋図(1)
【R-7排水工】



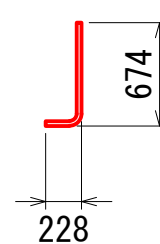
B1 4-D13×2610
B2 4-D13×2550



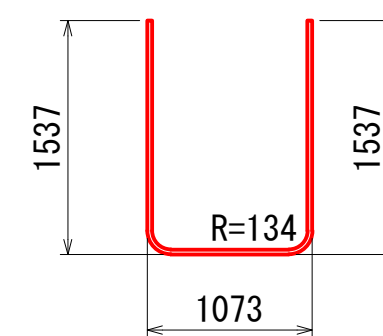
C1 4-D13×2610
C2 4-D13×2550



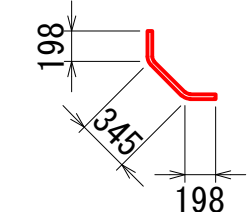
E1 8-D13×890



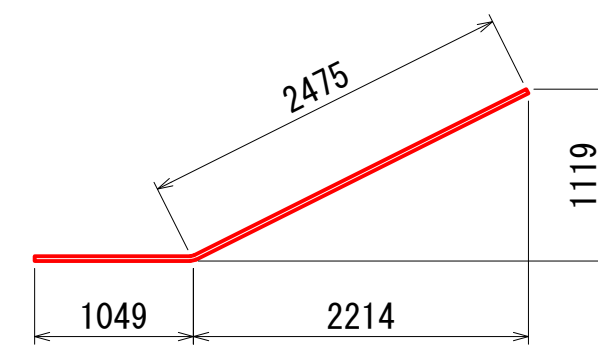
F1 8-D13×890



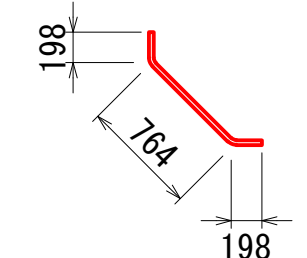
P1 2-D13×4000



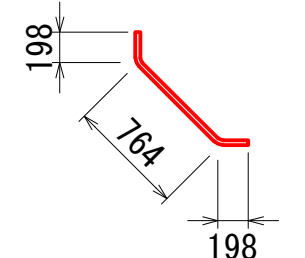
R4 10-D13×730



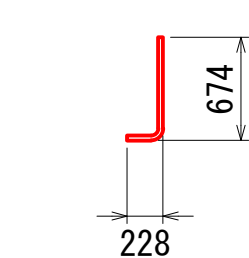
R37 6-D13×3530



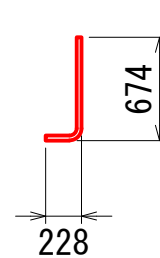
B6 8-D13×1150



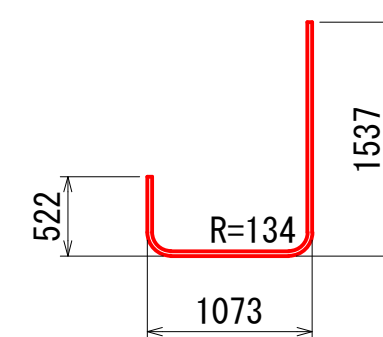
C6 8-D13×1150



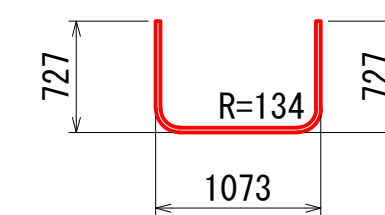
E2 8-D13×890



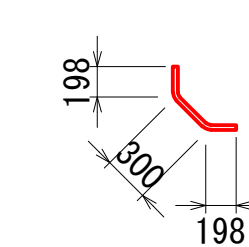
F2 8-D13×890



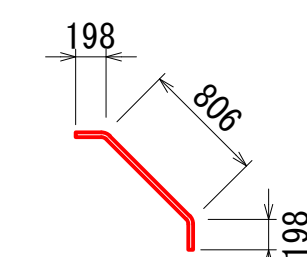
P1-3 2-D13×2990



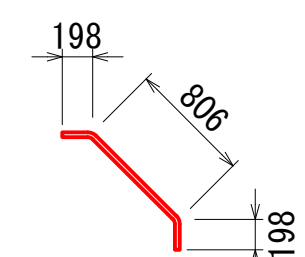
R14 10-D13×2380



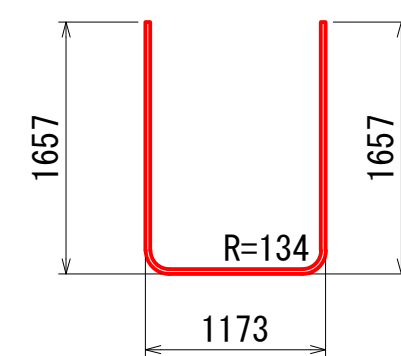
R46 20-D13×690



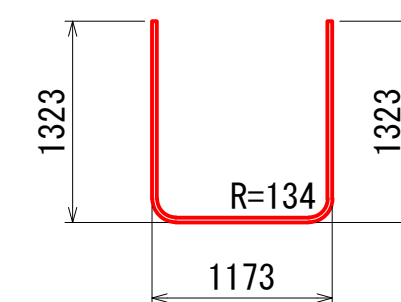
B7 8-D13×1190



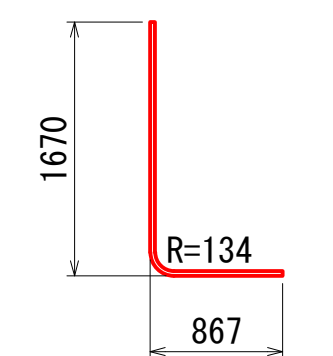
C7 8-D13×1190



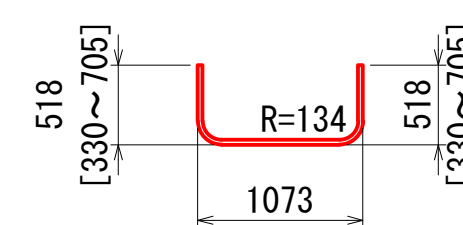
E17 2-D13×4340



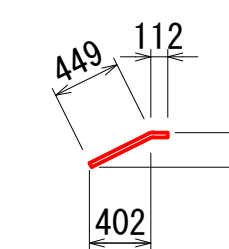
F17 2-D13×3680



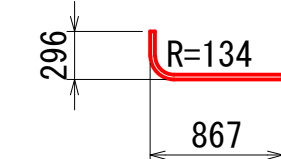
P10 2-D13×2470



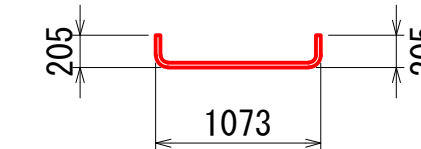
R15 4-D13×1970



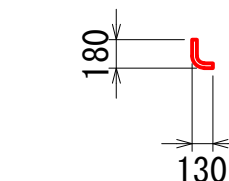
F21 4-D13×560



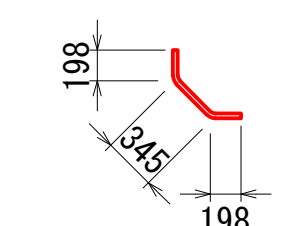
P15 4-D13×1090



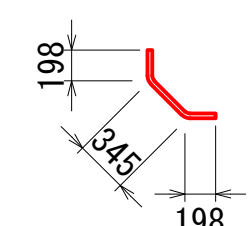
R16 1-D13×1460



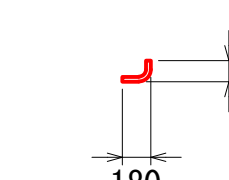
G2 14-D13×300



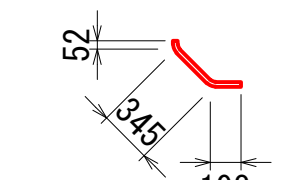
P61 6-D13×730



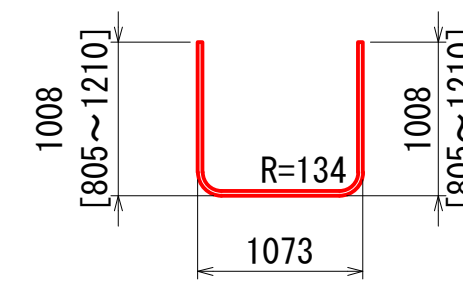
R20 6-D13×730



H2 10-D13×300



P63 4-D13×590

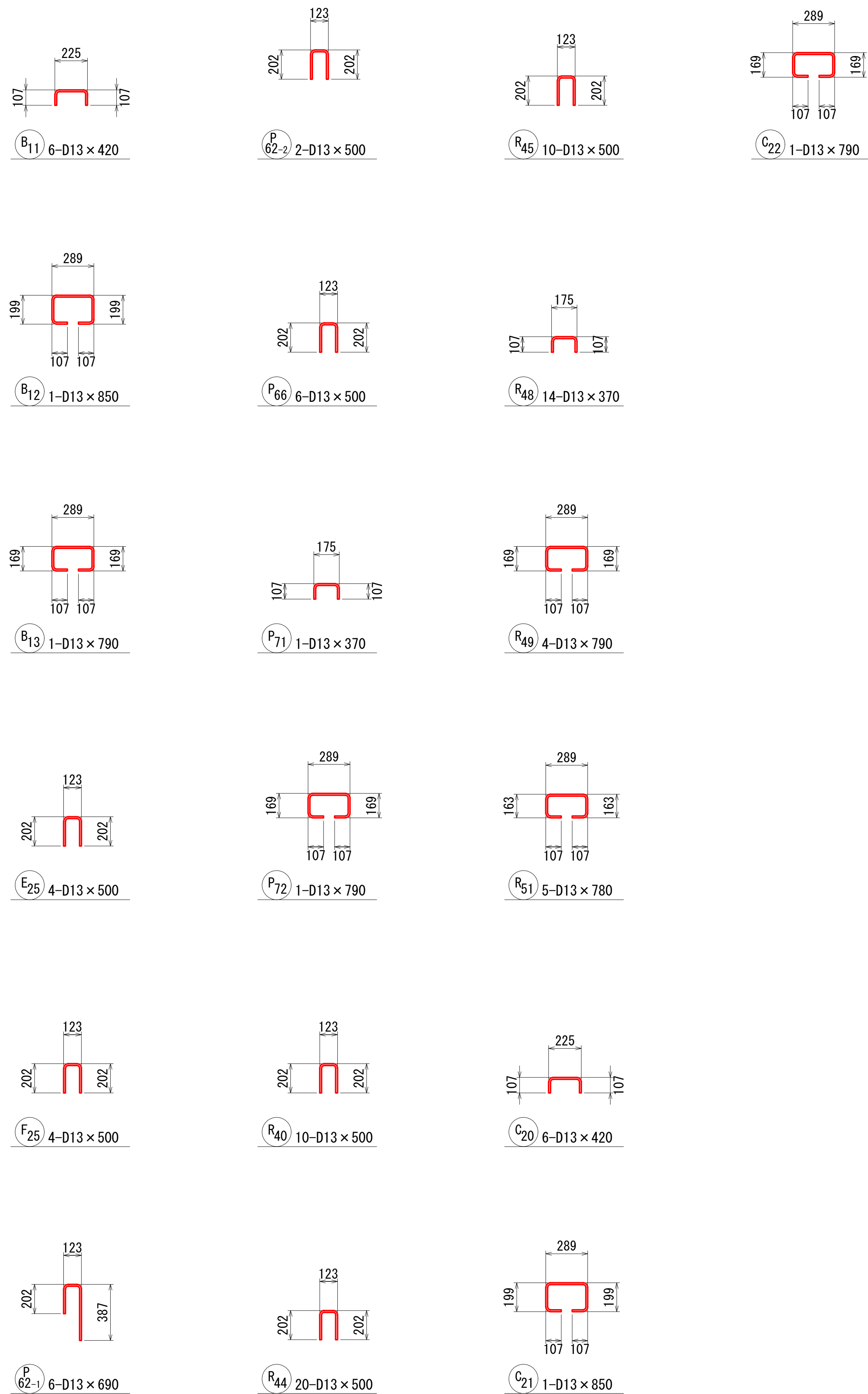


R31 5-D13×2950

R-7排水工 SP=2450.30 (R)
φ0.60m(簡易型柔構造)

年 度	令和 6 年度		
路線名	知利別町3丁目2条通線		
工事名	知利別川改修工事に伴う 知利別3丁目1条橋架替（下部工）工事		
図面名	加工筋図(1)		
縮 尺	1:50	図面番号	50
設計年月	令和 6 年 4 月		
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課		

加工筋図(2)
【R-7排水工】

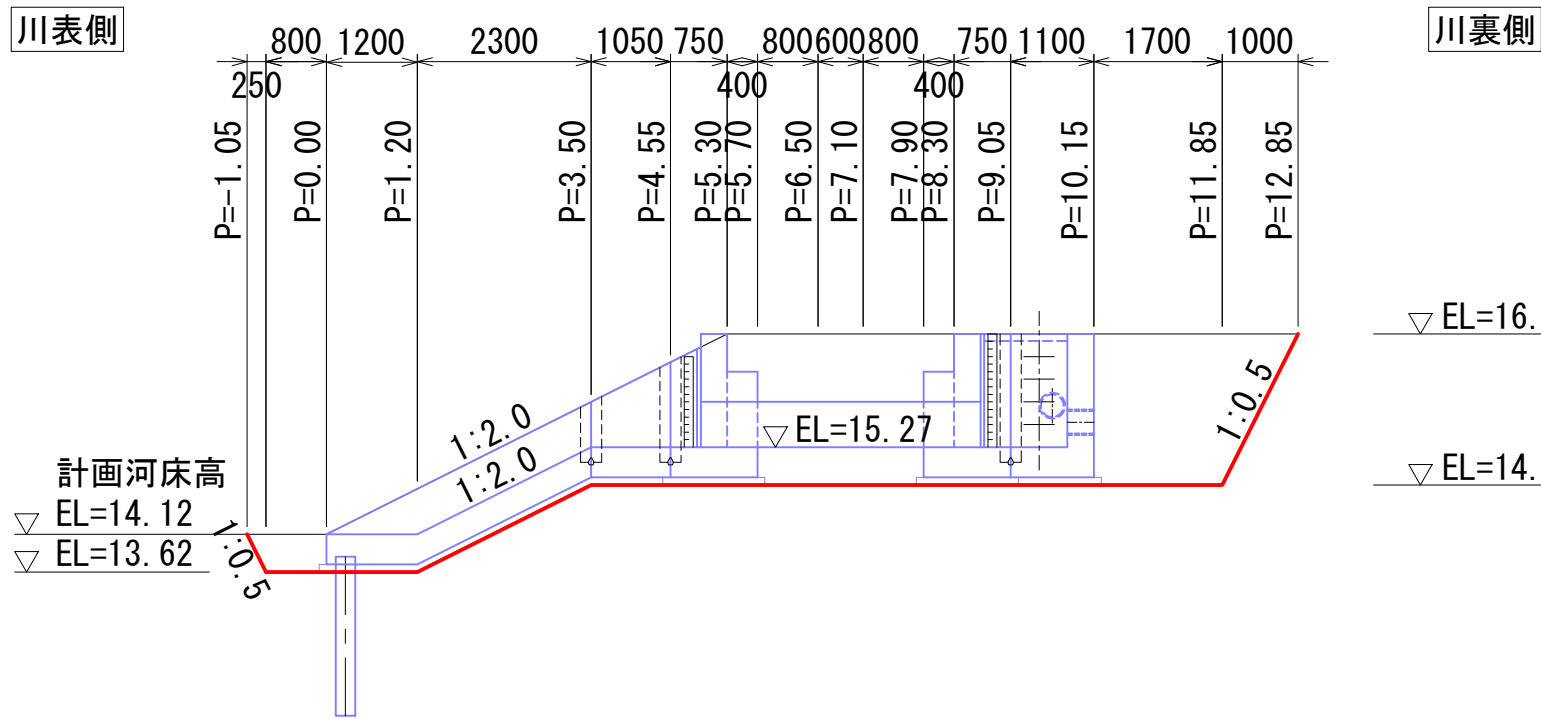


R-7排水工 SP=2450.30(R)
φ0.60m(簡易型柔構造)

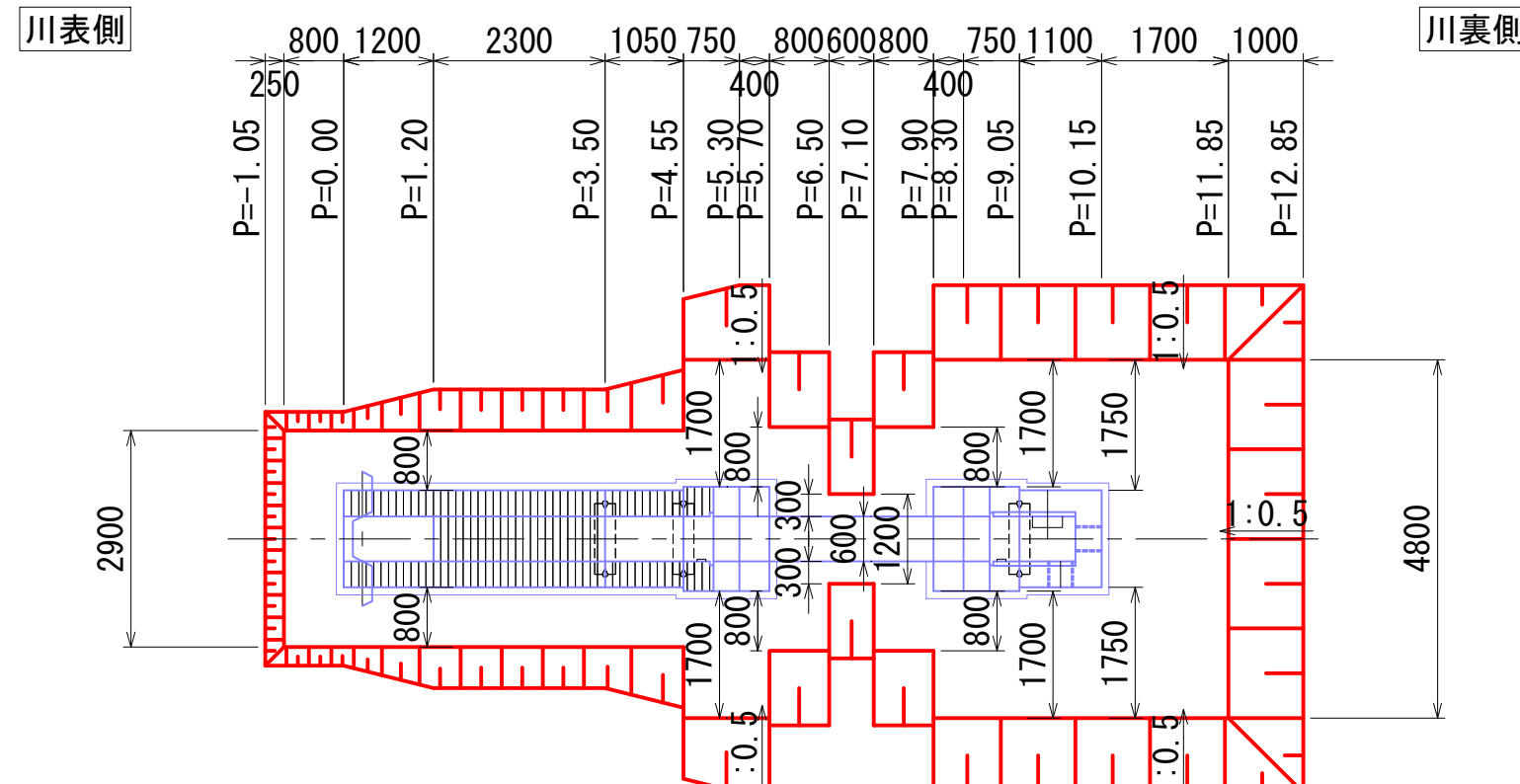
年 度	令和 6 年度		
路線名	知利別町3丁目2条通線		
工事名	知利別川改修工事に伴う 知利別3丁目1条橋架替（下部工）工事		
図面名	加工筋図(2)		
縮 尺	1:20	図面番号	51
設計年月	令和 6 年 4 月		
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課		

【R-7排水工】

縦断面図

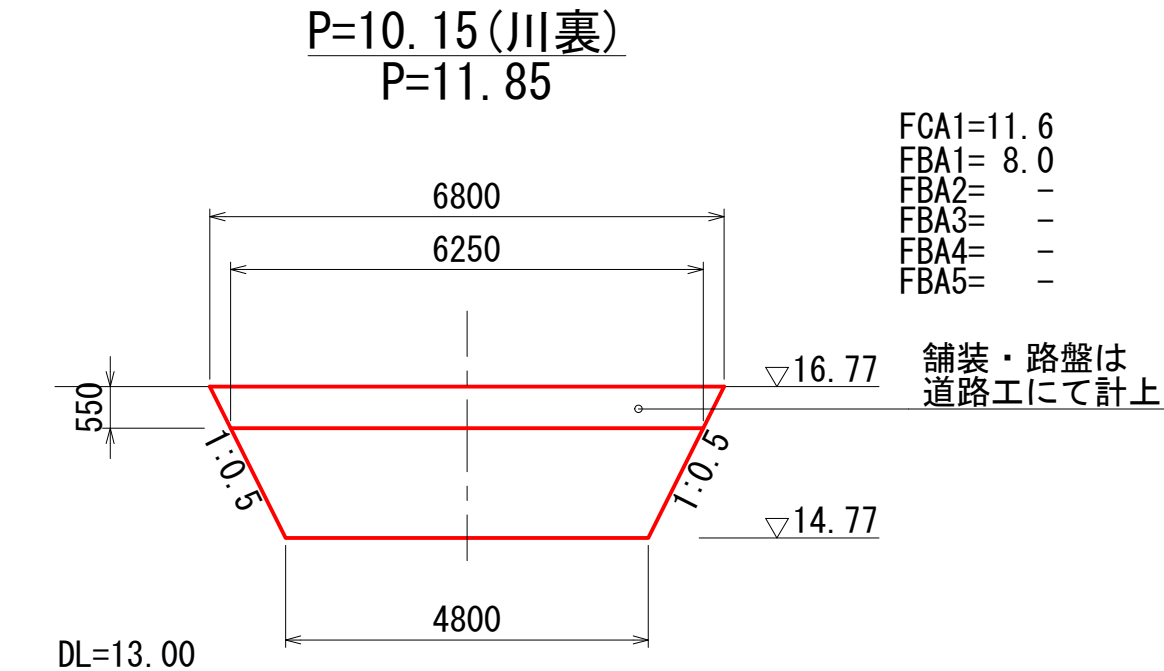
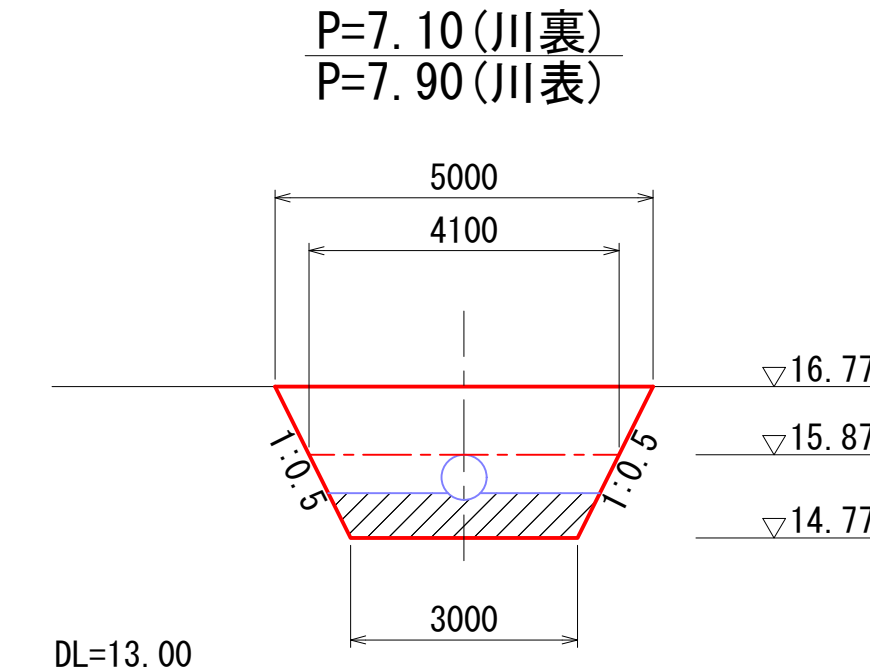
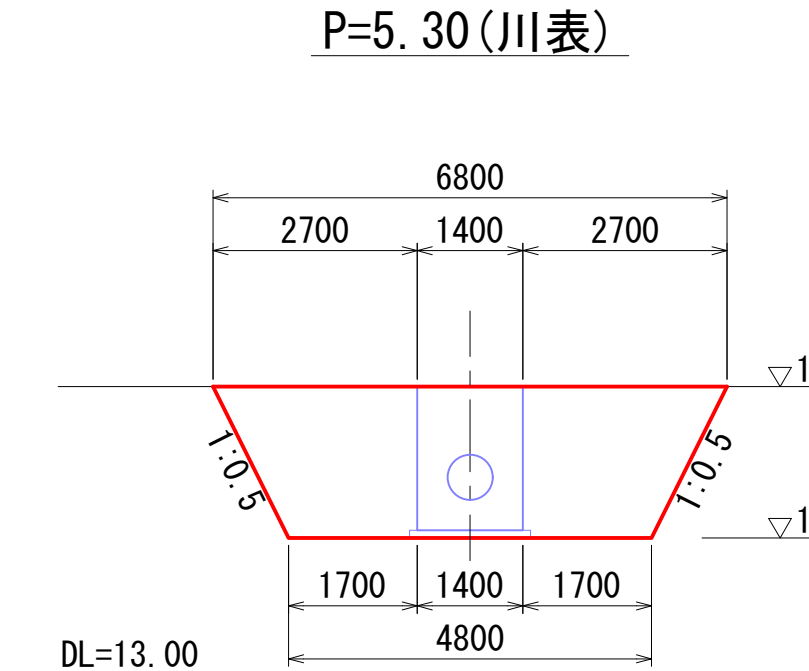
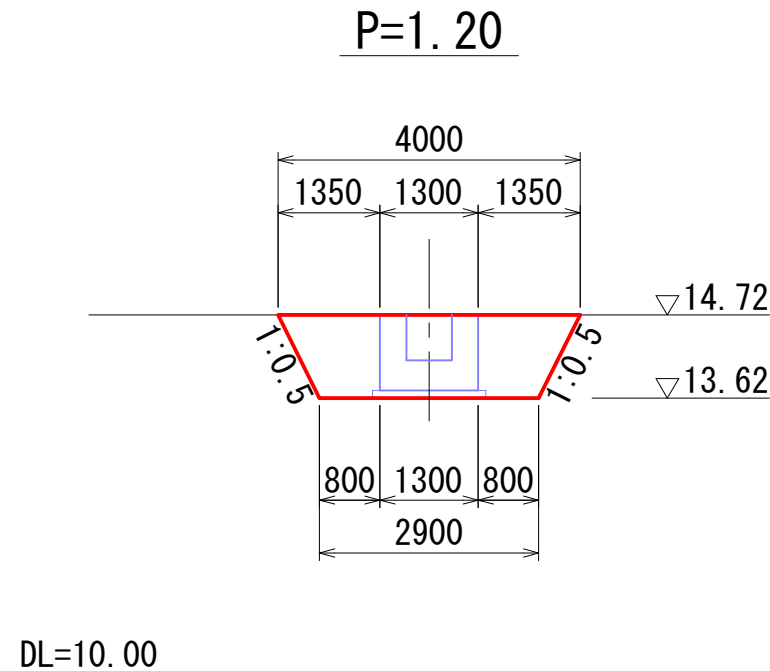
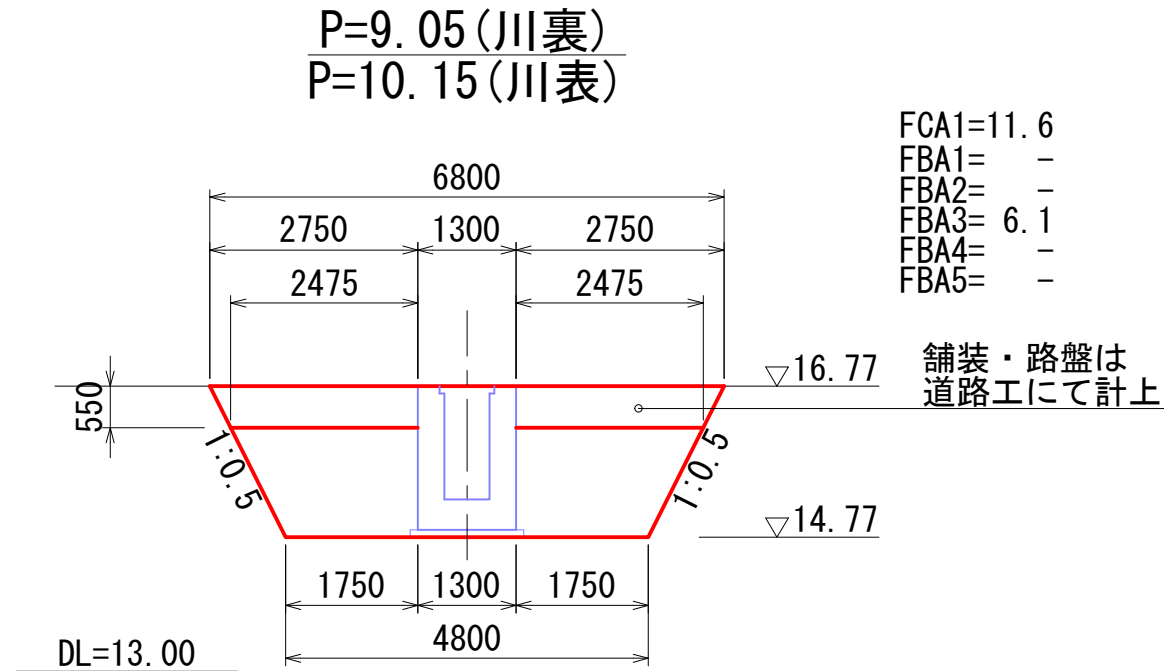
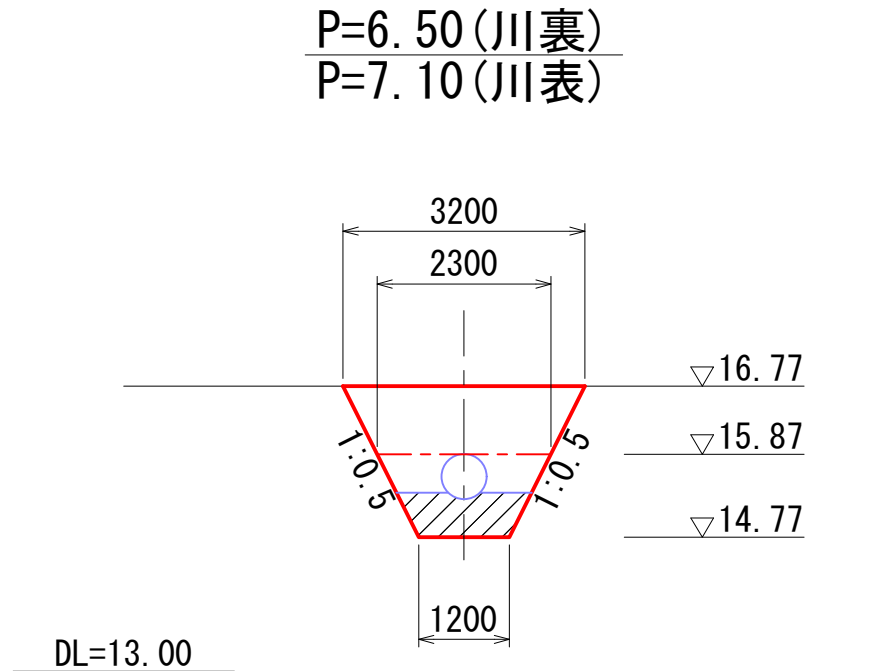
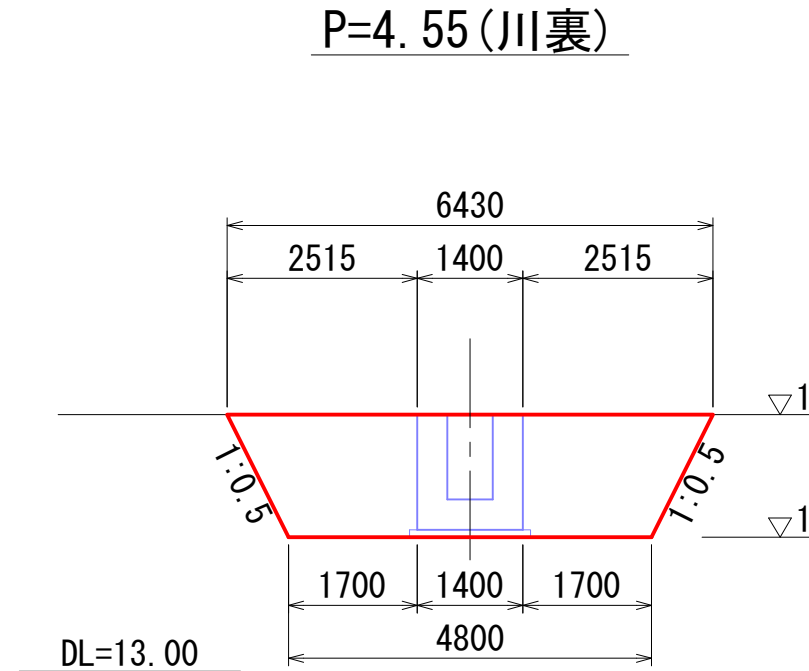
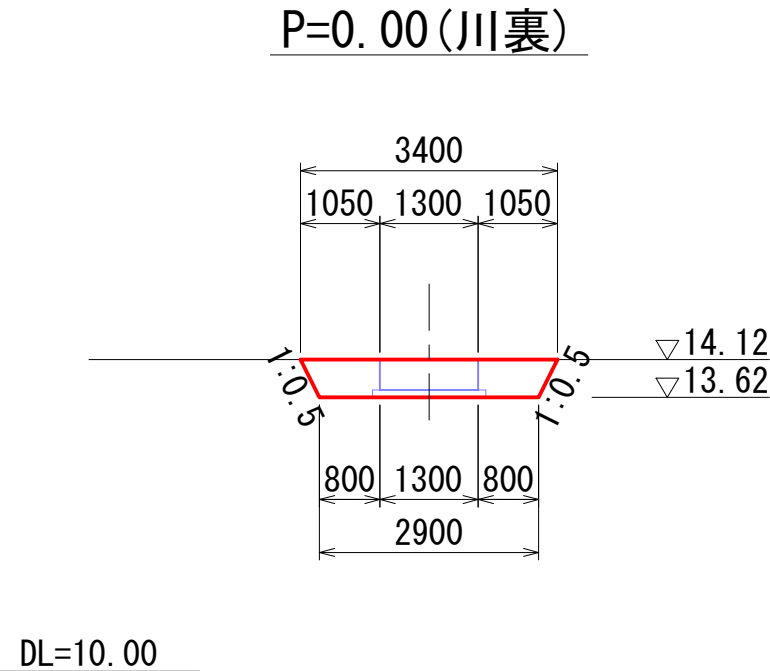
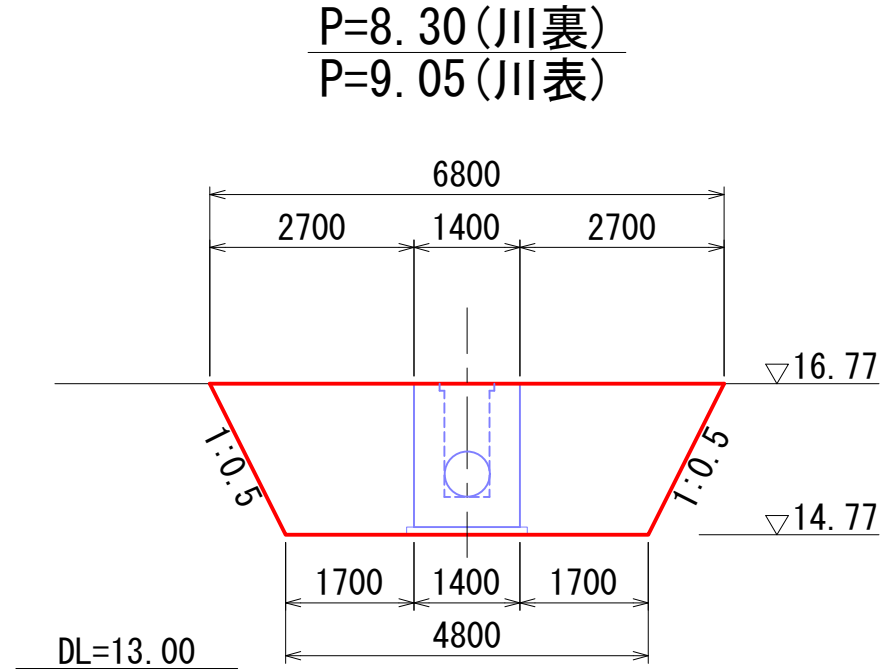
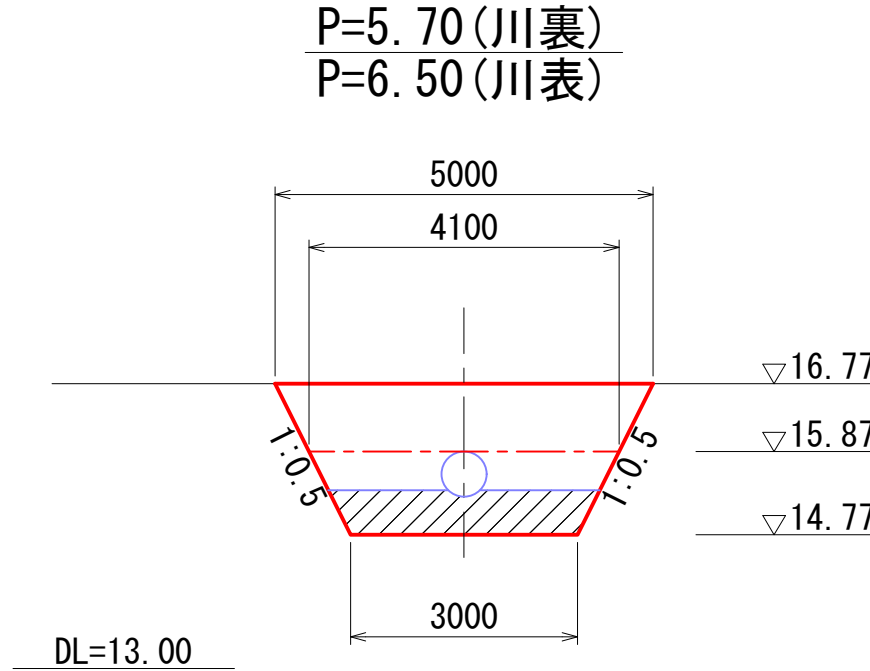
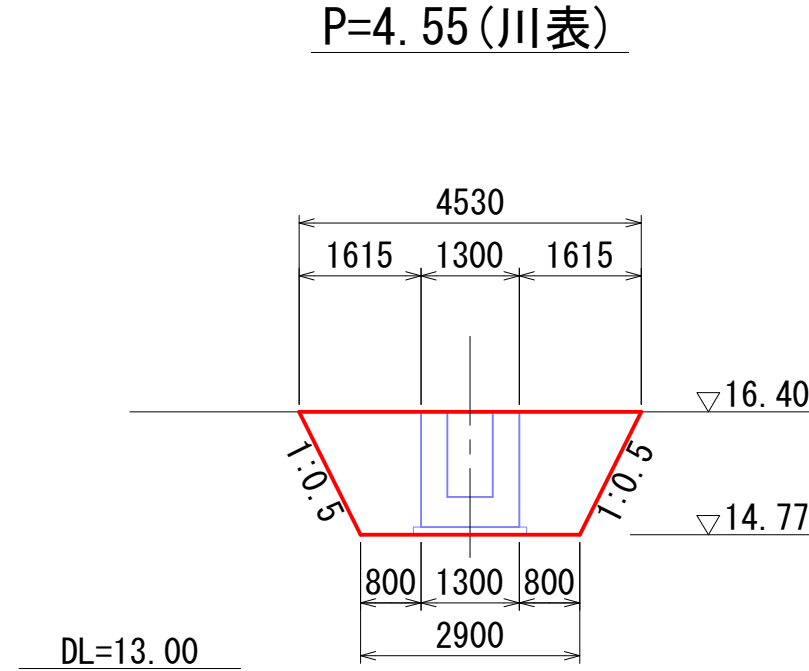
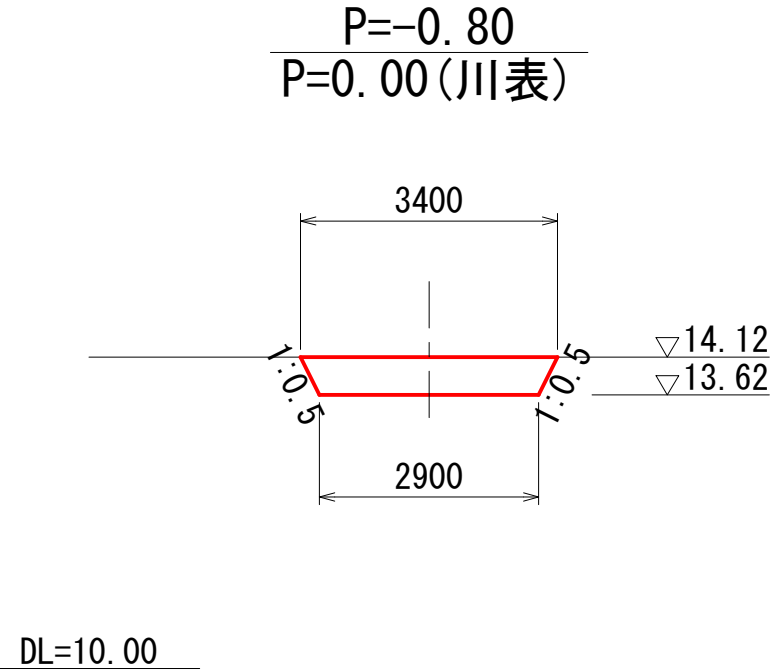
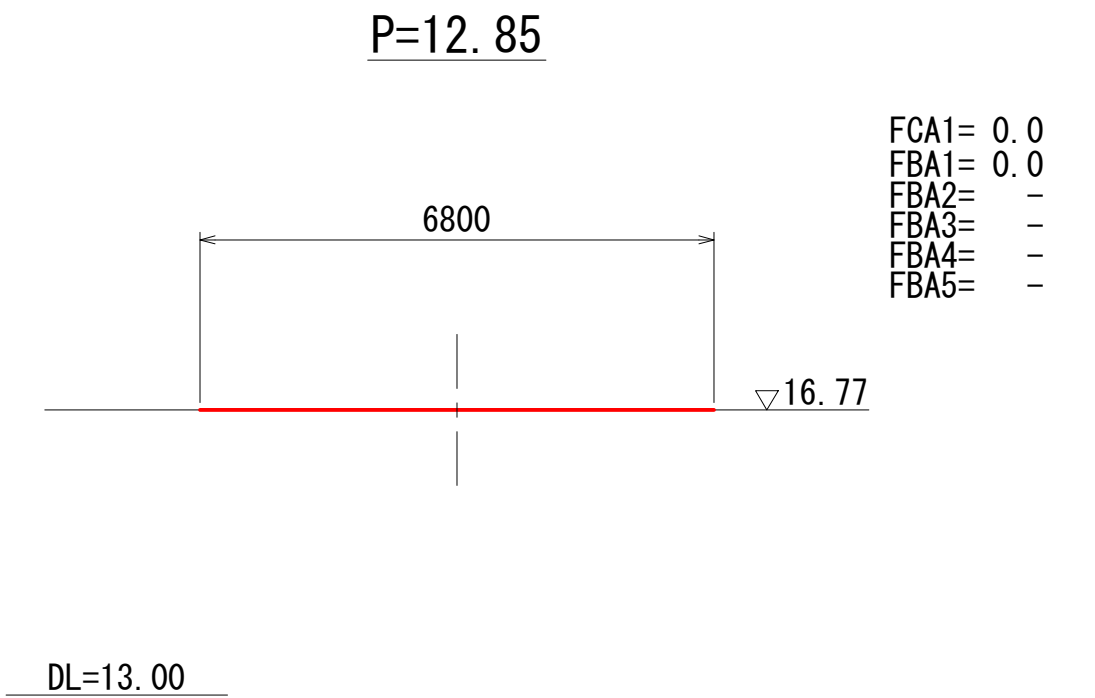
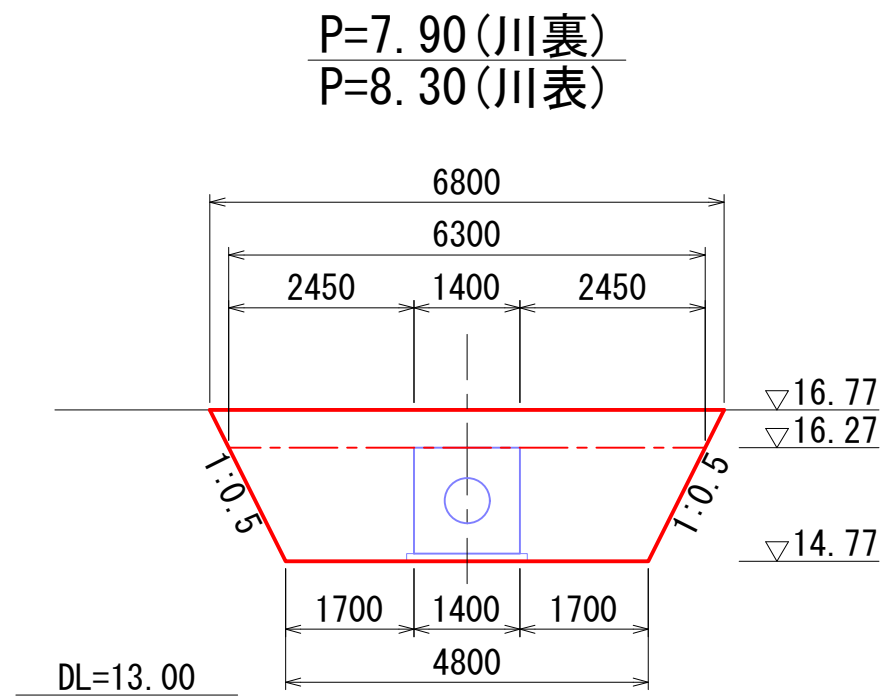
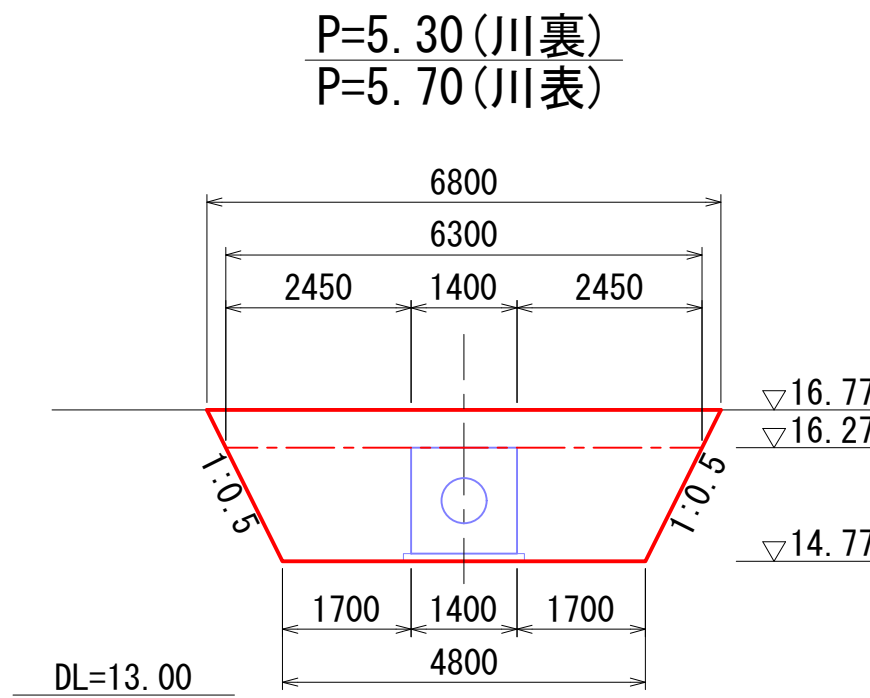
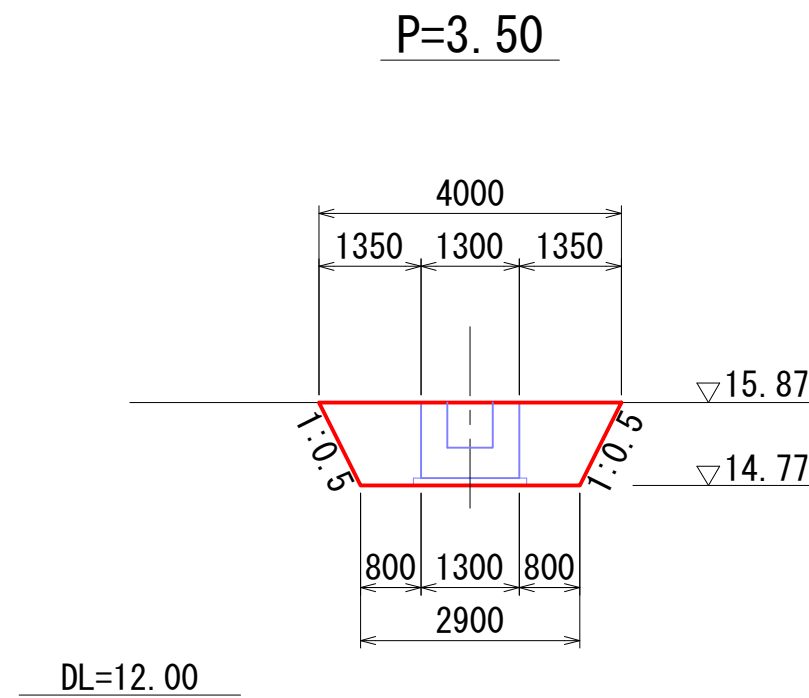
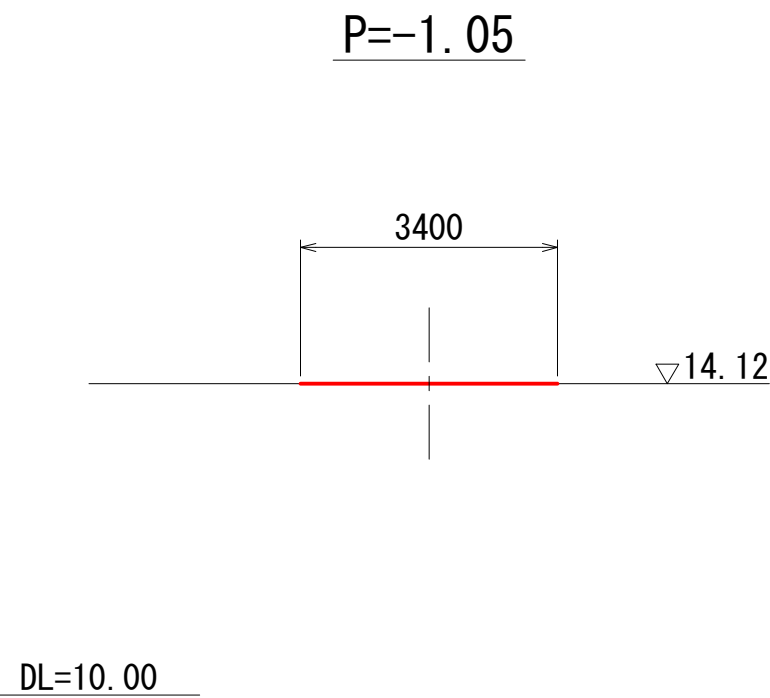


平面図



FCA1	(床掘り・掘削))
FBA1	埋戻し (W2≥4m)
FBA2	埋戻し (W1≥4m)
FBA3	埋戻し (1m≤W1<4m)
FBA4	埋戻し (W1<1m)
FBA5	基床材 (良質土)

※ W1 埋戻し上幅
W2 埋戻し下幅

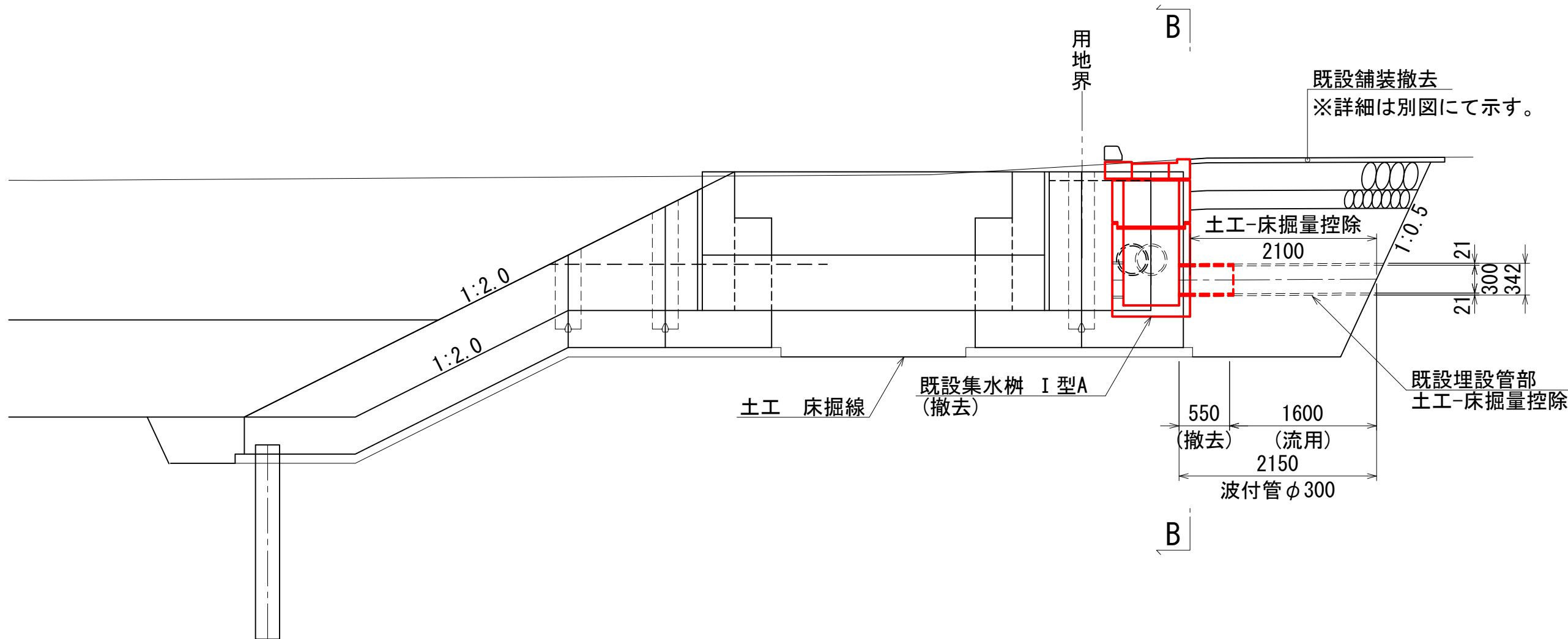


R-7排水工 SP=2450.30(R)
 ϕ 0.60m(簡易型柔構造)

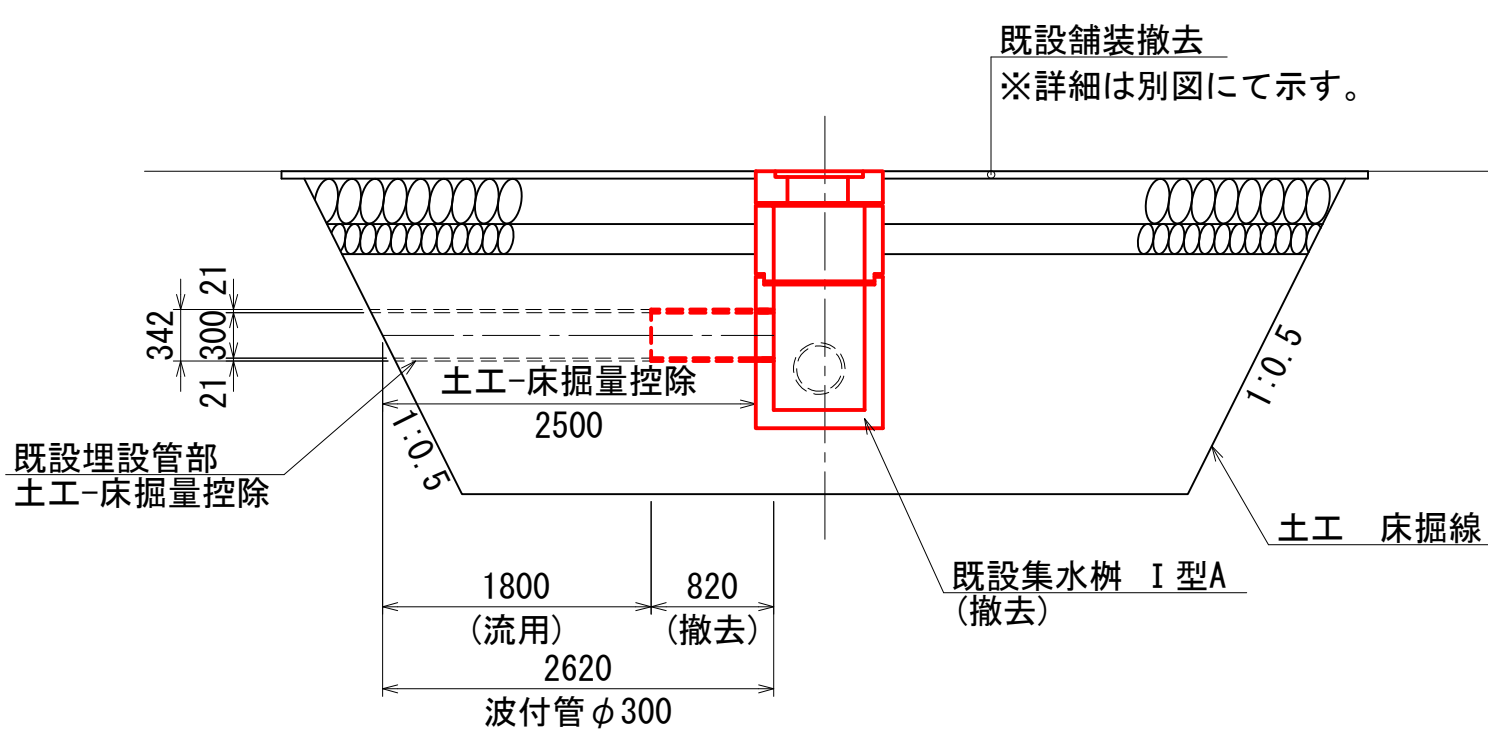
年 度	令和 6 年度		
路線名	知利別町3丁目2条通線		
工事名	知利別川改修工事に伴う 知利別3丁目1条橋架替（下部工）工事		
図面名	土工図		
縮 尺	1:100	図面番号	52
設計年月	令和 6 年 4 月		
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課		

構造物撤去工図
【R-7排水工】

縦断面図
A - A S=1:50

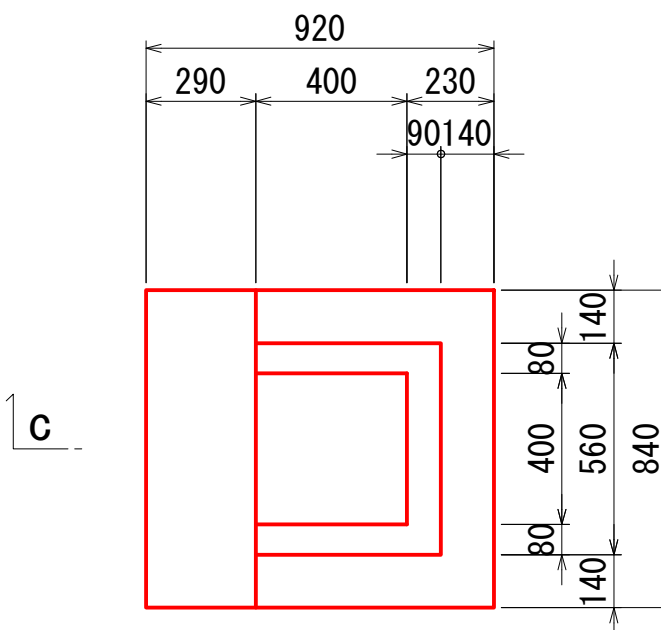


B - B S=1:50

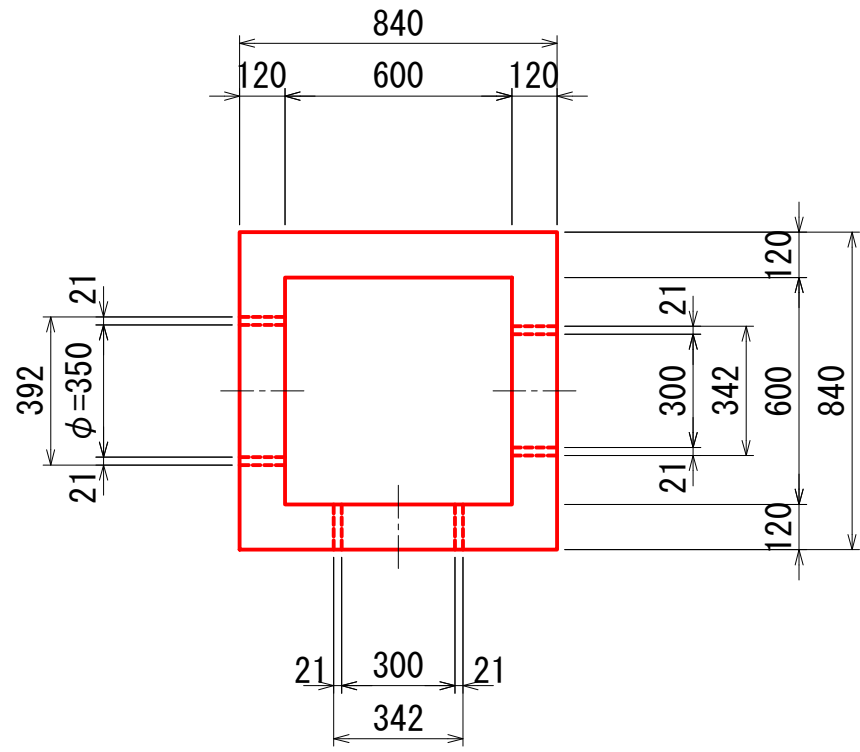


集水樹構造図
I 型A S=1:20

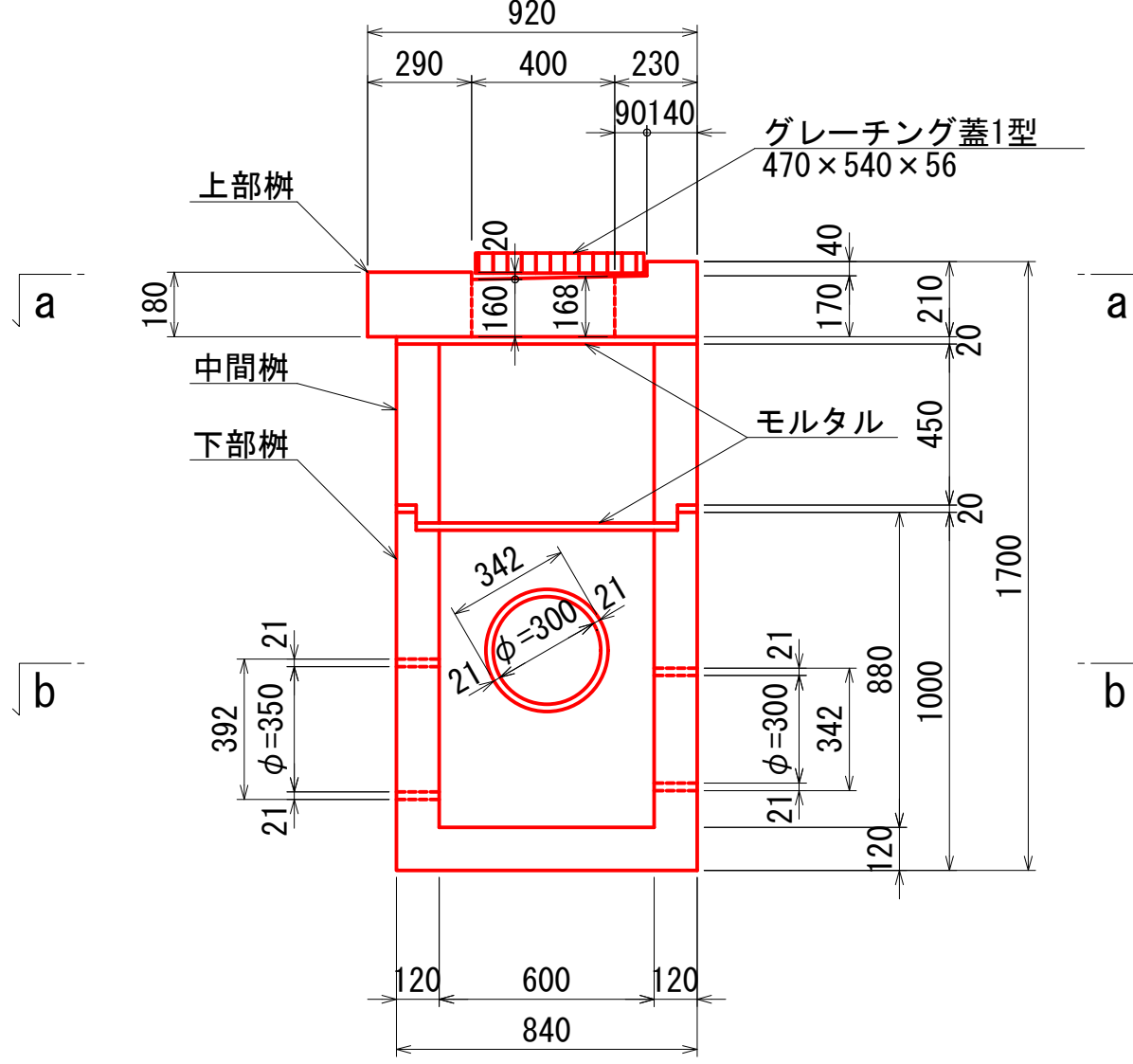
a - a



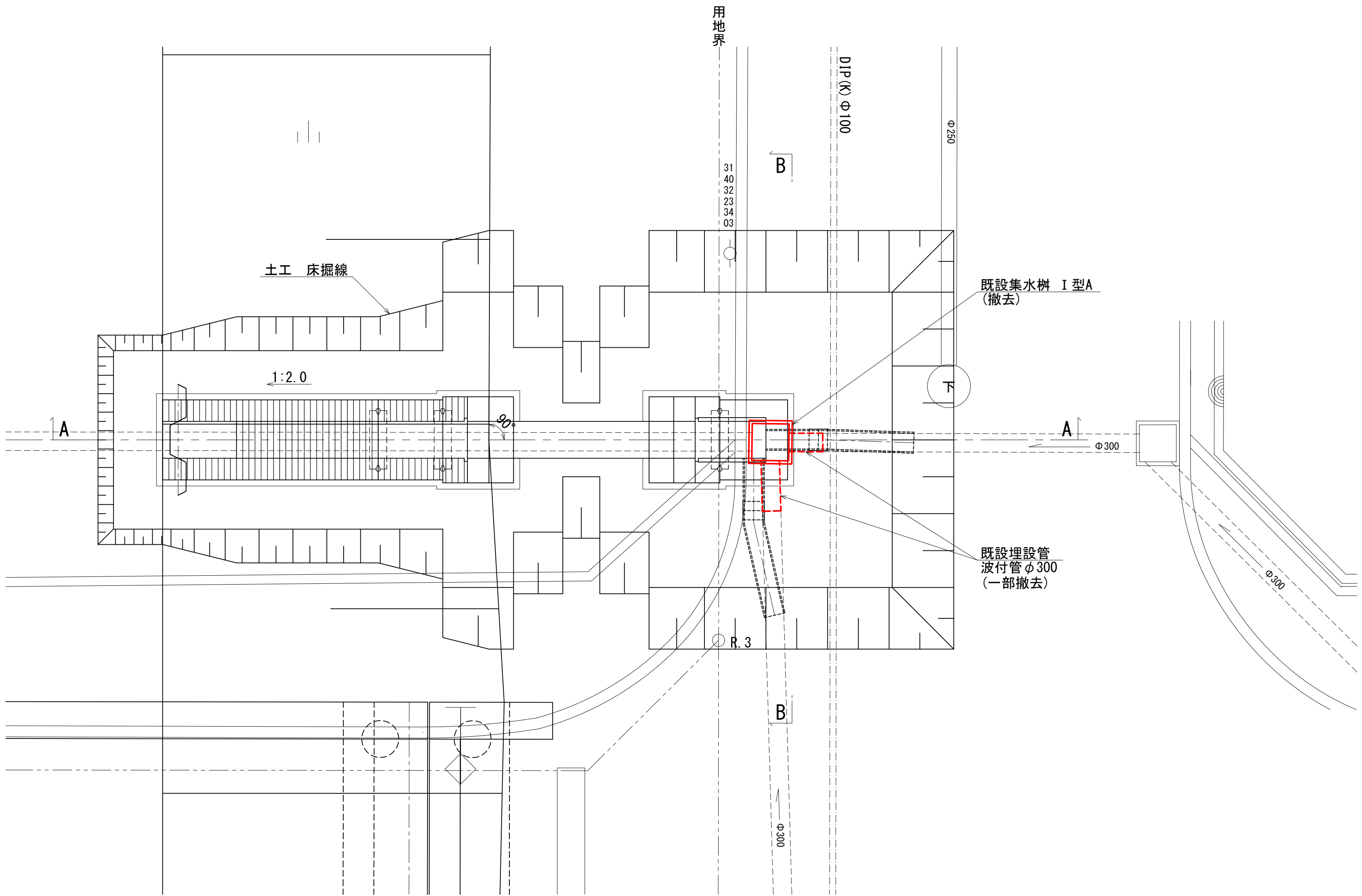
b - b



c - c



平面図 S=1:50



注意事項

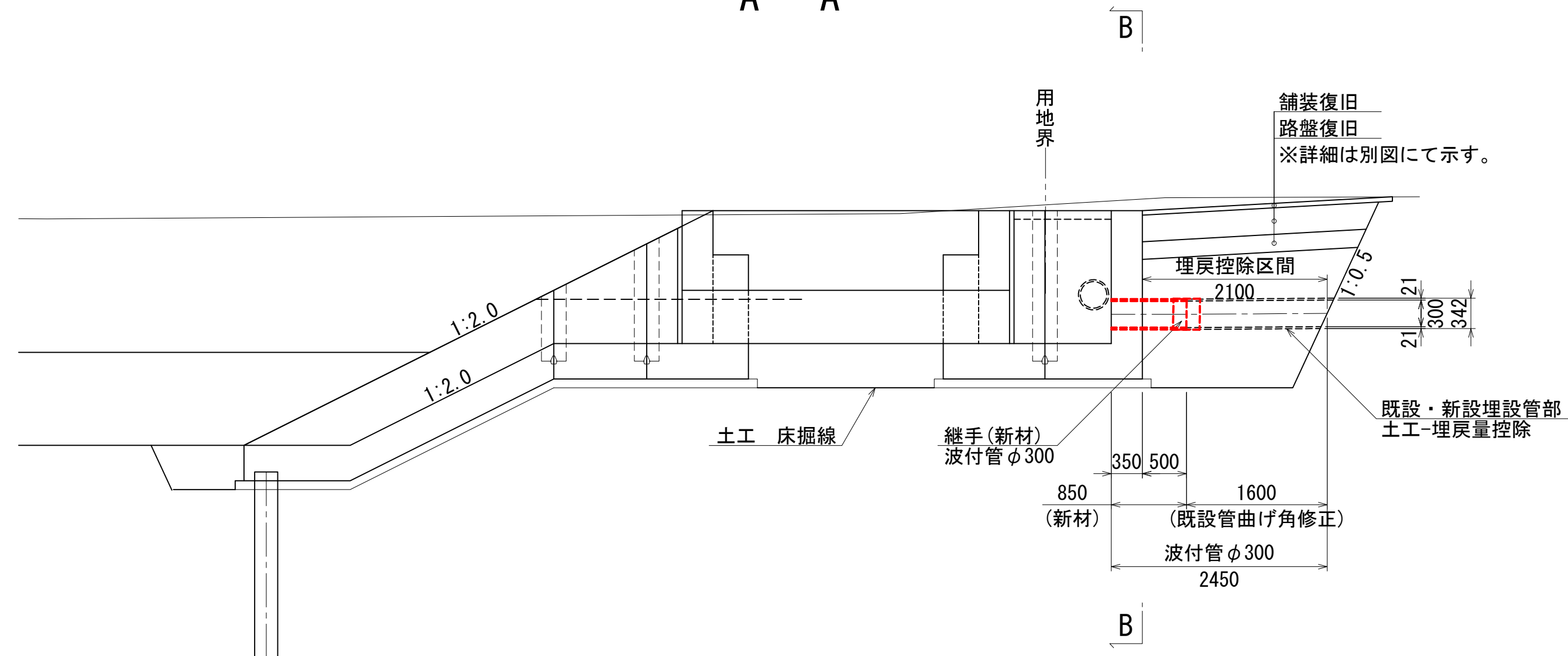
- 既設舗装の撤去については、下記の別図参照のこと。
知利別3丁目1条橋「道路工撤去図(参考図)」

R-7排水工 SP=2450.30(R)
φ0.60m(簡易型柔構造)

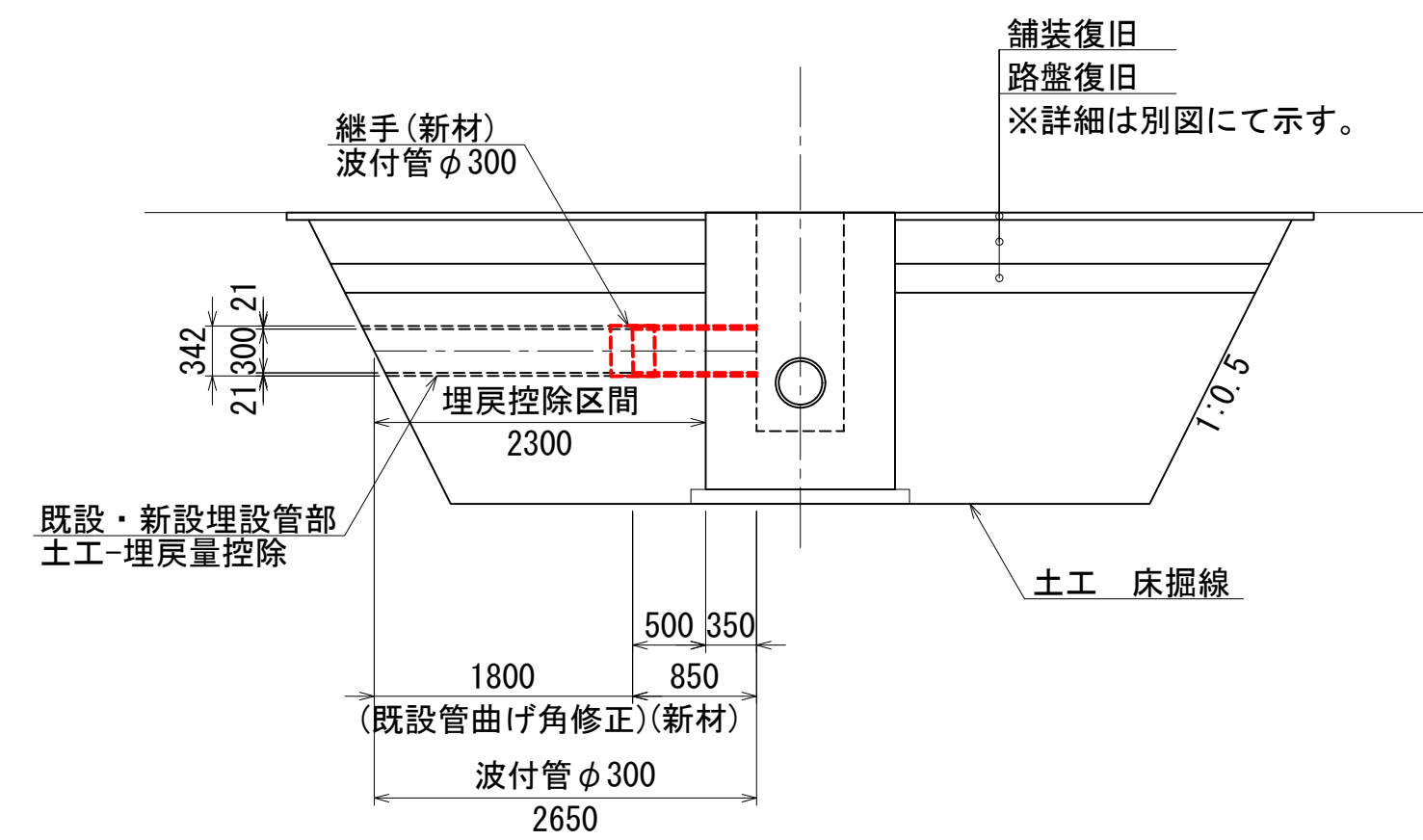
年度	令和 6 年度		
路線名	知利別町3丁目2条通線		
工事名	知利別川改修工事に伴う 知利別3丁目1条橋架替(下部工)工事		
図面名	構造物撤去工図		
縮尺	図示	図面番号	53
設計年月	令和 6 年 4 月		
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課		

復旧工図
【R-7排水工】

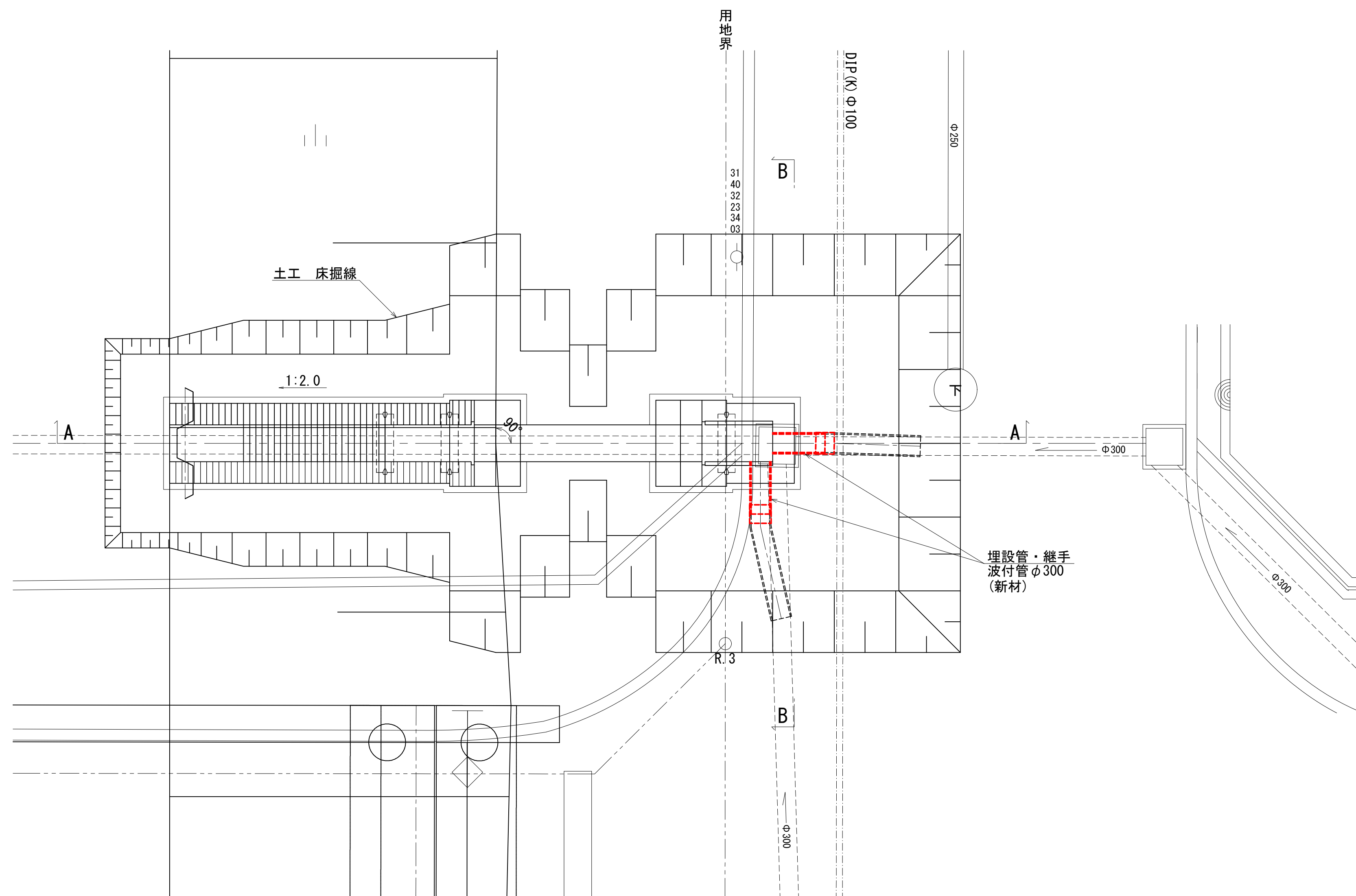
縦断面図
A - A S=1:50



B - B S=1:50



平面図 S=1:50



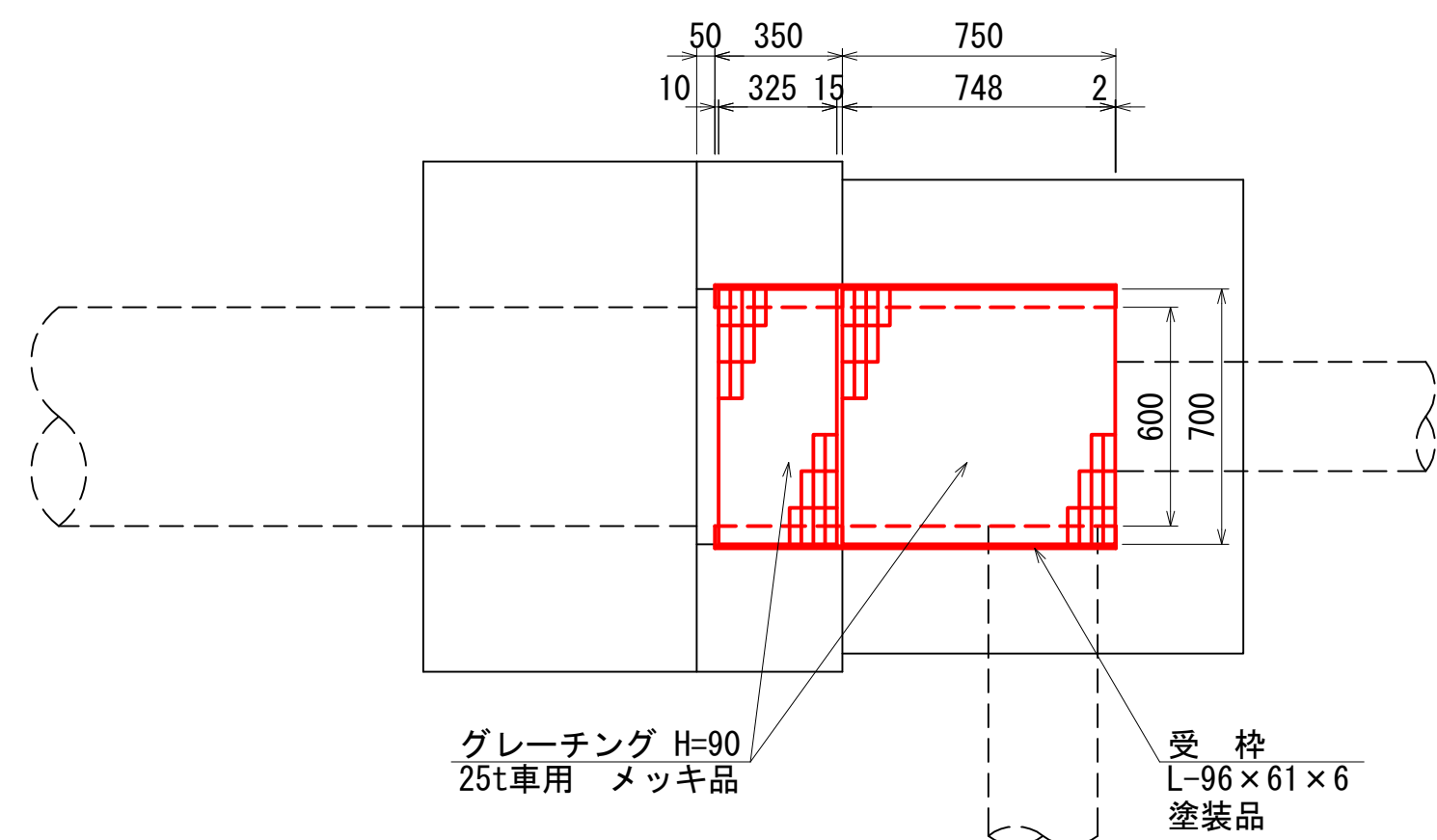
注意事項
・舗装及び路盤の復旧については、下記の別図参照のこと。
知利別3丁目1条橋「道路工復旧図(参考図)」

R-7排水工 SP=2450.30(R)
φ0.60m(簡易型柔構造)

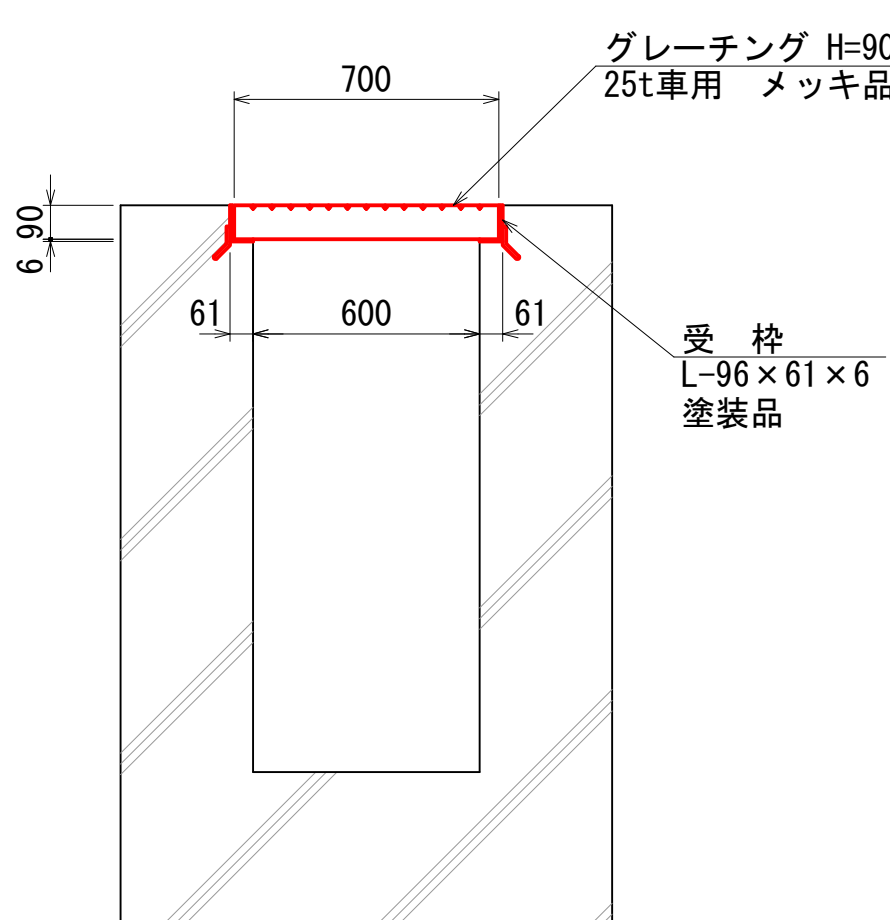
年 度	令和 6 年度		
路線名	知利別町3丁目2条通線		
工事名	知利別川改修工事に伴う 知利別3丁目1条橋架替(下部工)工事		
図面名	復旧工図		
縮 尺	図示	図面番号	54
設計年月	令和 6 年 4 月		
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課		

グレーチング蓋詳細図(参考図)
【R-7排水工】

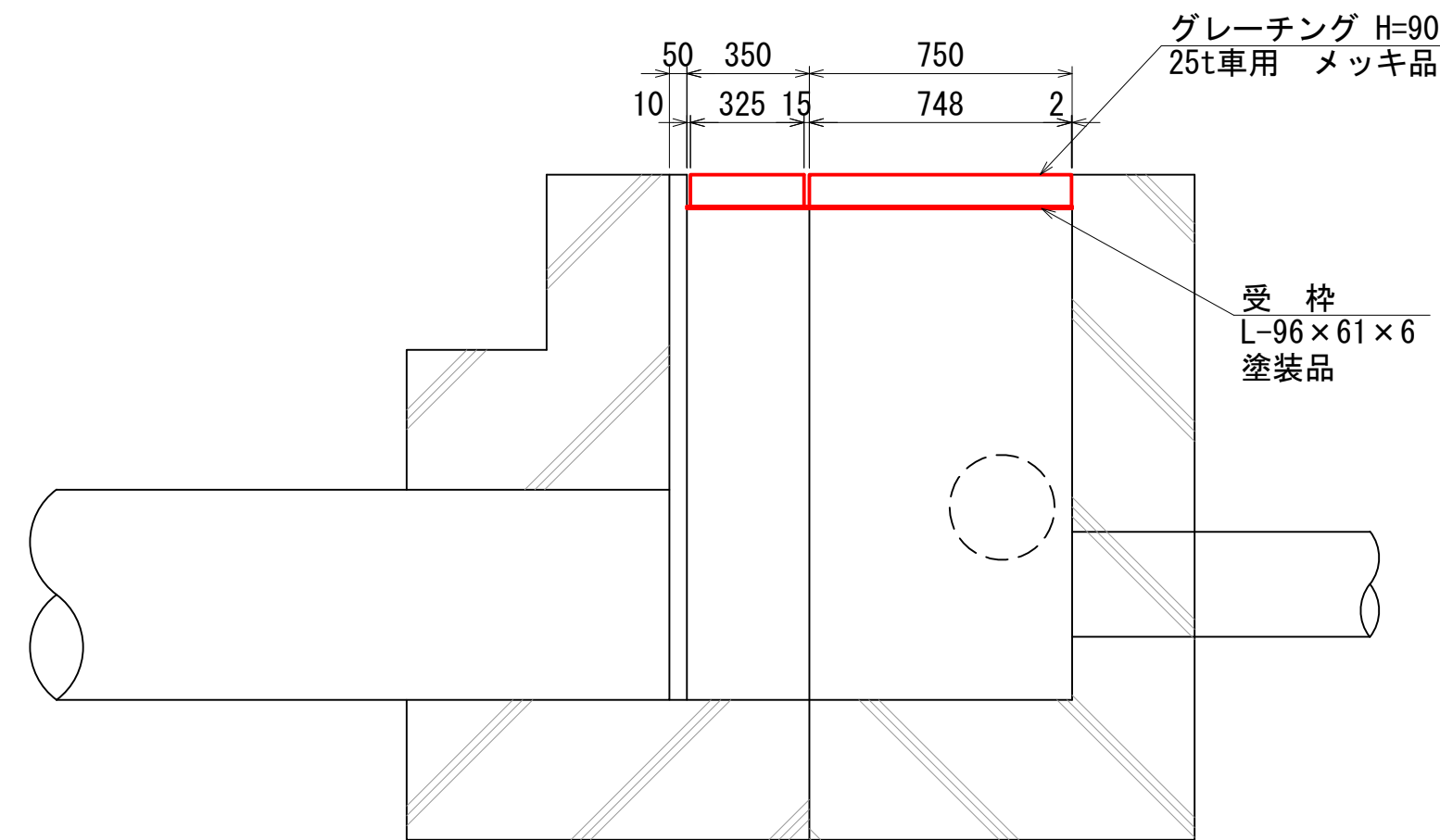
平面図



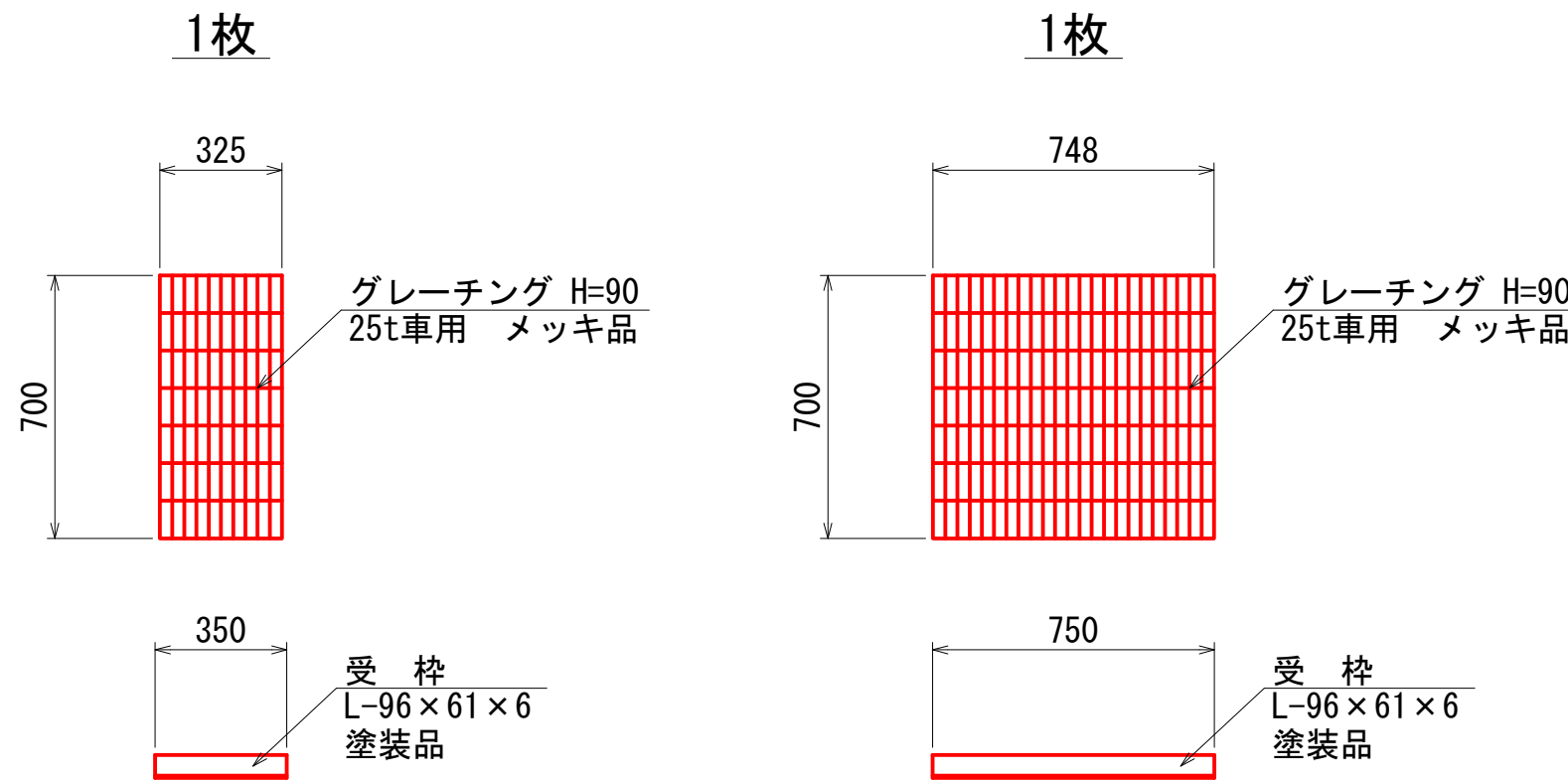
断面図



側面図



グレーチング



特記事項
荷重条件 10.0 kN/m2 (活荷重)

R-7排水工 SP=2450.30(R)
φ0.60m(簡易型柔構造)

年 度	令和 6 年度		
路線名	知利別町3丁目2条通線		
工事名	知利別川改修工事に伴う 知利別3丁目1条橋架替(下部工)工事		
図面名	グレーチング蓋詳細図(参考図)		
縮 尺	1:20	図面番号	55
設計年月	令和 6 年 4 月		
事業者名	室蘭市 都市建設部 土木課		